

令和2年度 川崎区区民アンケート 報告書

川崎区役所

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 調査項目.....	1
4 回収状況.....	1
5 調査結果を見る上での注意事項.....	1
6 標本誤差.....	2
第2章 回答者の属性	3
第3章 調査結果の詳細	6
1 川崎区の住みやすさについて	6
(1) 川崎区の住みやすさ	6
(2) 今後の定住意向	8
(3) 川崎区の満足度	10
2 川崎区役所へ行く頻度と目的	30
(1) 頻度	30
(2) 目的	32
3 川崎区役所の事業や広報について	34
(1) 川崎区内施設の認知度	34
(2) 川崎市（区）役所の取組への認知度	44
(3) 川崎市（区）役所が特に力を入れるべきだと思う事業	66
(4) 行政情報の入手手段	69
(5) 「市政だより」に取り上げて欲しいテーマ	72
4 防災や風水害時の避難予定場所について	75
(1) 実践している防災の取組	75
(2) 災害時の防災情報の収集手段	78
(3) 避難場所	80
5 自転車の利用について	82
(1) 自転車の利用状況	82
(2) 自転車保険の加入義務への認知度	84
(3) 自転車保険への加入状況	86
6 町内会・自治会活動について	88
(1) 町内会・自治会への加入状況	88
(2) 町内会・自治会の活動に参加しない理由	91
(3) 町内会・自治会に加入していない理由	94

(4) 町内会・自治会活動に最も期待する役割	97
(5) 町内会・自治会活動で参加してみたい(興味のある)こと	99
7 地域コミュニティについて	102
(1) 興味のある地域交流の場所や取組	102
8 新型コロナウイルス感染症に対応した生活について	106
(1) 実践している新型コロナウイルス感染症の対策	106
9 東海道川崎宿起立 400 年について	109
(1) 宿場町としての歴史への認知度	109
(2) 「東海道川崎宿起立 400 年」の認知度	111
(3) 「東海道川崎宿起立 400 年」を盛り上げるために力を入れていく取組	113
10 川崎区制 50 周年について	115
(1) 「区制 50 周年」の認知度	115
(2) 「区制 50 周年」にあたり重視すべき視点	117
(3) 「区制 50 周年」で行う事業	119
第 4 章 調査票	121

第1章 調査の概要

1 調査目的

「川崎区区民アンケート」は、区民の区政に対する意見やニーズ等を調査することにより、区政運営及び地域課題解決の参考とすることを目的として実施した。

2 調査方法

- | | |
|------------|-----------------------------|
| (1) 調査の地域 | 川崎区全域 |
| (2) 調査の対象者 | 川崎区内在住の満18歳以上の男女個人 |
| (3) 標本の抽出 | 住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 |
| (4) 標本数 | 2,000標本 |
| (5) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収） |
| (6) 調査期間 | 令和2年11月25日（水）～令和2年12月10日（木） |
| (7) 調査委託機関 | 株式会社 タイム・エージェント |

3 調査項目

項目名	設問
1 川崎区の住みやすさについて	(問1～問3)
2 川崎区役所へ行く頻度と目的	(問4～問5)
3 川崎区役所の事業や広報について	(問6～問10)
4 防災や風水害時の避難予定場所について	(問11～問13)
5 自転車の利用について	(問14～問16)
6 町内会・自治会活動について	(問17～問21)
7 地域コミュニティについて	(問22)
8 新型コロナウイルス感染症に対応した生活について	(問23)
9 東海道川崎宿起立400年について	(問24～問26)
10 川崎区制50周年について	(問27～問29)

4 回収状況

有効回収数 1,000人

有効回収率 50.0%

5 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

6 標本誤差

この調査結果を見る場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、回答者数（標本数）が少ないほど大きく、また、回答比率が低いほど大きくなる。下記の表は、今回の調査結果の標本誤差を示したものである。例えば、調査の中のある設問の回答者数が1000人であり、Aと回答した人の比率が60%だった場合、その結果を全体（母集団）の結果として考えるときに、Aの回答比率は56.9%～63.1%であるとみることができる。

●今回調査結果の標本誤差

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
600	±2.4%	±3.3%	±3.7%	±4.0%	±4.1%
400	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$ として算出している。

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるがその誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査にあてはめて算出したのが、上記の表である。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

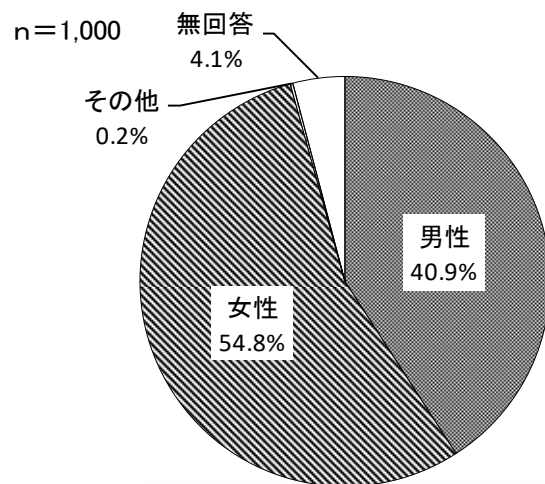
N=母集団（川崎区の18歳以上人口）

n=比率算出の基数（回答者数）

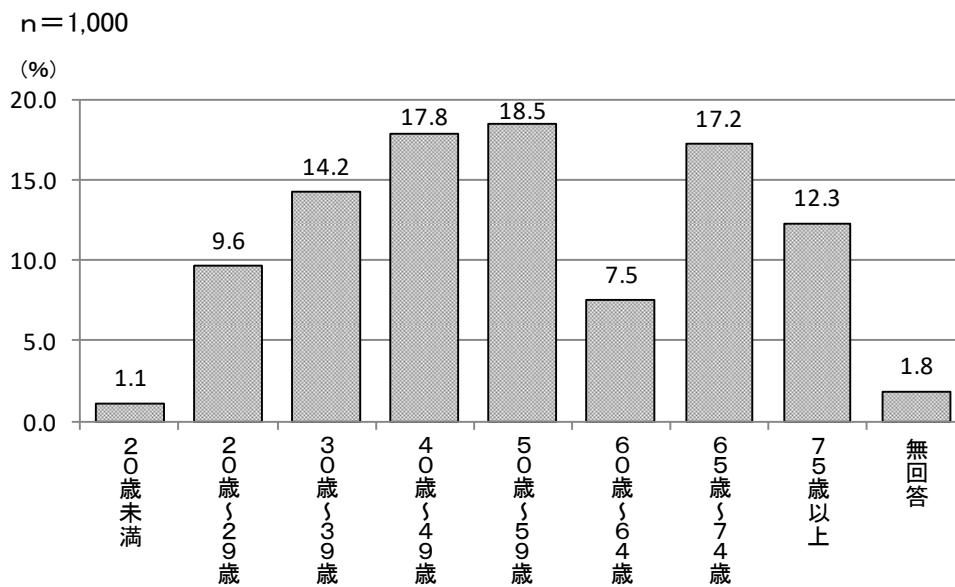
p=回答の比率（%）

第2章 回答者の属性

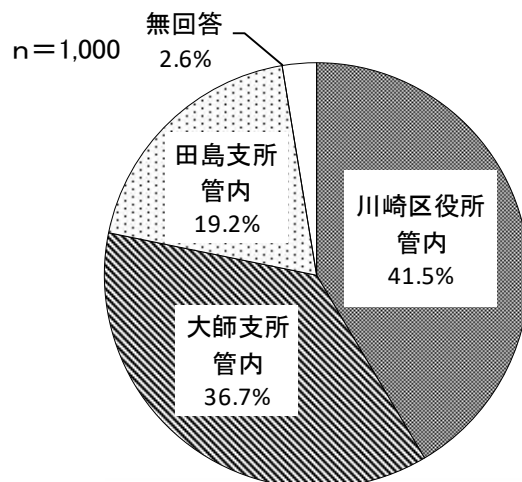
1 性別



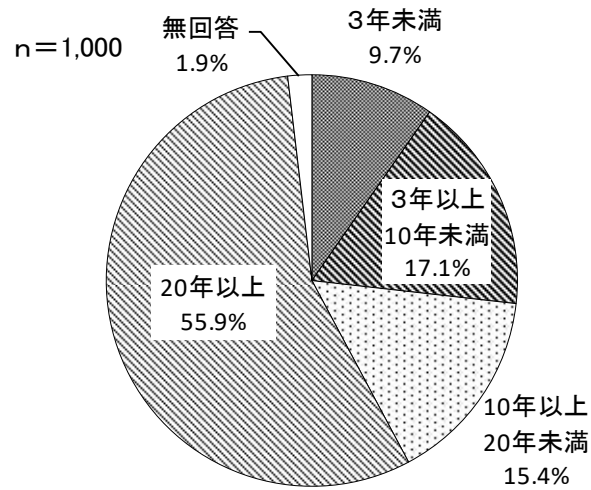
2 年齢



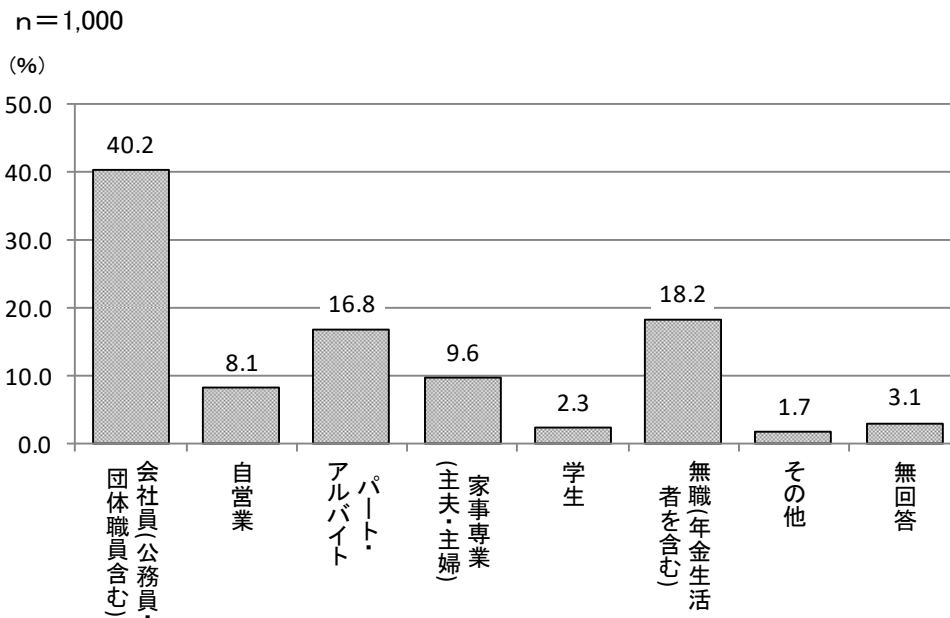
3 居住地区



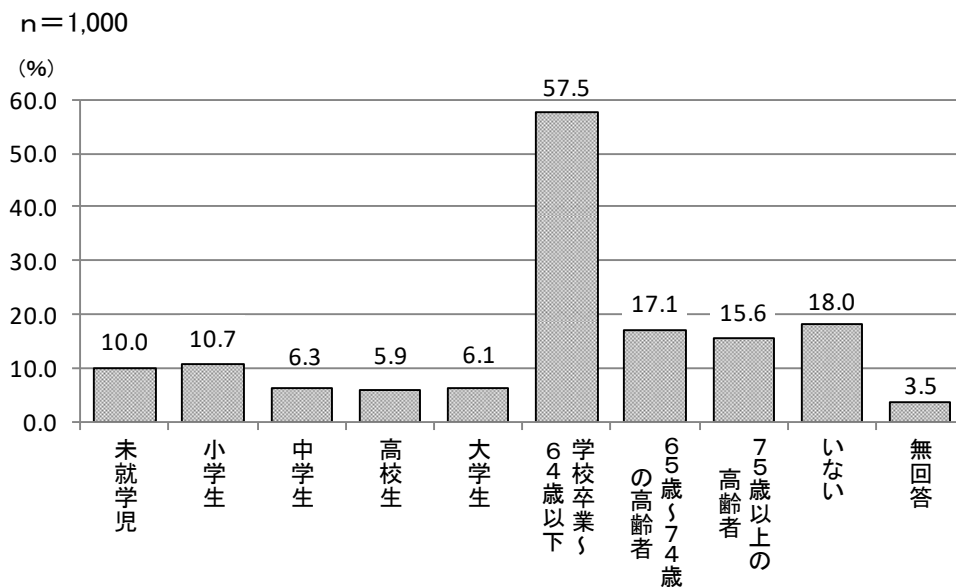
4 居住年数



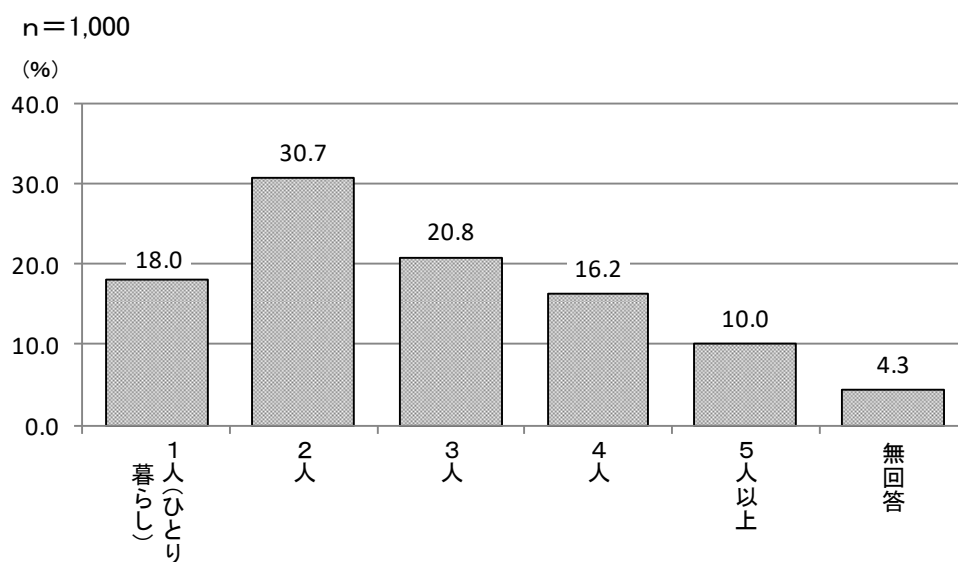
5 職業



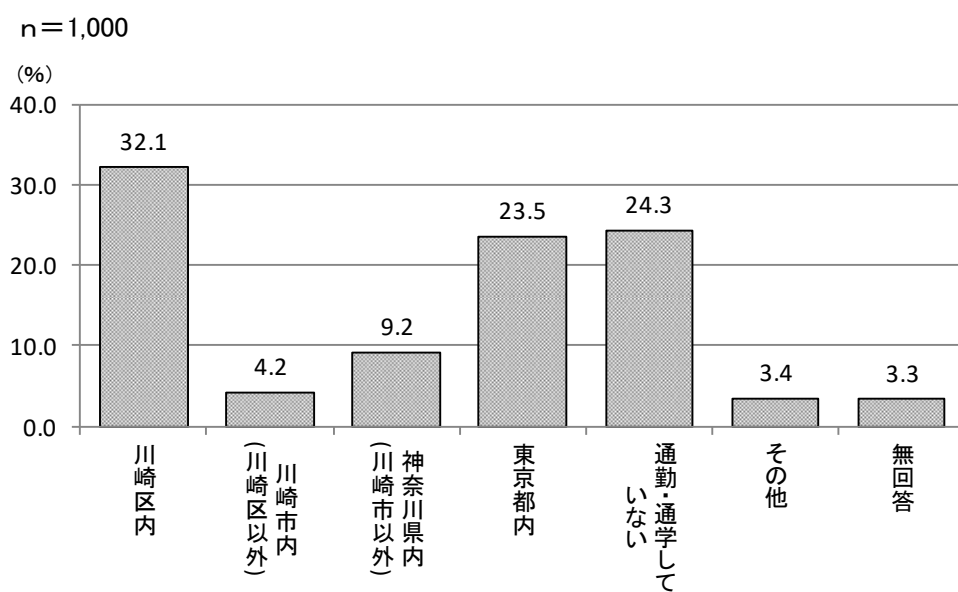
6 家族・同居人構成



7 家族・同居人数



8 通勤・通学先



第3章 調査結果の詳細

1 川崎区の住みやすさについて

(1) 川崎区の住みやすさ

問1 川崎区の住みやすさをどのように思われますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「どちらかといえば住みやすい」(55.3%)、「とても住みやすい」(28.9%)を合わせた<住みやすい>は84.2%となっている。平成29年度の結果と比較すると、<住みやすい>が3.6ポイント高くなっている。(図1-1-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図1-1-2)

性 年 代 別 <住みやすい>では、「男性60代以上」(89.2%)が最も高く、次いで「男性40代」(87.8%)、「女性20代以下」(86.2%)となっている。全ての性年代において<住みやすい>が8割を超えている。「とても住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた<住みにくい>では、「女性40代」(10.1%)が最も高く、次いで「男性30代」(8.5%)、「女性50代」(7.3%)となっている。(図1-1-2)

図1-1-1 川崎区の住みやすさ

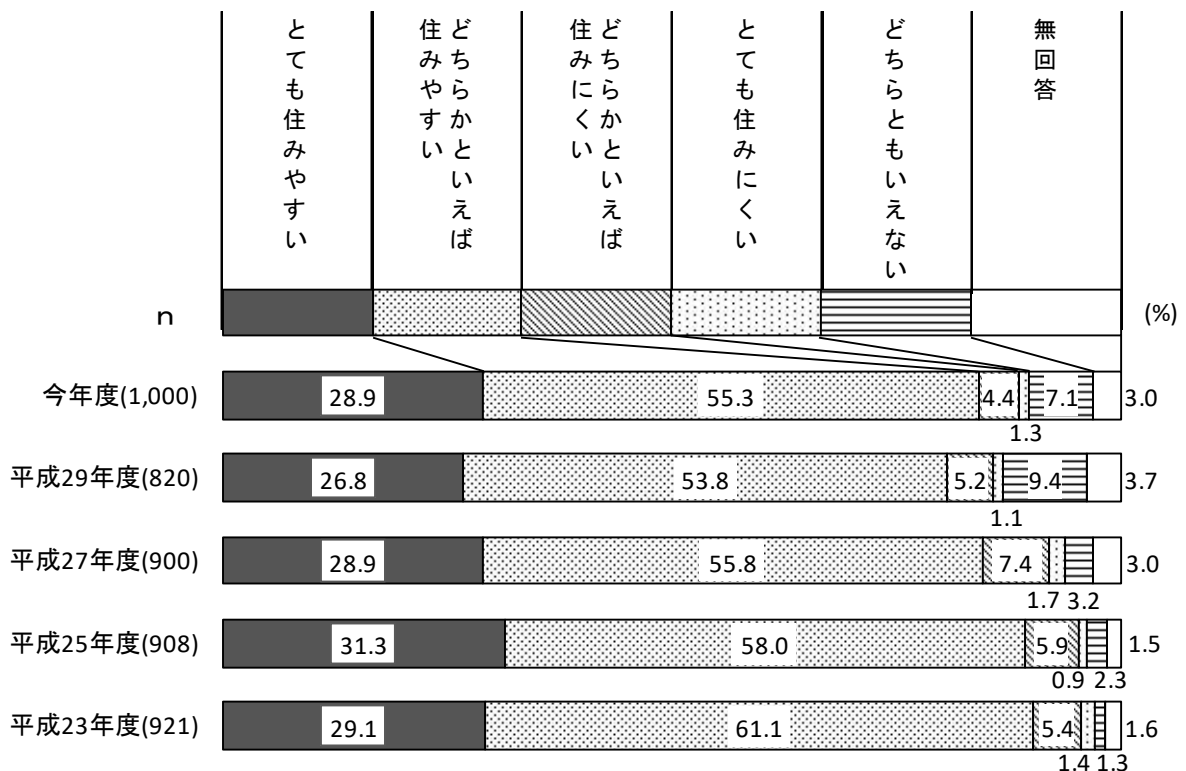
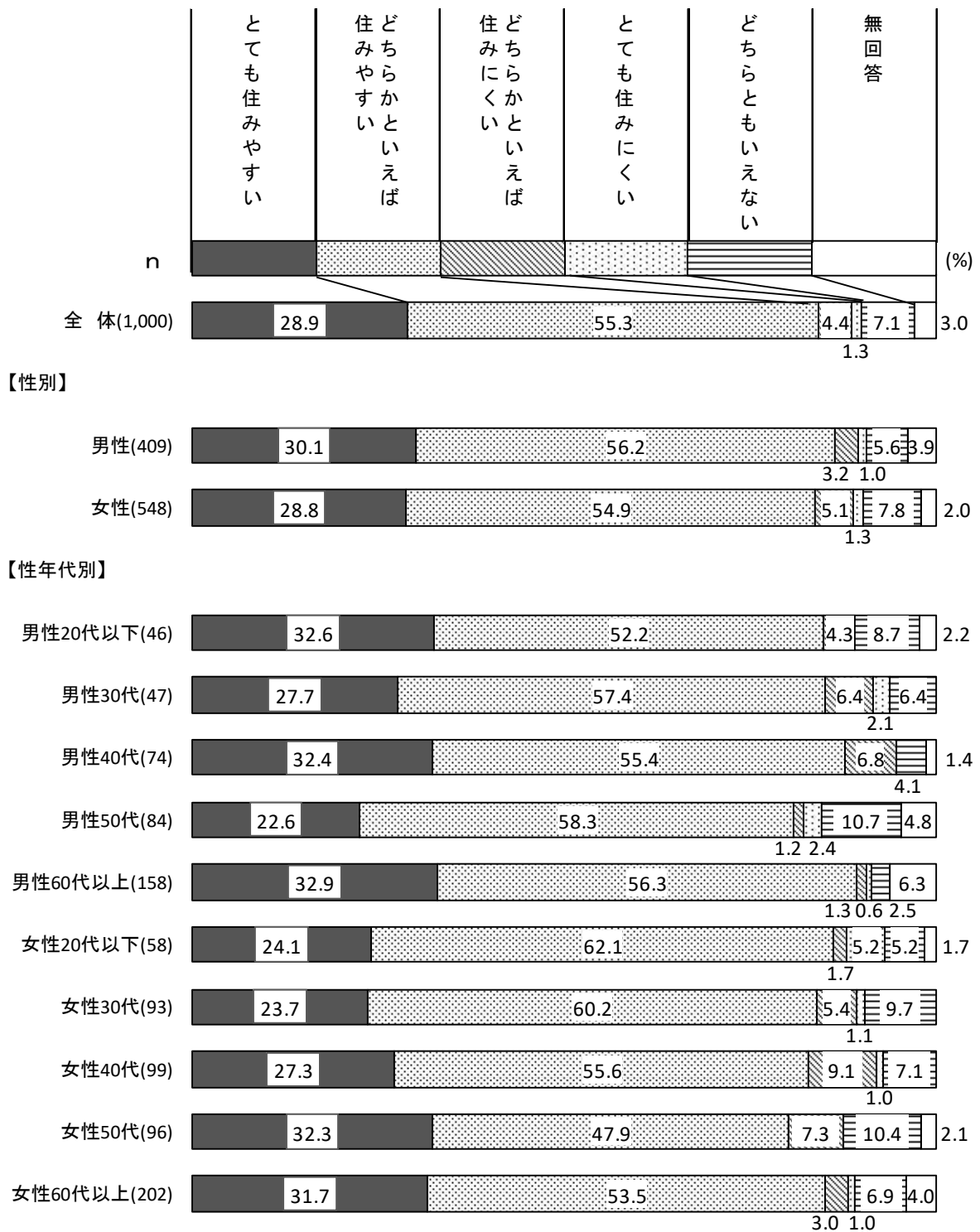


図 1-1-2 川崎区の住みやすさ <性別・性年代別>



(2) 今後の定住意向

問2 川崎区に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「これからも住んでいたい」(68.2%)が最も高く、次いで「わからない」(16.6%)、「できれば市外へ移りたい」(7.4%)、「できれば市内の他の区へ移りたい」(3.8%)となっている。(図1-2-1)

性 別 「これからも住んでいたい」では、「男性」(72.1%)が、「女性」(66.1%)より6.0ポイント高くなっている。(図1-2-2)

性 年 代 別 「これからも住んでいたい」は、「男性60代以上」(81.0%)が最も高く、次いで「女性60代以上」(75.2%)、「男性40代」(73.0%)となっている。「できれば市外へ移りたい」は、「女性20代以下」(13.8%)が最も高く、次いで「女性40代」(13.1%)となっている。(図1-2-2)

図1-2-1 今後の定住意向

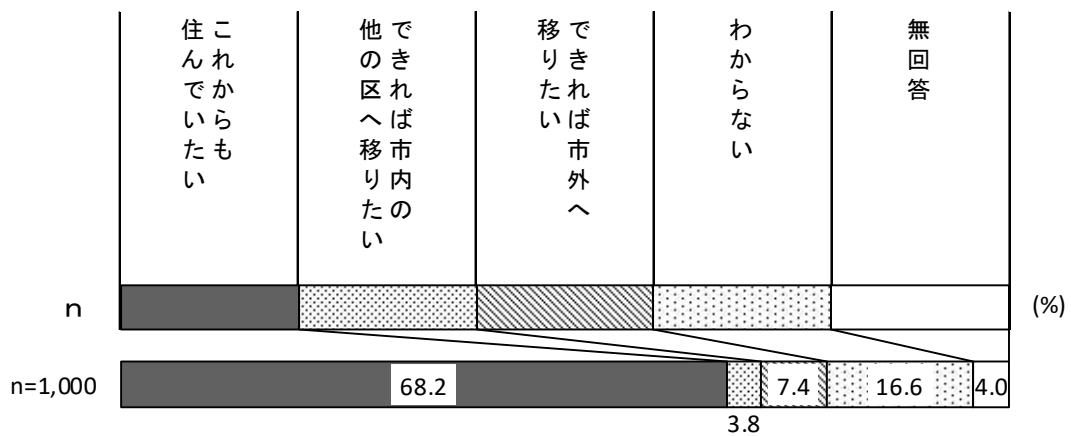
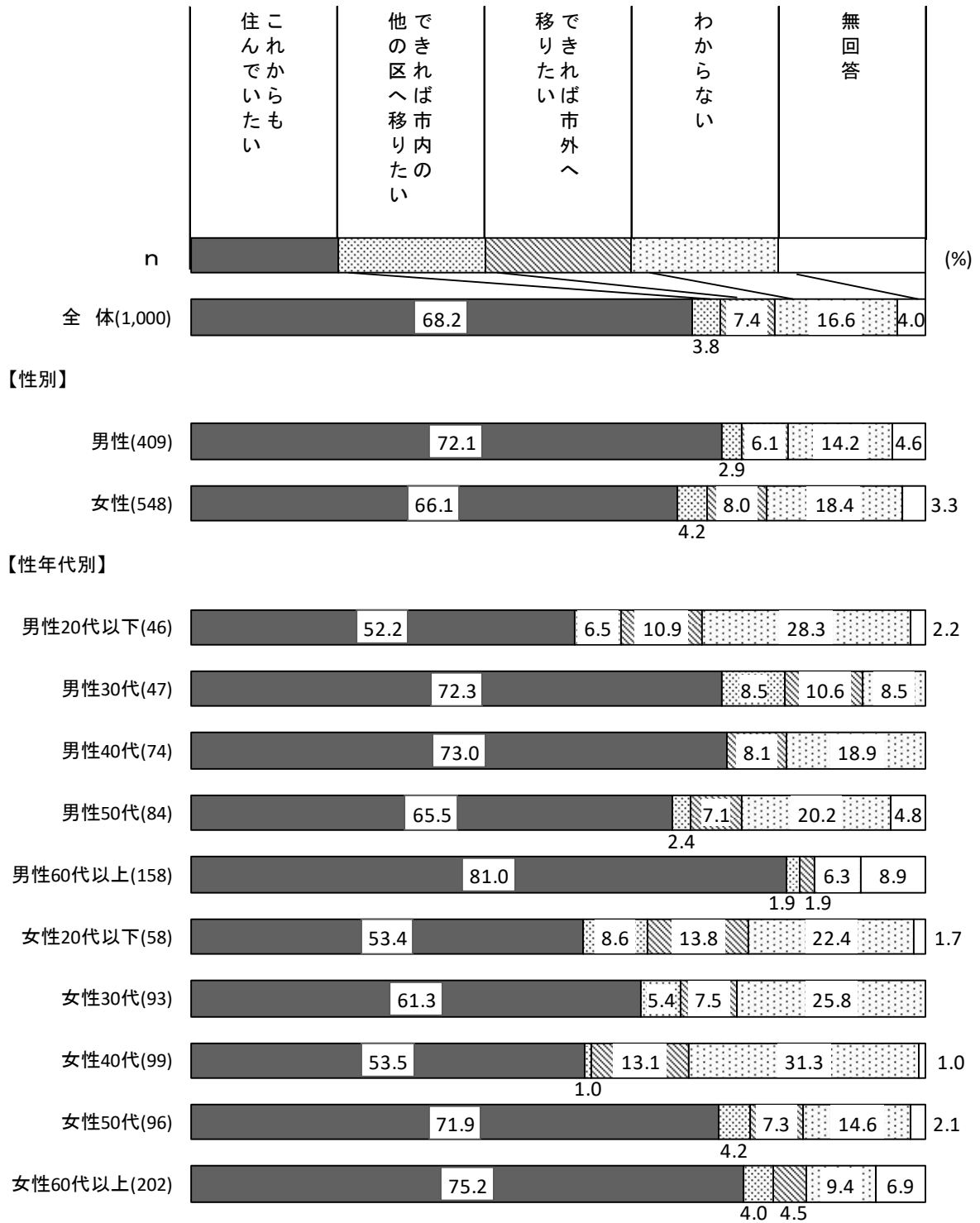


図 1-2-2 今後の定住意向 <性別・性年代別>



(3) 川崎区の満足度

問3 次の表にあげる項目の、満足度を教えてください。

(①から⑱までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

- 全 体** 「満足」では、「バス・電車などの交通の便」(58.7%)が最も高く、次いで「買い物などの日常生活の利便性」(58.1%)となっている。一方、「不満」では、「自転車マナーの啓発などの交通安全対策」(15.7%)、「治安や風紀」(15.0%)が高くなっている。(図1-3-1)
- 性 別** 「満足」では、「病院や救急医療などの地域医療の状況」、「地域団体等の清掃活動などの街の美化推進」などの14項目で「男性」が「女性」より高くなっている。一方、「緑や公園などの自然環境」などの3項目で「女性」が「男性」より高くなっている。(図1-3-9)、(図1-3-13)、(図1-3-18)
- 性 年 代 別** 「満足」では、「買い物などの日常生活の利便性」で「男性30代」(72.3%)が他の性年代に比べて高くなっている。「バス・電車などの交通の便」で「男性60代以上」(64.6%)、「女性60代以上」(63.9%)が6割台と高くなっている。「病院や救急医療などの地域医療の状況」で「男性60代以上」(26.6%)「男性20代以下」(26.1%)が他の性年代に比べて高くなっている。(図1-3-3)、(図1-3-4)、(図1-3-13)
- 「不満」では、「治安や風紀」で「男性30代」、「男性40代」、「女性20代以下」、「女性30代」で2割5分以上と高くなっている。「男性60代以上」では「満足」が約2割と他の性年代に比べて高くなっている。「自転車マナーの啓発などの交通安全対策」で「男性40代」(23.0%)、「男性50代」(21.4%)で2割台と他の性年代に比べて高くなっている。また、「自転車撤去や駐輪場への誘導・案内などの放置自転車対策」で「男性40代」(16.2%)が他の性年代に比べて高くなっている。(図1-3-2)、(図1-3-6)、(図1-3-8)

図1-3-1 川崎区の満足度

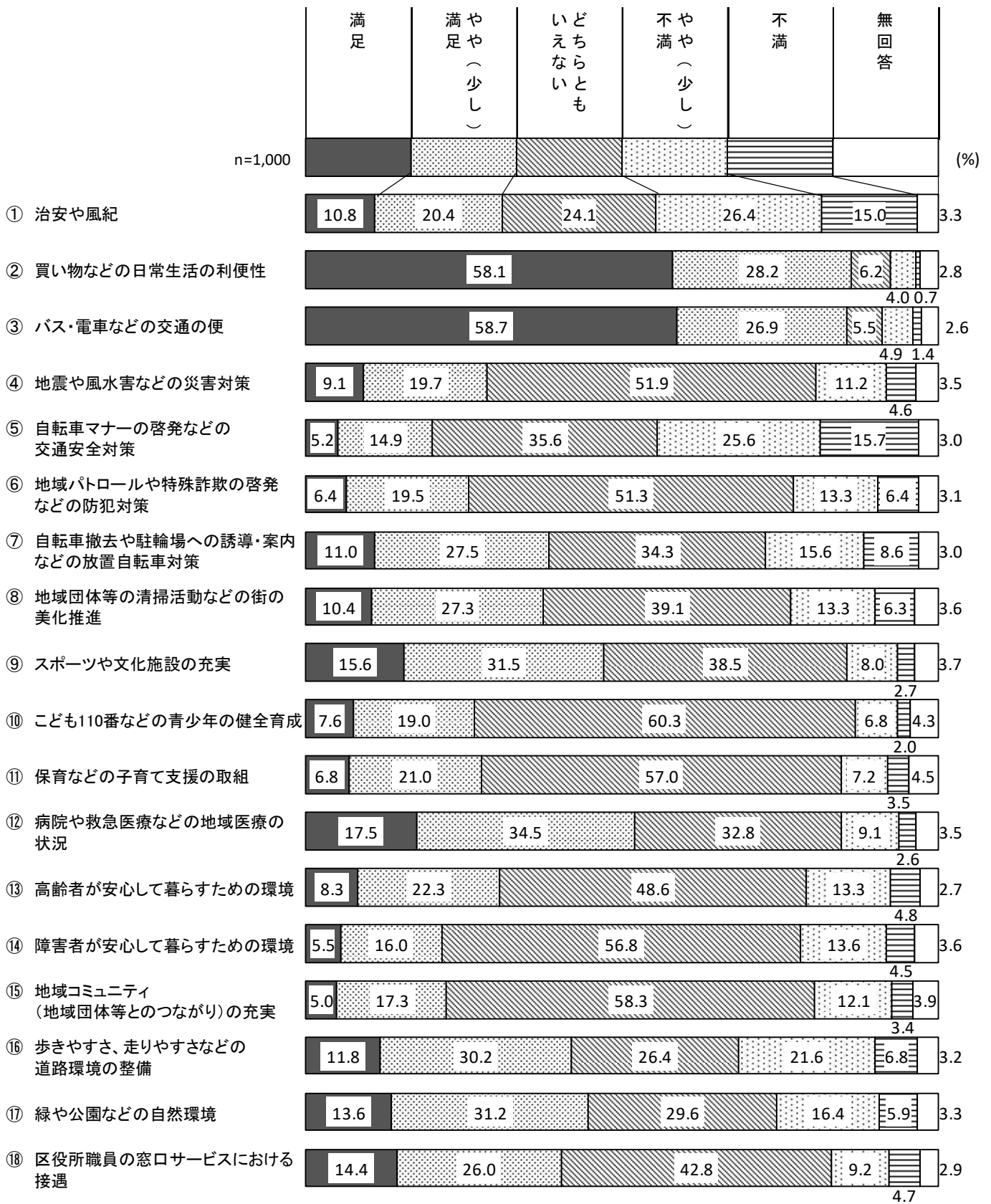


図1-3-2 川崎区の満足度 ①治安や風紀 <性別・性年代別>

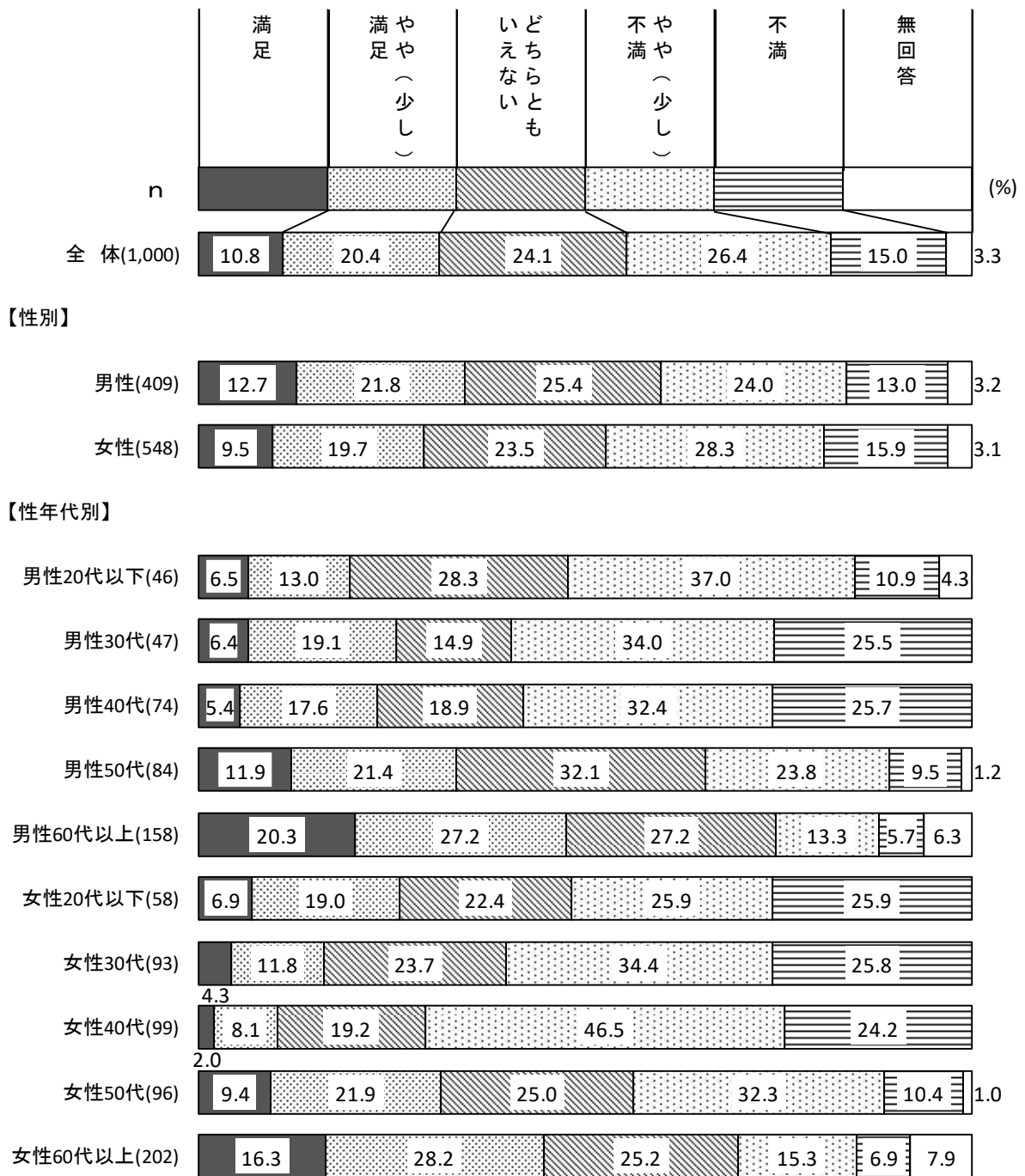


図1-3-3 川崎区の満足度 ②買い物などの日常生活の利便性 <性別・性年代別>

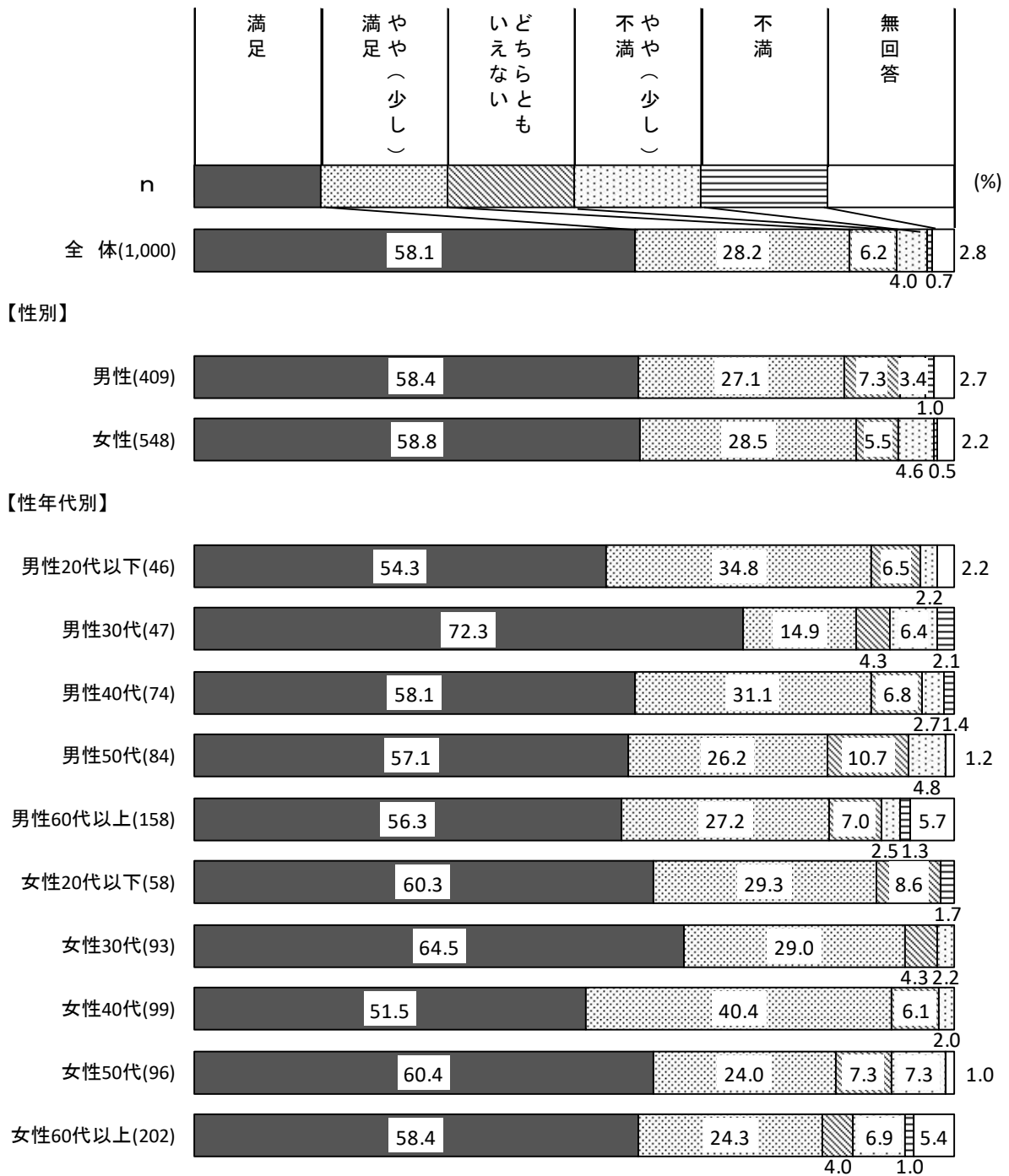


図 1-3-4 川崎区の満足度 ③バス・電車などの交通の便 <性別・性年代別>

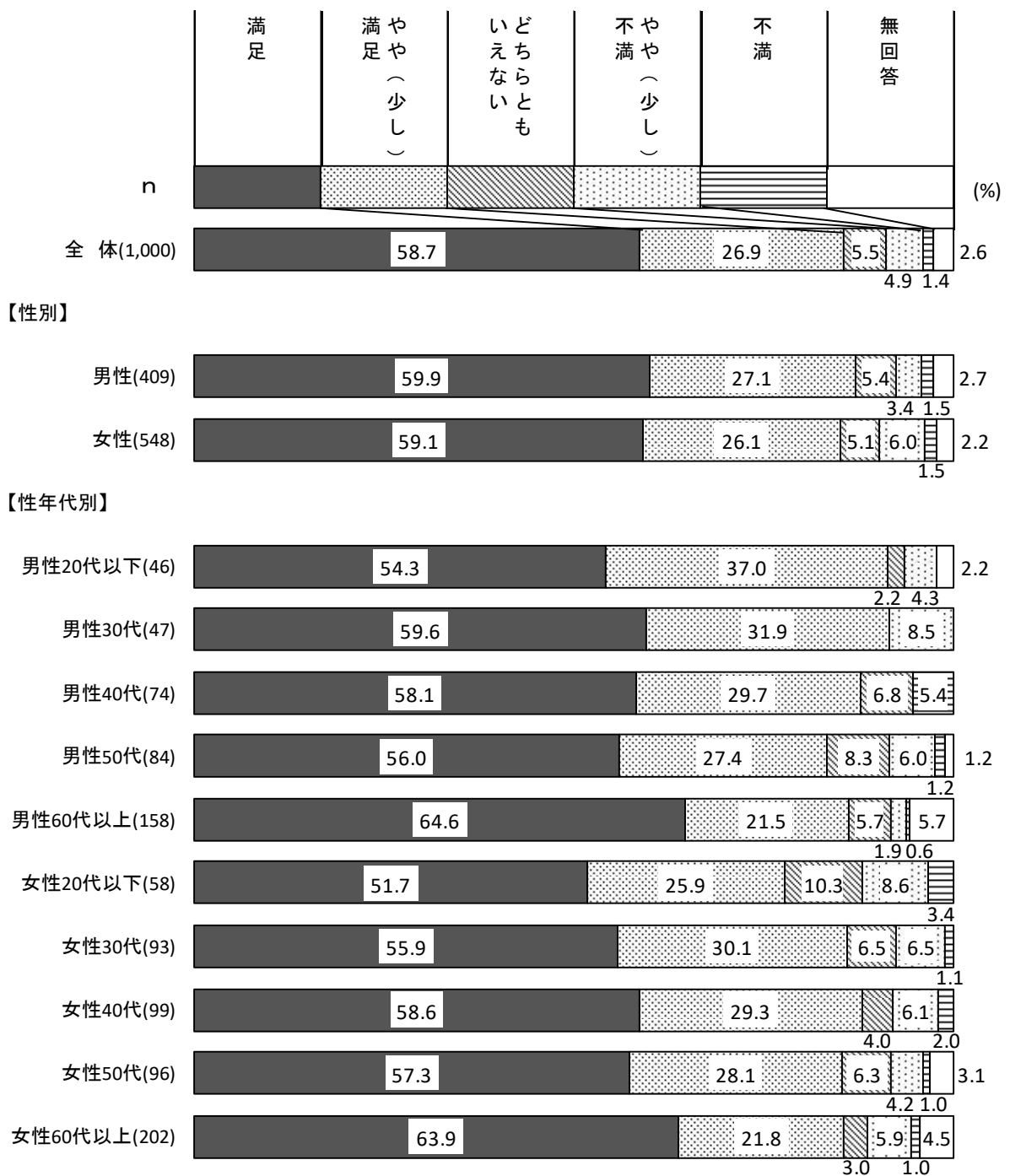


図1-3-5 川崎区の満足度 ④地震や風水害などの災害対策 <性別・性年代別>

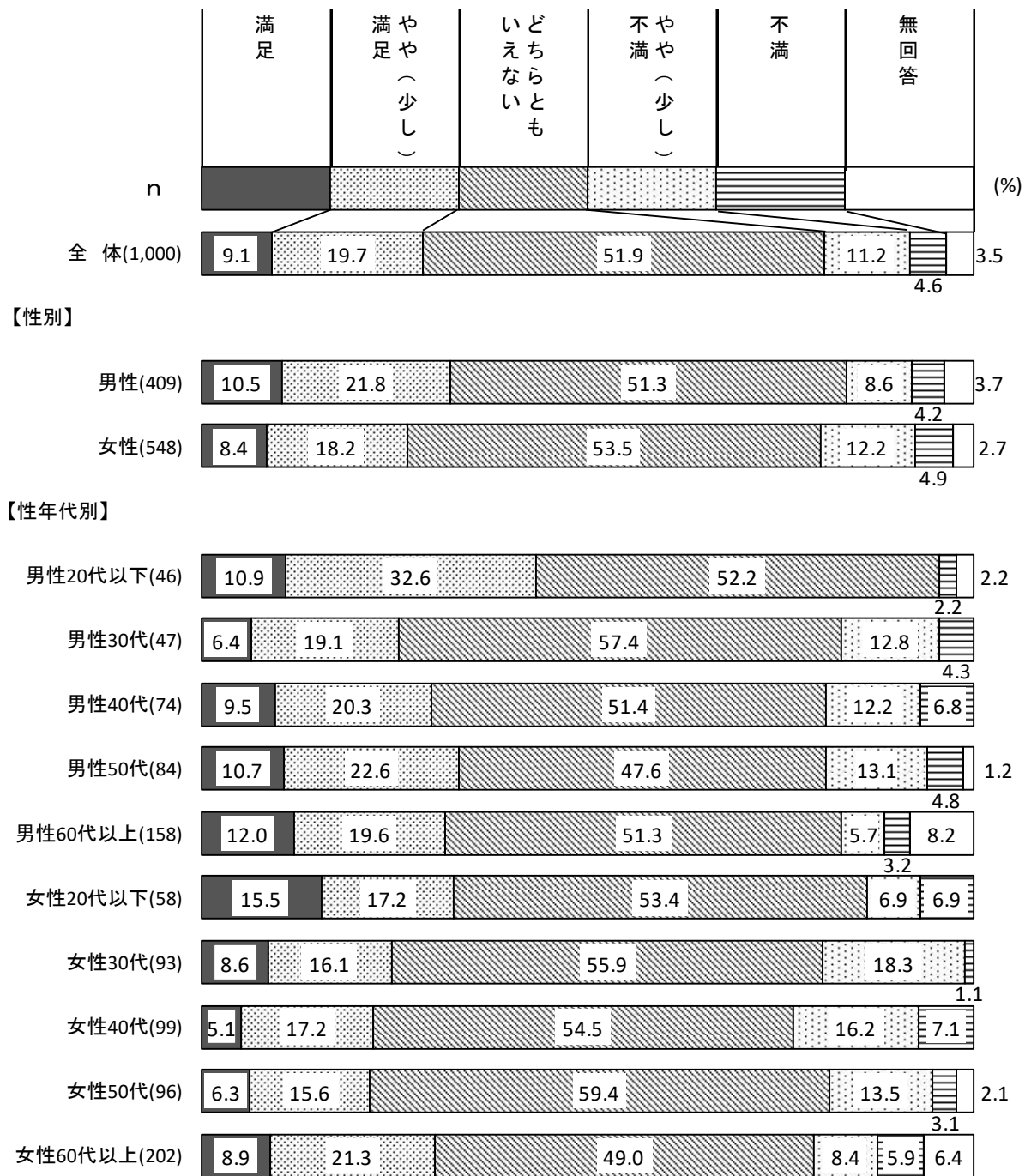


図1-3-6 川崎区の満足度 ⑤自転車マナーの啓発などの交通安全対策 <性別・性年代別>

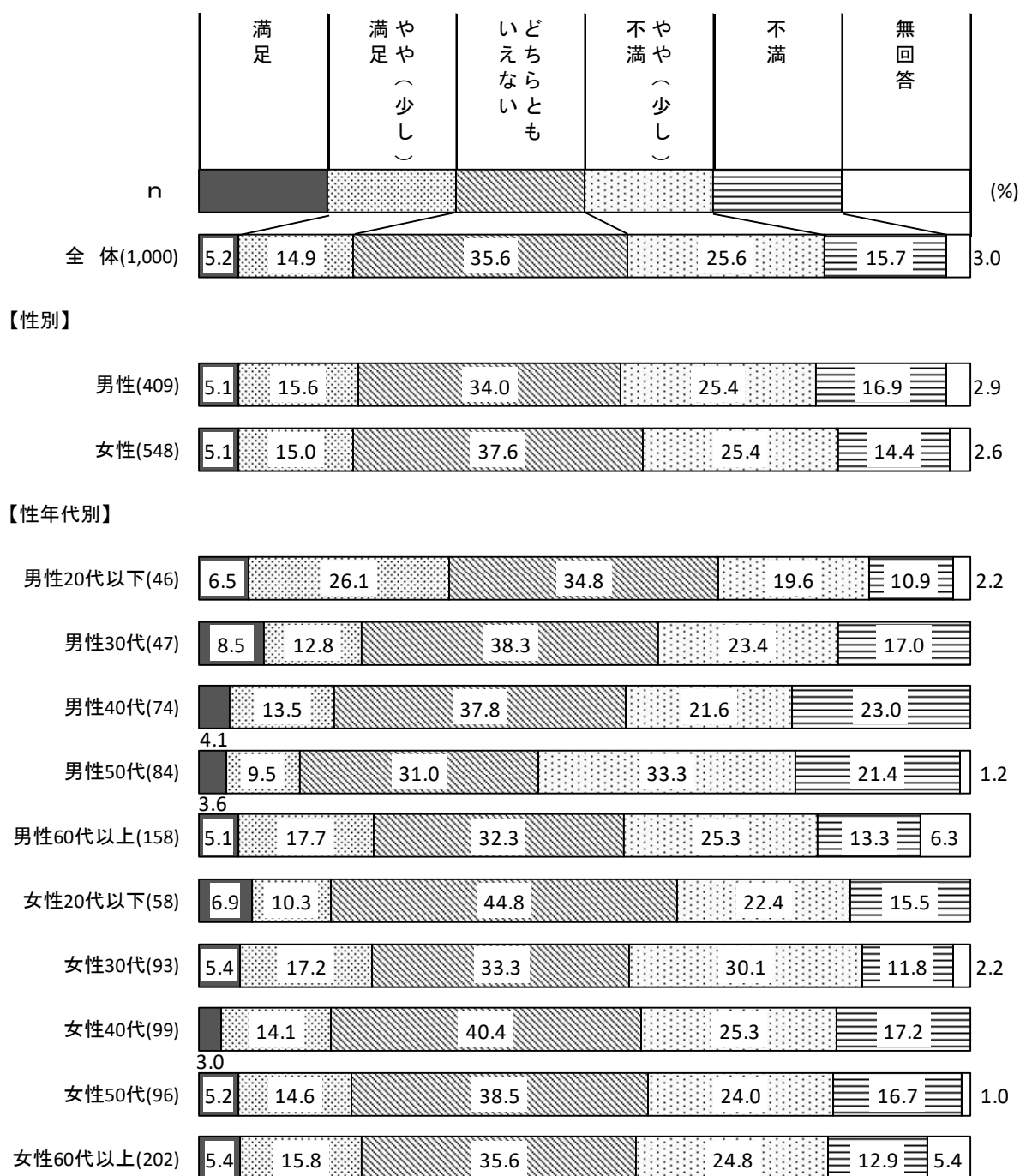


図 1-3-7 川崎区の満足度

⑥地域パトロールや特殊詐欺の啓発などの防犯対策 <性別・性年代別>

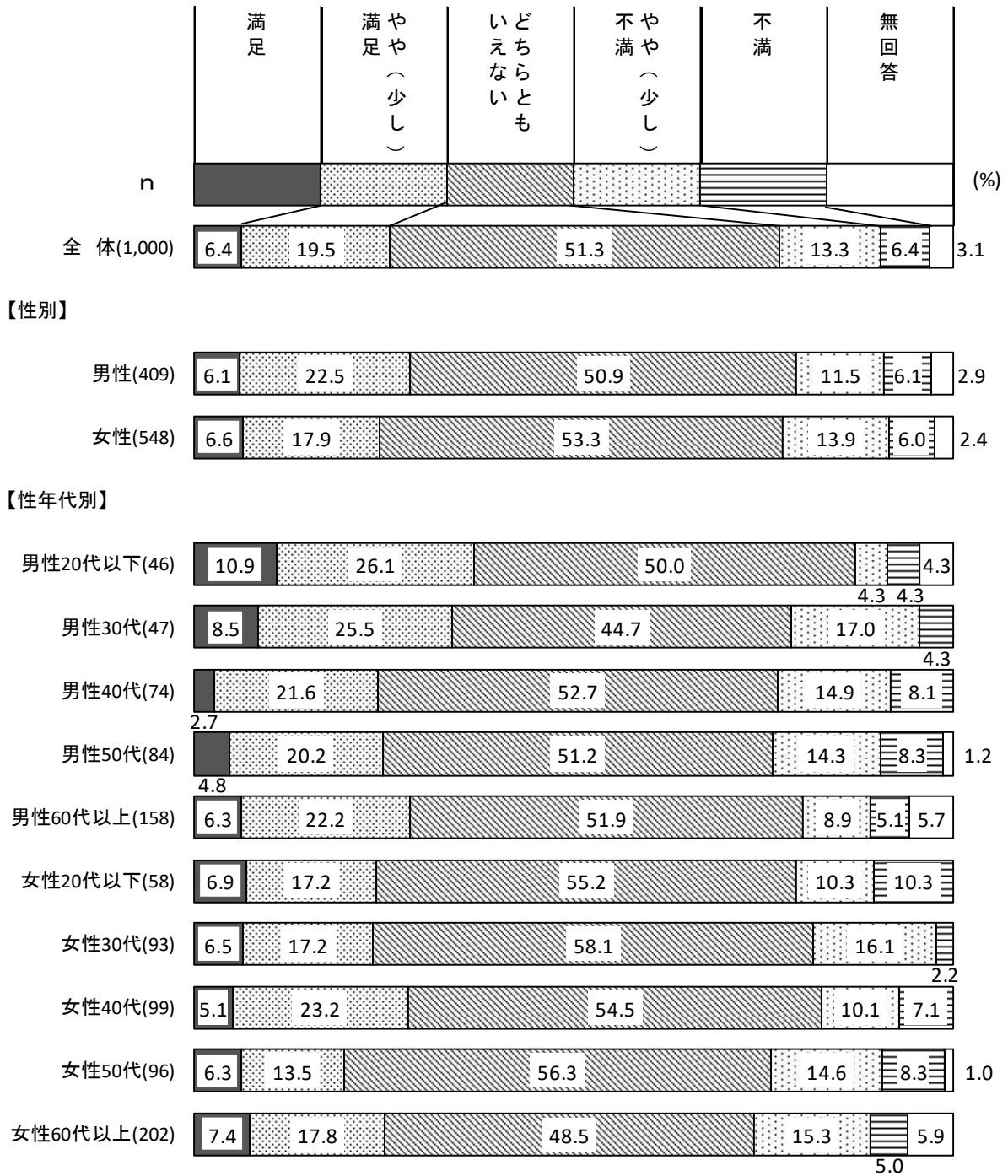


図 1-3-8 川崎区の満足度

⑦自転車撤去や駐輪場への誘導・案内などの放置自転車対策 <性別・性年代別>

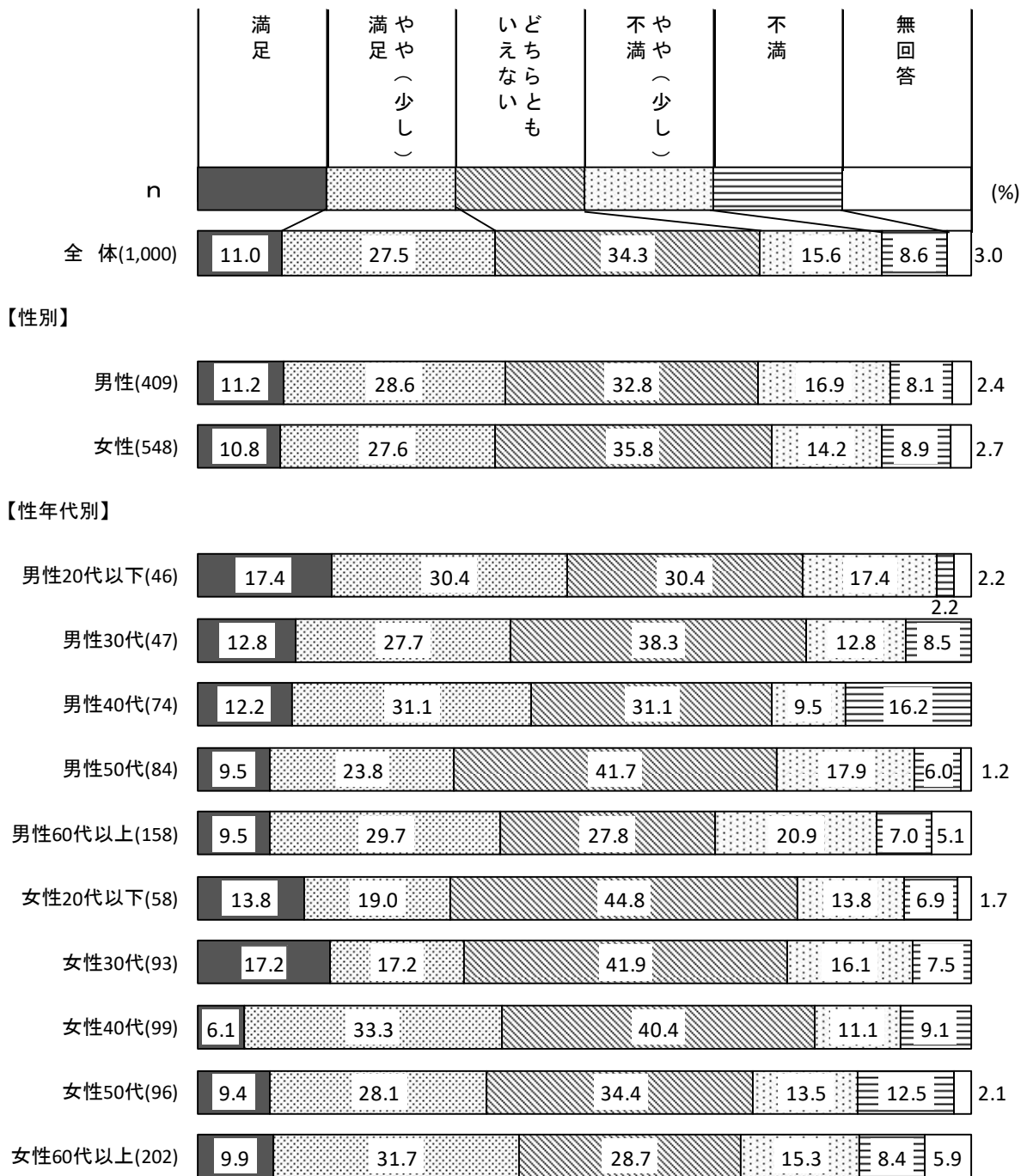


図 1-3-9 川崎区の満足度

⑧地域団体等の清掃活動などの街の美化推進 <性別・性年代別>

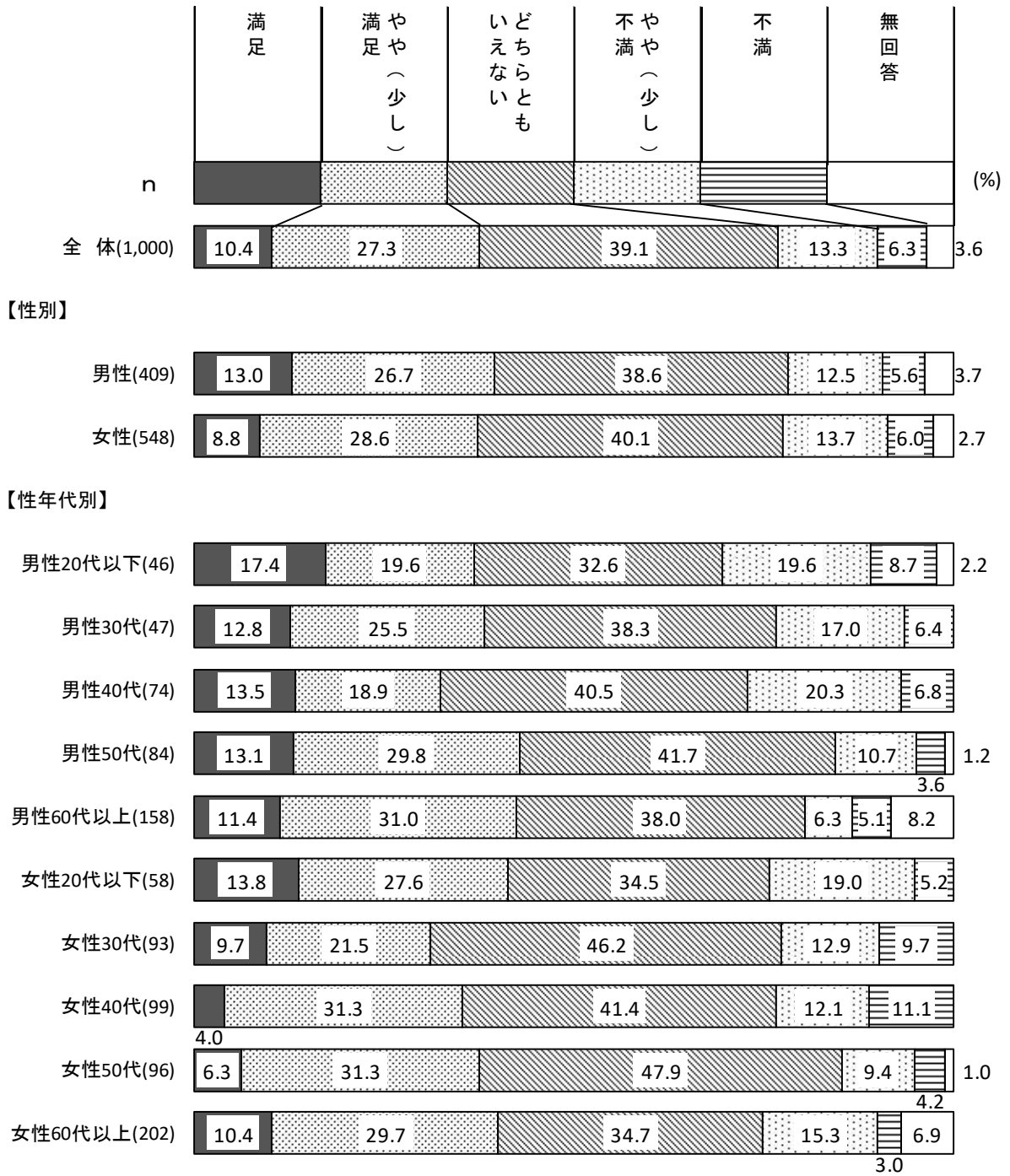


図 1-3-10 川崎区の満足度 ⑨スポーツや文化施設の充実 <性別・性年代別>

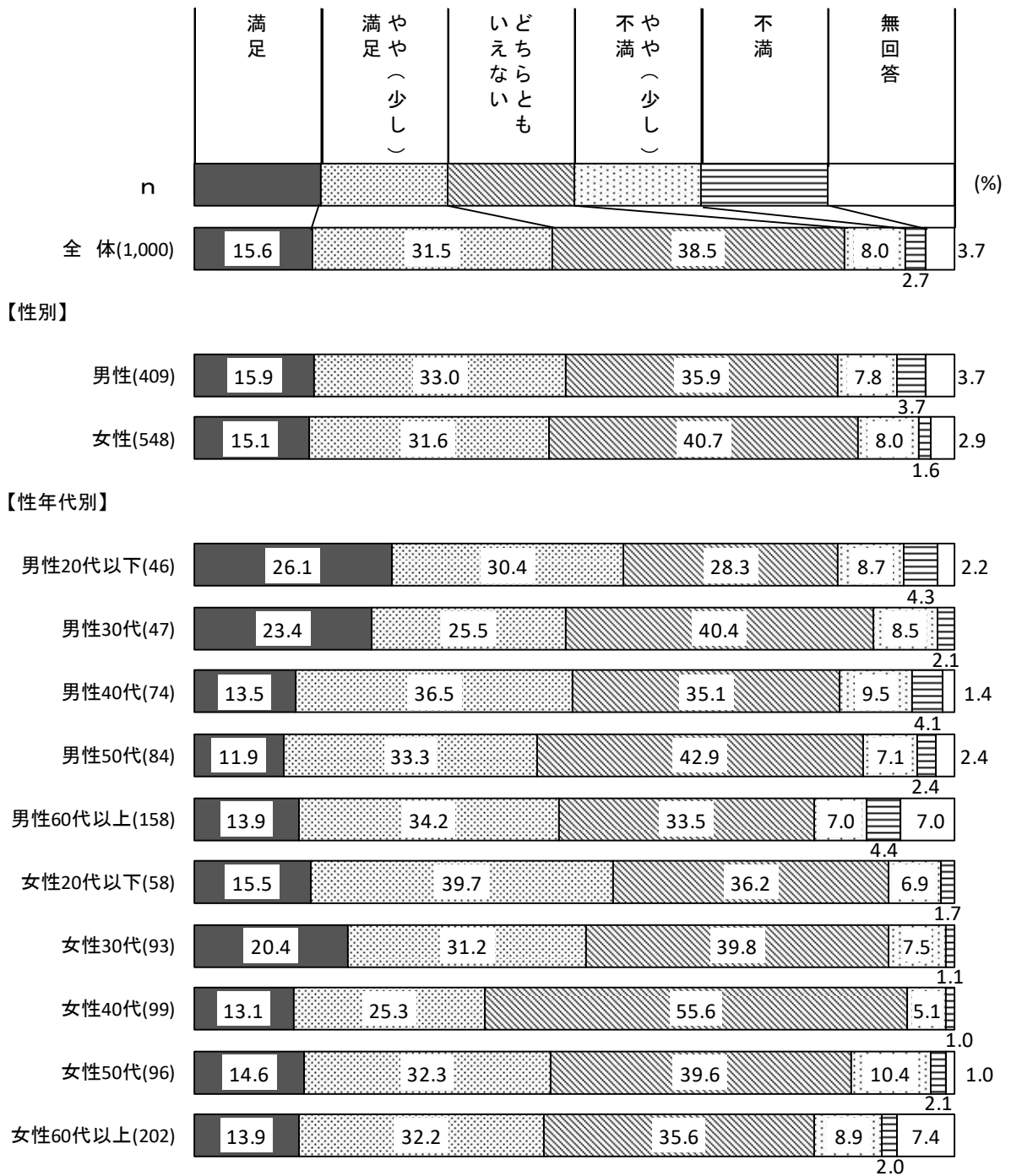


図1-3-11 川崎区の満足度 ⑩こども110番などの青少年の健全育成 <性別・性年代別>

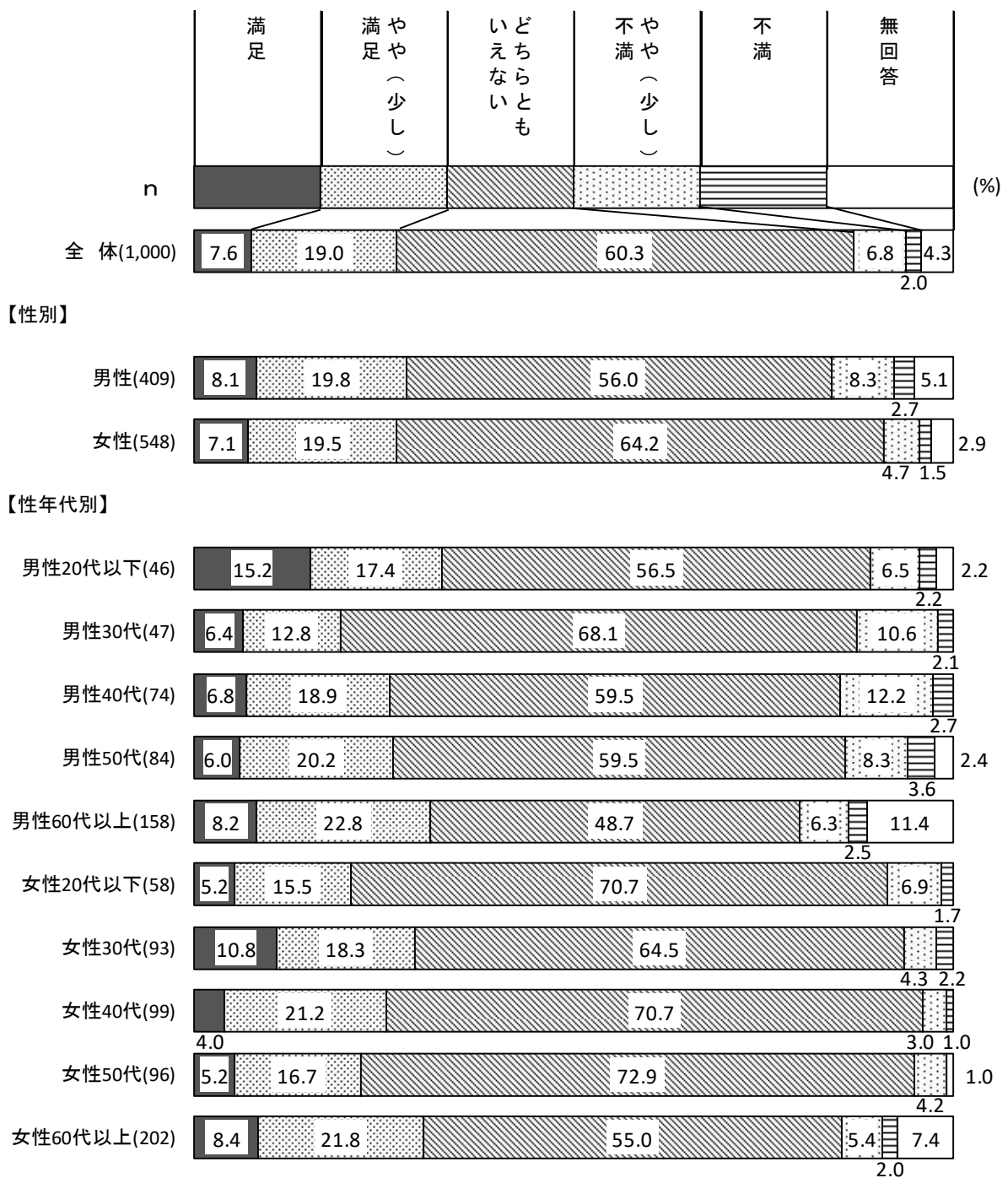


図 1-3-12 川崎区の満足度 ⑪保育などの子育て支援の取組 <性別・性年代別>

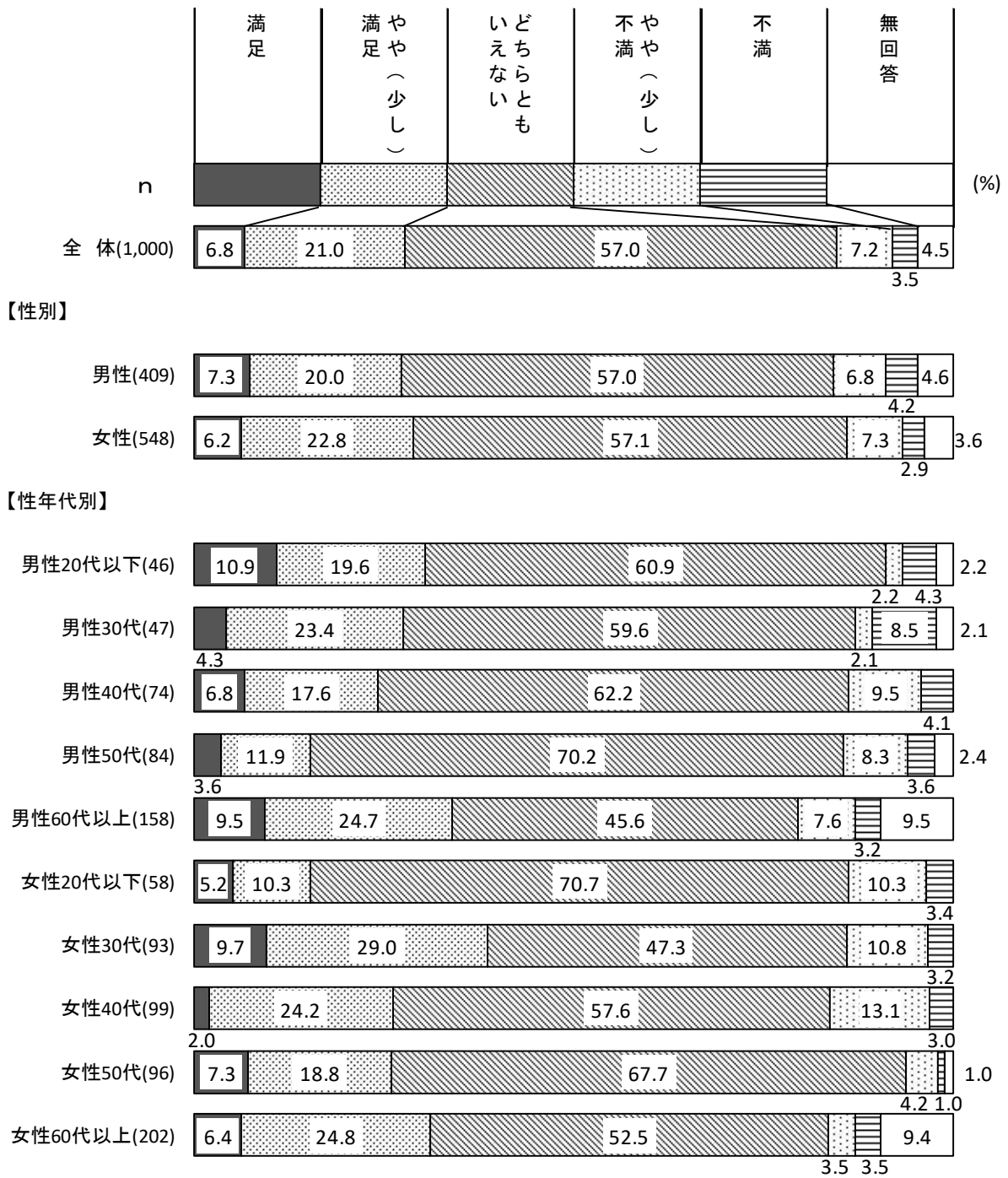


図1-3-13 川崎区の満足度 ⑫病院や救急医療などの地域医療の状況 <性別・性年代別>

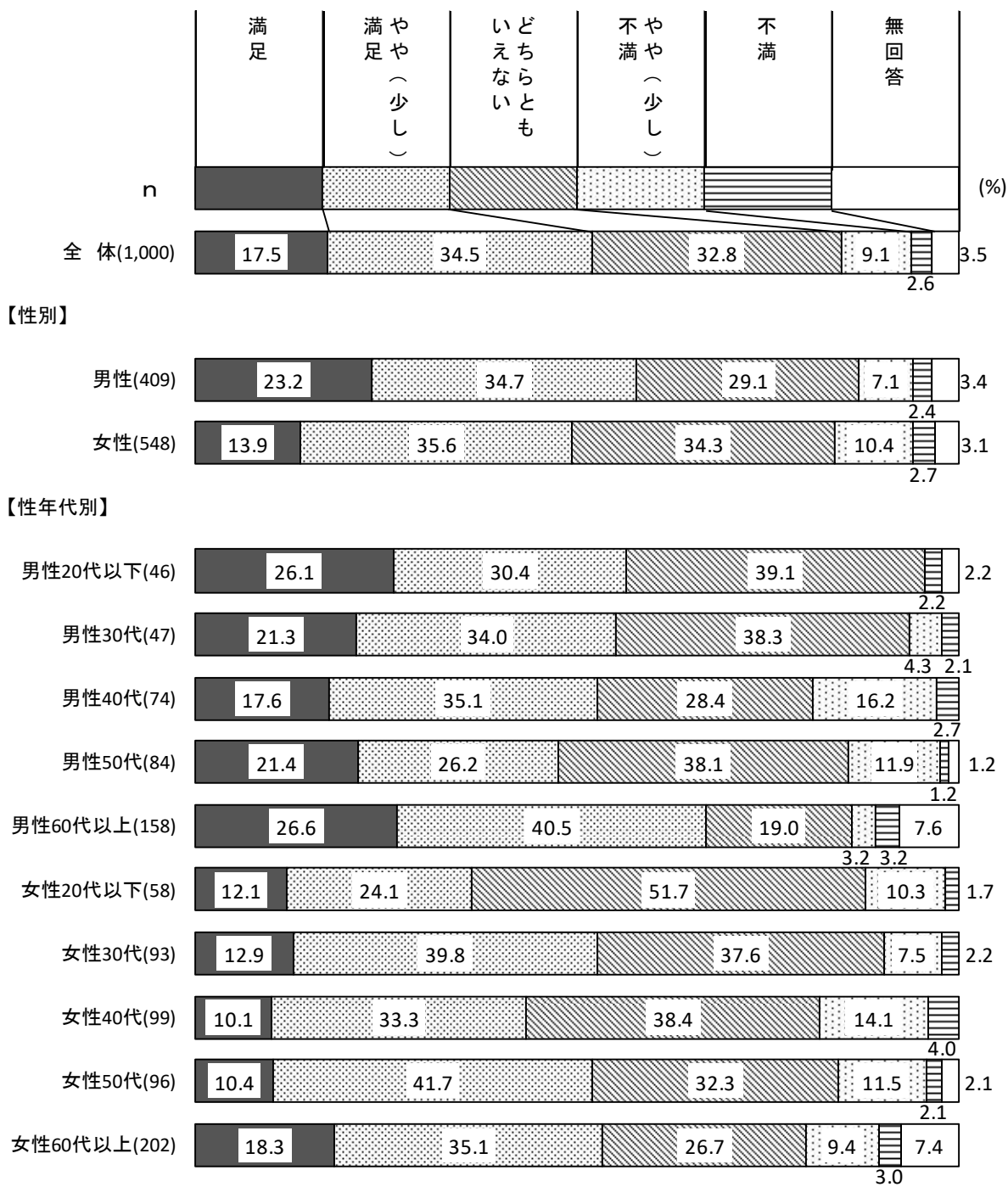


図1-3-14 川崎区の満足度 ⑬高齢者が安心して暮らすための環境 <性別・性年代別>

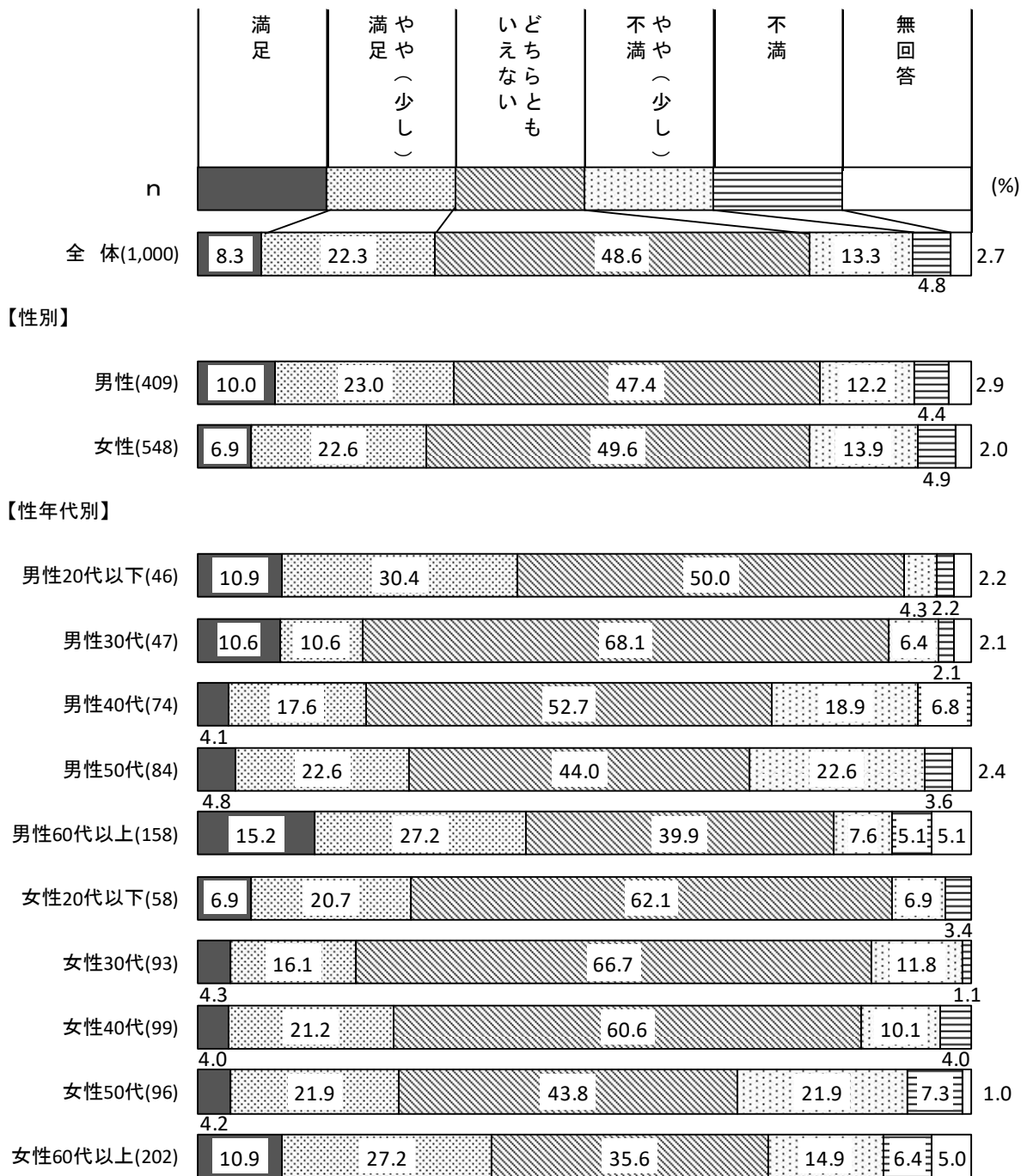


図1-3-15 川崎区の満足度 ⑭障害者が安心して暮らすための環境 <性別・性年代別>

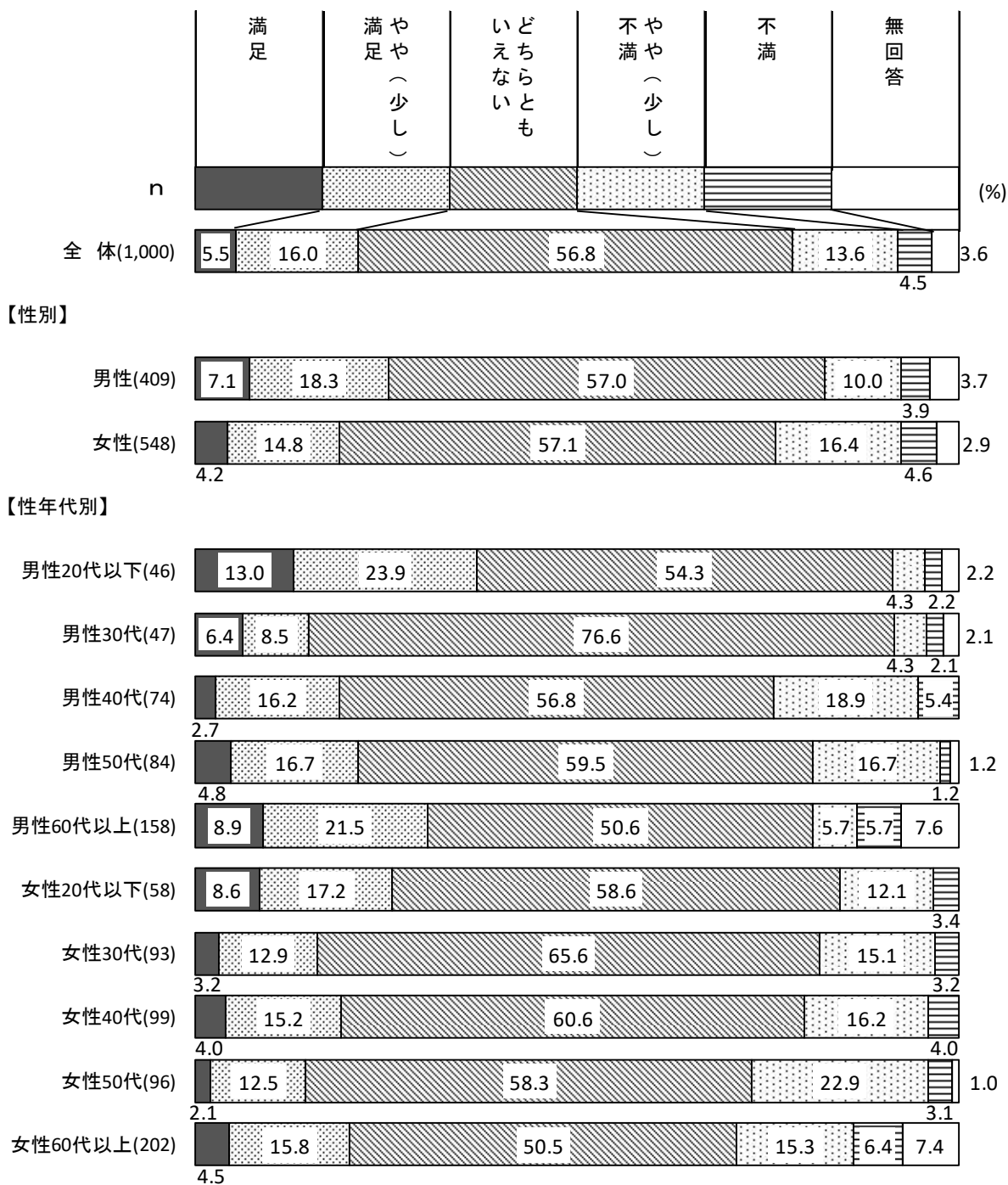


図 1-3-16 川崎区の満足度

⑮地域コミュニティ（地域団体等とのつながり）の充実 <性別・性年代別>

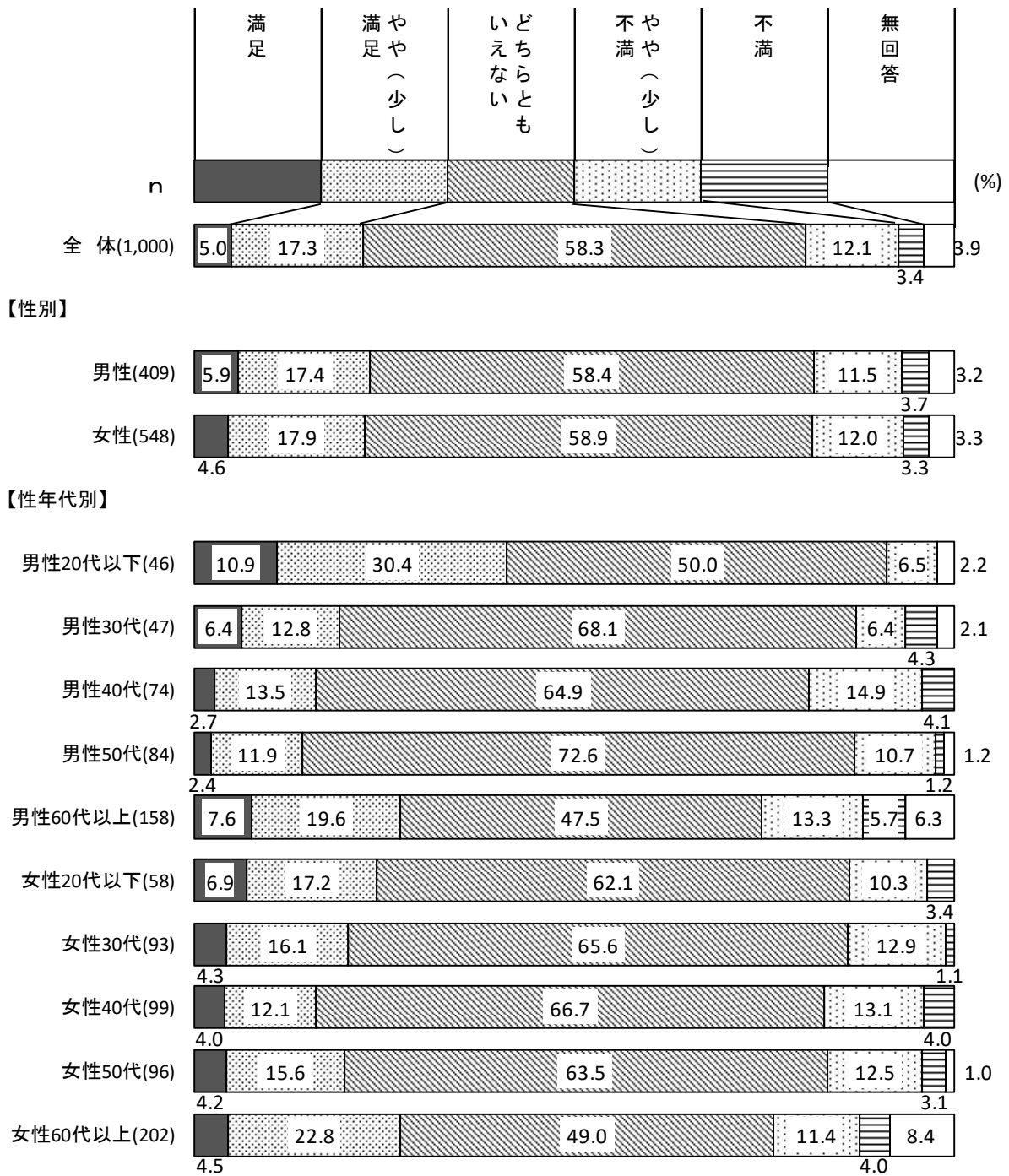


図 1-3-17 川崎区の満足度

⑩歩きやすさ、走りやすさなどの道路環境の整備 <性別・性年代別>

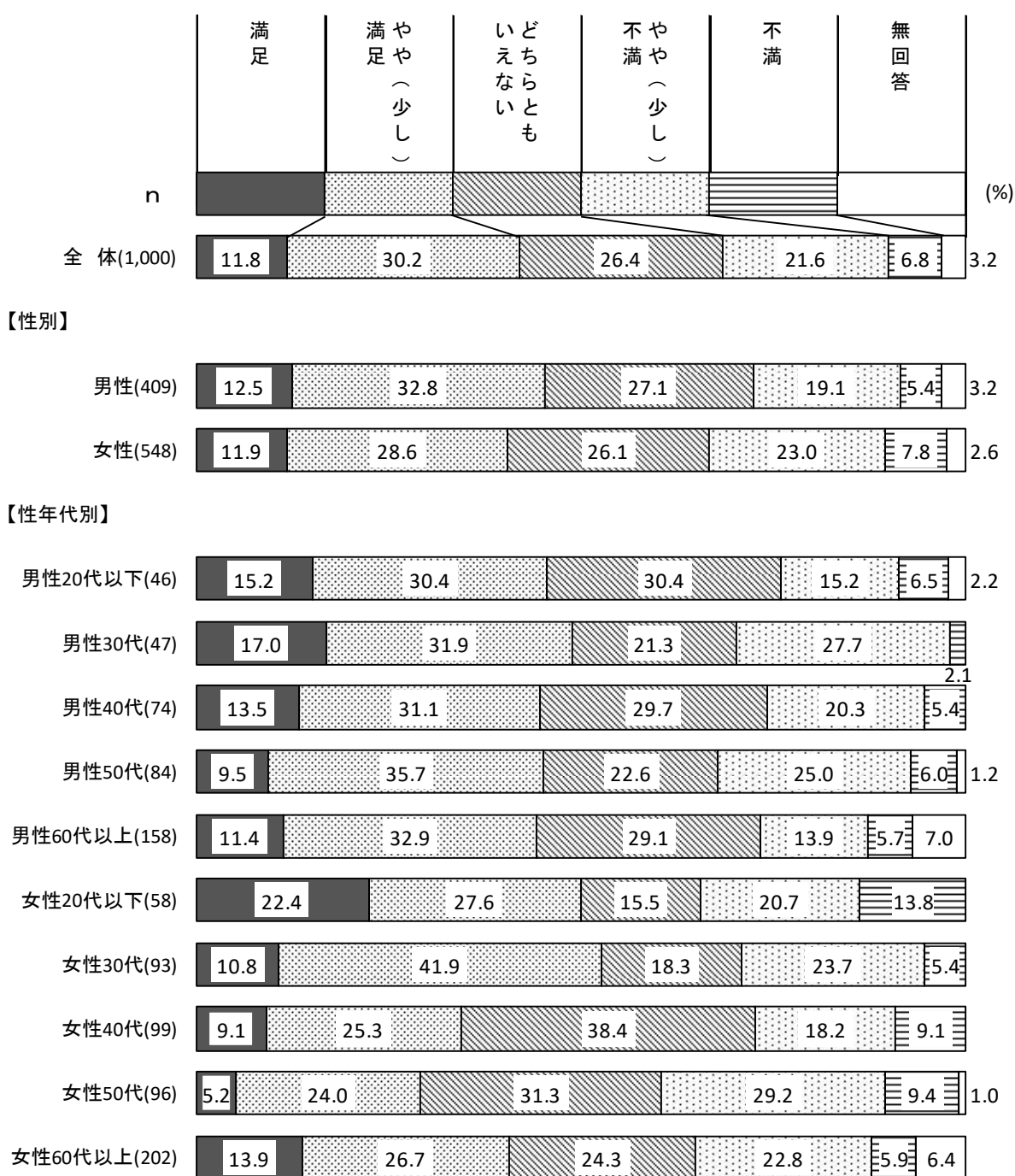


図 1-3-18 川崎区の満足度 ⑰緑や公園などの自然環境 <性別・性年代別>

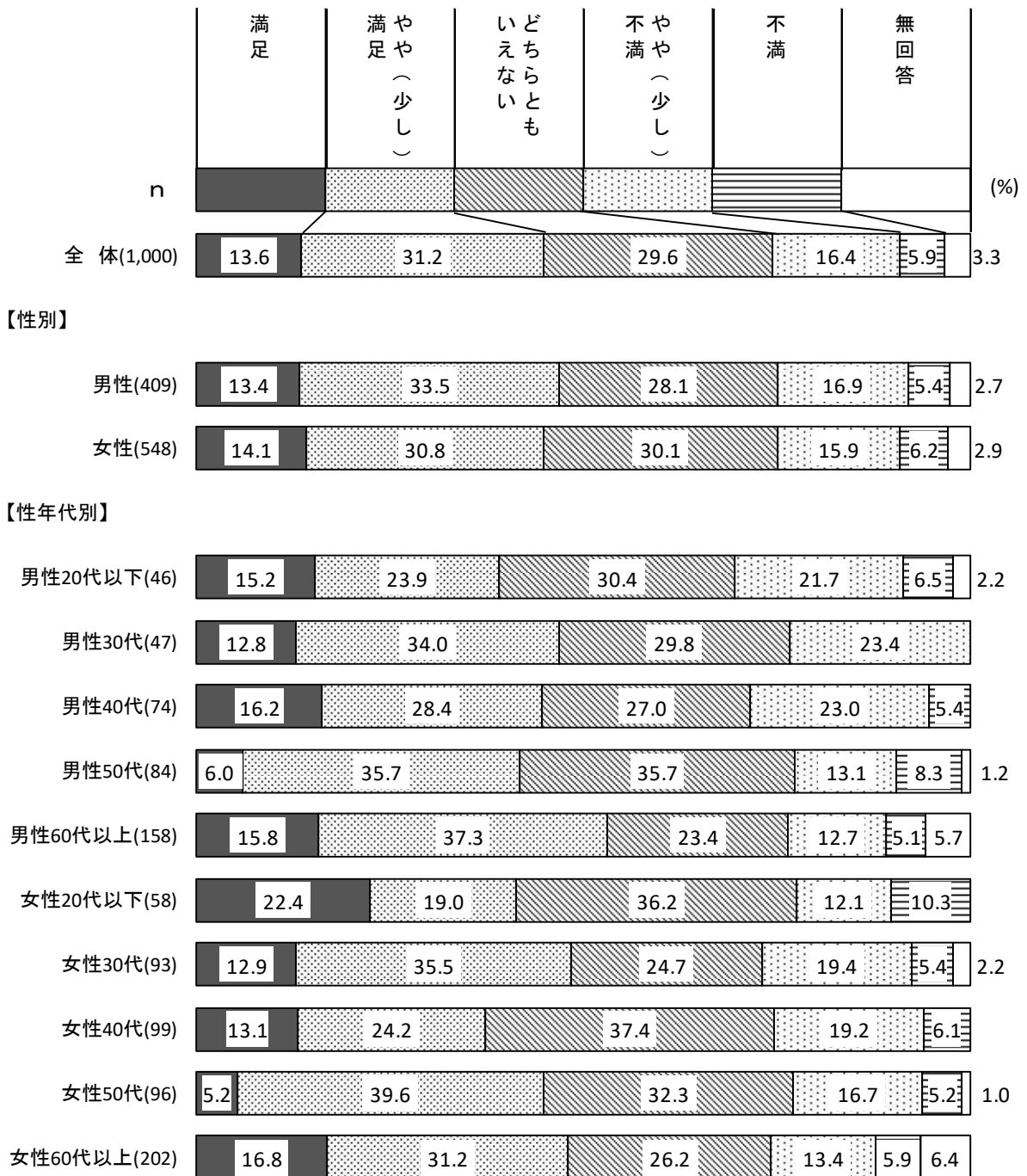
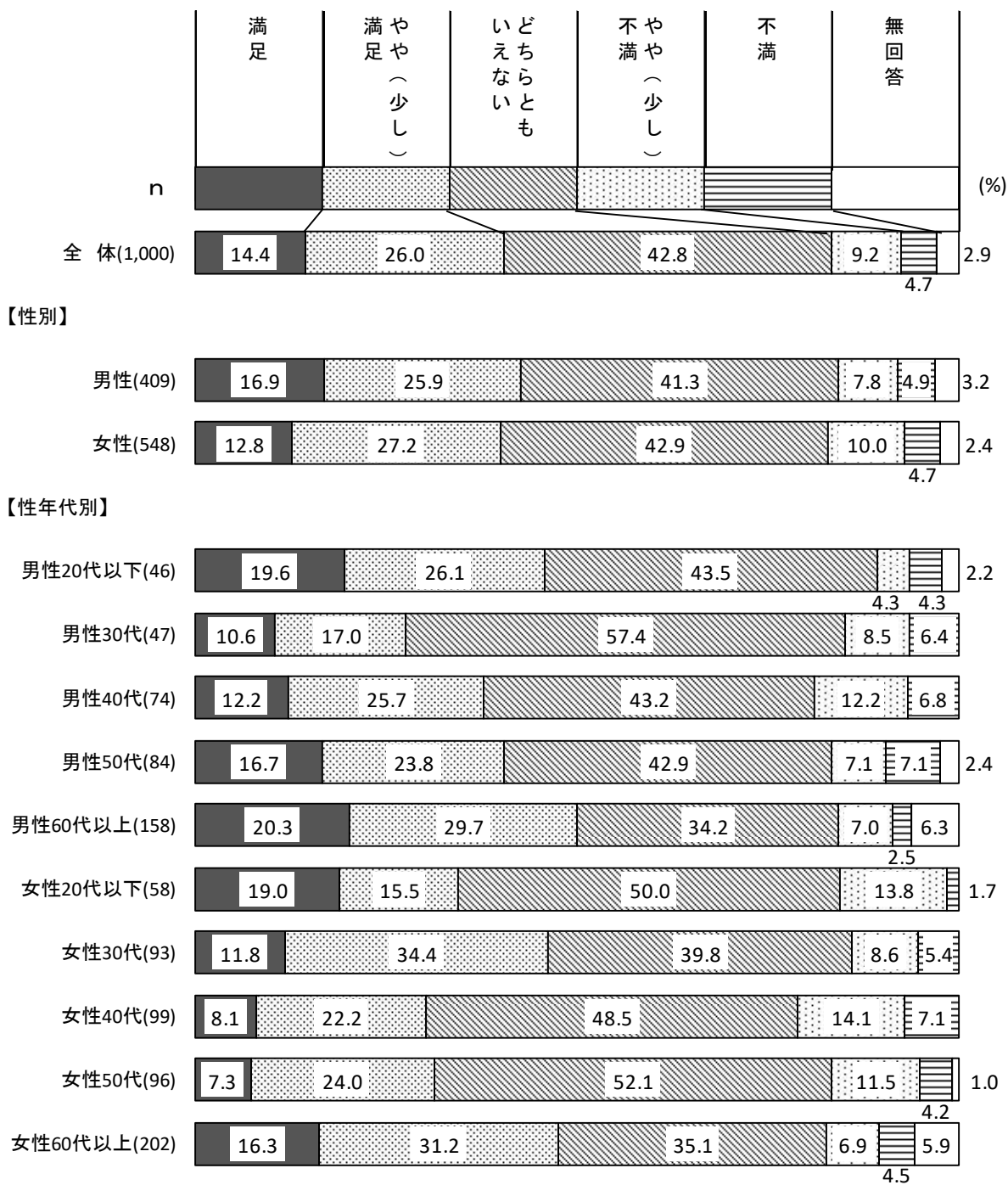


図1-3-19 川崎区の満足度 ⑩区役所職員の窓口サービスにおける接遇 <性別・性年代別>



2 川崎区役所へ行く頻度と目的

(1) 頻度

問4 区役所や支所に行く頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「ほとんど行かない」(32.0%)が最も高く、次いで「1年に1回程度」(31.4%)、「2カ月～6カ月に1回程度」(28.5%)となっている。(図2-1-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図2-1-2)

性 年 代 別 「1年に1回程度」では、「男性30代」(42.6%)が最も高く、次いで「男性40代」(36.5%)となっている。「1カ月に2回以上」から「2カ月～6カ月に1回程度」を合わせた<6カ月に1回以上>区役所や支所に行く回答割合は、「女性40代」(43.5%)「男性60代以上」(41.2%)で高くなっている。「ほとんど行かない」では、「女性20代以下」(50.0%)、「男性20代以下」(47.8%)が他の性年代と比べて高くなっている。(図2-1-2)

図2-1-1 区役所や支所へ行く頻度

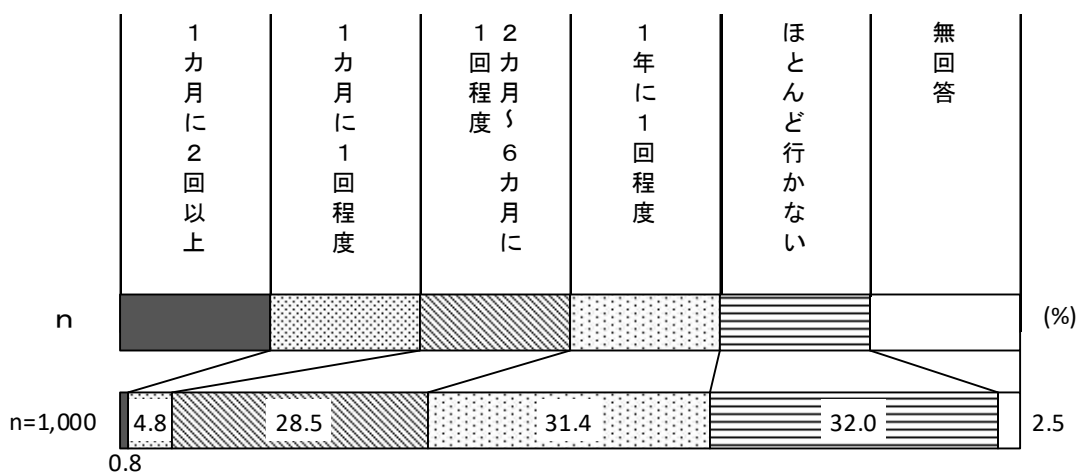
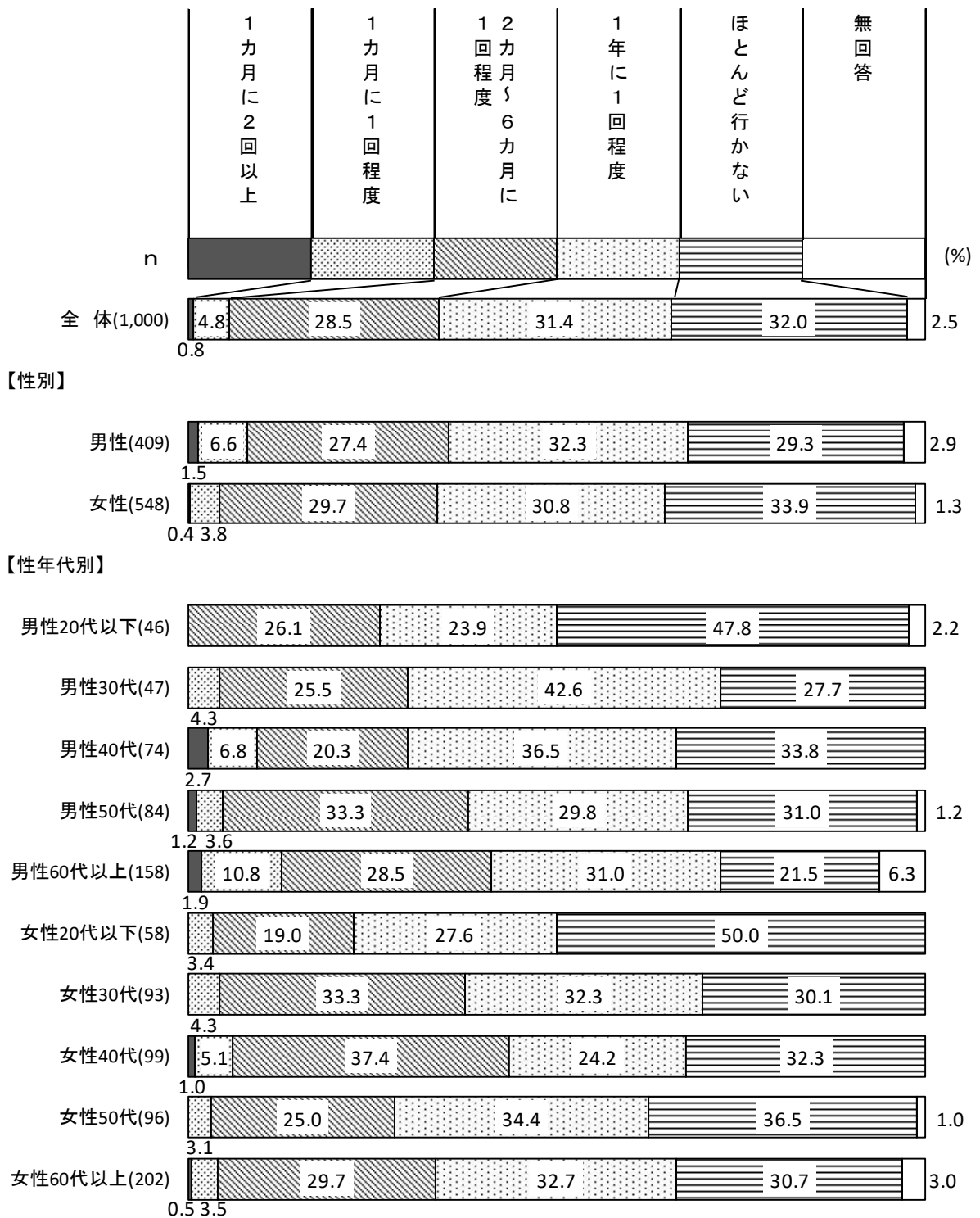


図2-1-2 区役所や支所へ行く頻度 <性別・性年代別>



(2) 目的

問5 最近1年の間で、どのような目的で区役所や支所に行きましたか。

(あてはまるもの、すべてに○)

- 全 体** 「住民票の写しなどの証明書取得」(47.6%)が最も高く、次いで「住所変更・印鑑登録・マイナンバー」(26.9%)、「国民健康保険・年金」(14.4%)となっている。一方、「最近1年は区役所や支所に行っていない」は18.7%となっている。
(図2-2-1)
- 性 別** 上位7項目及び「最近1年は区役所や支所に行っていない」の中で、「住民票の写しなどの証明書取得」では、「男性」(52.1%)が「女性」(45.1%)より7.0ポイント高くなっている。(図2-2-2)
- 性 年 代 別** 「住所変更・印鑑登録・マイナンバー」では、「男性20代以下」(37.0%)、「男性30代」(38.3%)、「女性20代以下」(34.5%)、「女性30代」(38.7%)で3割5分以上と、他の性年代に比べて高くなっている。「児童手当・就学手続き」では「女性30代」(21.5%)が最も高く、次いで「男性40代」(10.8%)となっている。「最近1年は区役所や支所に行っていない」では、「男性20代以下」(30.4%)、「女性20代以下」(25.9%)、「女性60代以上」(23.3%)が、他の性年代に比べて高くなっている。(図2-2-2)

図2-2-1 川崎区役所や支所へ行く目的

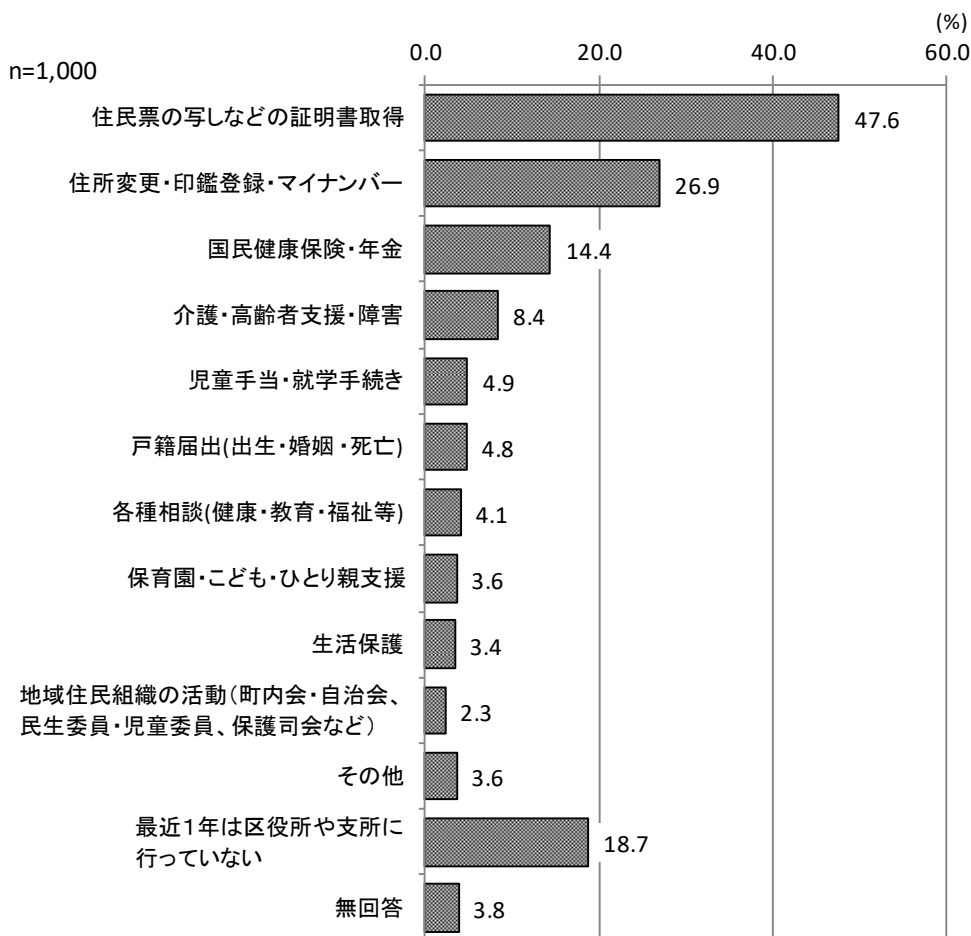
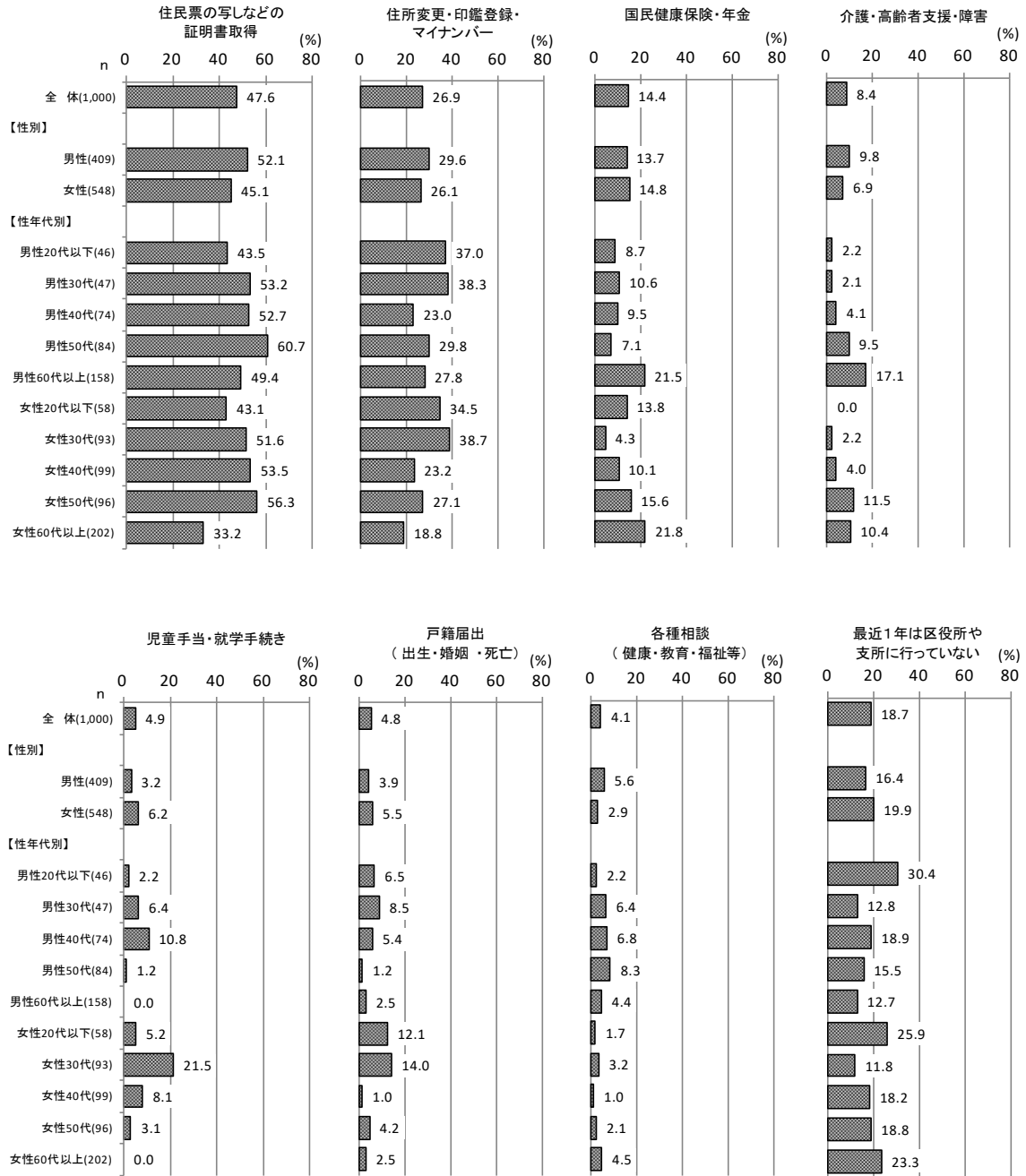


図2-2-2 川崎区役所や支所へ行く目的 <性別・性年代別>

(上位7項目+「最近1年は区役所や支所に行っていない」)



3 川崎区役所の事業や広報について

(1) 川崎区内施設の認知度

問6 次の表にあげる区内の施設などをご存じですか。

(①から⑧までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

全 体	「行ったことがある」は、「マリエン」(46.9%)が最も高く、次いで「カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター)」(29.9%)、「富士通スタジアム川崎」(22.8%)となっている。一方、「全く知らない」は「キングスカイフロント」(50.7%)が最も高く、次いで「川崎区保育・子育て総合支援センター」(49.6%)、「ヨネッテイー堤根」(48.6%)となっている。(図3-1-1)
性 別	「行ったことがある」では、「川崎区保育・子育て総合支援センター」で「女性」(10.0%)が「男性」(2.4%)より7.6ポイント、「カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター)」で「女性」(35.8%)が「男性」(22.0%)より13.8ポイント高くなっている。「富士通スタジアム川崎」では、「男性」(25.4%)が「女性」(21.0%)より4.4ポイント高くなっている。(図3-1-2)、(図3-1-3)、(図3-1-5)
性 年 代 別	「行ったことがある」では、「川崎区保育・子育て総合支援センター」で、「女性30代」(23.7%)、「女性40代」(20.2%)を除く性年代で1割未満となっている。「カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター)」で、「女性40代」(48.5%)が他の性年代に比べて高くなっている。また、「マリエン」で、「男性30代」「女性20代以下」「女性30代」を除く性年代で4割以上となっている。(図3-1-2)、(図3-1-3)、(図3-1-8) 「東海道かわさき宿交流館」では、「女性20代以下」(70.7%)、「女性30代」(69.6%)で約7割が「全く知らない」と回答しており、男性・女性ともに年代が低くなるにつれて割合が高くなる傾向がある。(図3-1-4)

図 3-1-1 川崎区内施設の認知度

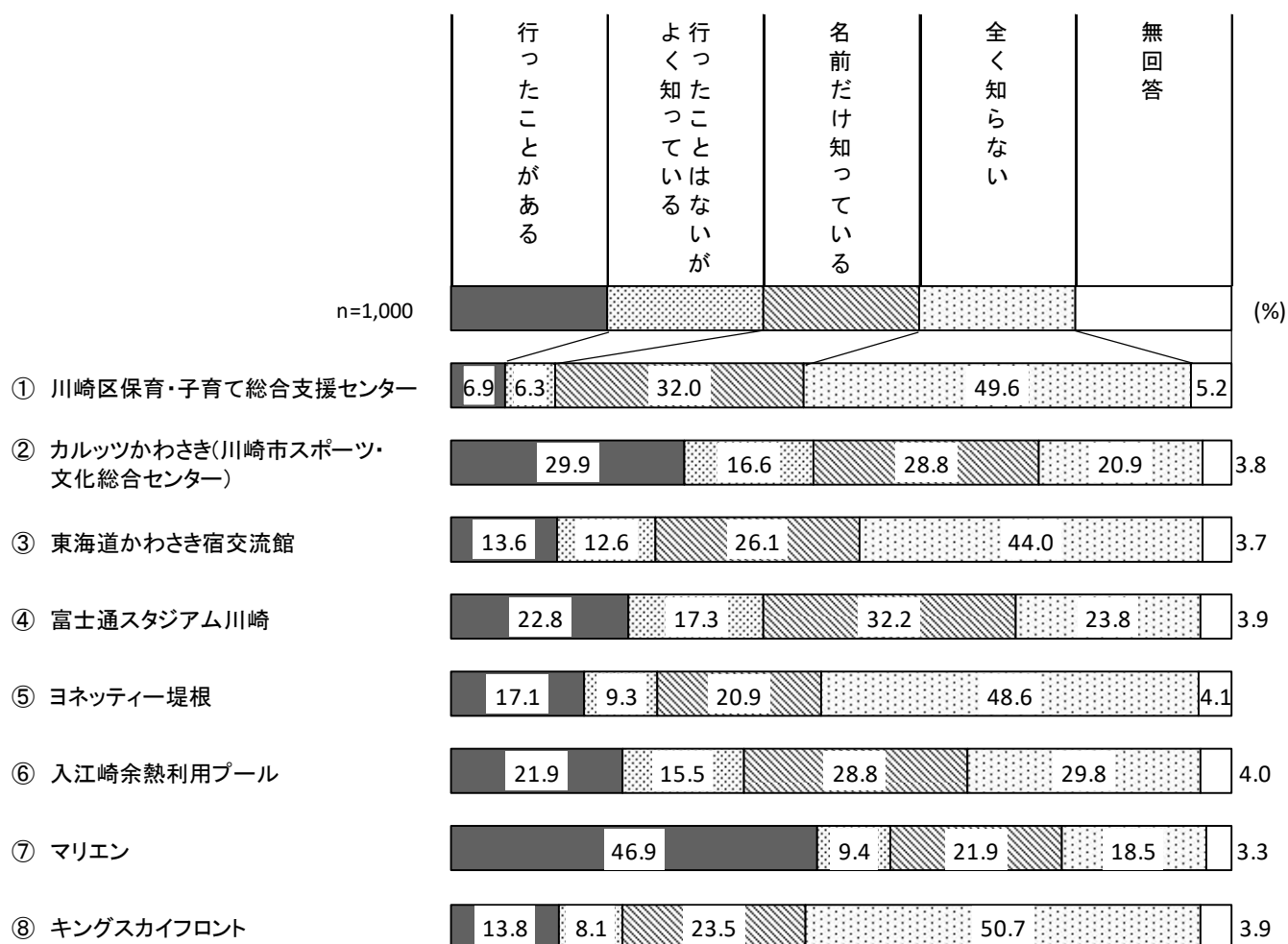


図3-1-2 川崎区内施設の認知度

①川崎区保育・子育て総合支援センター <性別・性年代別>

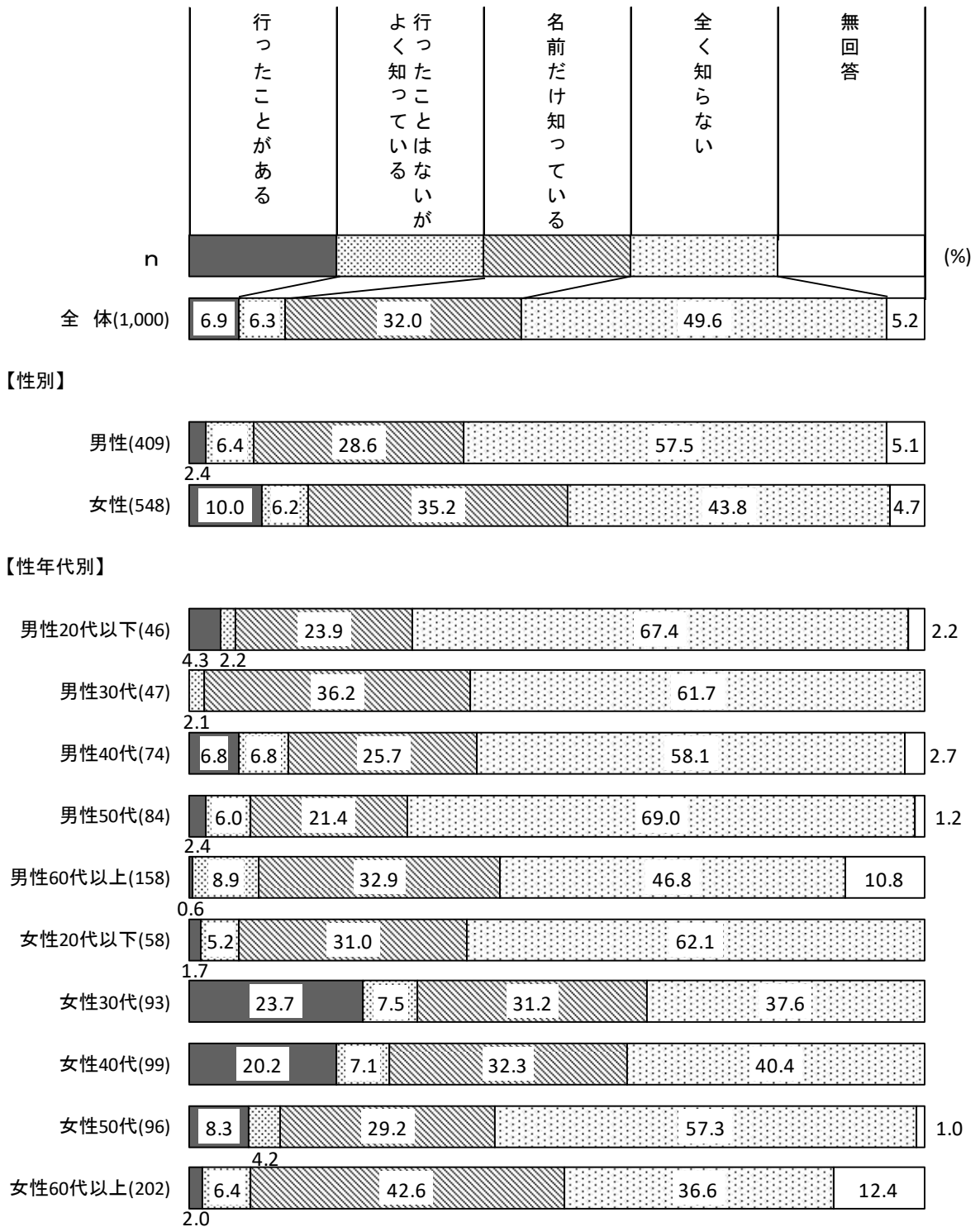


図3-1-3 川崎区内施設の認知度

②カルッツかわさき（川崎市スポーツ・文化総合センター） <性別・性年代別>

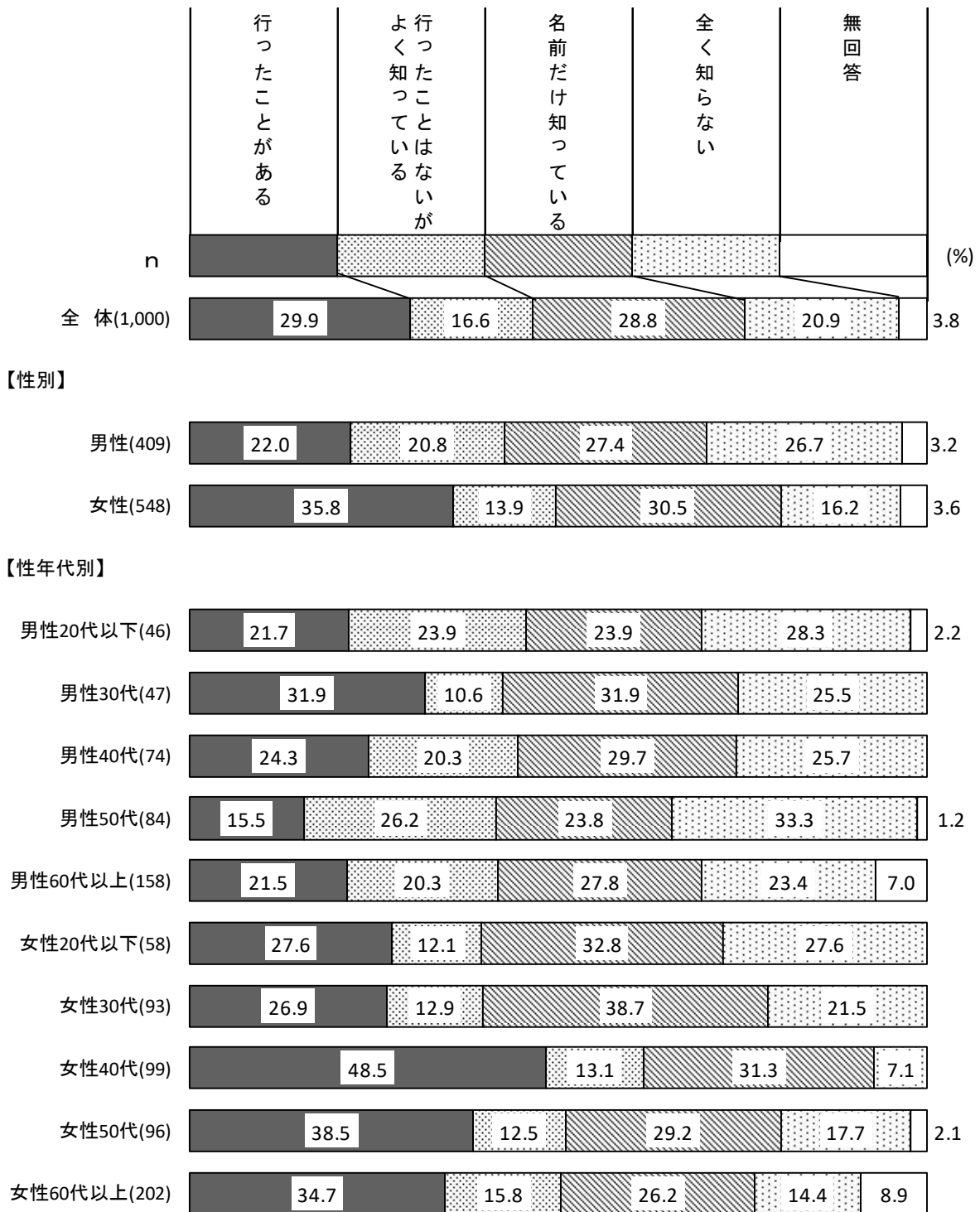


図3-1-4 川崎区内施設の認知度 ③東海道かわさき宿交流館 <性別・性年代別>

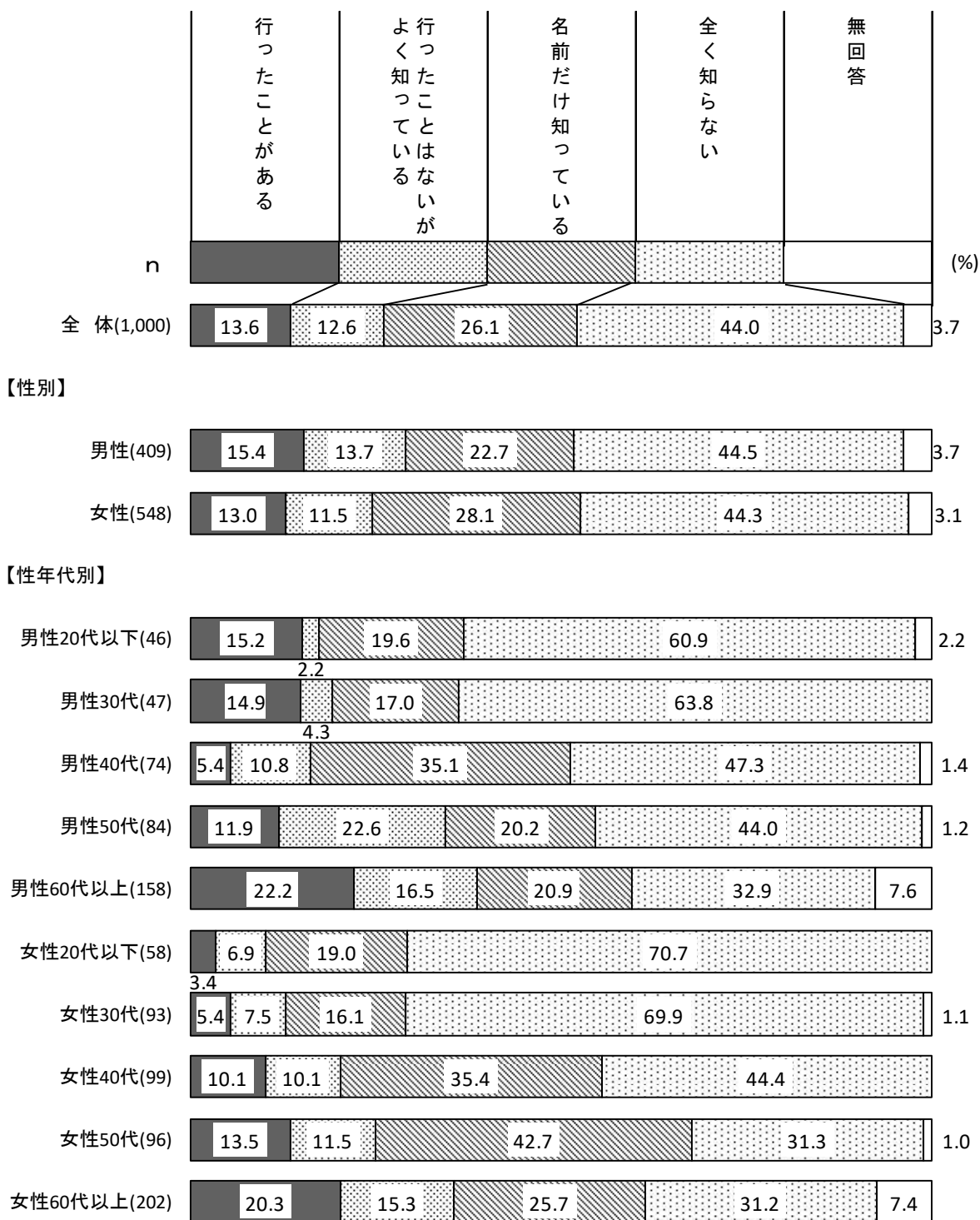


図3-1-5 川崎区内施設の認知度 ④富士通スタジアム川崎 <性別・性年代別>

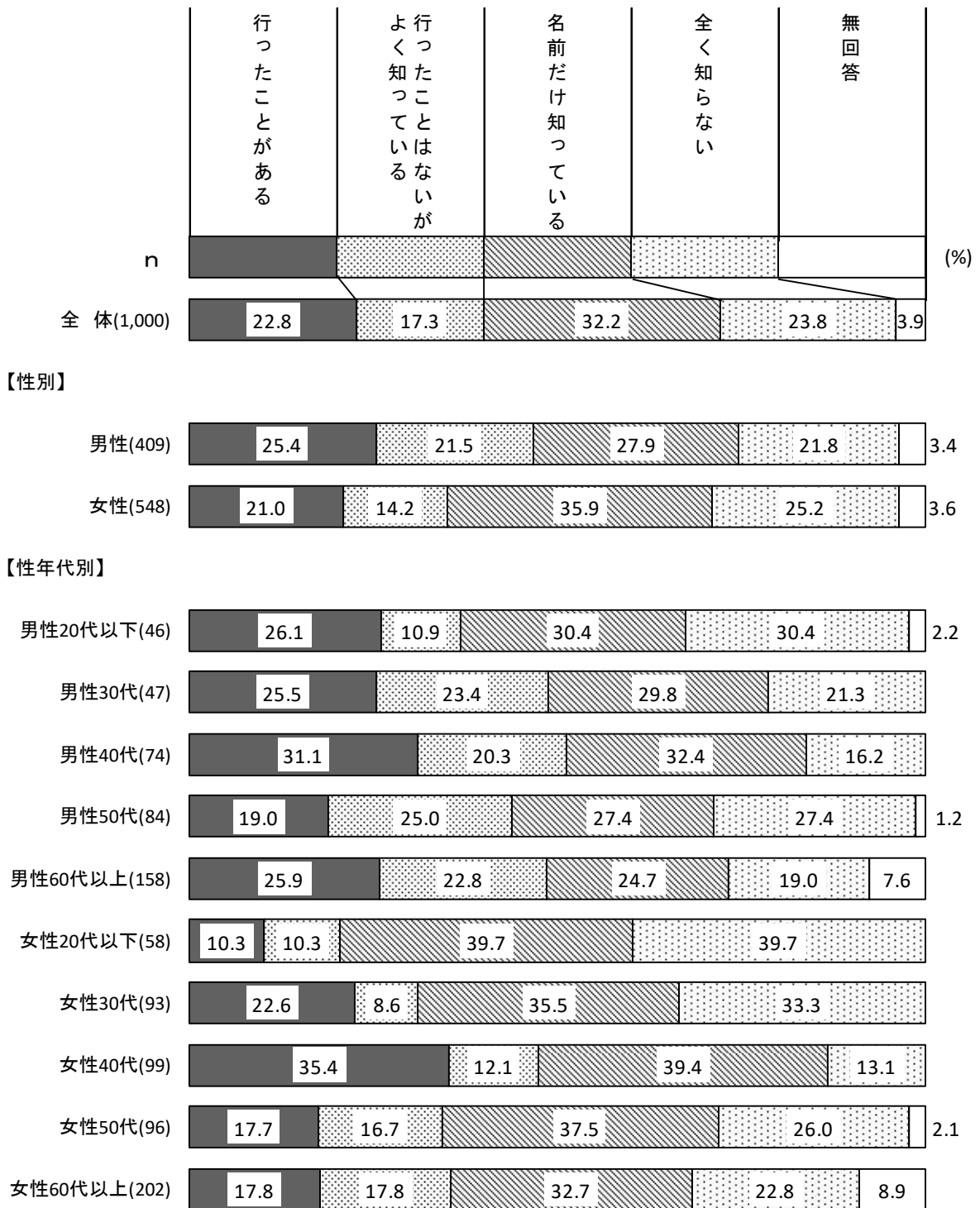


図3-1-6 川崎区内施設の認知度 ⑤ヨネッティー堤根 <性別・性年代別>

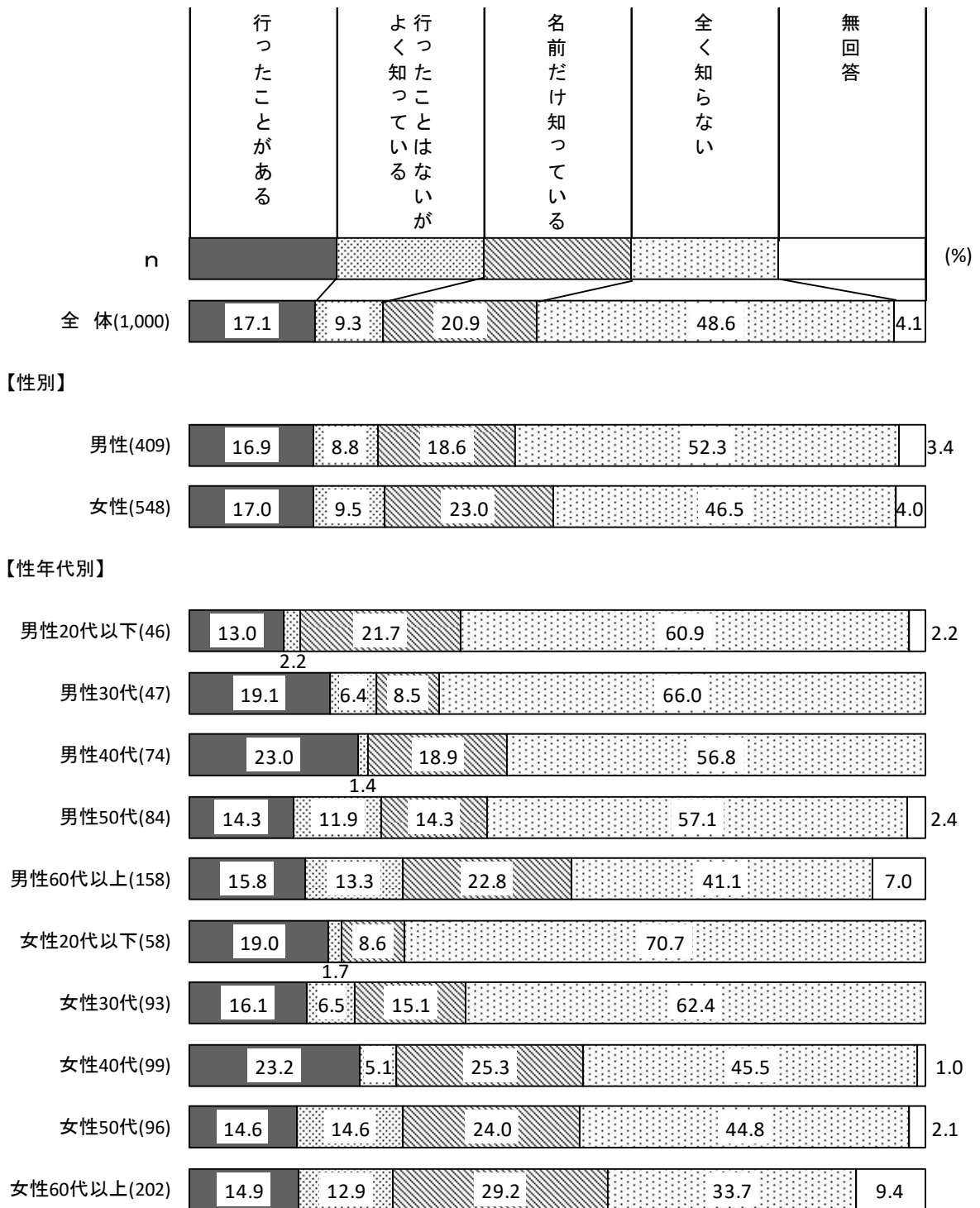


図3-1-7 川崎区内施設の認知度 ⑥入江崎余熱利用プール <性別・性年代別>

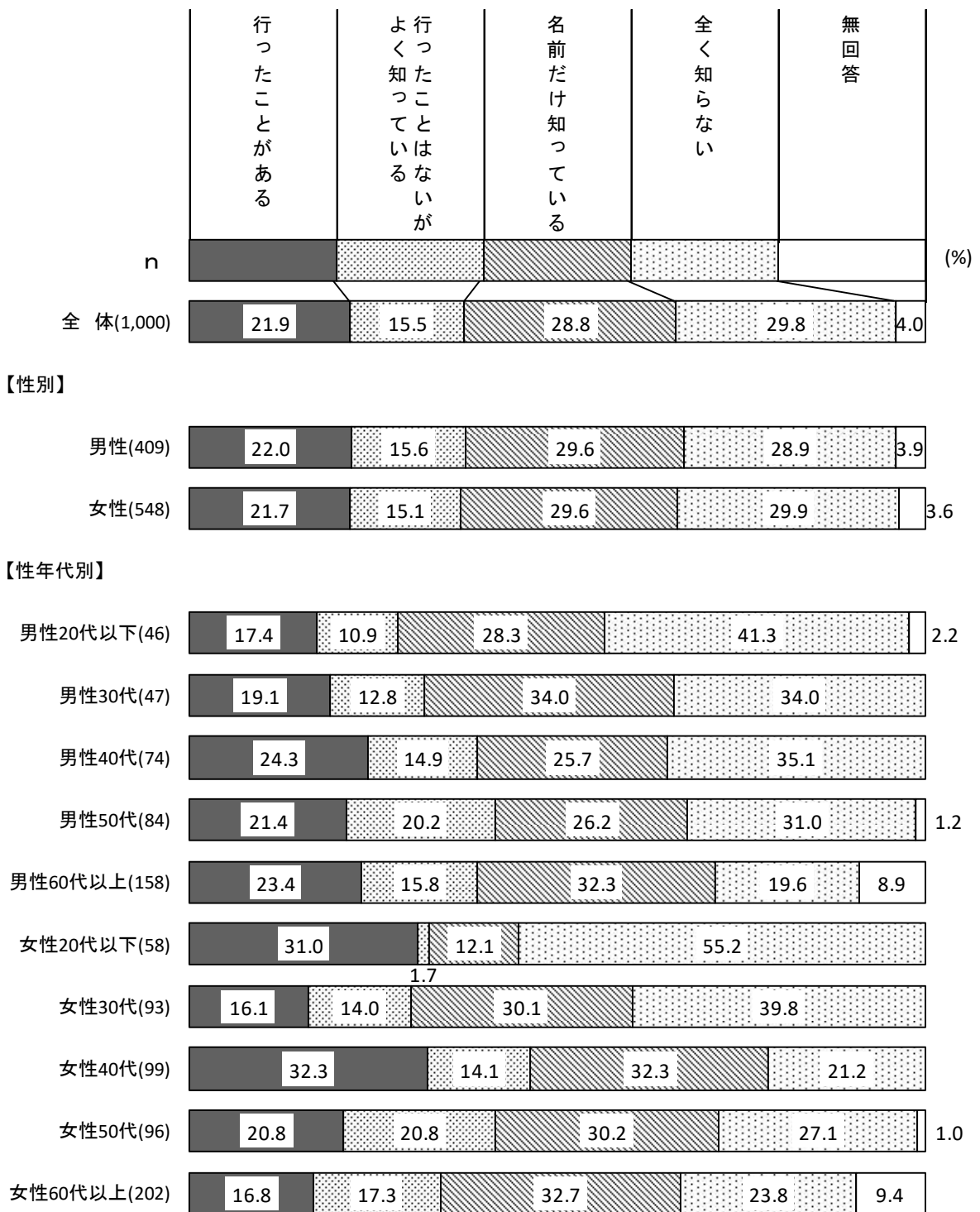


図3-1-8 川崎区内施設の認知度 ⑦マリエン <性別・性年代別>

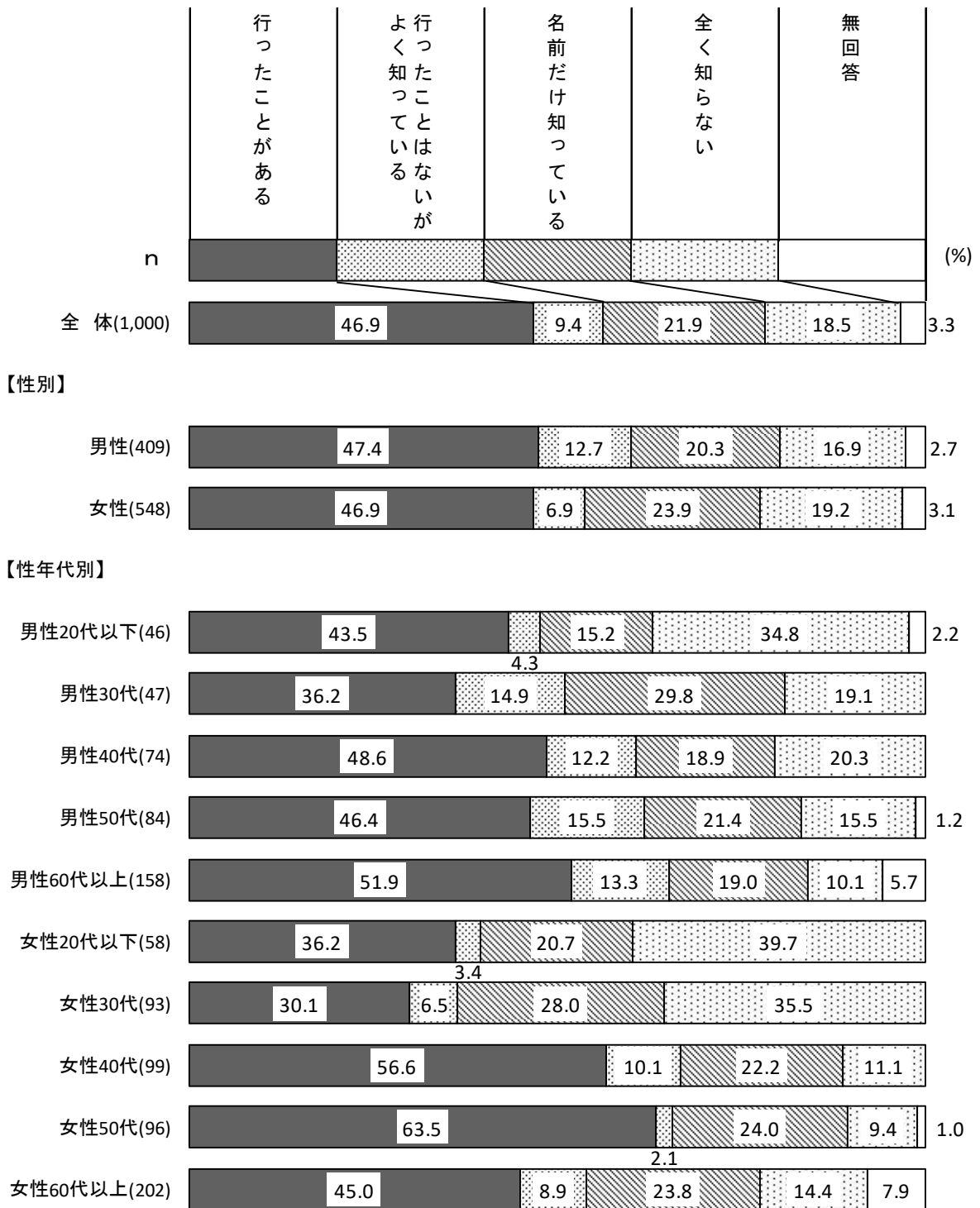
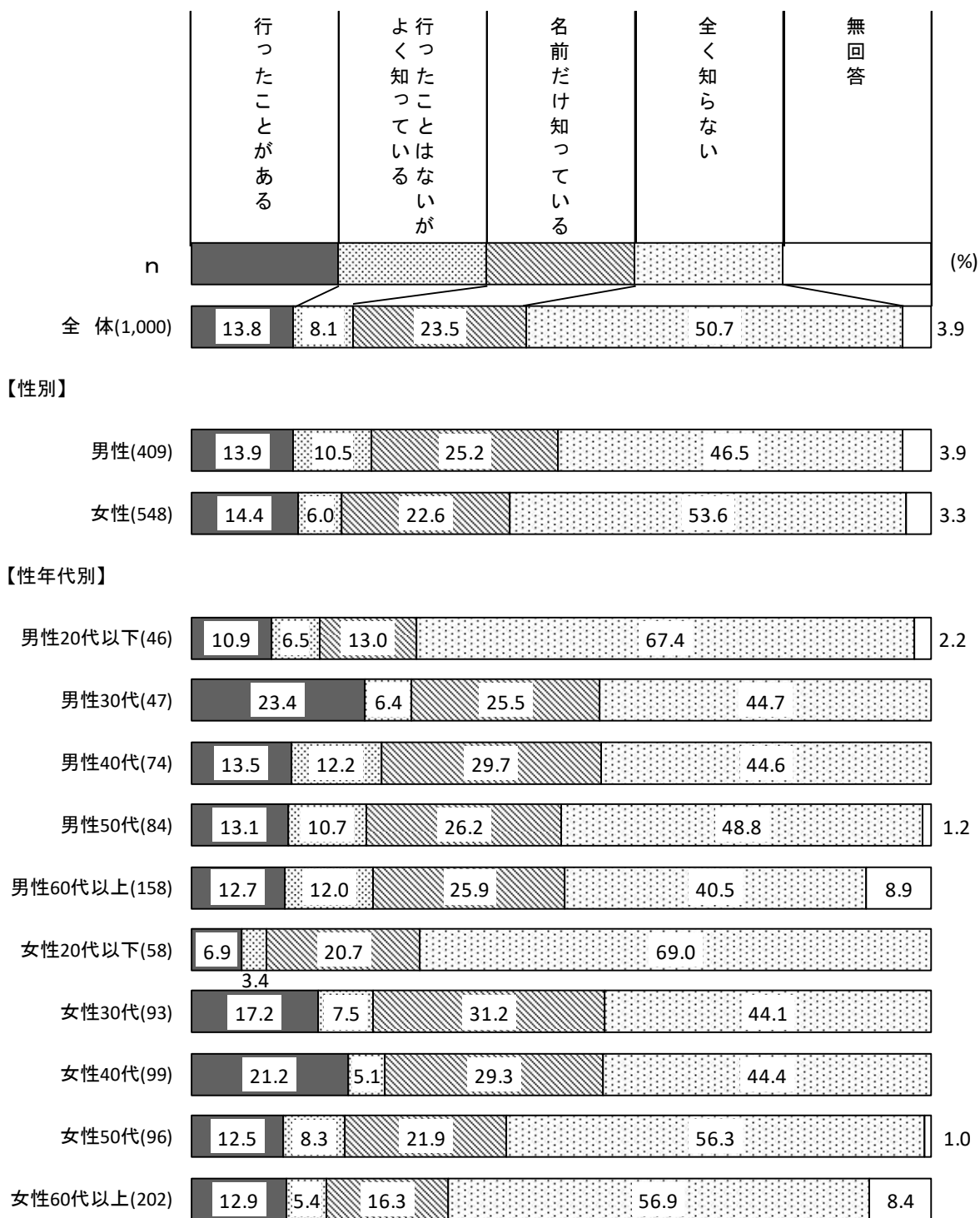


図3-1-9 川崎区内施設の認知度 ⑧キングスカイフロント <性別・性年代別>



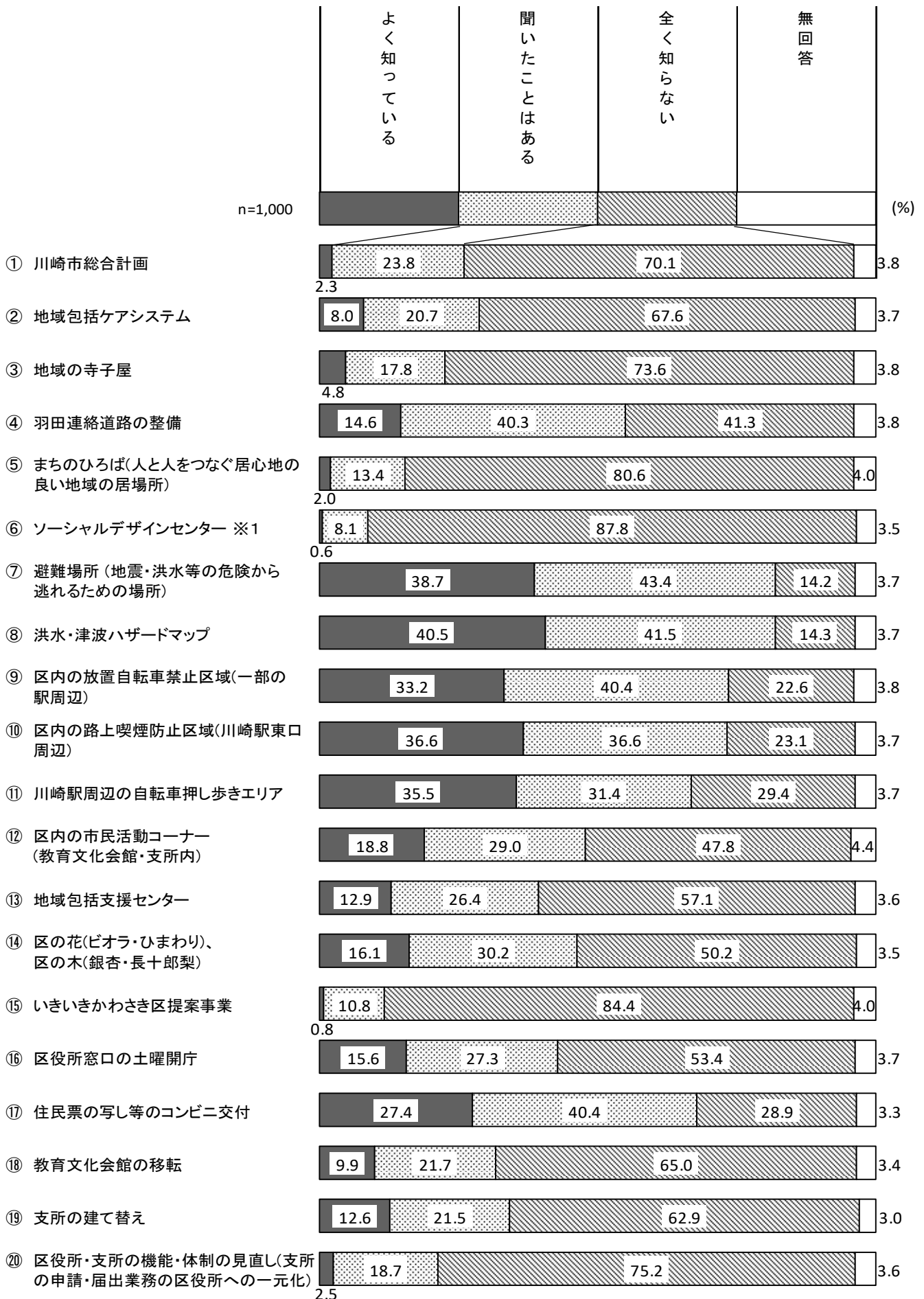
(2) 川崎市(区)役所の取組への認知度

問7 次の表にあげる川崎市(区)役所の取組などをご存じですか。

(①から⑳までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

- 全 体** 「よく知っている」では、「洪水・津波ハザードマップ」(40.5%)が最も高く、次いで「避難場所(地震・洪水等の危険から逃れるための場所)」(38.7%)、「区内の路上喫煙防止区域(川崎駅東口周辺)」(36.6%)、「川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア」(35.5%)となっている。一方、「全く知らない」では、「ソーシャルデザインセンター(人や団体・企業、資源・活動をつなぐコーディネート機能とプロデュース機能等)」(87.8%)が最も高く、次いで「いきいきかわさき区提案事業」(84.4%)、「まちのひろば(人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所)」(80.6%)となっている。
(図3-2-1)
- 性 別** 「よく知っている」では、「羽田連絡道路の整備」などの4項目で「男性」が「女性」よりも高くなっている。一方、「区内の市民活動コーナー(教育文化会館・支所内)」、「地域包括支援センター」などの15項目で「女性」が「男性」よりも高くなっている。
(図3-2-5)、(図3-2-13)、(図3-2-14)
- 性 年 代 別** 「よく知っている」では、「洪水・津波ハザードマップ」で「男性60代以上」(50.6%)が最も高くなっている。「区内の放置自転車禁止区域」で「男性60代以上」(42.4%)「男性20代以下」(41.3%)が、「川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア」で「男性20代以下」(45.7%)「女性50代」(44.8%)が他の性年代に比べて高くなっている。「区内の市民活動コーナー」では「女性60代以上」(33.7%)が、「区役所窓口の土曜開庁」で「女性30代」(31.2%)が、「住民票の写し等のコンビニ交付」で「男性30代」(46.8%)「女性30代」(41.9%)が高くなっている。(図3-2-9)、
(図3-2-10)、(図3-2-12)、(図3-2-17)、(図3-2-18)
「全く知らない」では、「川崎市総合計画」で年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向がある。「まちのひろば(人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所)」で「男性40代」(94.6%)、「男性50代」(90.5%)、「女性20代以下」(91.4%)で9割以上と高くなっている。また「いきいきかわさき区提案事業」で「男性20代以下」から「男性50代」、「女性20代以下」、「女性30代」で9割以上と高くなっている。
(図3-2-2)、(図3-2-6)、(図3-2-16)

図3-2-1 川崎市（区）役所の取組への認知度



※1 ソーシャルデザインセンター（人や団体・企業、資源・活動をつなぐコーディネート機能とプロデュース機能等）

図3-2-2 川崎市（区）役所の取組への認知度

①川崎市総合計画 <性別・性年代別>

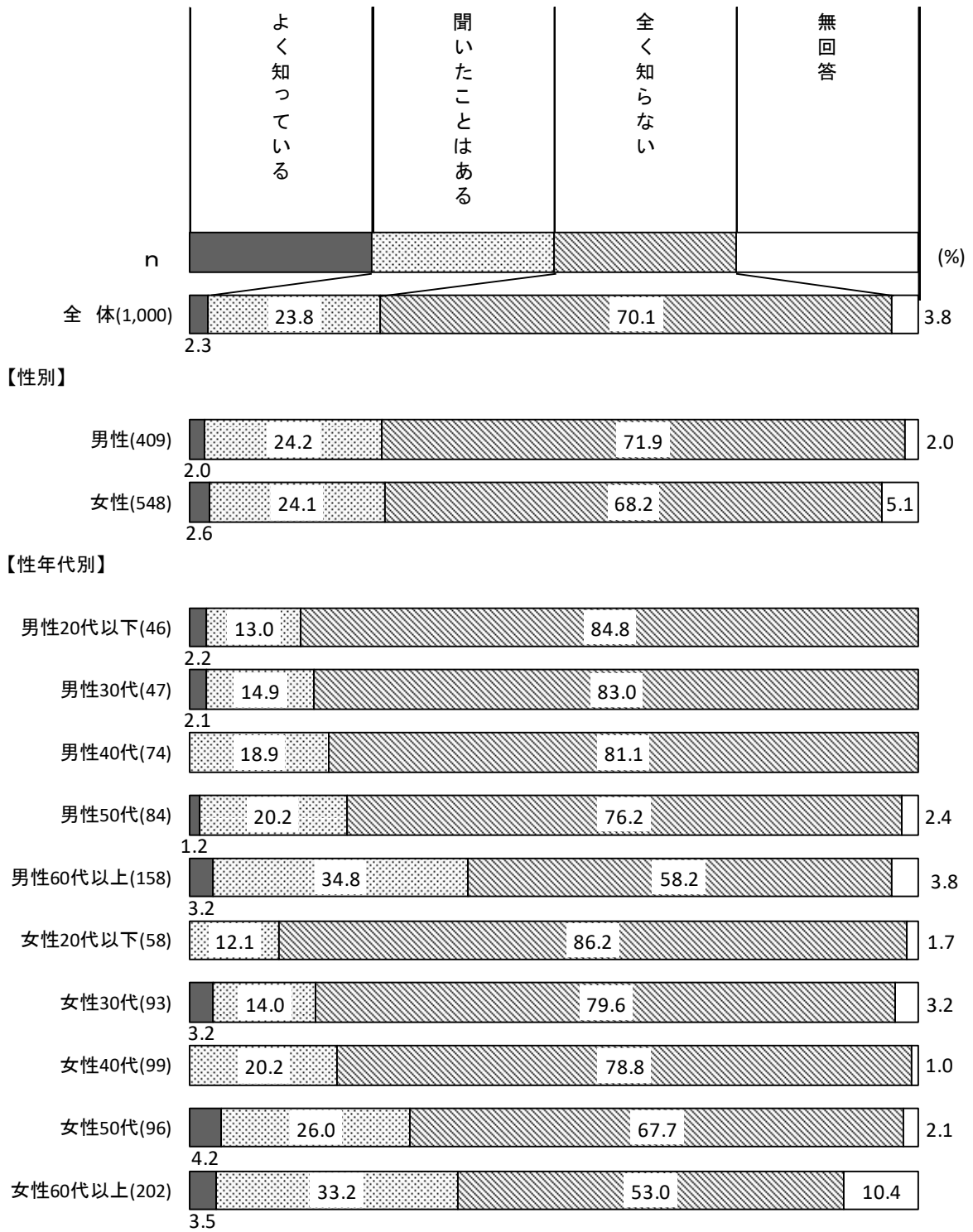


図3-2-3 川崎市（区）役所の取組への認知度

②地域包括ケアシステム <性別・性年代別>

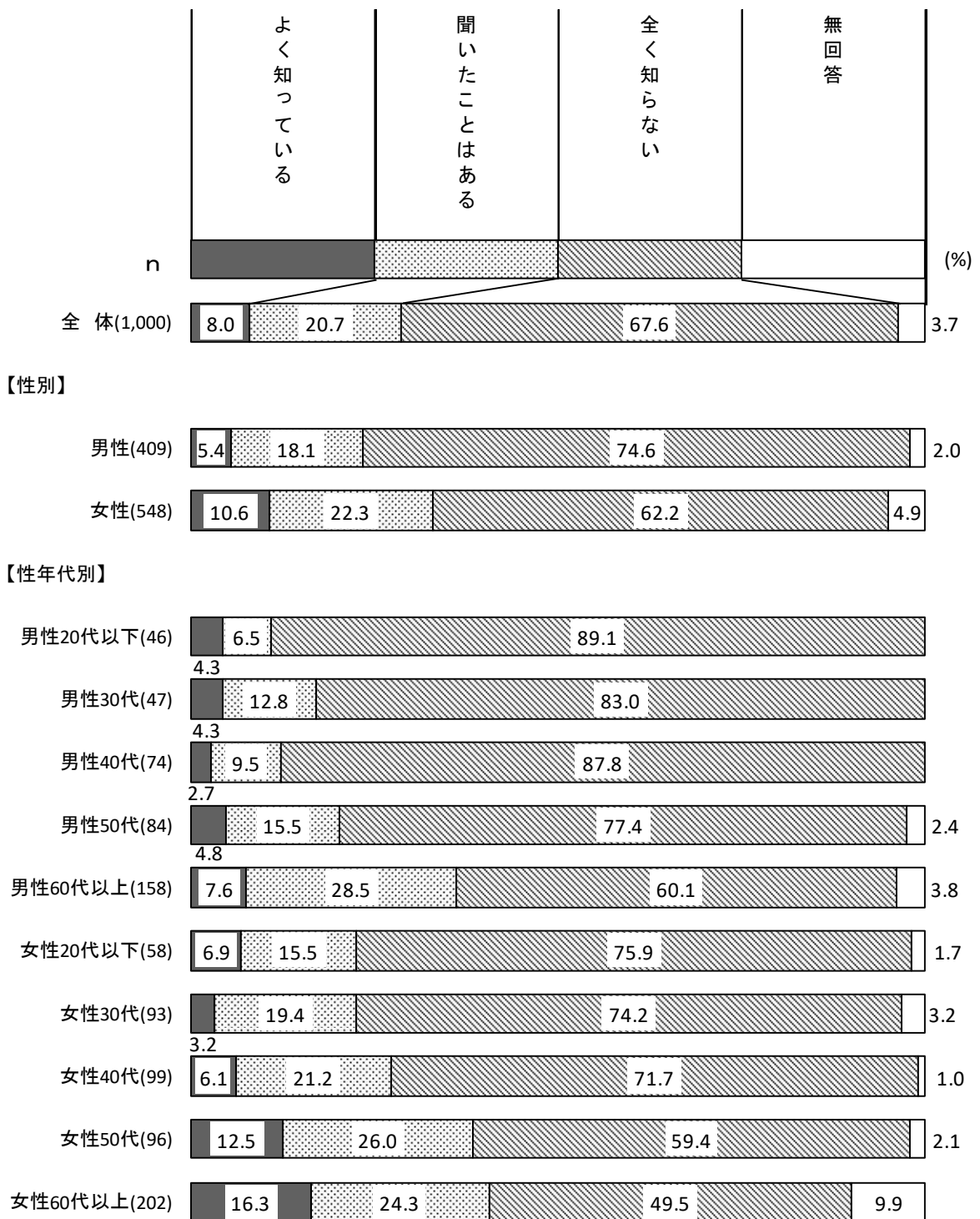


図3-2-4 川崎市（区）役所の取組への認知度

③地域の寺子屋 <性別・性年代別>

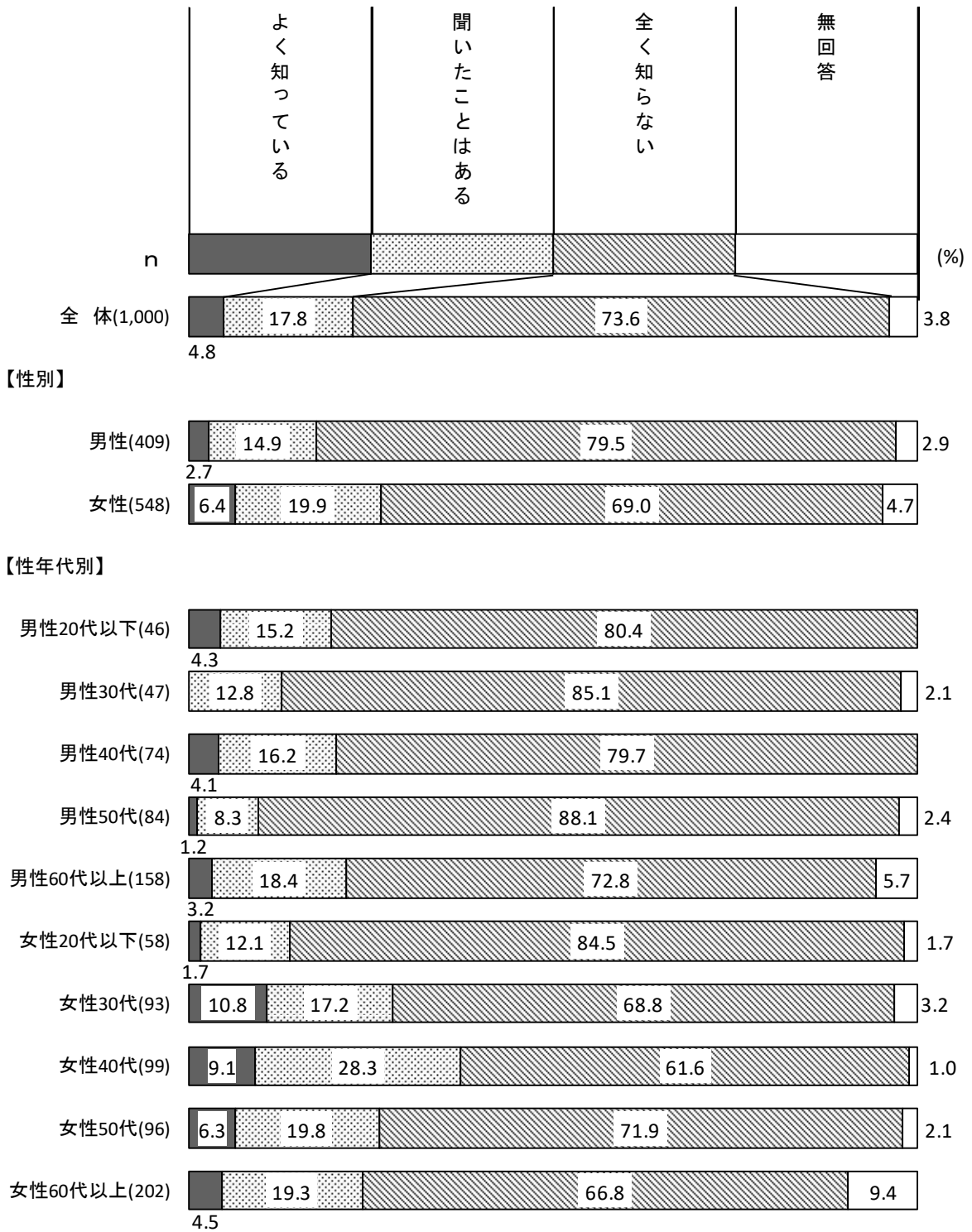


図3-2-5 川崎市(区)役所の取組への認知度

④羽田連絡道路の整備 <性別・性年代別>

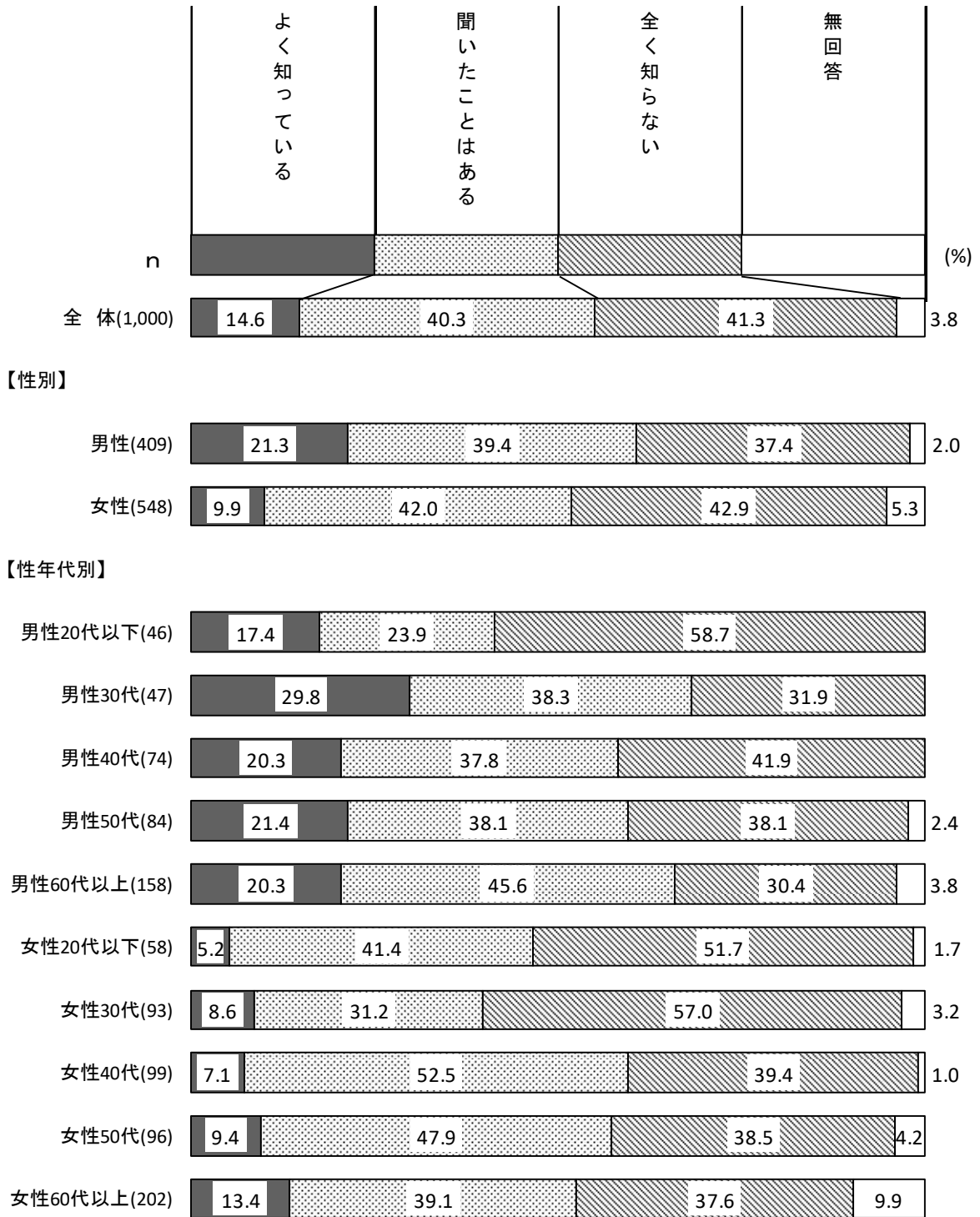


図3-2-6 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑤まちなひろば（人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所） <性別・性年代別>

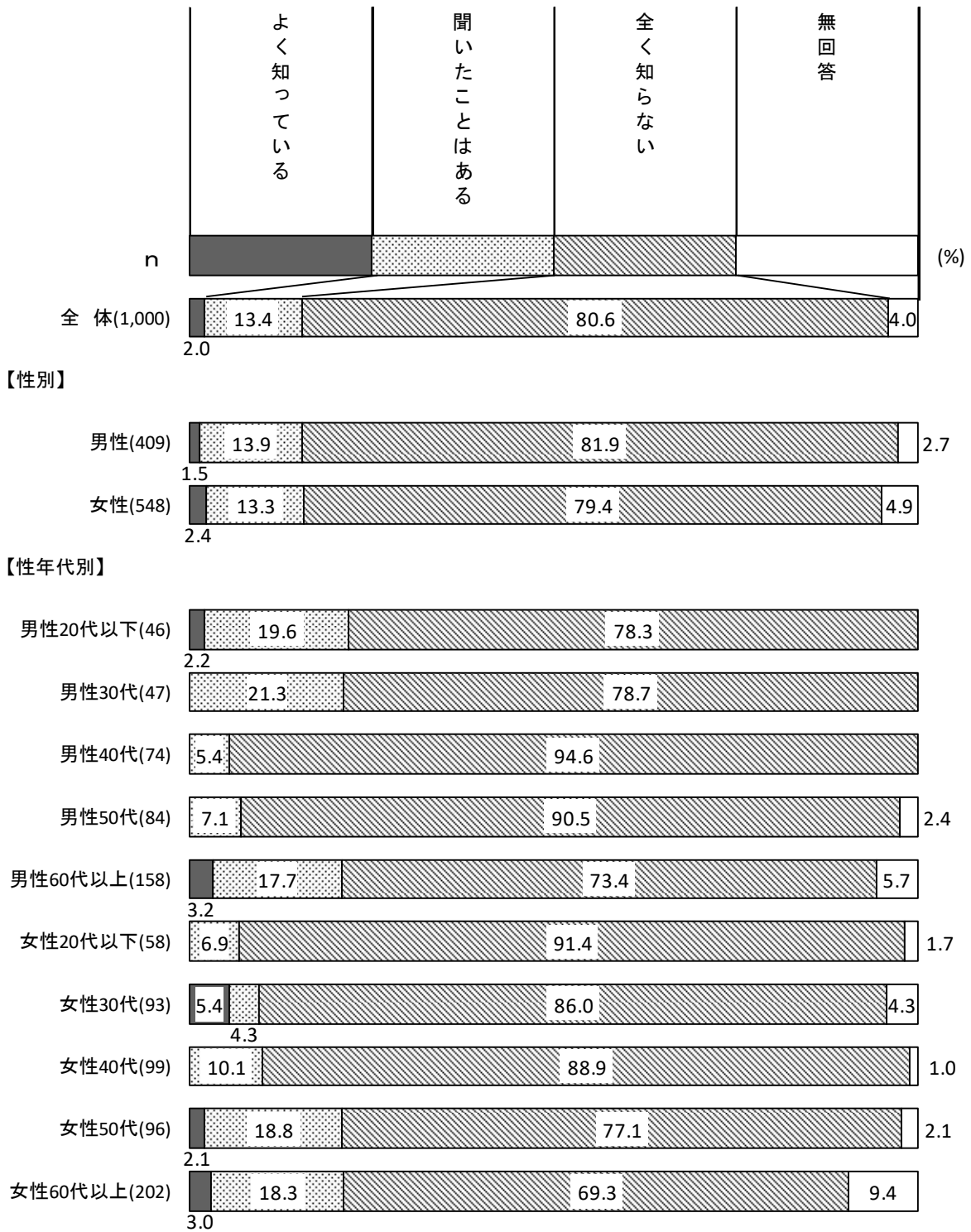


図3-2-7 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑥ソーシャルデザインセンター（人や団体・企業、資源・活動をつなぐコーディネート機能とプロデュース機能等） <性別・性年代別>

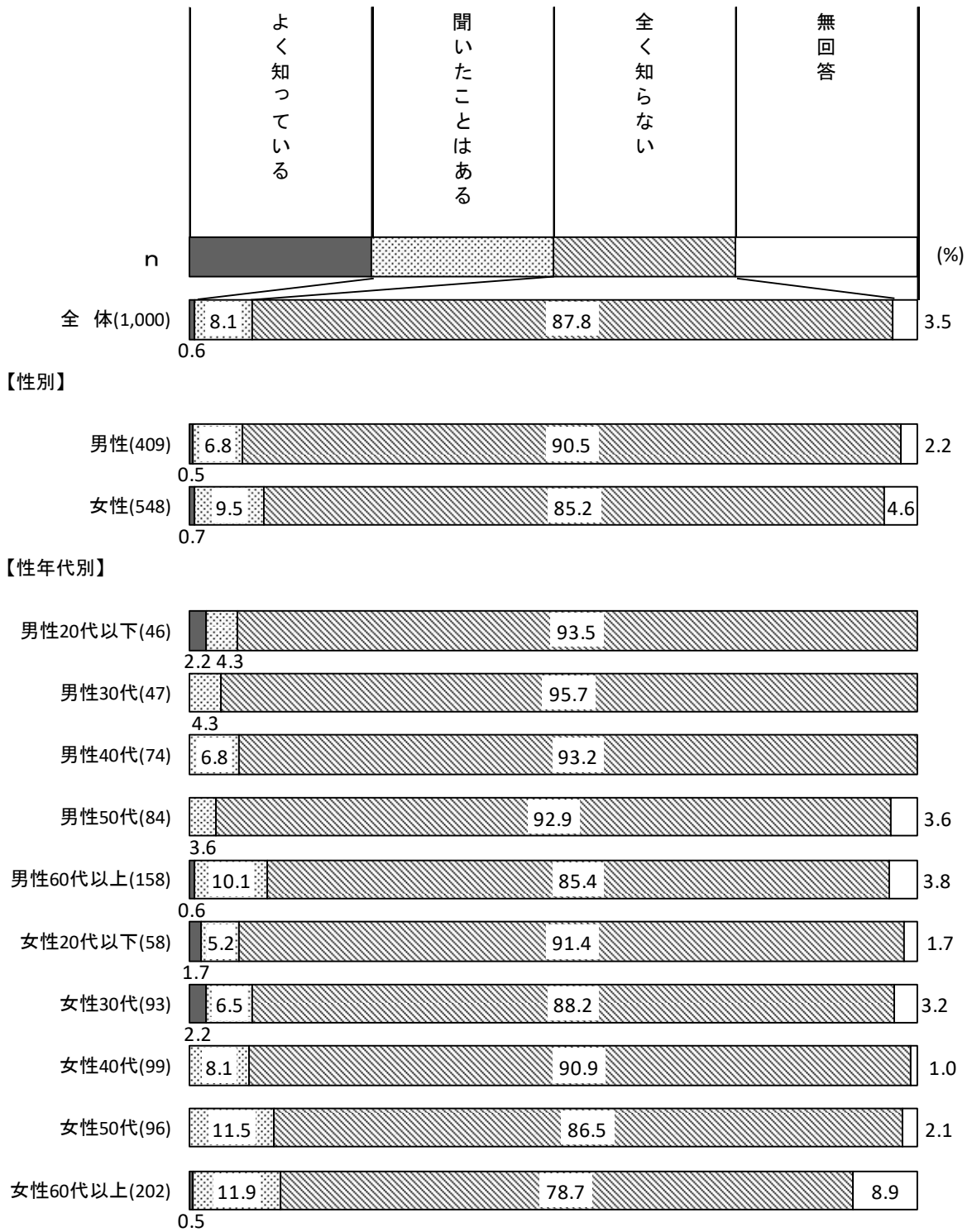


図3-2-8 川崎市(区)役所の取組への認知度

⑦避難場所(地震・洪水等の危険から逃れるための場所) <性別・性年代別>

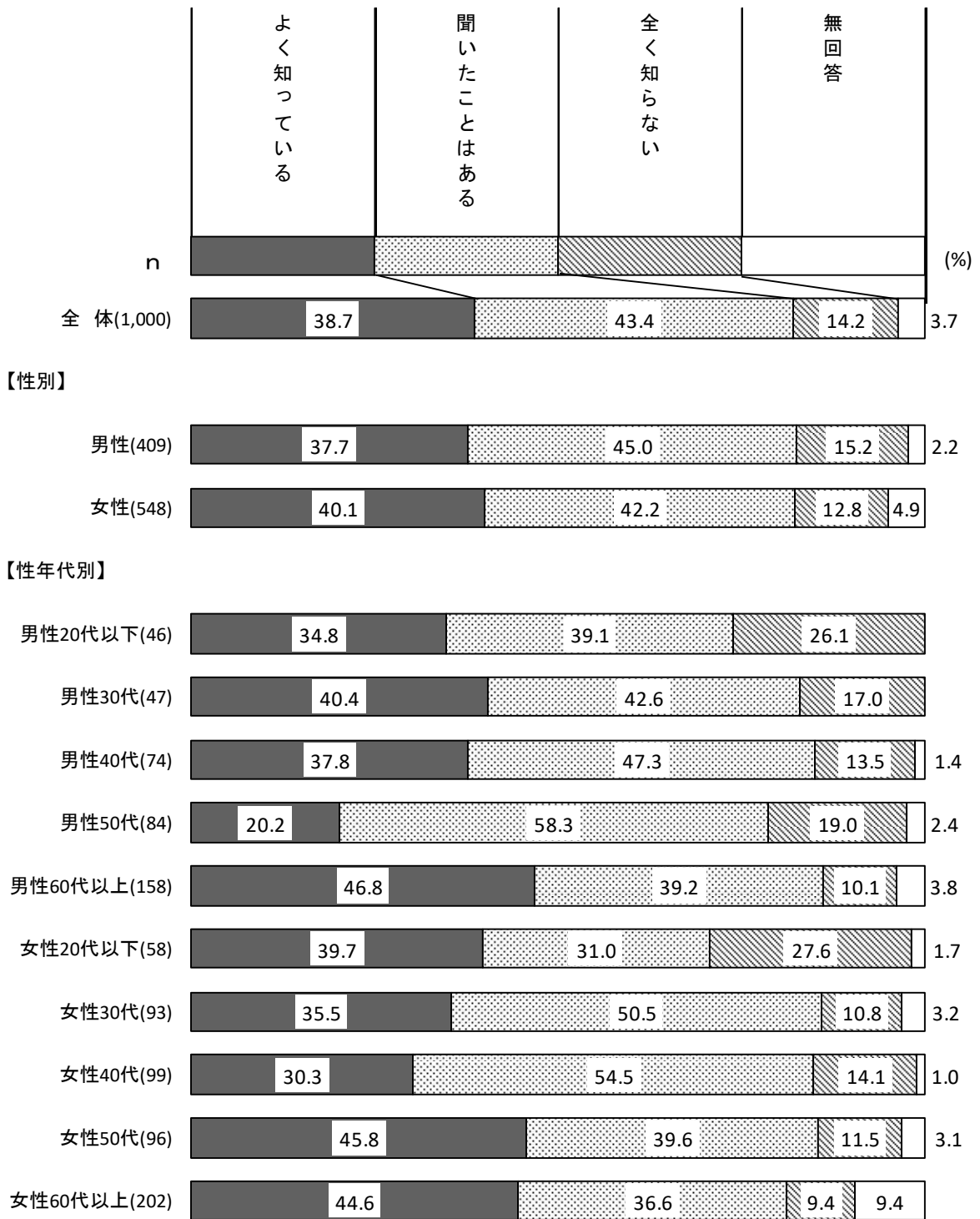


図3-2-9 川崎市(区)役所の取組への認知度

⑧洪水・津波ハザードマップ <性別・性年代別>

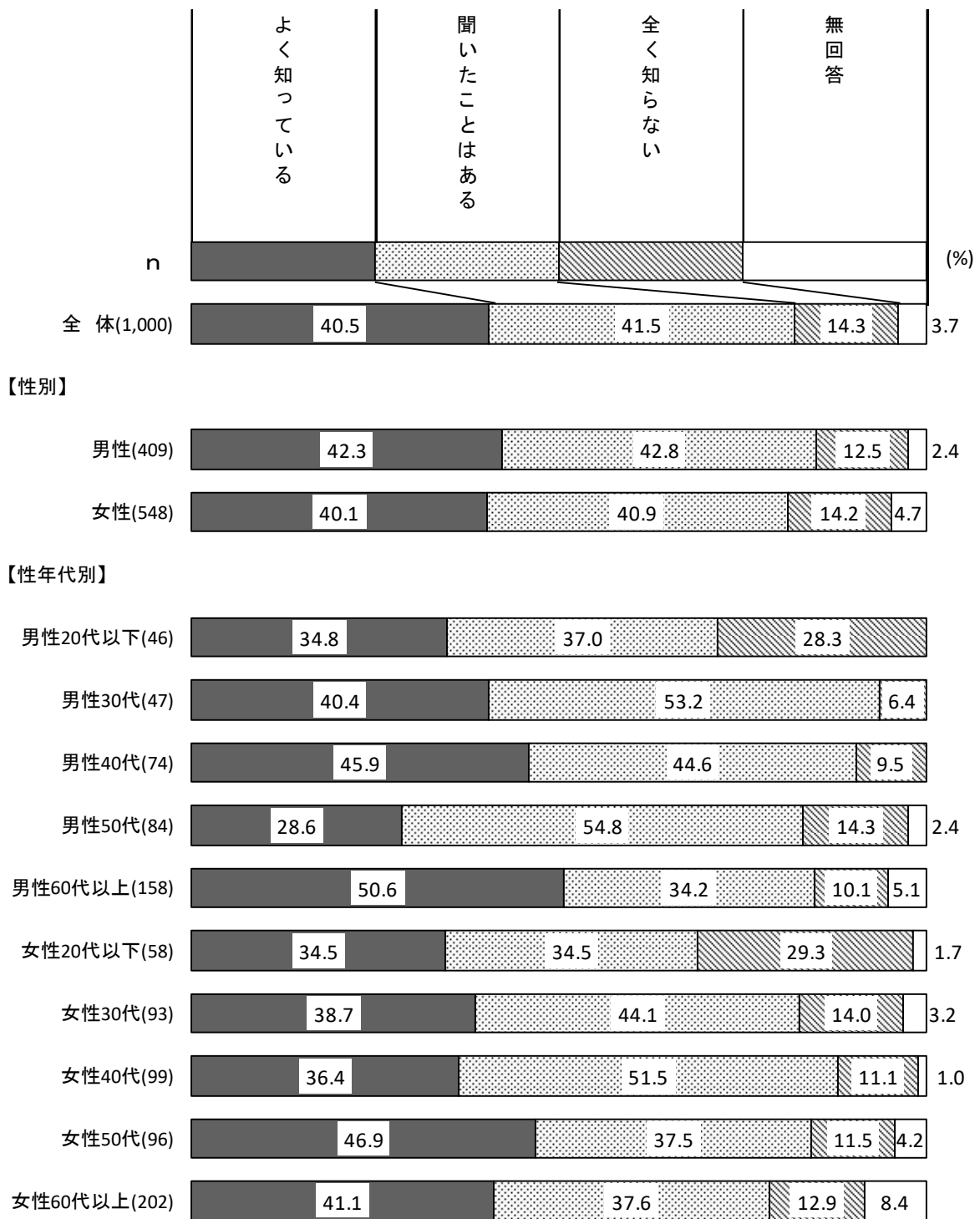


図3-2-10 川崎市(区)役所の取組への認知度
 ⑨区内の放置自転車禁止区域(一部の駅周辺) <性別・性年代別>

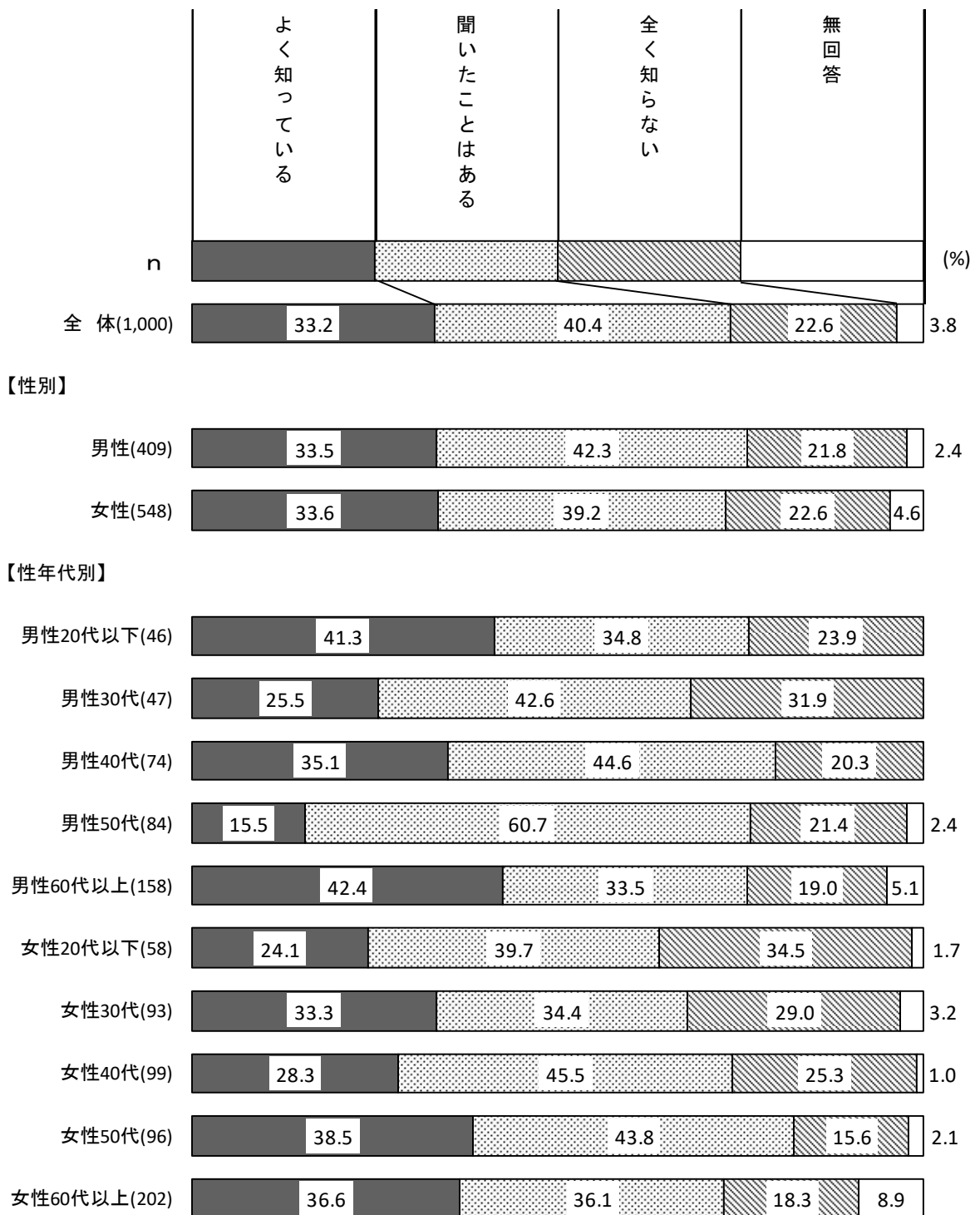


図3-2-11 川崎市（区）役所の取組への認知度
 ⑩区内の路上喫煙防止区域（川崎駅東口周辺） <性別・性年代別>

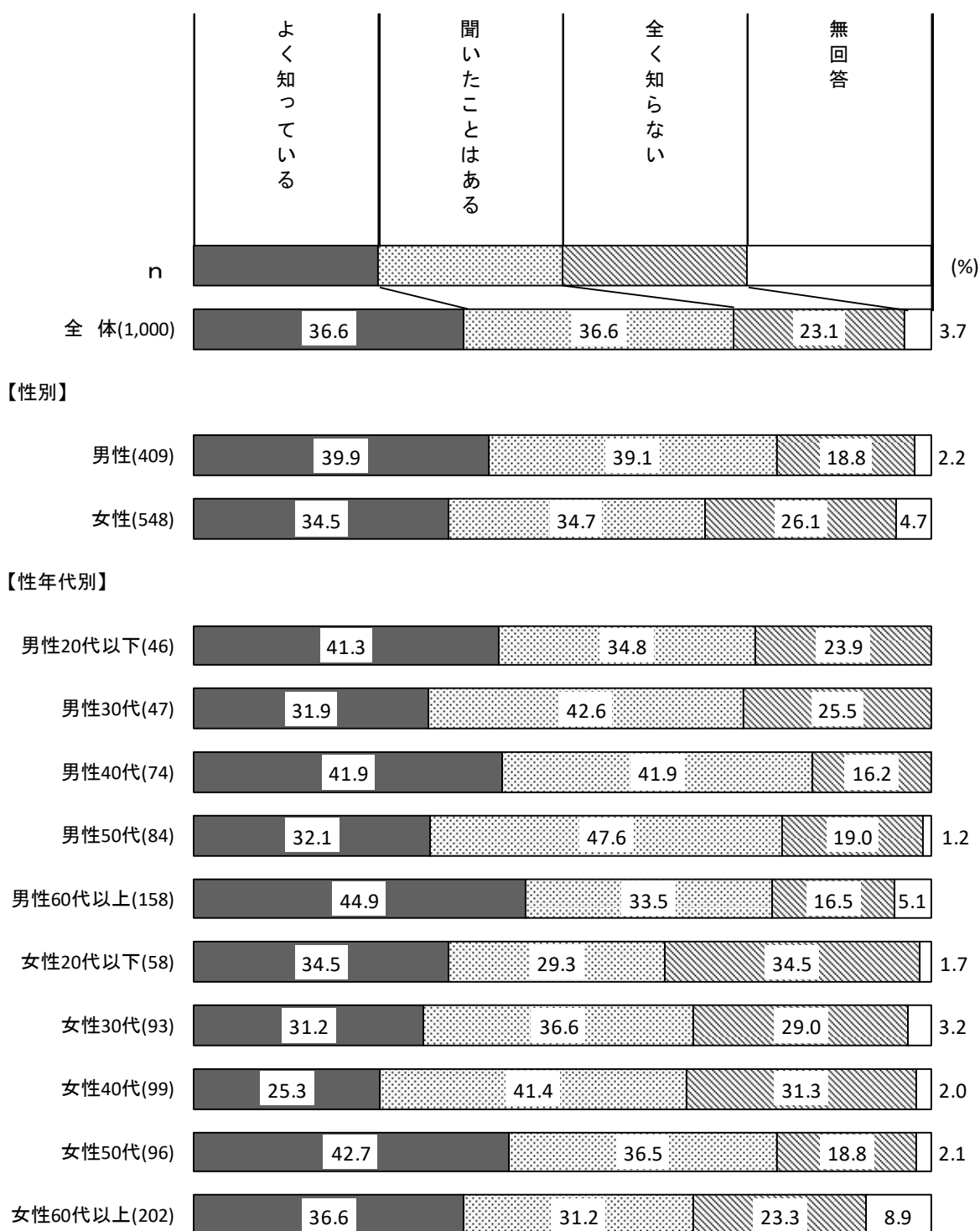


図3-2-12 川崎市(区)役所の取組への認知度
 ①川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア <性別・性年代別>

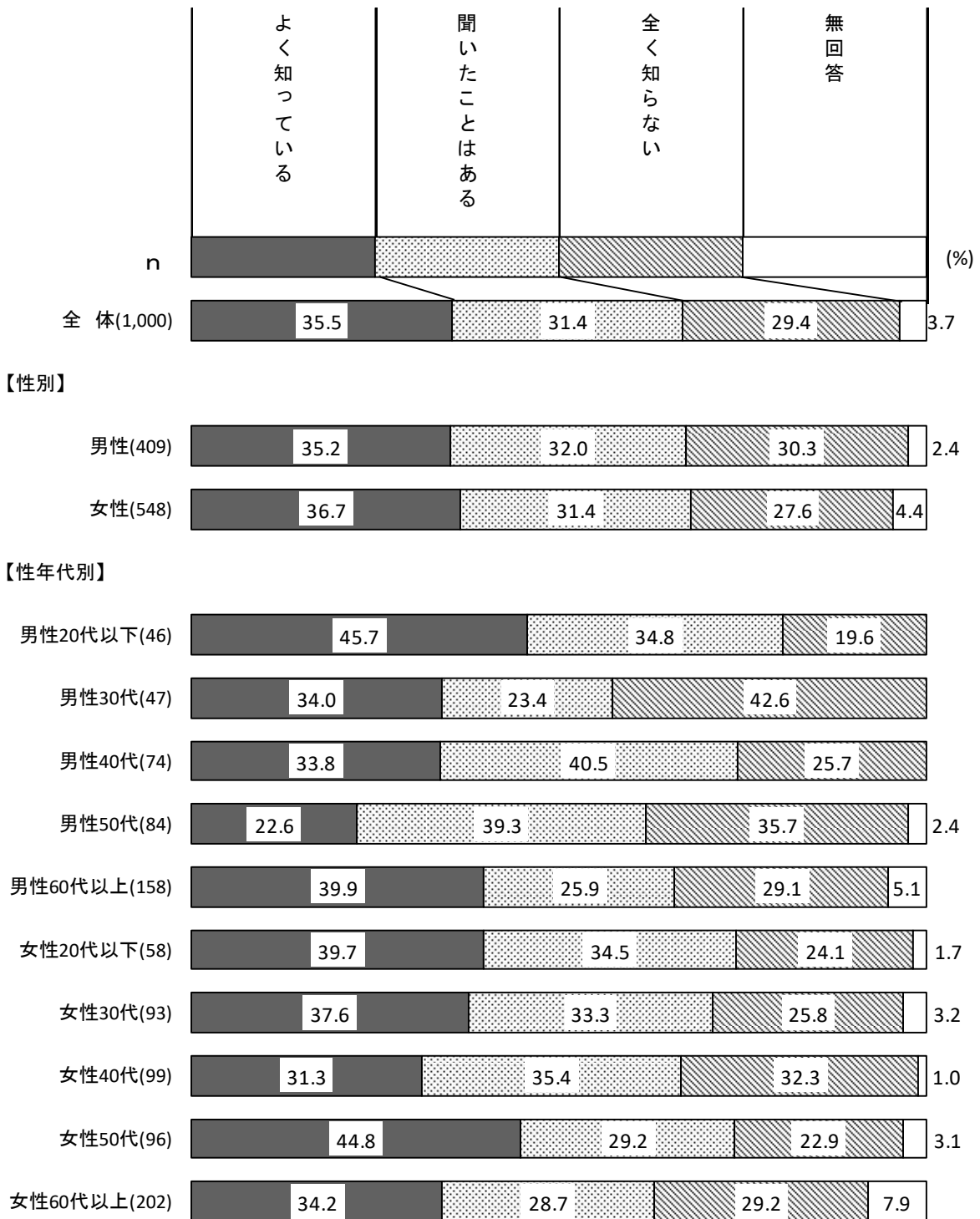
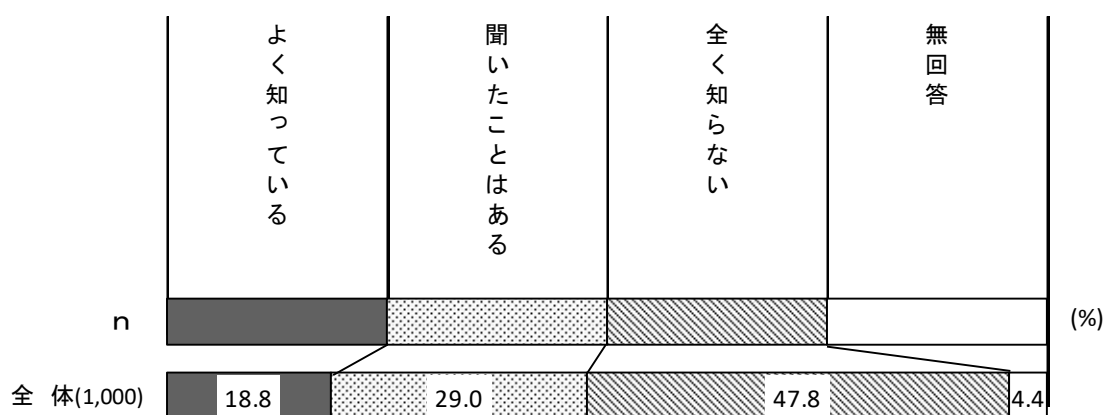
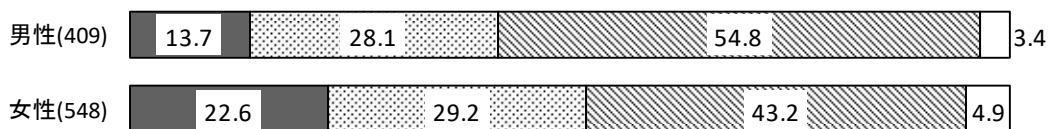


図3-2-13 川崎市(区)役所の取組への認知度

⑫区内の市民活動コーナー(教育文化会館・支所内) <性別・性年代別>



【性別】



【性年代別】

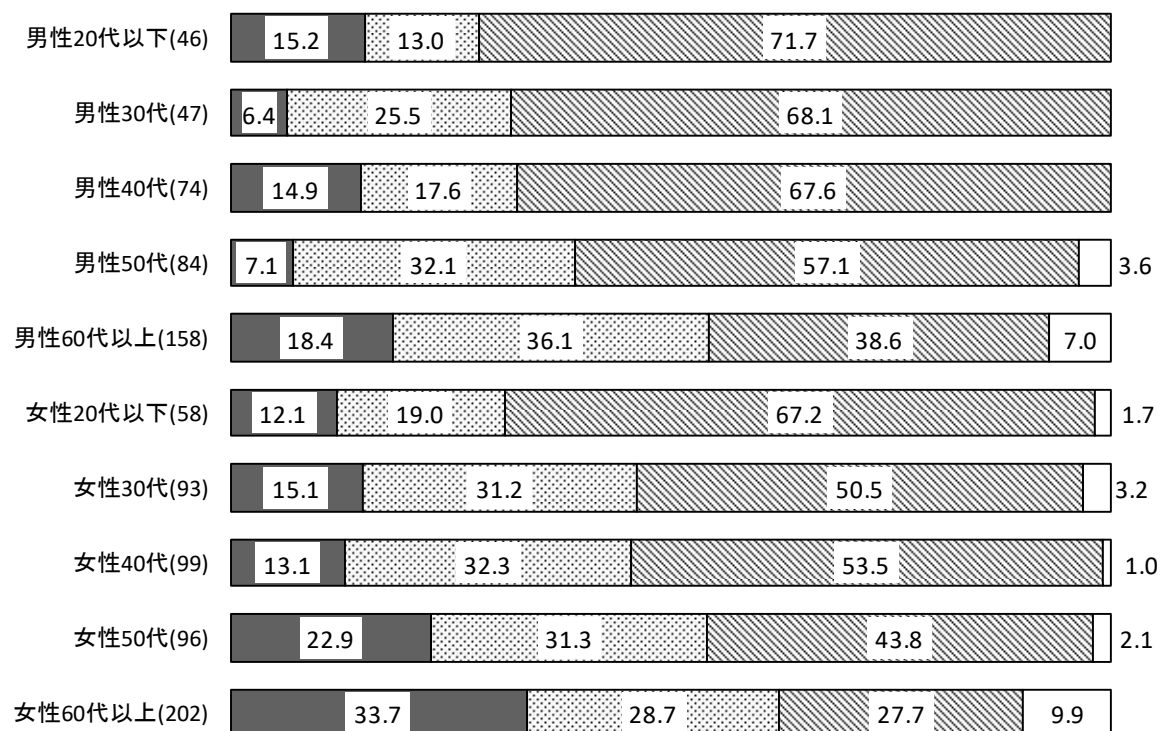
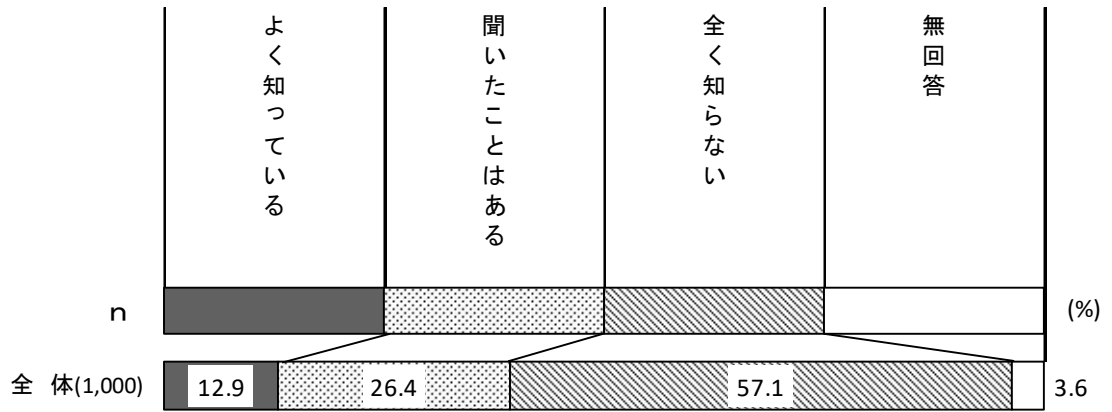


図3-2-14 川崎市(区)役所の取組への認知度

⑬地域包括支援センター <性別・性年代別>



【性別】



【性年代別】

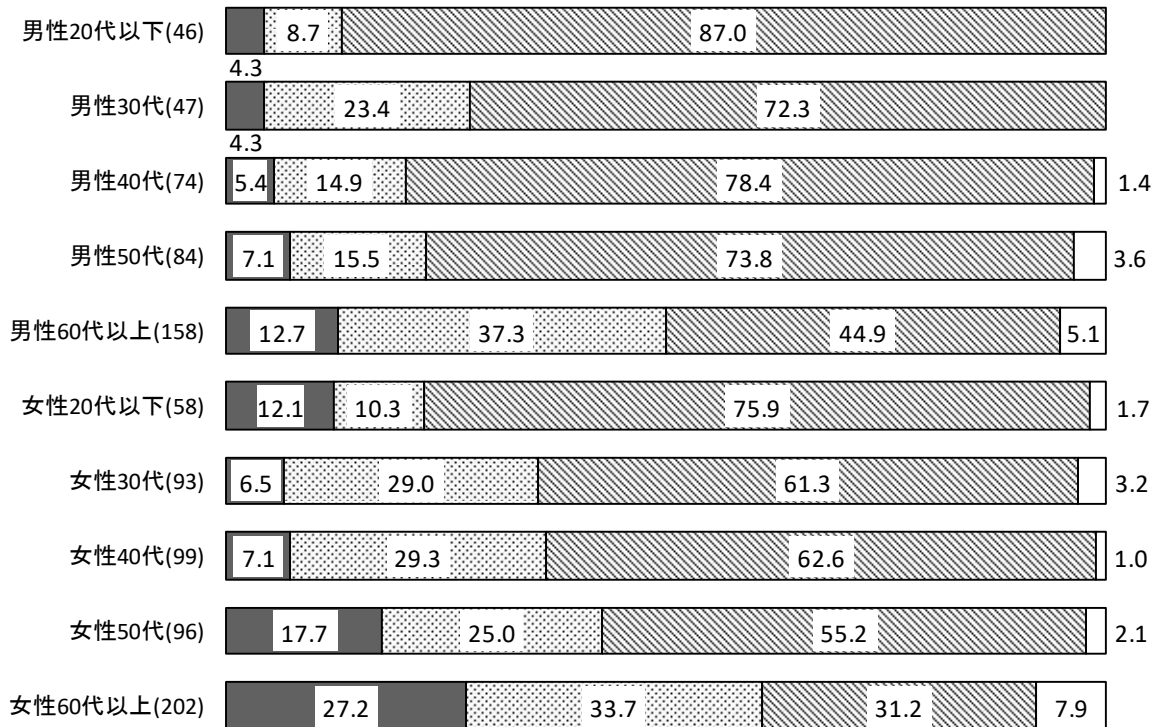
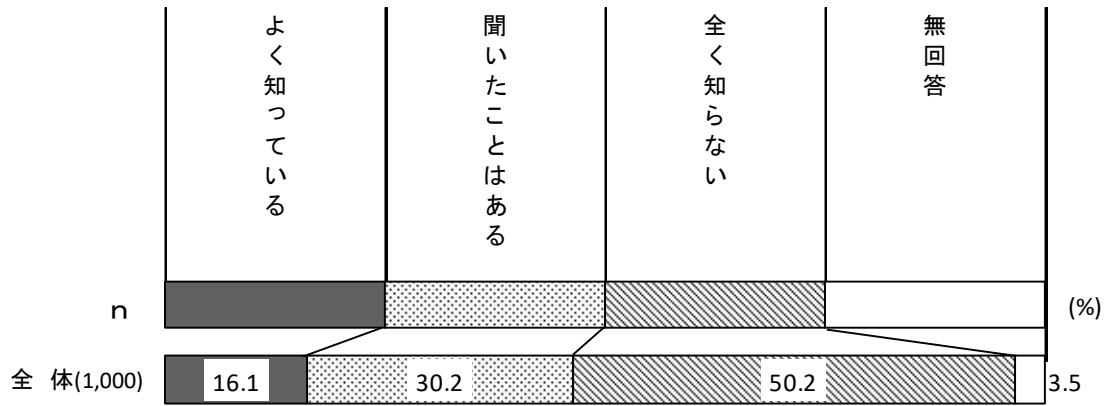


図3-2-15 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑭区の花（ビオラ・ひまわり）、区の木（銀杏・長十郎梨） <性別・性年代別>



【性別】



【性年代別】

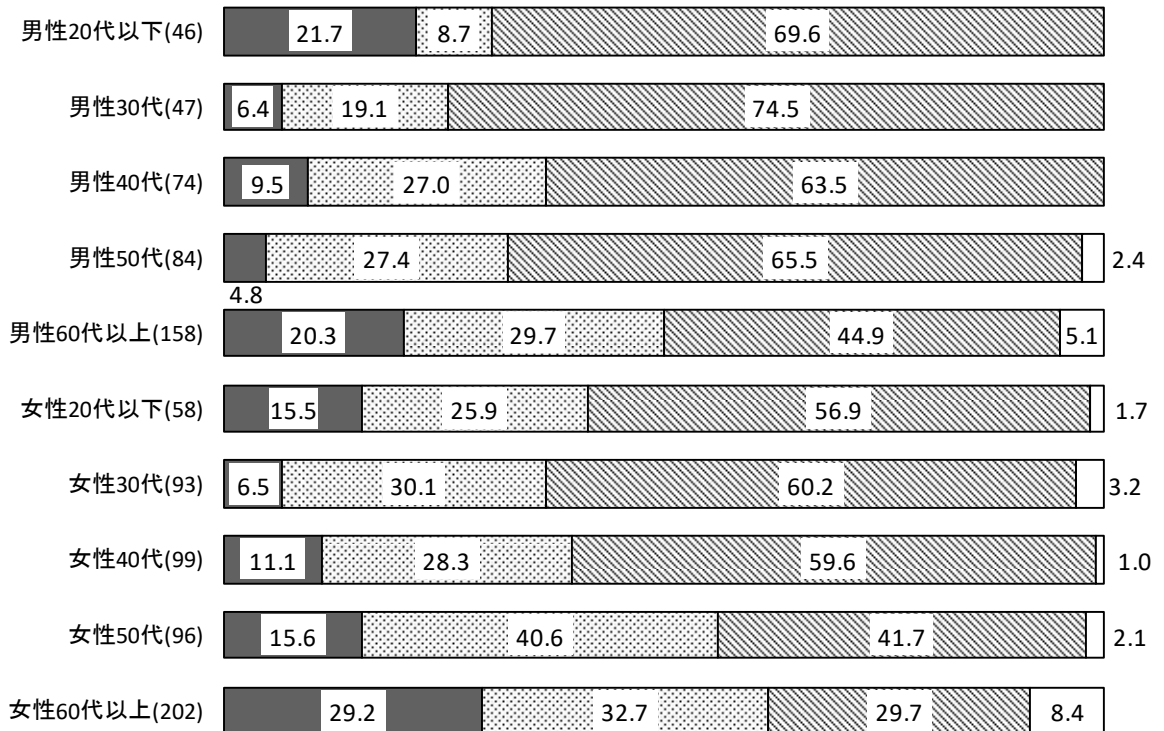


図3-2-16 川崎市(区)役所の取組への認知度
 ⑮いきいきかわさき区提案事業 <性別・性年代別>

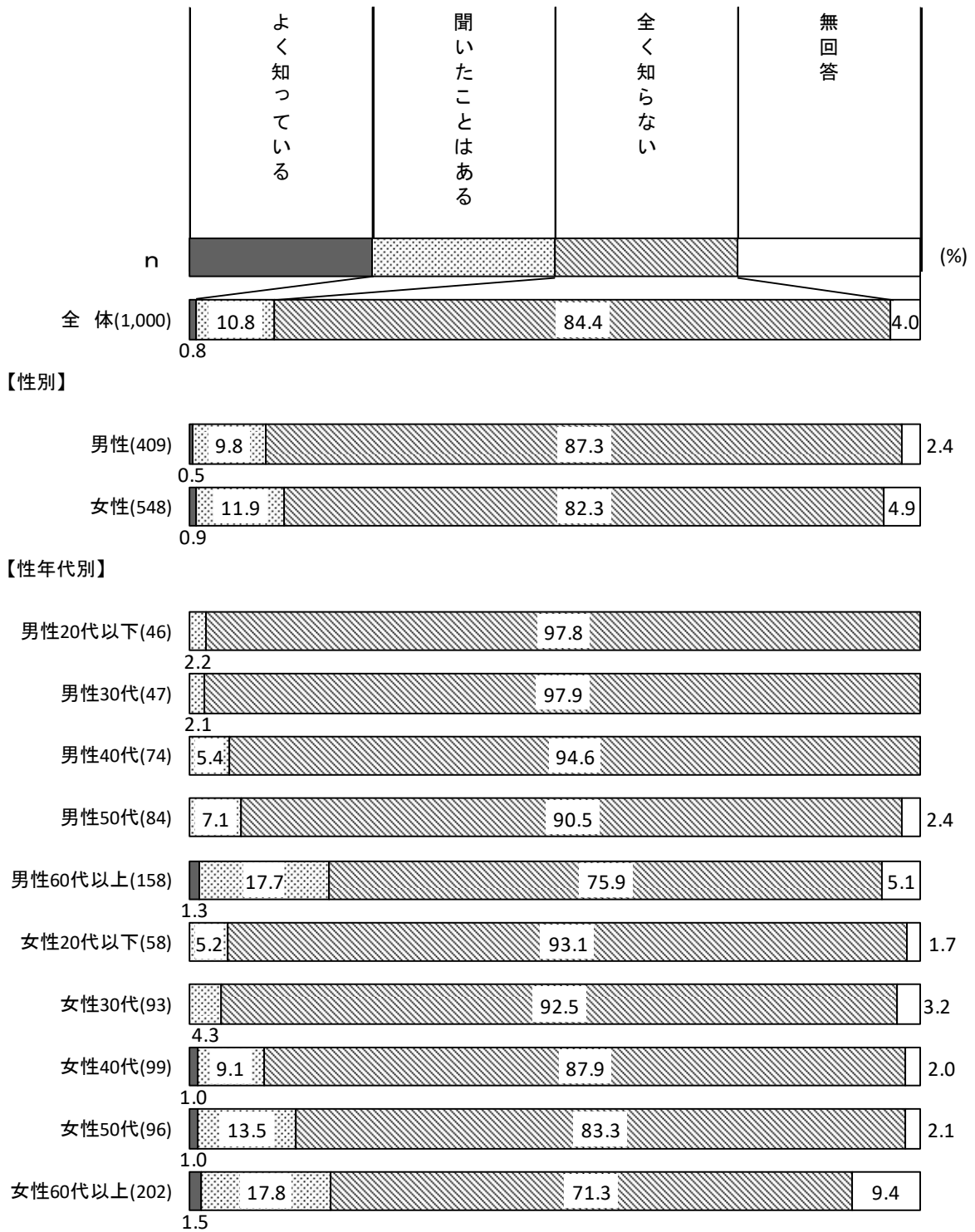


図3-2-17 川崎市（区）役所の取組への認知度

⑩区役所窓口の土曜開庁 <性別・性年代別>

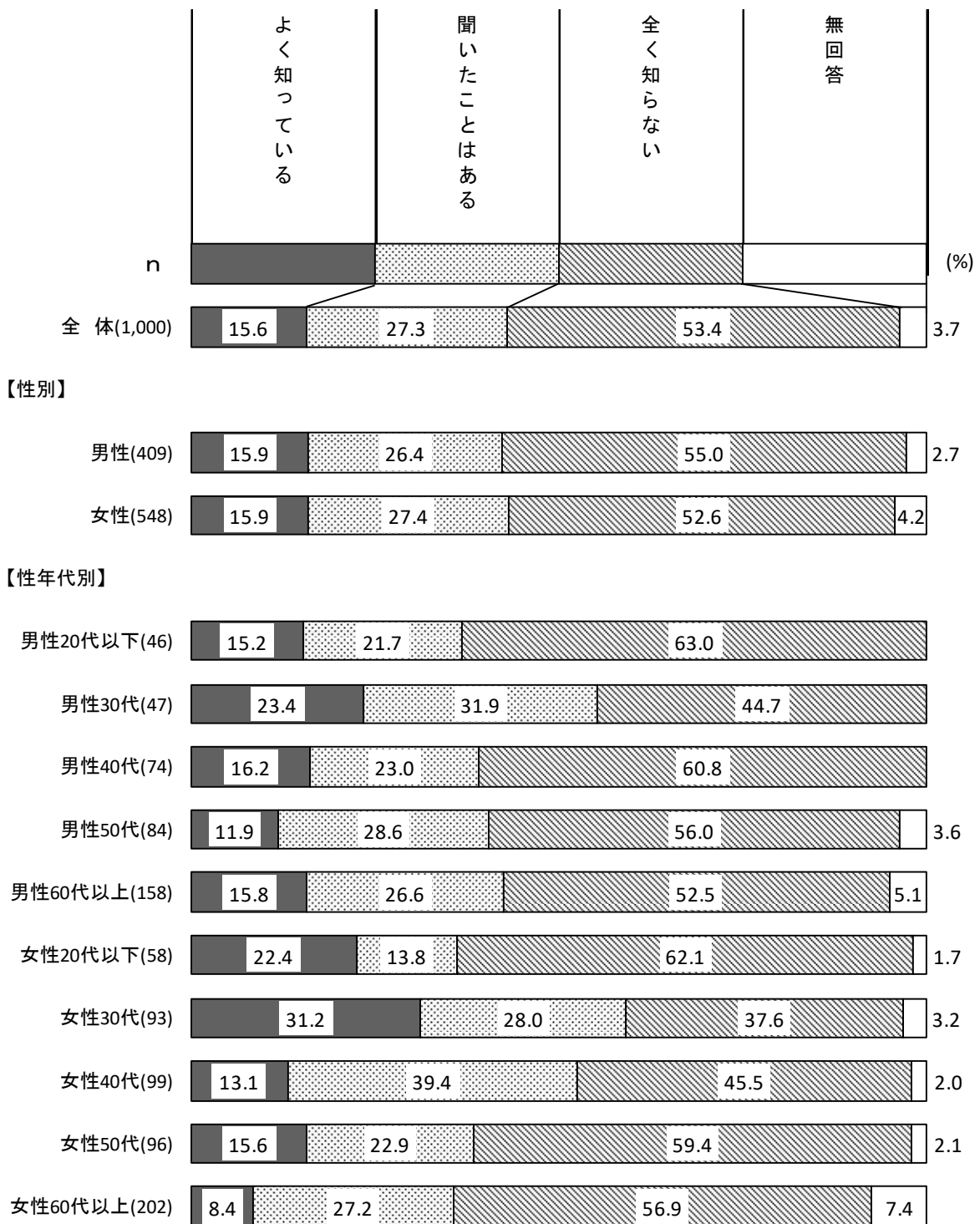


図3-2-18 川崎市(区)役所の取組への認知度
 ⑰住民票の写し等のコンビニ交付 <性別・性年代別>

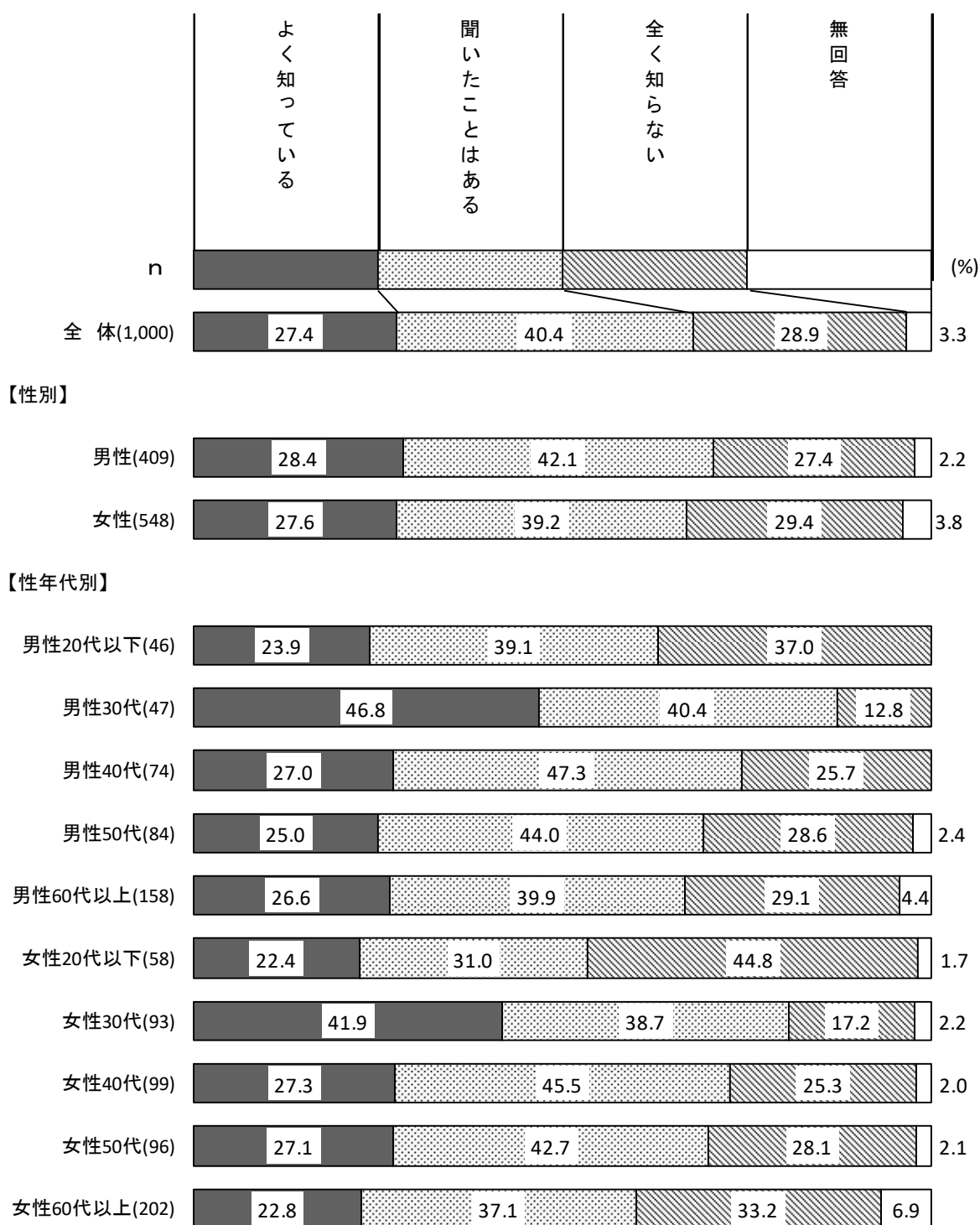


図3-2-19 川崎市(区)役所の取組への認知度

⑩教育文化会館の移転 <性別・性年代別>

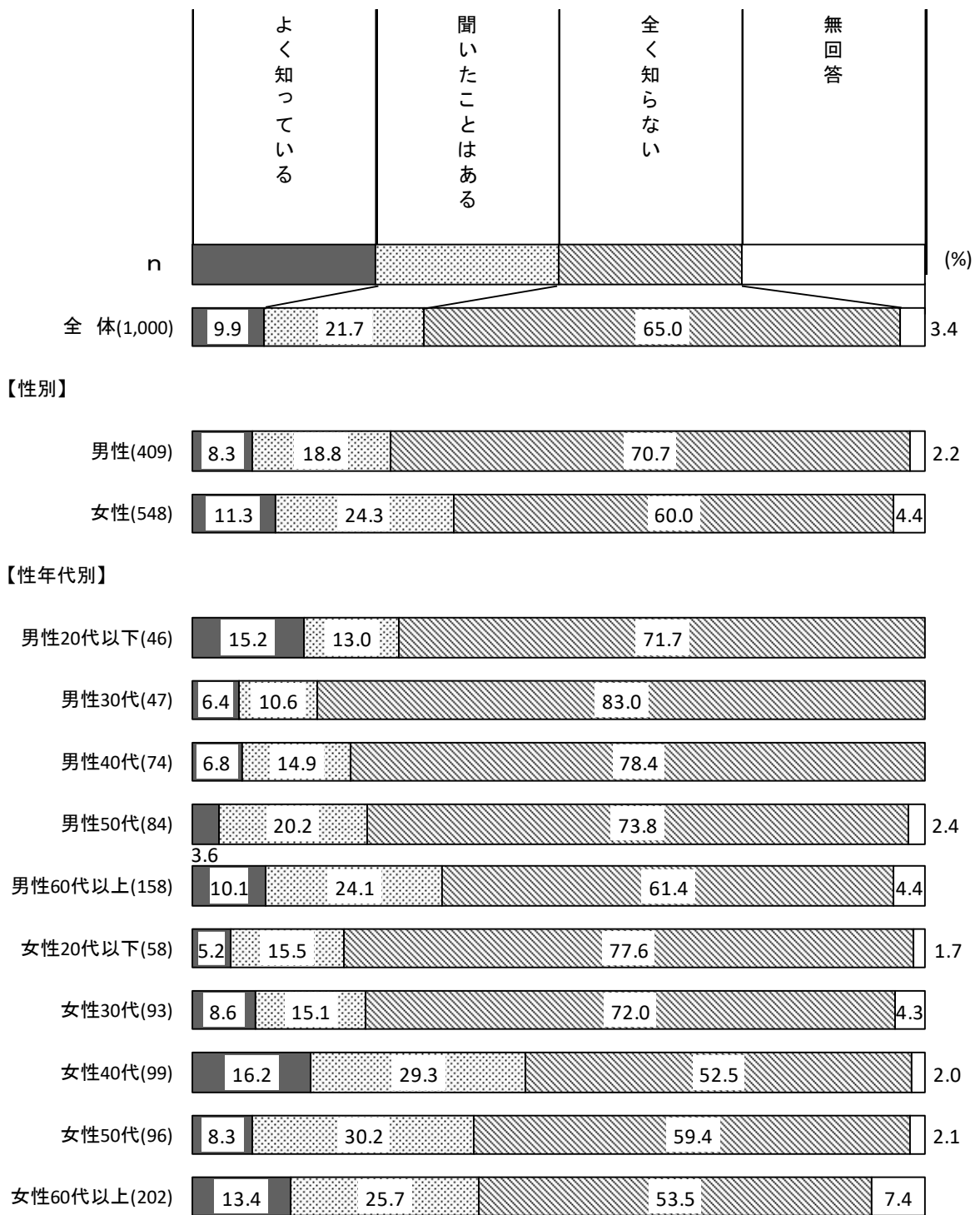


図3-2-20 川崎市(区)役所の取組への認知度

⑱支所の建て替え <性別・性年代別>

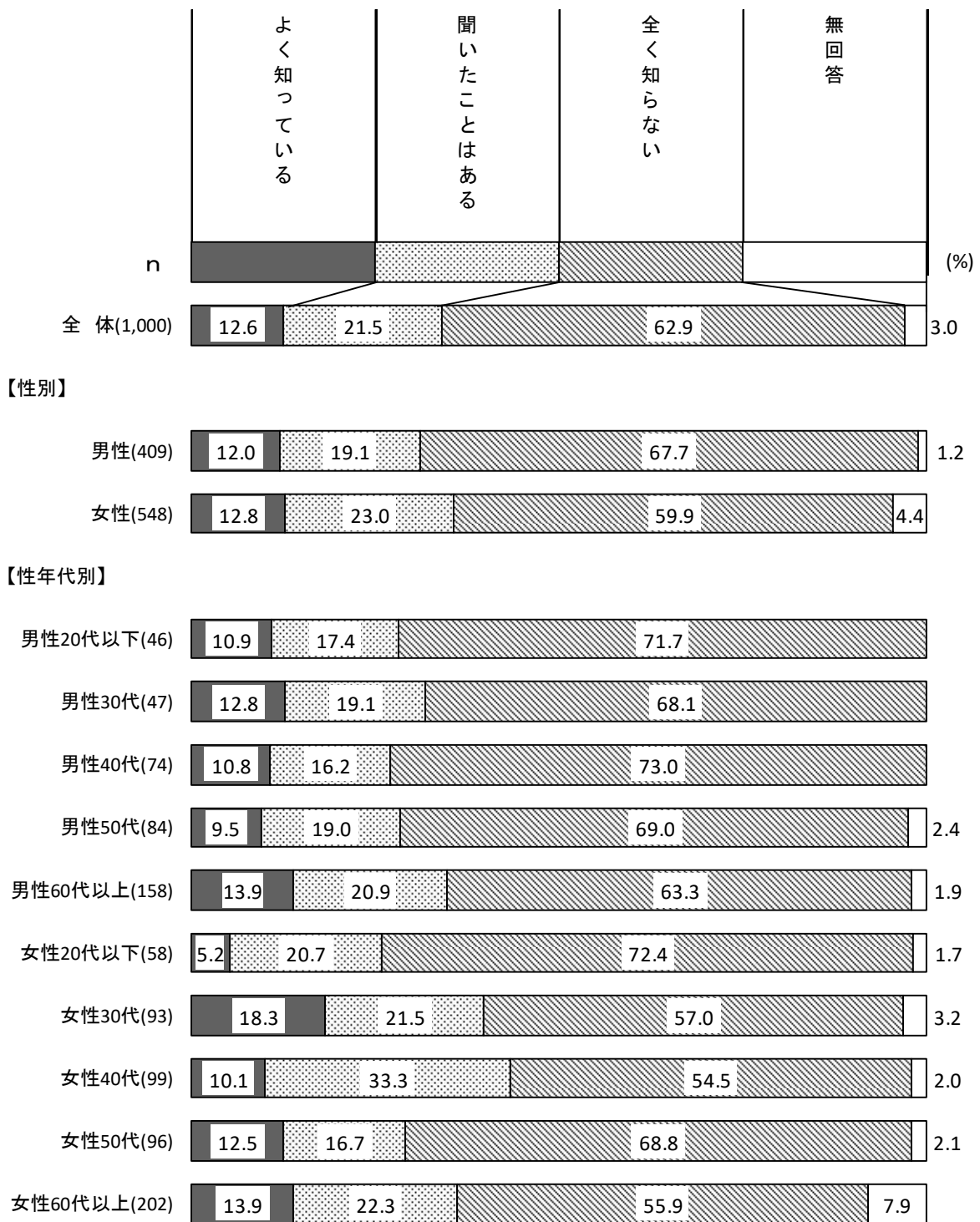
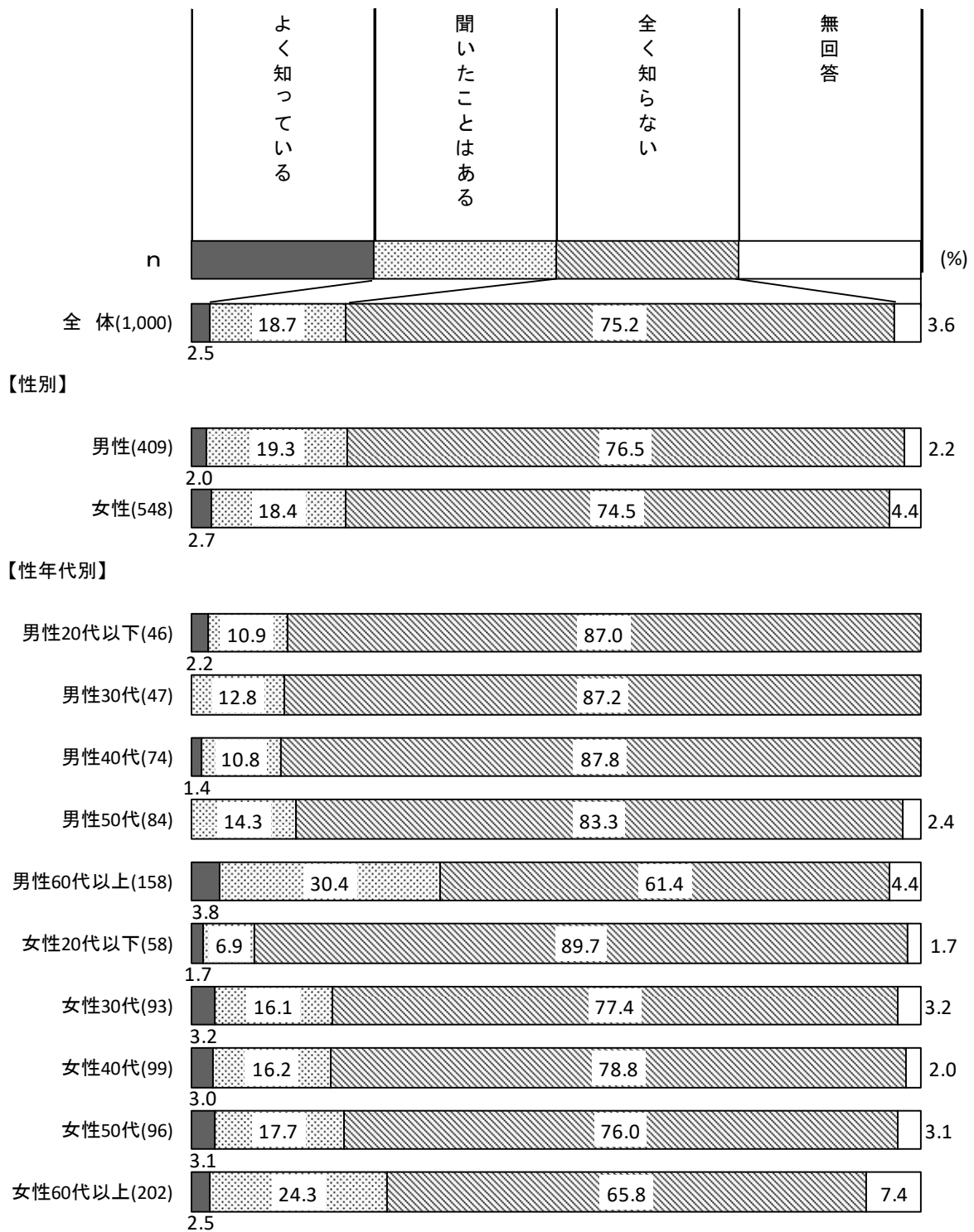


図3-2-21 川崎市（区）役所の取組への認知度 ⑳区役所・支所の機能・体制の見直し
（支所の申請・届出業務の区役所への一元化） <性別・性年代別>



(3) 川崎市（区）役所が特に力を入れるべきだと思う事業

問8 川崎区役所の事業で、今後、特に力を入れるべきだと思う事業を教えてください。

(あてはまるものに、5つまで○)

全 体 「防災対策」(52.1%)が最も高く、次いで「防犯・防火対策」(50.5%)、「高齢者福祉」(39.8%)となっている。(図3-3-1)

性 別 上位8項目の中では、性別に大きな差は見られなかった。(図3-3-2)

性 年 代 別 「高齢者福祉」では、「男性60代以上」(58.2%)、「女性60代以上」(56.4%)と、年代が高くなるにつれ割合が高くなっている。「子育て支援」では、「女性30代」(58.1%)、「男性30代」(53.2%)が他の性年代に比べ高くなっている。(図3-3-2)

居 住 年 数 別 「防災対策」、「高齢者福祉」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっている。「環境美化・地域緑化」、「交通安全対策」で「3年以上10年未満」(44.4%、38.6%)が、「子育て支援」で「3年未満」(43.3%)が、「教育」で「10年以上20年未満」(33.1%)がそれぞれ最も高くなっている。(図3-3-3)

図3-3-1 川崎市（区）役所が特に力を入れるべきだと思う事業

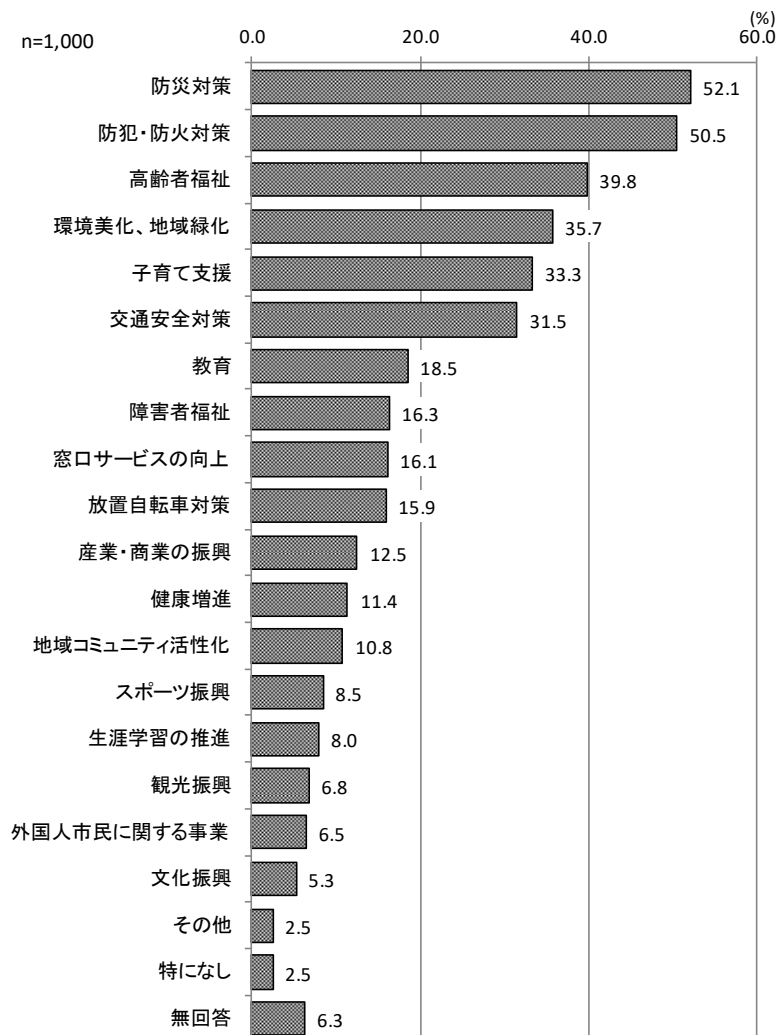


図3-3-2 川崎市（区）役所が特に力を入れるべきだと思う事業 <性別・性年代別>
(上位8項目)

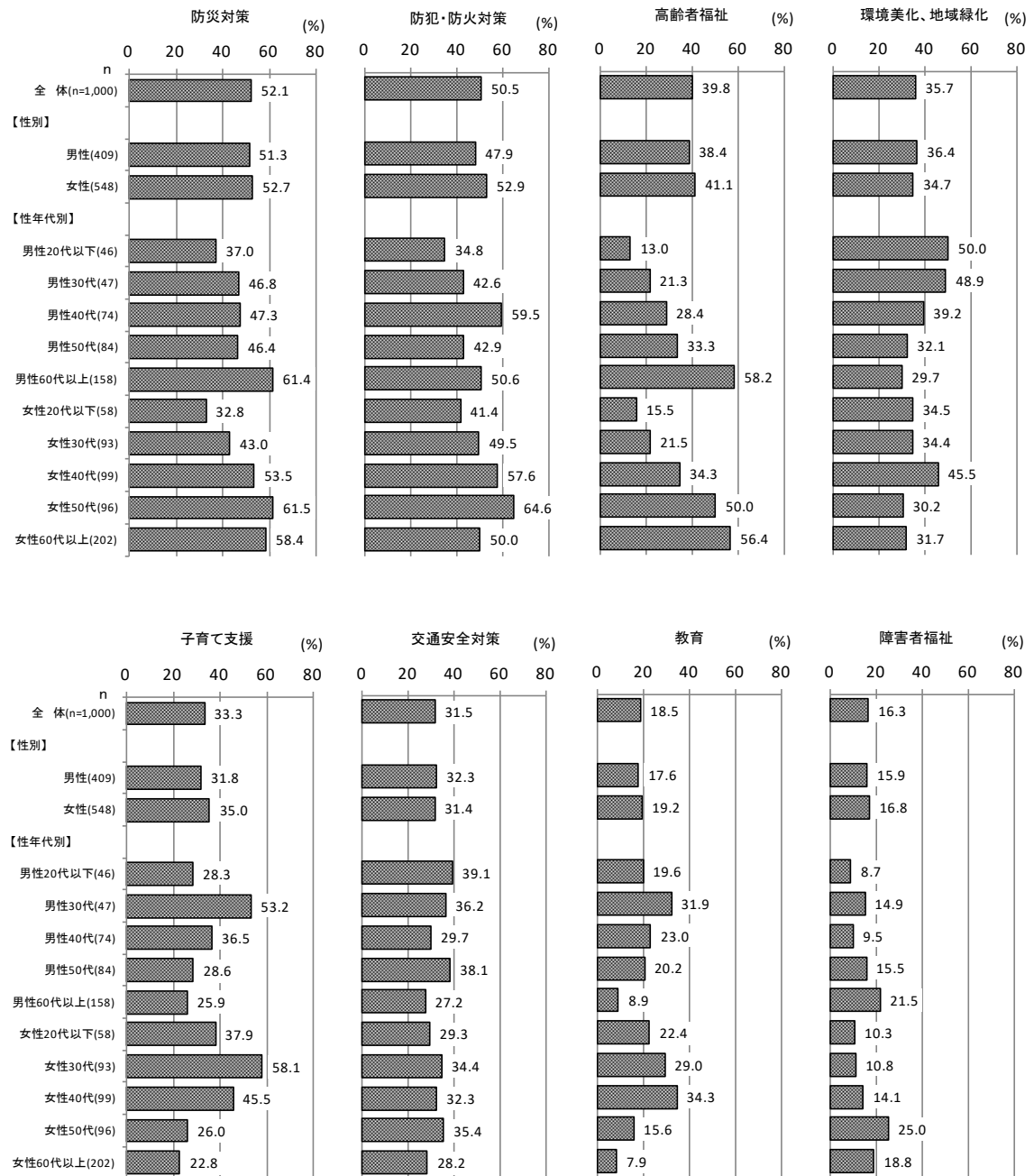
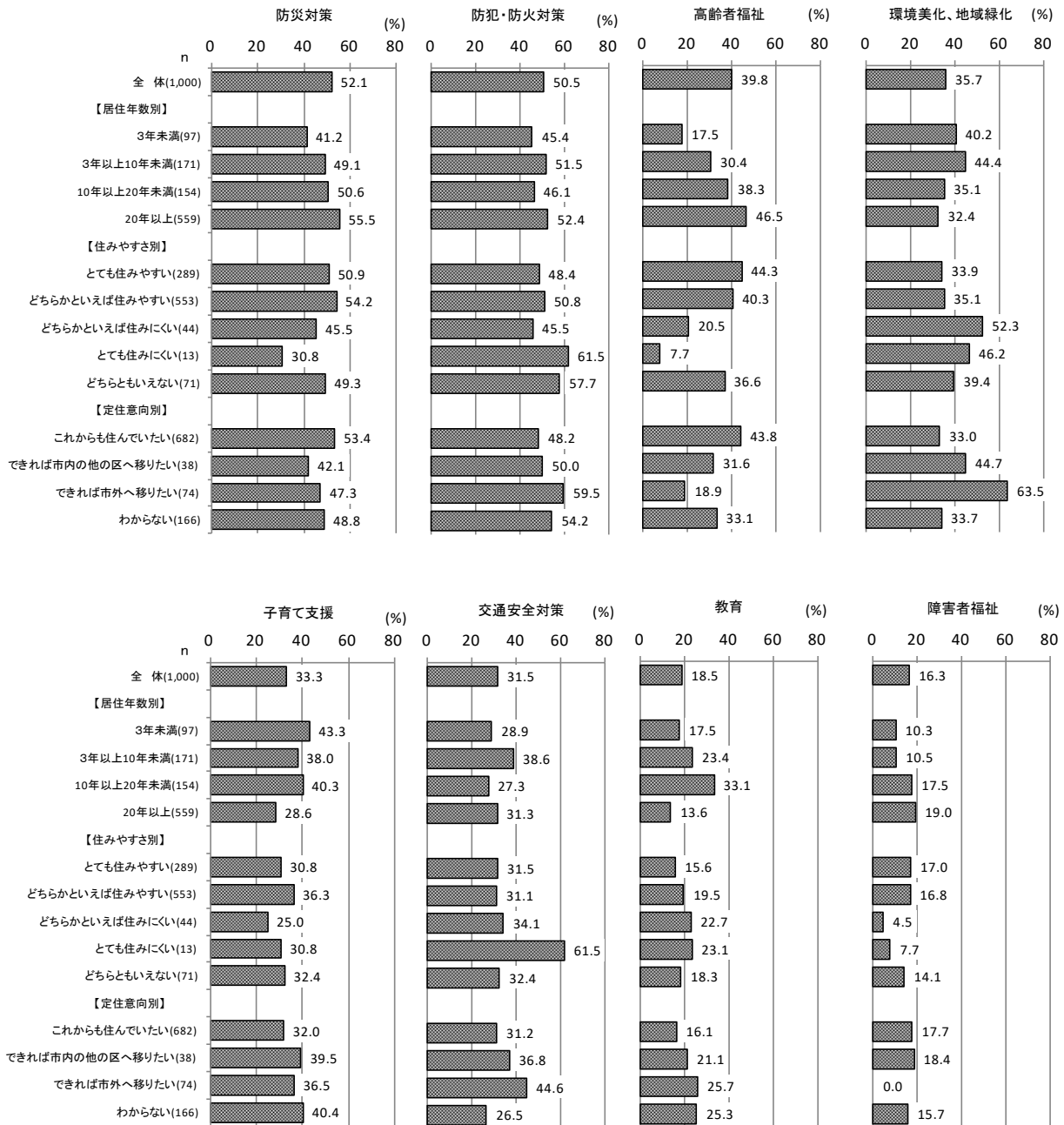


図3-3-3 川崎市（区）役所が特に力を入れるべきだと思う事業

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

(上位8項目)



(4) 行政情報の入手手段

問9 市役所・区役所からの行政情報をどのように入手していますか。

(あてはまるものに、5つまで○)

全体 「市政だより」(55.5%)が最も高く、次いで「町内会の回覧板」(28.3%)、「市や町内会の掲示板」(21.6%)、「タウン情報誌」(20.5%)となっている。一方、「特に情報は入手してない」は22.4%となっている。(図3-4-1)

性別 上位7項目及び「特に情報は入手してない」の中では、「市政だより」で、「女性」(58.9%)が「男性」(50.4%)よりも8.5ポイント、「町内会の回覧板」で「女性」(31.6%)が「男性」(23.0%)より8.6ポイント高くなっている。(図3-4-2)

性年代別 上位7項目のうち上位5項目において、女性は、年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。「市政だより」では、「男性60代以上」で71.5%となっている。一方、「男性20代以下」で13.0%と、年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向がある。「特に情報は入手してない」では、「男性20代以下」(58.7%)、「女性20代以下」(51.7%)で5割台と、他の性年代に比べて高くなっている。(図3-4-2)

居住年数別 上位7項目のうち上位5項目において、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっている。「特に情報は入手してない」では居住年数が短いほど割合が高くなっている。(図3-4-3)

図3-4-1 行政情報の入手手段

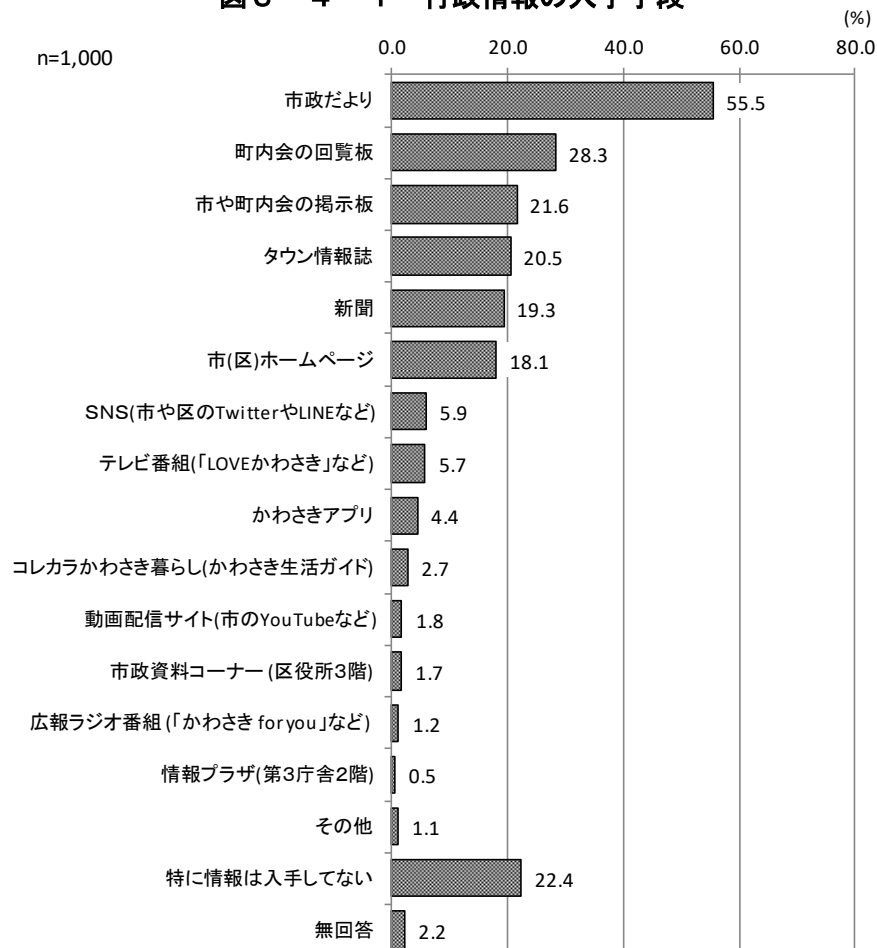


図3-4-2 行政情報の入手手段 <性別・性年代別>

(上位7項目+「特に情報は入手してない」)

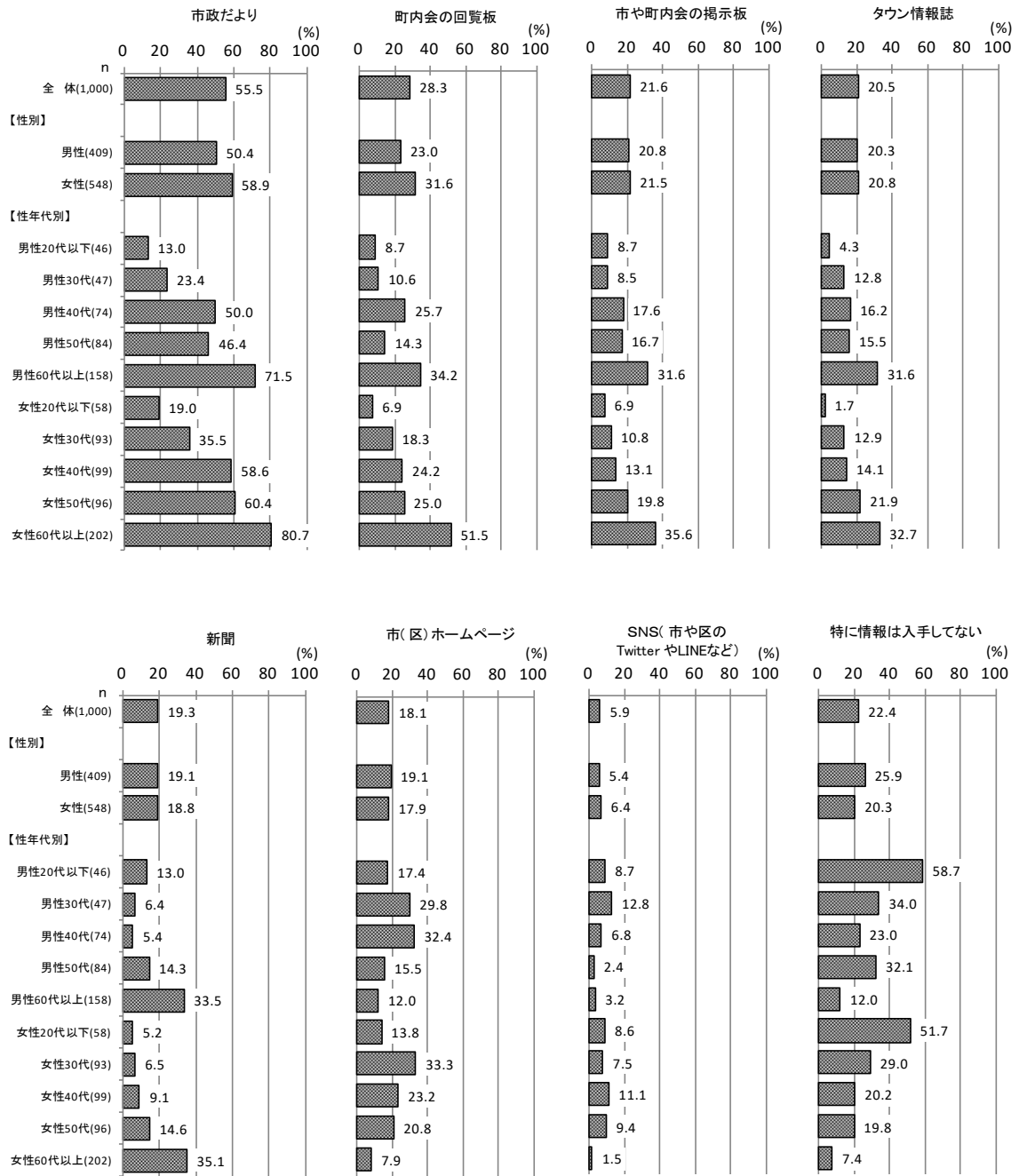
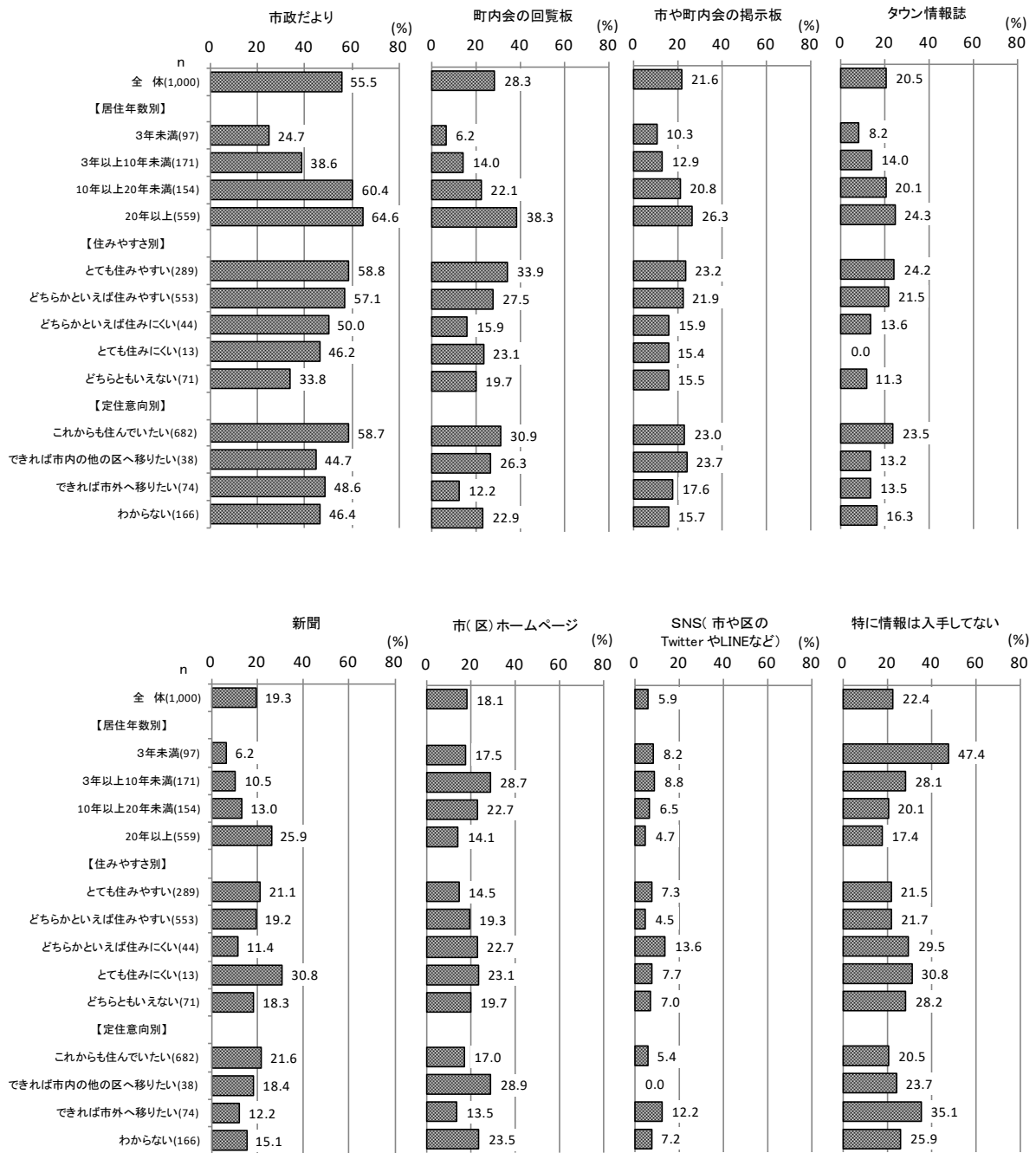


図3-4-3 行政情報の入手手段 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>
(上位7項目+「特に情報は入手してない」)



(5) 「市政だより」に取り上げて欲しいテーマ

問 10 市政だより川崎区版は、どのようなテーマを取り上げて欲しいですか。

(あてはまるものに、5つまで○)

- 全 体** 「防災情報」(48.0%)が最も高く、次いで「イベント・講座開催情報」(33.9%)、「高齢者福祉情報」(31.7%)となっている。一方、「特になし」は13.8%となっている。(図3-5-1)
- 性 別** 上位8項目の中では、「イベント・講座開催情報」で「女性」(38.0%)が「男性」(28.6%)より9.4ポイント、「区の事業紹介」で、「男性」(21.8%)が「女性」(16.2%)より5.6ポイント高くなっている。(図3-5-2)
- 性 年 代 別** 「防災情報」では、男性・女性ともに年代が高くなるにつれて割合が高くなっている。「男性60代以上」では「高齢者福祉情報」(60.8%)が、「女性20代以下」では「イベント・講座開催情報」(36.2%)が、「女性30代」では「子育て情報」(49.5%)がそれぞれ最も高くなっている。他の性年代では「防災情報」が最も高くなっている。(図3-5-2)
- 居 住 年 数** 「防災情報」、「高齢者福祉情報」、「地域コミュニティ情報」、「区役所窓口情報」では居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっている。(図3-5-3)

図3-5-1 「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ

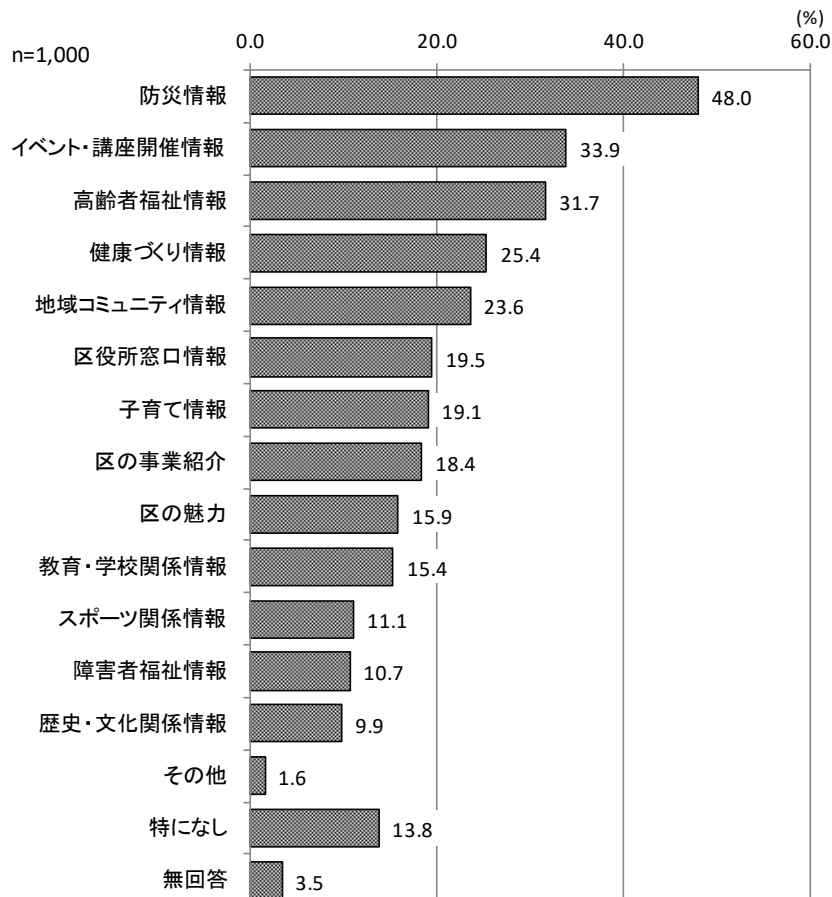


図3-5-2 「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ <性別・性年代別>

(上位8項目)

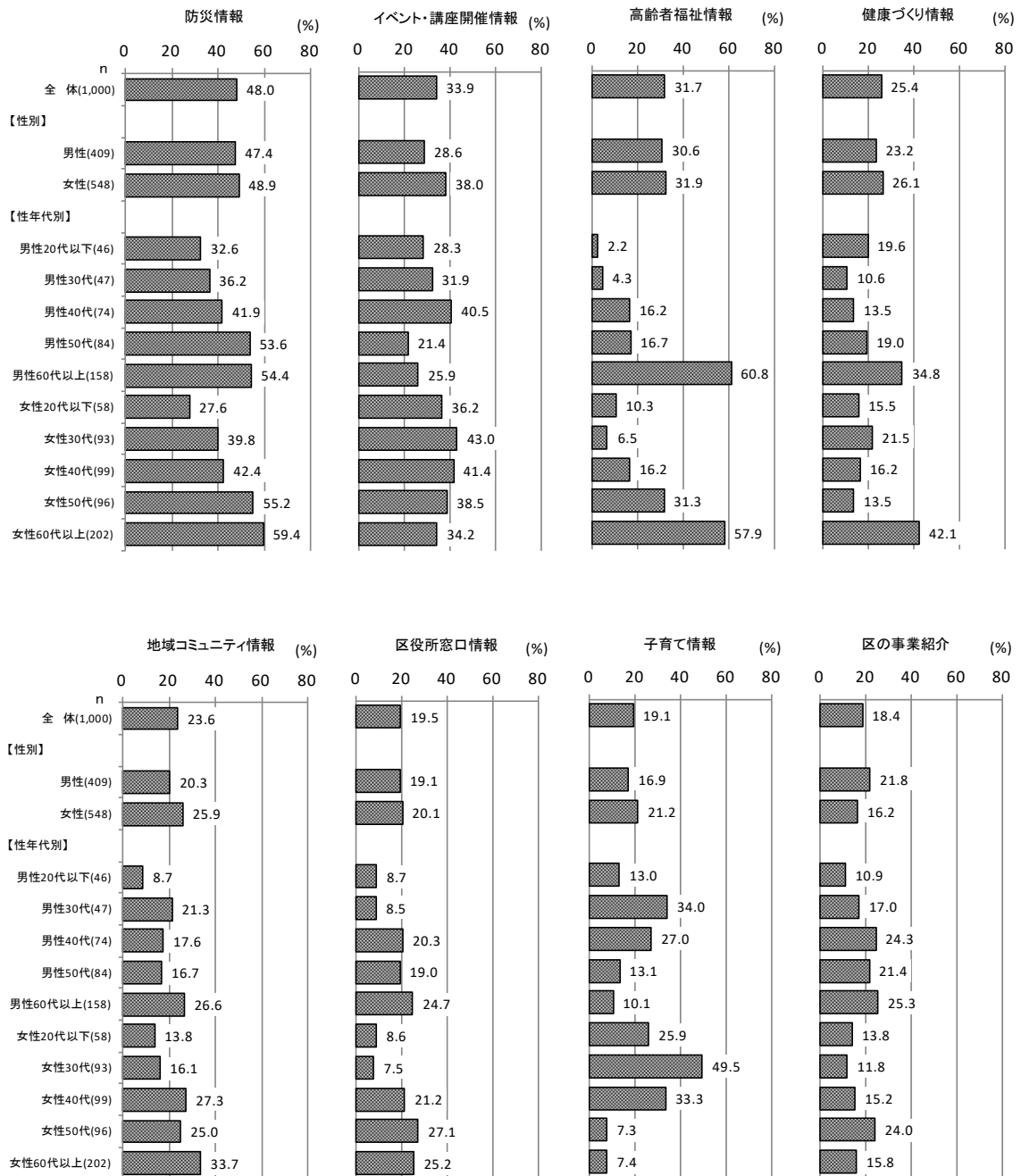
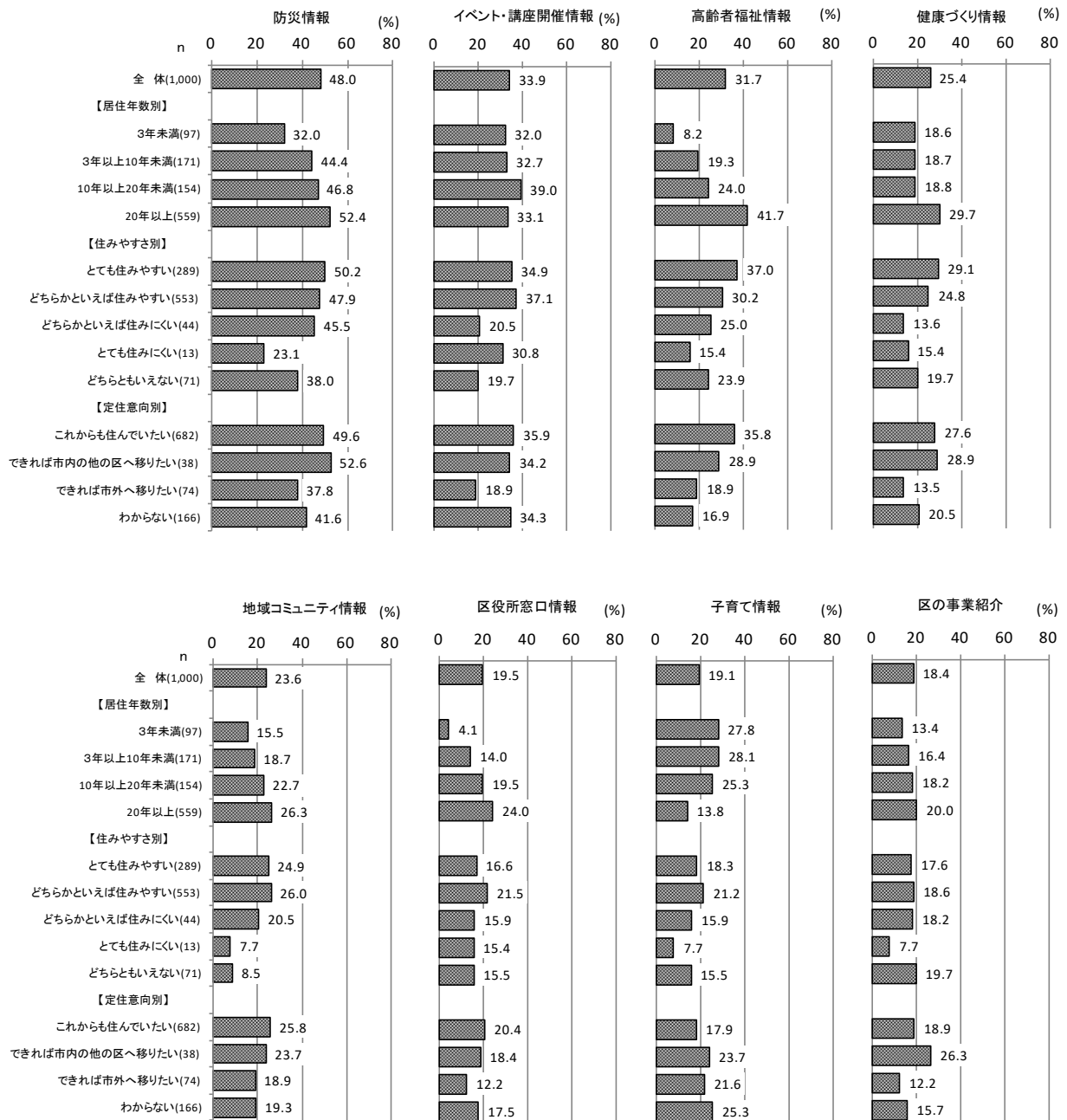


図3-5-3 「市政だより」で取り上げて欲しいテーマ
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位8項目)



4 防災や風水害時の避難予定場所について

(1) 実践している防災の取組

問 11 防災の取組として実践していることを教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

- 全 体** 「非常食・飲料水の備蓄」(59.3%)が最も高く、次いで「ハザードマップの確認(自宅周辺の危険要素の把握)」(57.5%)、「家族との連絡手段の確認」(36.3%)となっている。一方、「特になし」は10.5%となっている。(図4-1-1)
- 性 別** 上位8項目の中では、「非常食・飲料水の備蓄」で、「女性」(63.5%)が「男性」(54.3%)より9.2ポイント高くなっている。(図4-1-2)
- 性 年 代 別** 「ハザードマップの確認(自宅周辺の危険要素の把握)」では、男性・女性ともに30代以上で5割後半以上と高くなっている。「家族との連絡手段の確認」では、「男性20代以下」(47.8%)、「男性30代」(46.8%)、「男性40代」(47.3%)が他の性年代と比べて高くなっている。(図4-1-2)
- 居住年数別** 「非常食・飲料水の備蓄」、「ハザードマップの確認(自宅周辺の危険要素の把握)」では居住年数に関わらず5割以上と高くなっており、ともに「10年以上20年未満」(68.2%、63.6%)が最も高くなっている。(図4-1-3)

図4-1-1 実践している防災の取組

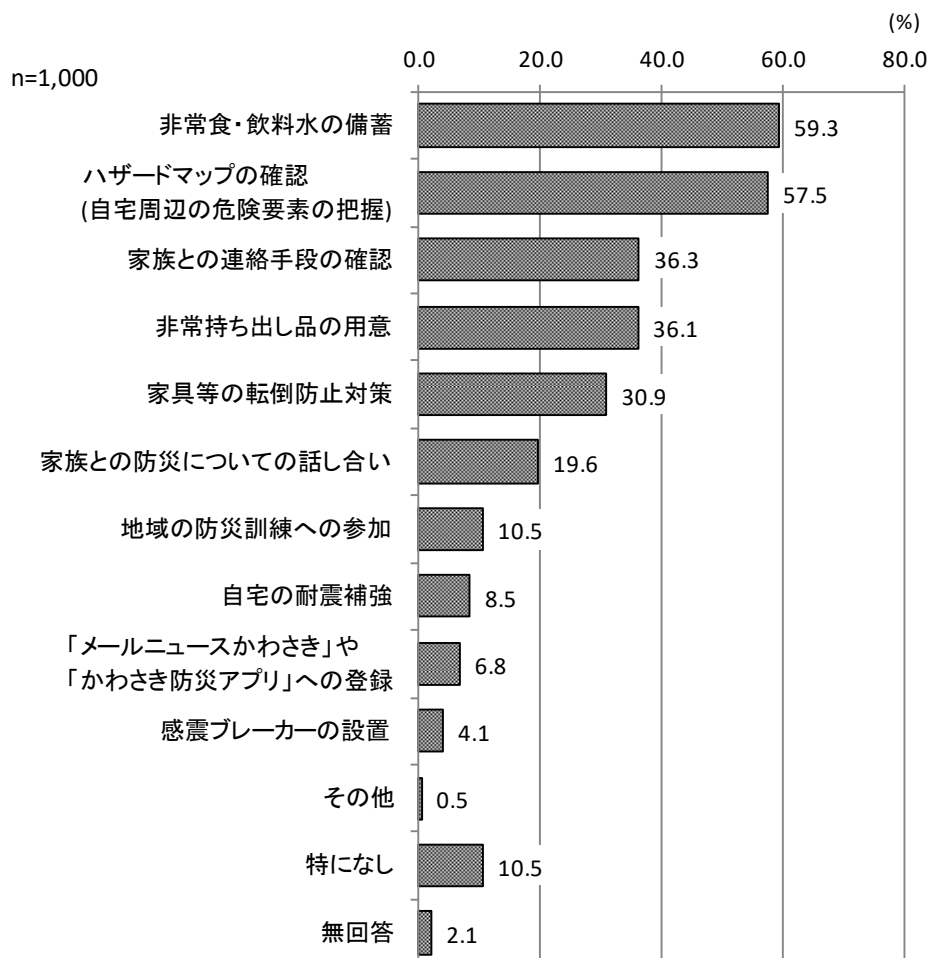


図4-1-2 実践している防災の取組 <性別・性年代別>

(上位8項目)

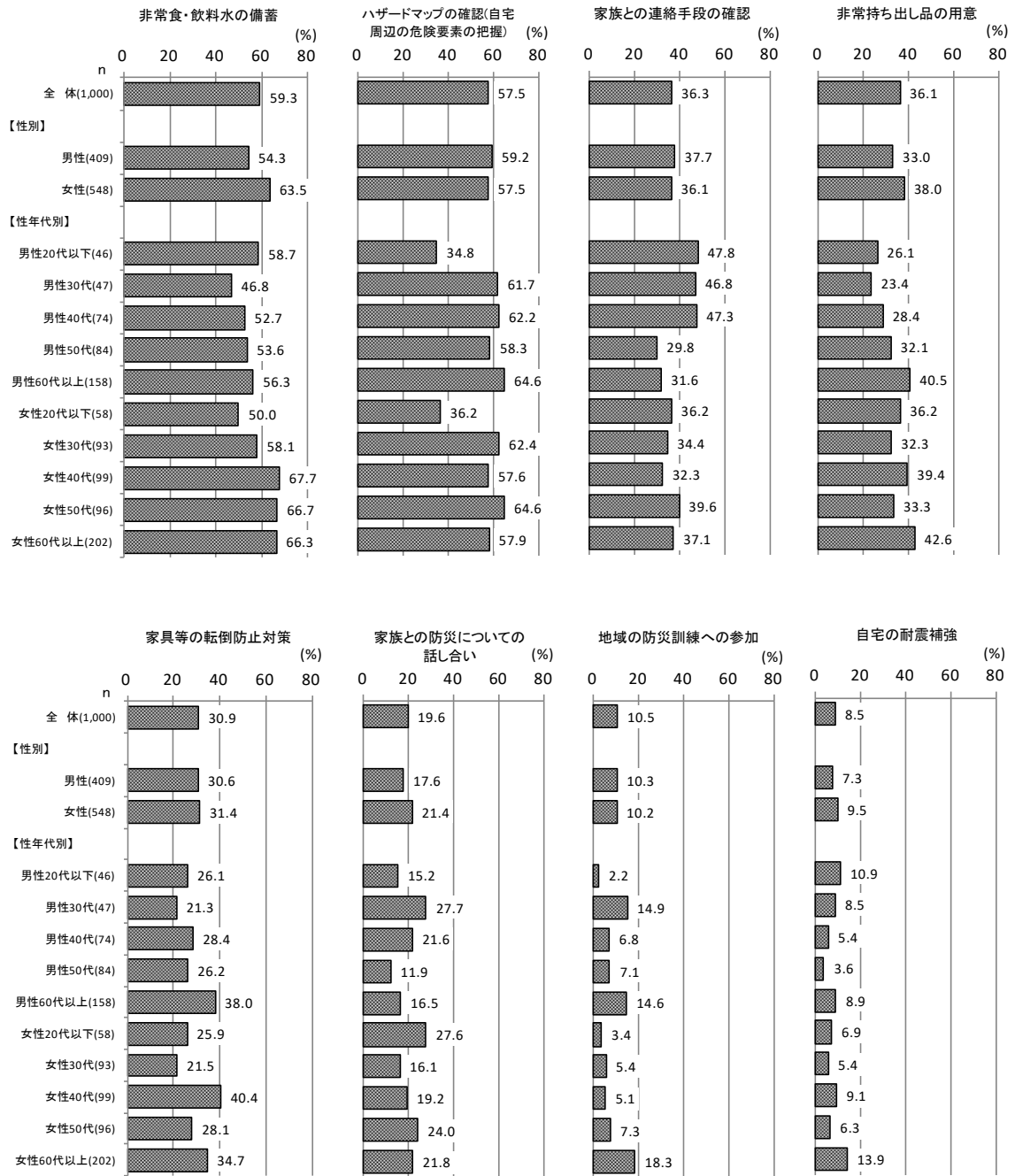
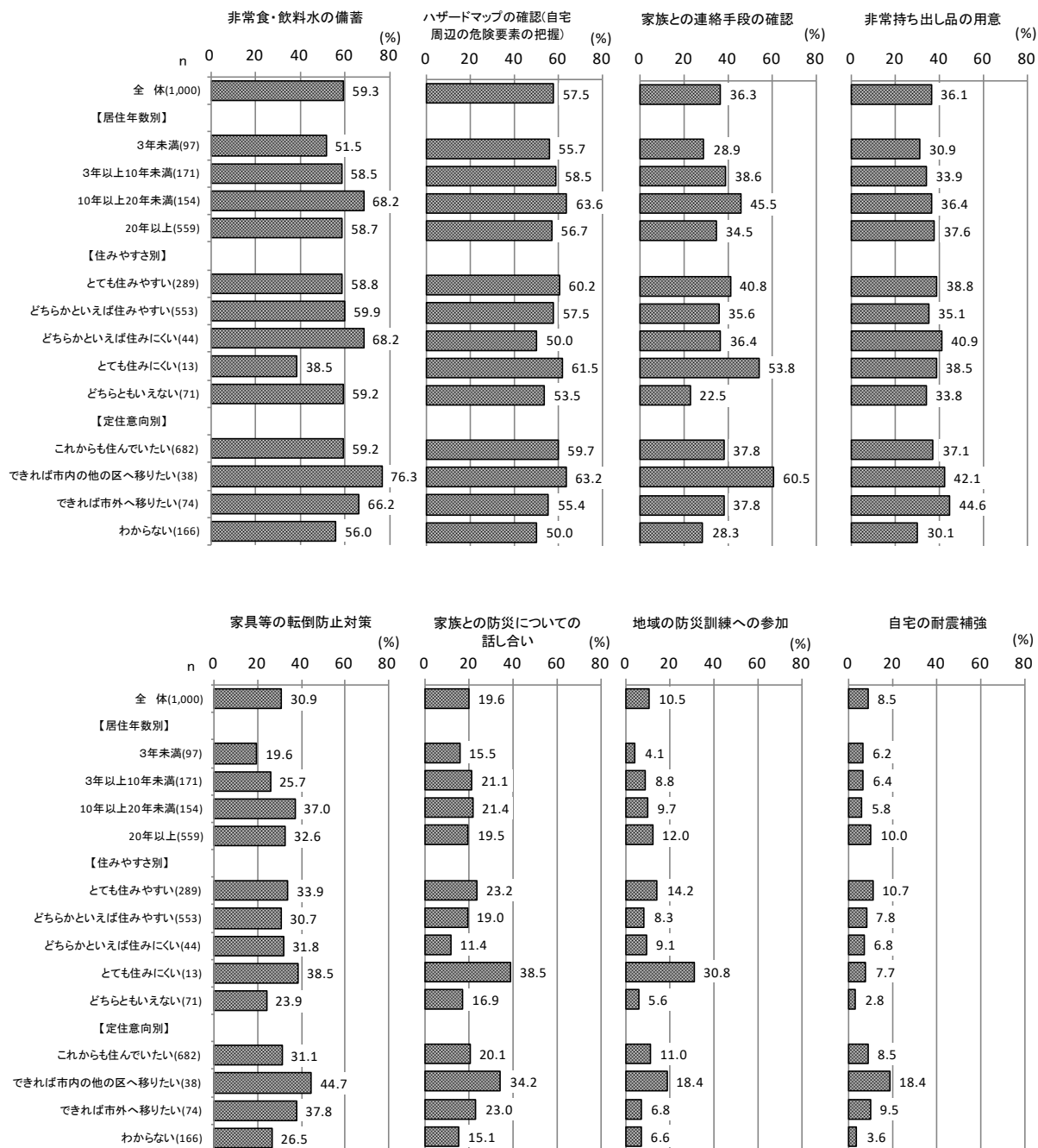


図4-1-3 実践している防災の取組 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>
(上位8項目)



(2) 災害時の防災情報の収集手段

問 12 災害時、どのように防災情報を集めようとしているかを教えてください。

(あてはまるもの、すべてに○)

- 全 体** 「テレビ」(70.9%) が最も高く、次いで「携帯電話やスマートフォンの緊急速報メール」(64.4%)、「インターネット」(56.5%) となっている。(図4-2-1)
- 性 別** 上位8項目の中では、「インターネット」で「男性」(61.1%) が「女性」(54.0%) より7.1ポイント高く、「防災行政無線(屋外スピーカー)」で「女性」(28.5%) が「男性」(21.8%) より6.7ポイント高くなっている。(図4-2-2)
- 性 年 代 別** 「インターネット」では、男性・女性ともに20代以下から40代で7割以上となっている。「SNS(TwitterやLINEなど)」では、「男性20代以下」(63.0%) で6割前半と高くなっている。「男性50代」(16.7%)、「男性60代以上」(19.6%) と、男性・女性ともに年代が高くなるにつれて割合が低くなる傾向がある。「市や区の広報車」では、「女性60代以上」(38.6%) が他の性年代に比べて高くなっている。(図4-2-2)

図4-2-1 災害時の防災情報の収集手段

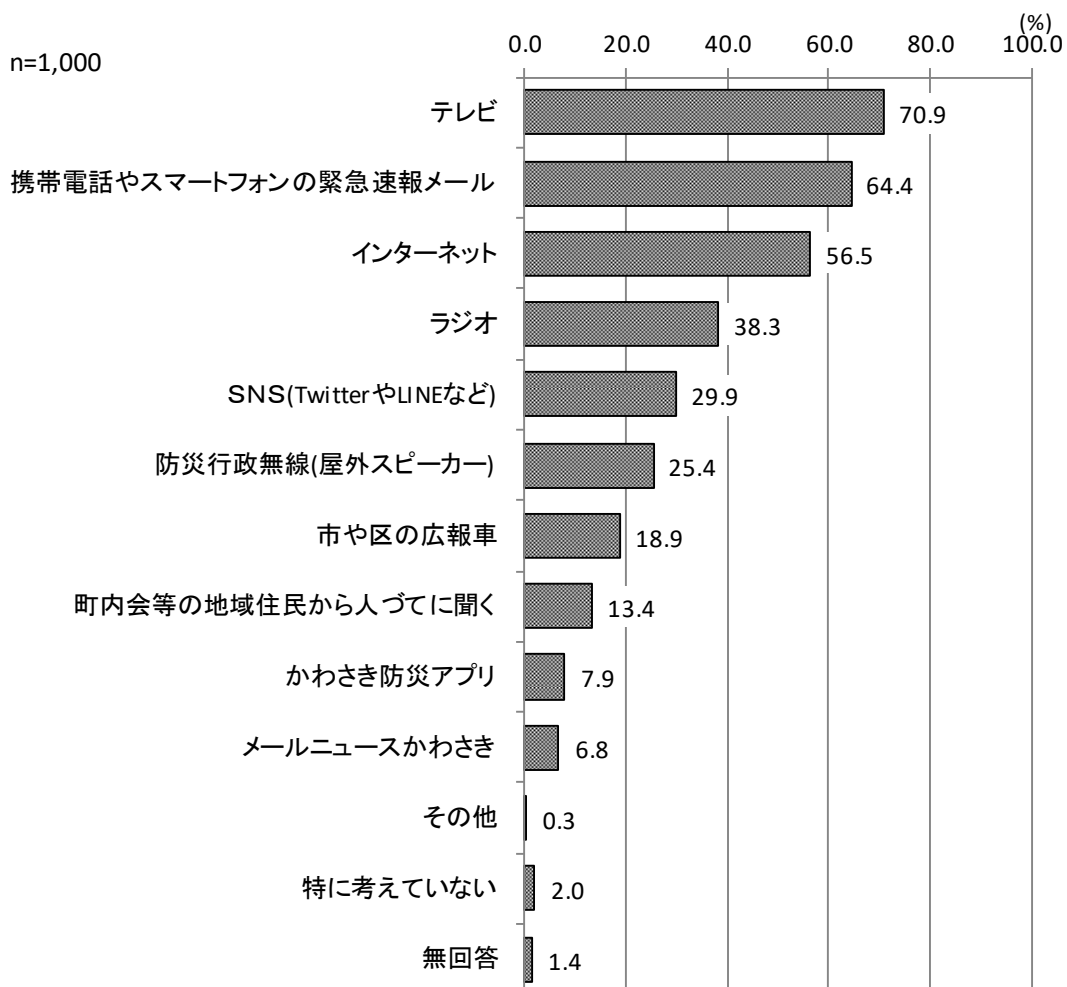
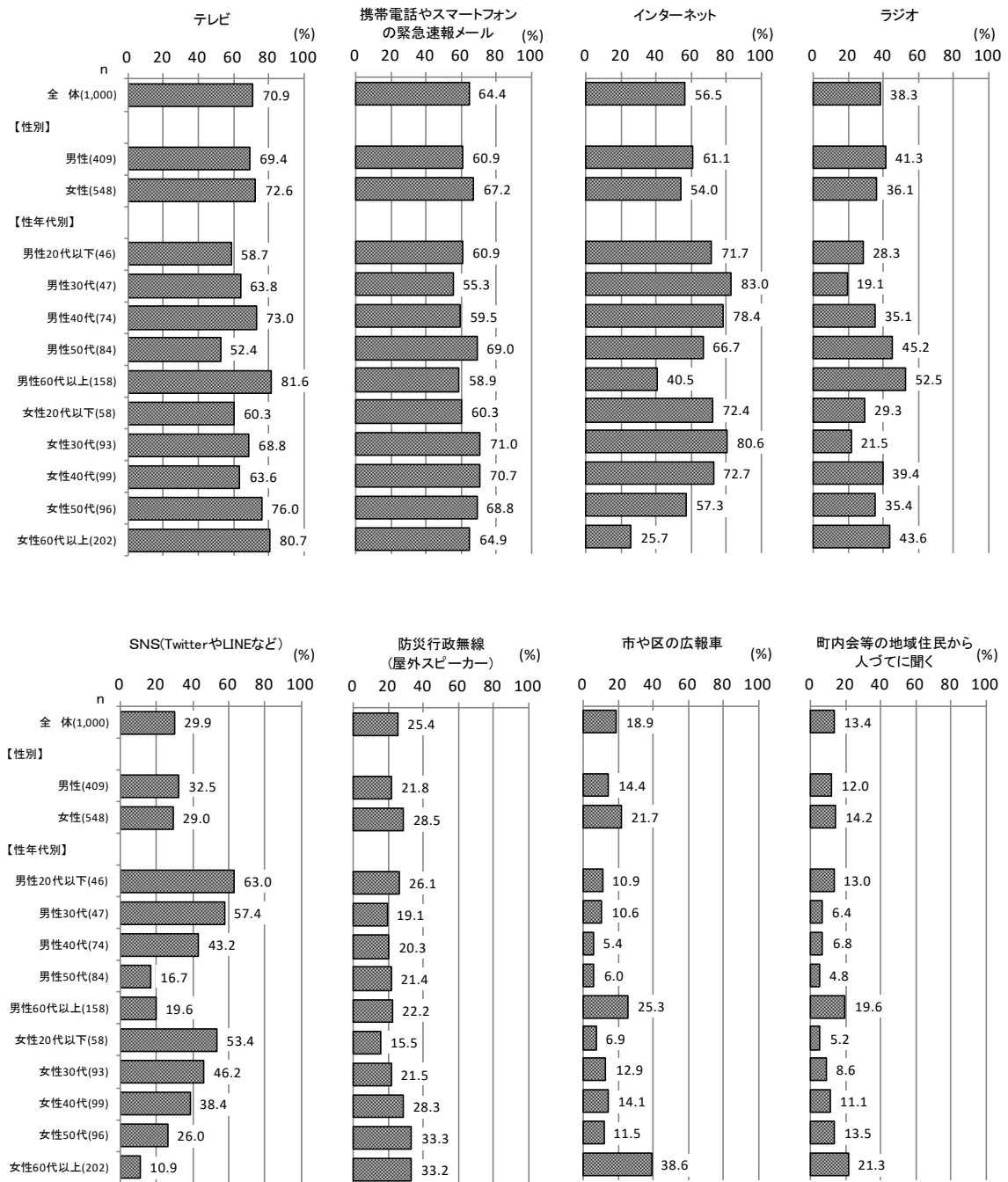


図4-2-2 災害時の防災情報の収集手段 <性別・性年代別>

(上位8項目)



(3) 避難場所

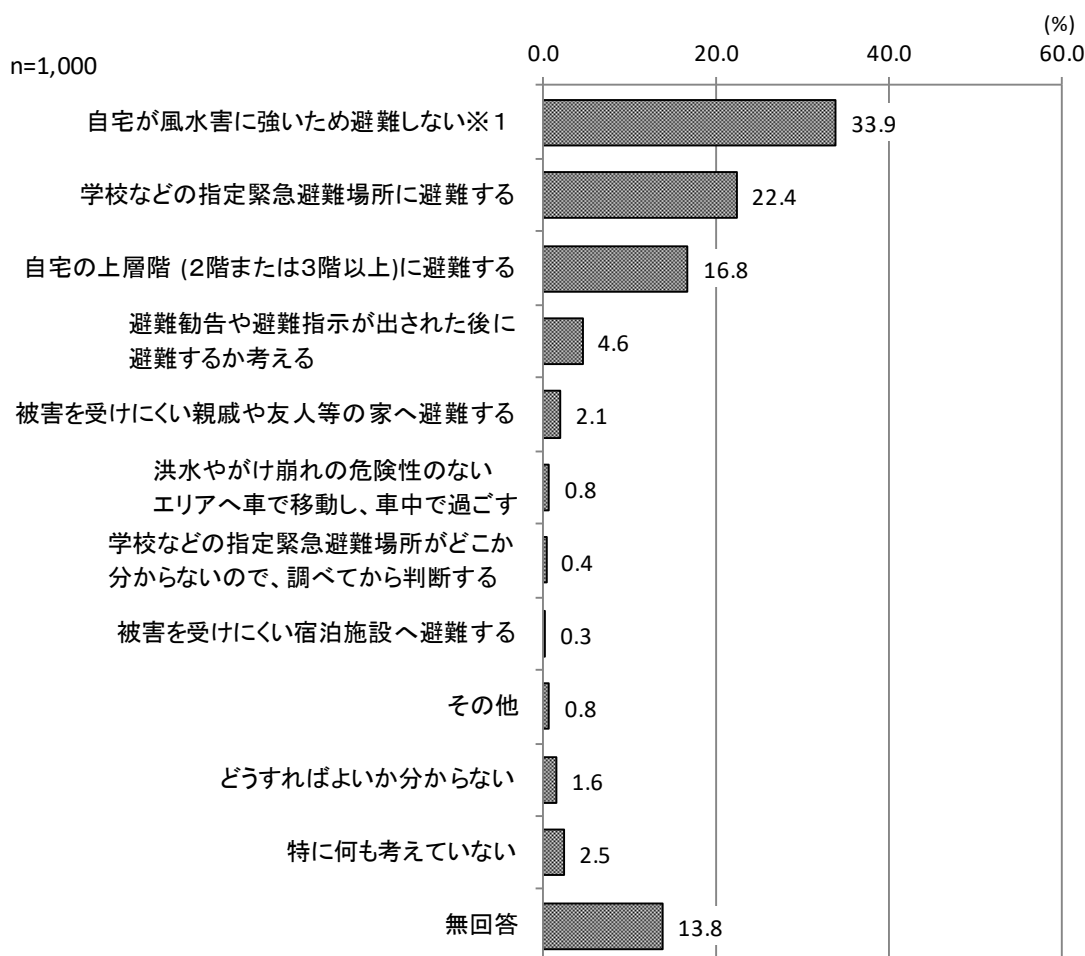
問 13 台風・大雨などの風水害時に避難勧告や避難指示が出された場合、どこに避難するか教えてください。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「自宅が風水害に強いいため避難しない（浸水やがけ崩れ等のないエリアまたはマンション上層階など）」(33.9%)が最も高く、次いで「学校などの指定緊急避難場所に避難する」(22.4%)、「自宅の上層階（2階または3階以上）に避難する」(16.8%)となっている。(図4-3-1)

性 別 「自宅が風水害に強いいため避難しない（浸水やがけ崩れ等のないエリアまたはマンション上層階など）」では「男性」(36.9%)が「女性」(32.1%)より4.8ポイント高く、「学校などの指定緊急避難場所に避難する」では「女性」(25.0%)が「男性」(19.6%)より5.4ポイント高くなっている。(図4-3-2)

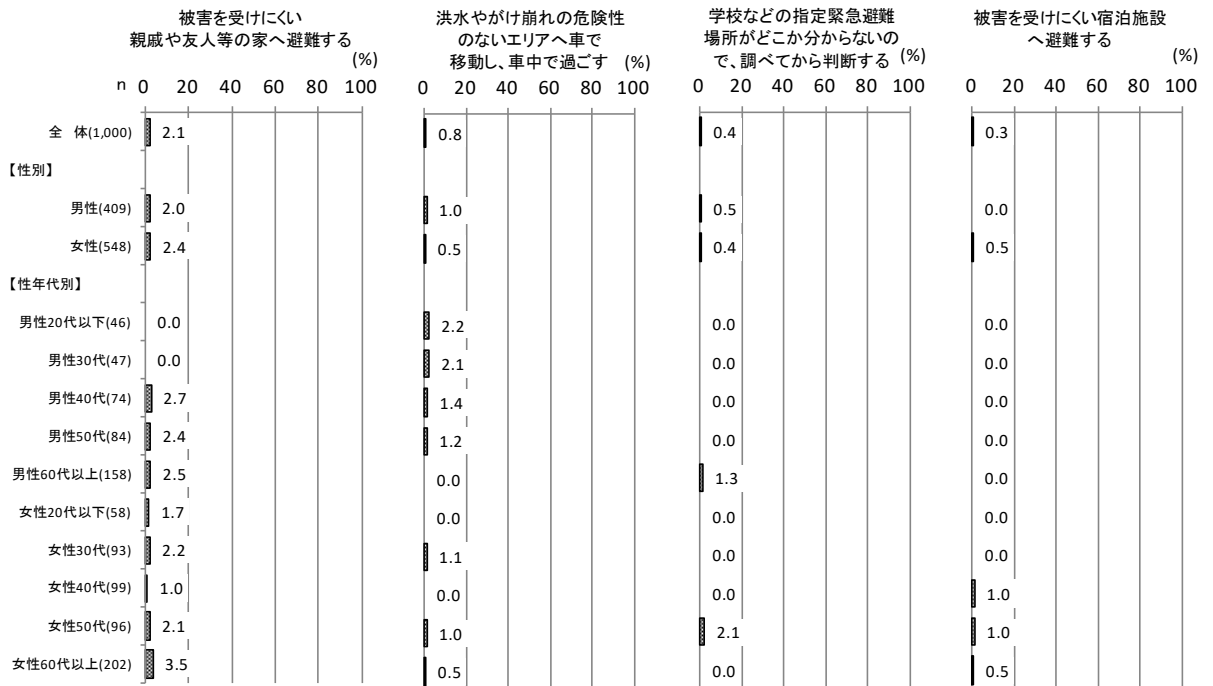
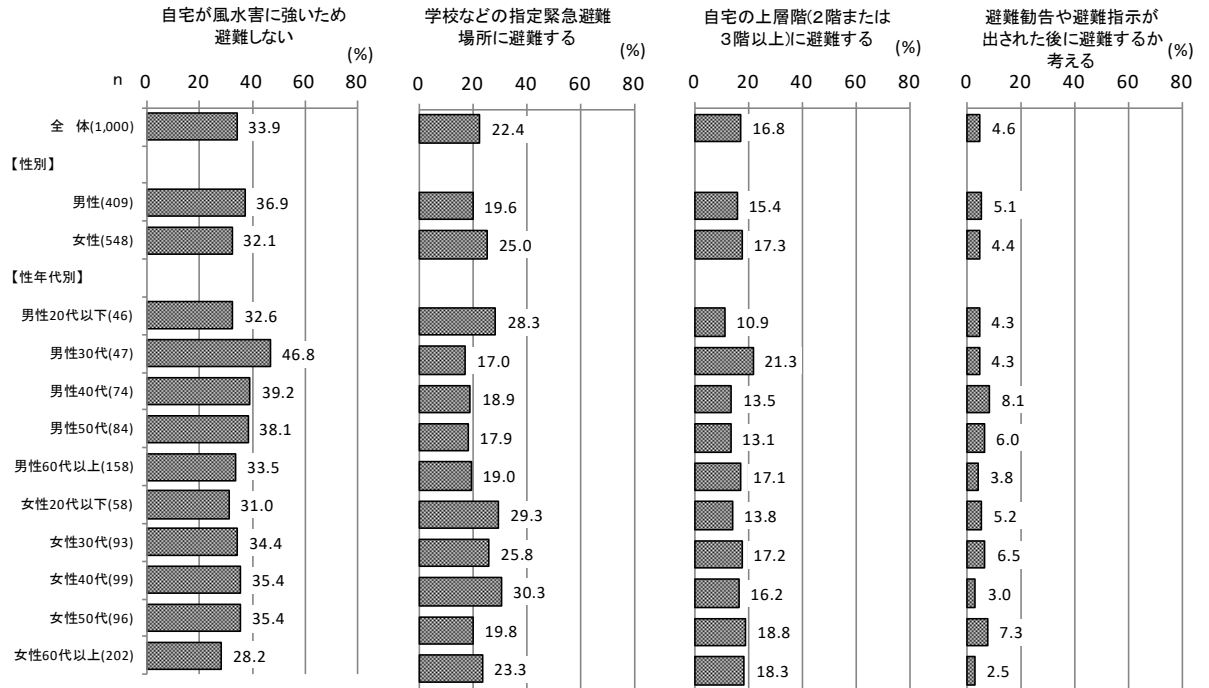
性 年 代 別 「自宅が風水害に強いいため避難しない（浸水やがけ崩れ等のないエリアまたはマンション上層階など）」「自宅の上層階（2階または3階以上）に避難する」ではそれぞれ「男性30代」(46.8%、21.3%)が他の性年代に比べて高くなっている。(図4-3-2)

図4-3-1 避難場所



※1 自宅が風水害に強いいため避難しない（浸水やがけ崩れ等のないエリアまたはマンション上層階など）

図4-3-2 避難場所 <性別・性年代別>



5 自転車の利用について

(1) 自転車の利用状況

問 14 普段から自転車を利用しますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「利用している」が60.5%、「利用していない」が38.4%となっている。
(図5-1-1)

性 別 「利用している」では、「女性」(63.0%)が「男性」(57.2%)より5.8ポイント高くなっている。(図5-1-2)

性 年 代 別 「利用している」では、「女性40代」(79.8%)が最も高く、次いで「女性30代」(65.6%)、「男性20代以下」(65.2%)となっている。(図5-1-2)

図5-1-1 自転車の利用状況

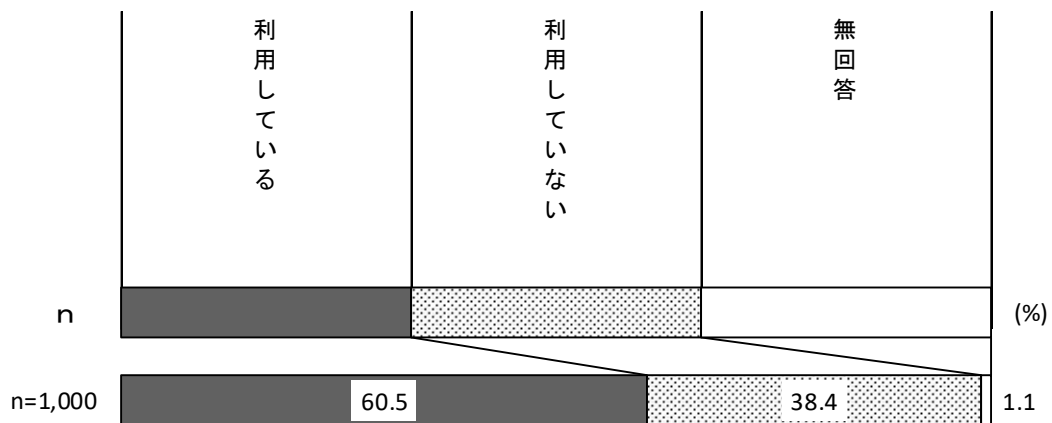
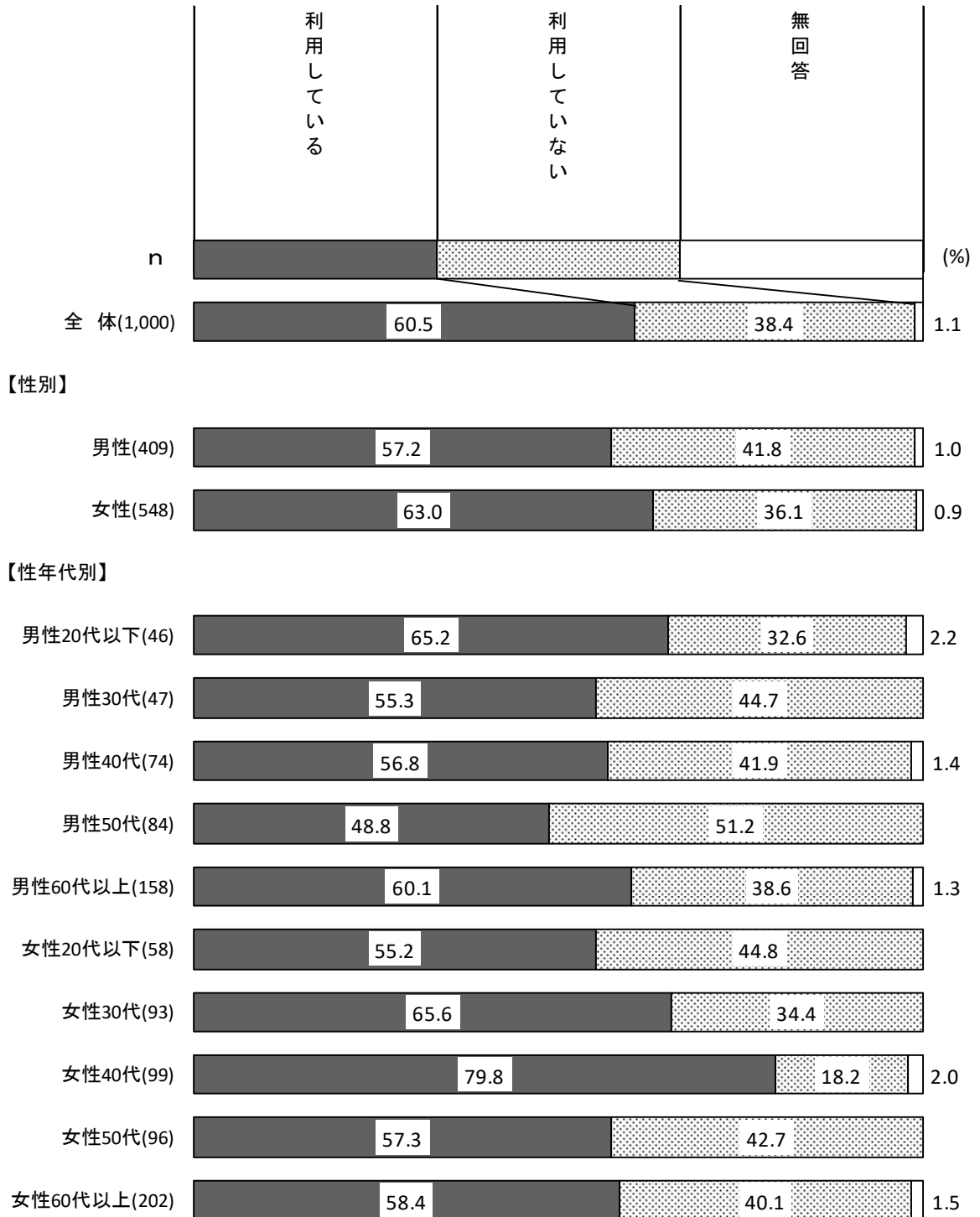


図5-1-2 自転車の利用状況 <性別・性年代別>



(2) 自転車保険の加入義務への認知度

問 15 神奈川県内を自転車で通行する場合は、自転車保険に加入しなければならないことを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 全 体 「知っている」が72.0%、「知らない」が26.4%となっている。(図5-2-1)
- 性 別 「知っている」では、「女性」(74.6%)が「男性」(67.7%)より、6.9ポイント高くなっている。(図5-2-2)
- 性年代別 「知っている」では、「女性50代」(79.2%)が最も高く、次いで「女性40代」(77.8%)、「女性60代以上」(74.8%)となっており、全ての性年代で6割以上が「知っている」と回答している。(図5-2-2)

図5-2-1 自転車保険の加入義務への認知度

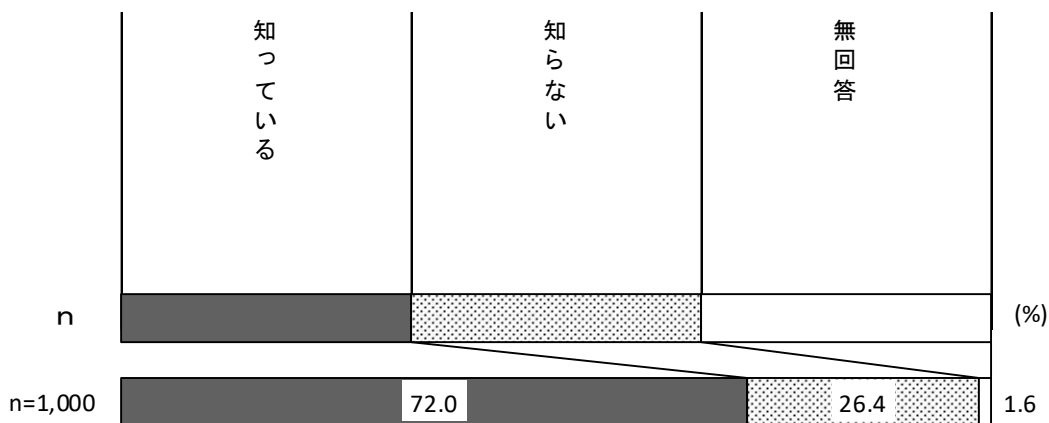
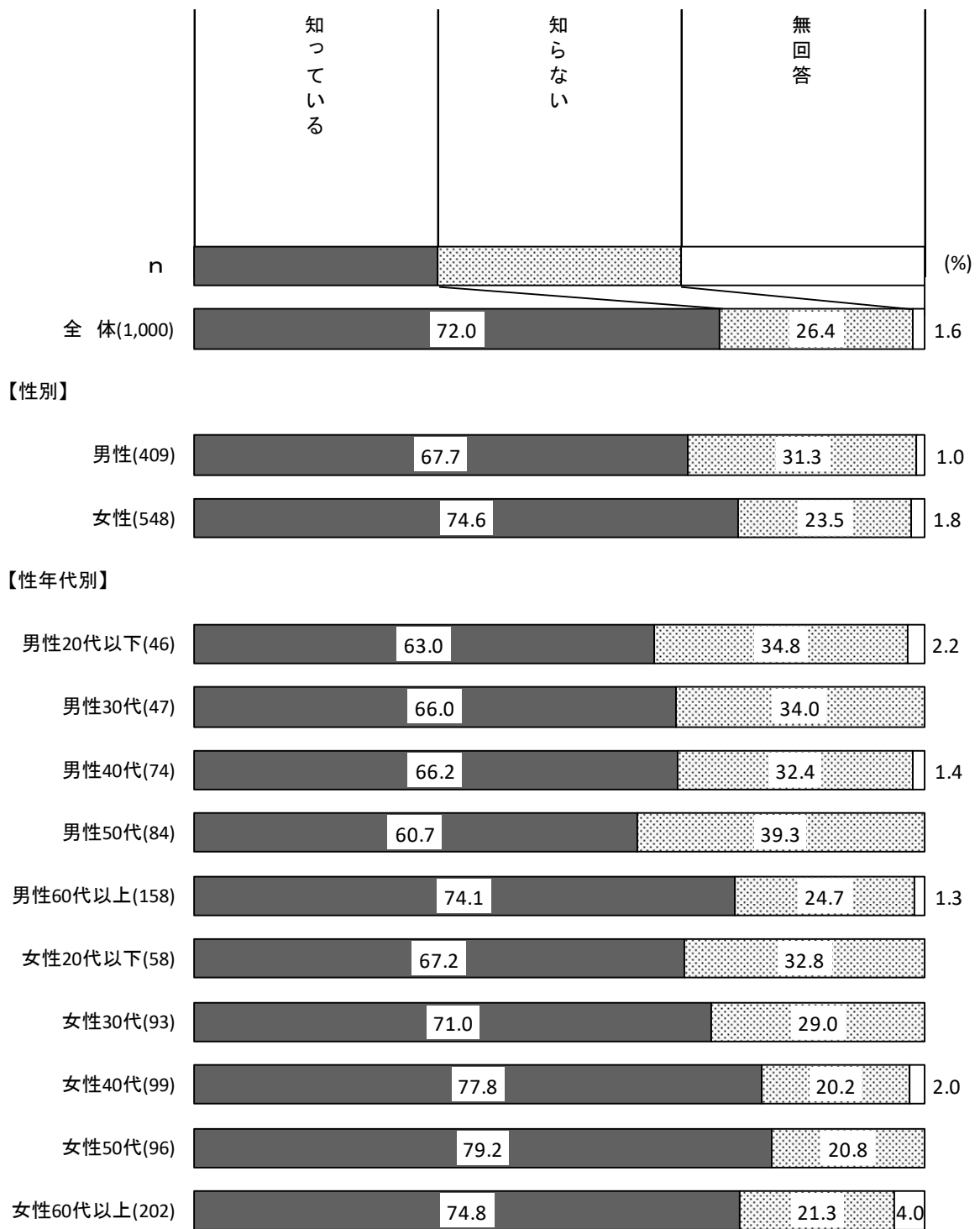


図5-2-2 自転車保険の加入義務への認知度 <性別・性年代別>



(3) 自転車保険への加入状況

問 16 自転車保険に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「加入している」が46.9%、「加入していない」が49.0%となっている。
(図5-3-1)

性 別 性別では、「加入している」で男性・女性ともに4割後半と、大きな差は見られなかった。(図5-3-2)

性年代別 「女性40代」(65.7%)が他の性年代と比べて高く、全ての性年代で4割以上が「加入している」と回答している。(図5-3-2)

図5-3-1 自転車保険の加入状況

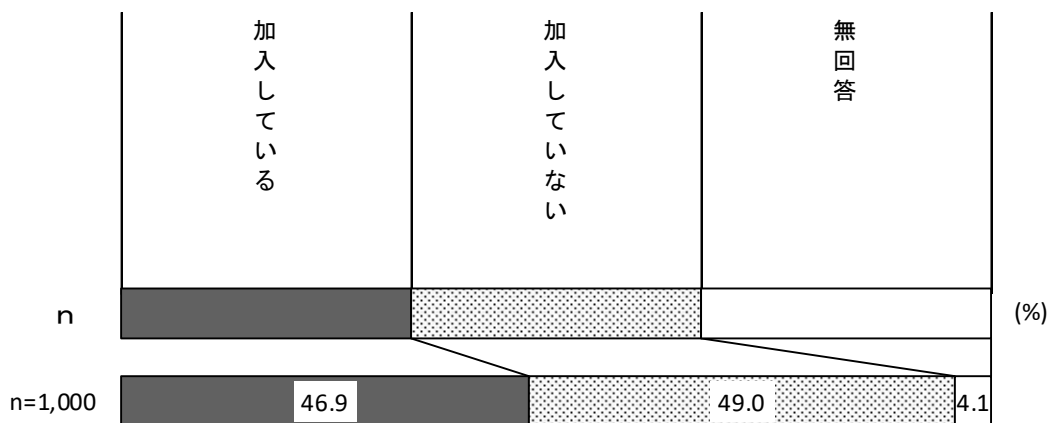
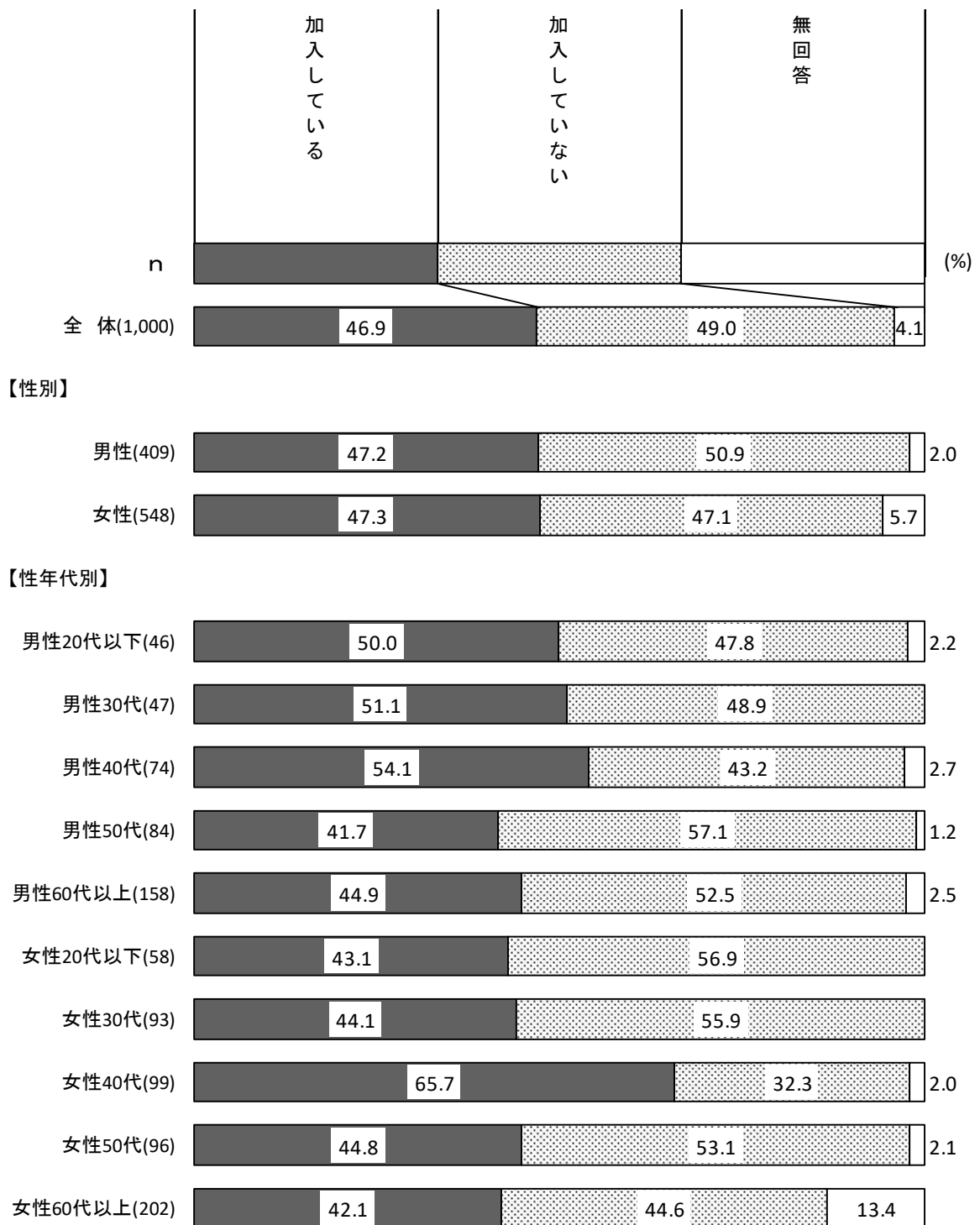


図5-3-2 自転車保険の加入状況 <性別・性年代別>



6 町内会・自治会活動について

(1) 町内会・自治会への加入状況

問 17 町内会・自治会に加入していますか。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「加入しているが、あまり(全く)参加していない」(42.8%)が最も高く、次いで「加入していない」(39.4%)、「加入していて、活動に参加している」(15.6%)となっている。(図6-1-1)

性 別 「加入していない」では、「男性」(43.8%)が「女性」(37.2%)より6.6ポイント高くなっている。(図6-1-2)

性 年 代 別 「加入していて、活動に参加している」では、「女性60代以上」(29.7%)、「男性60代以上」(22.2%)が他の性年代に比べて高くなっている。「加入していない」では、年代が低くなるほど割合が高くなっており、「女性20代以下」(75.9%)が最も高くなっている。(図6-1-2)

居住年数別 居住年数が長くなるにつれて「加入していて、活動に参加している」の割合は高くなっており、「3年未満」では0.0%、「20年以上」では20.8%となっている。「加入しているがあまり(全く)参加していない」の割合も居住年数が長くなるにつれて高くなっており、「20年以上」で51.3%となっている。(図6-1-3)

図6-1-1 町内会・自治会への加入状況

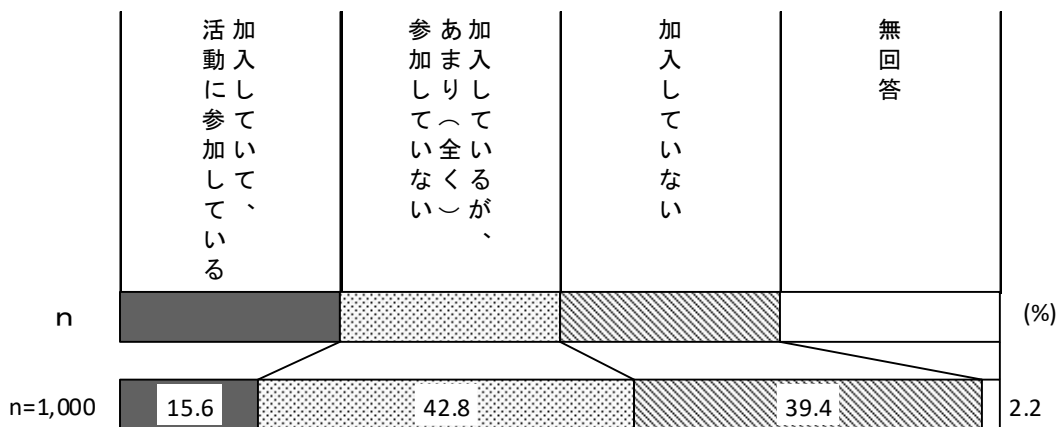


図6-1-2 町内会・自治会への加入状況 <性別・性年代別>

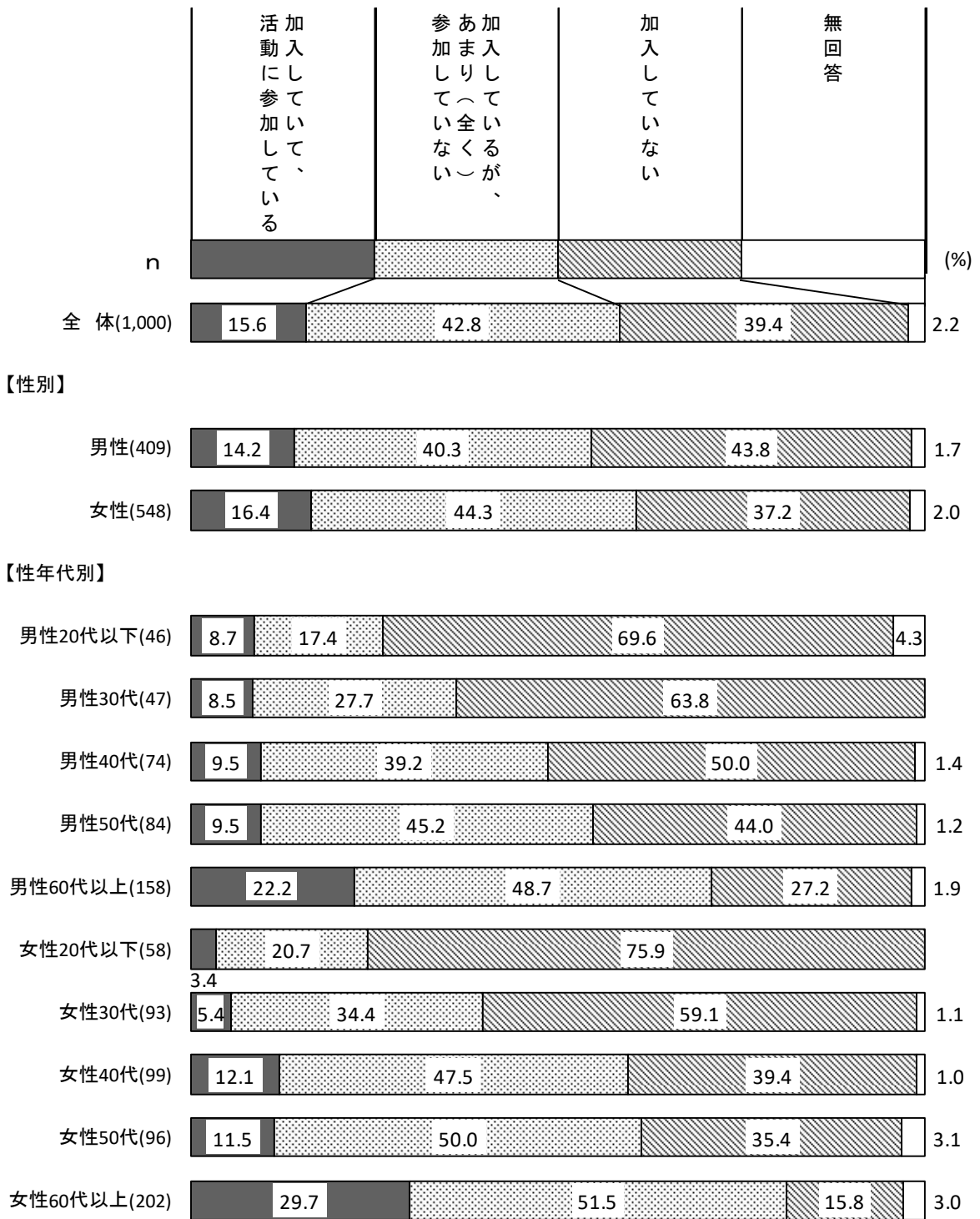
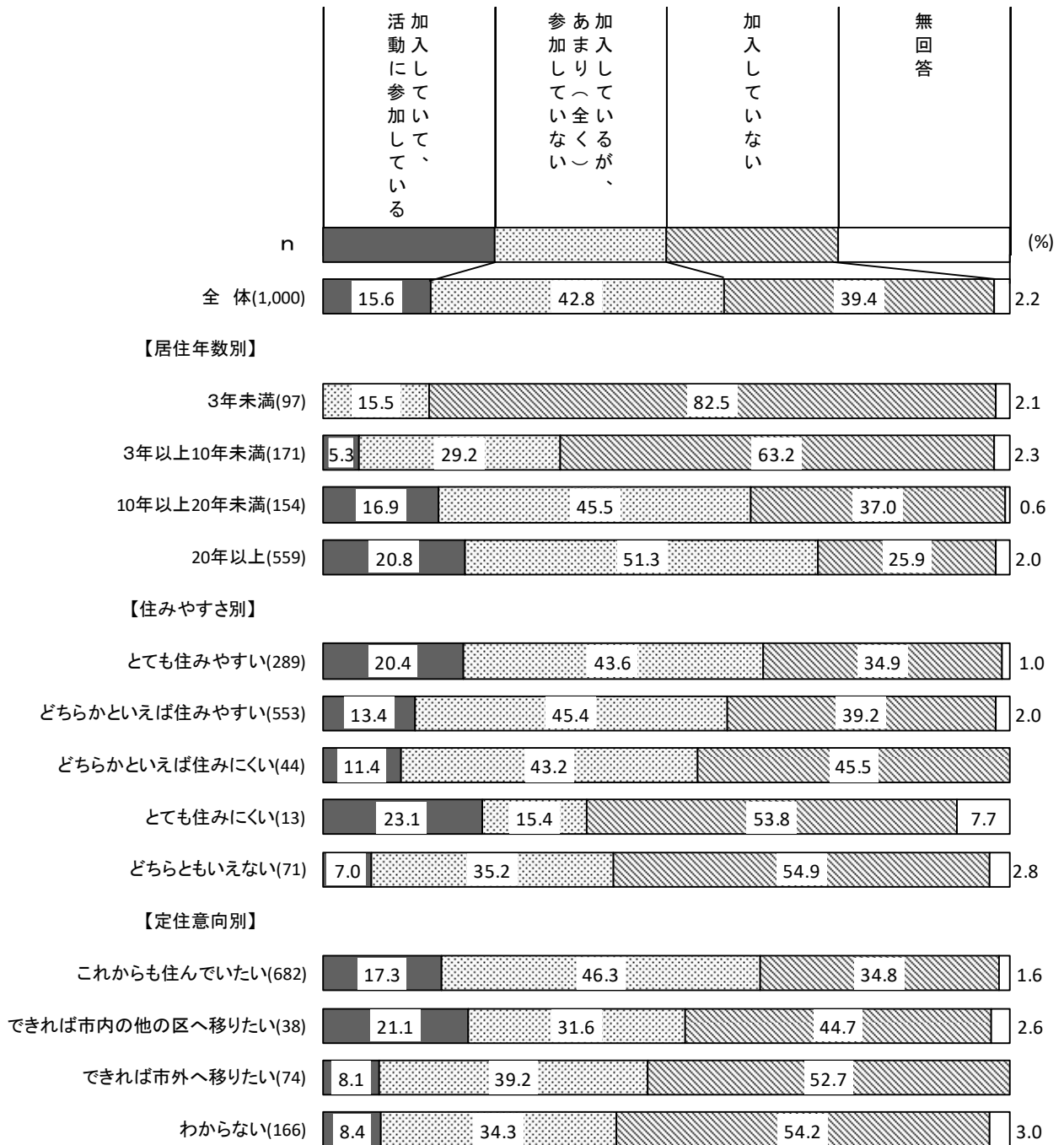


図6-1-3 町内会・自治会への加入状況
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>



(2) 町内会・自治会の活動に参加しない理由

《問 17 で 「2」と回答した方に伺います》

問 18 町内会・自治会の活動に参加しない理由を教えてください。

(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「仕事や子育て、介護等で忙しい」(32.7%)が最も高く、次いで「活動の内容を知らない」(23.1%)、「関心や興味がない」(22.9%)、「活動する日程が合わない」(22.0%)となっている。一方、「特に理由はない」は15.4%となっている。
(図6-2-1)

性 別 上位7項目及び「特に理由はない」の中では、「仕事や子育て、介護等で忙しい」で「女性」(36.6%)が「男性」(29.7%)より6.9ポイント高く、「関心や興味がない」で、「男性」(26.7%)が「女性」(19.8%)より6.9ポイント高くなっている。
(図6-2-2)

図6-2-1 町内会・自治会の活動に参加しない理由

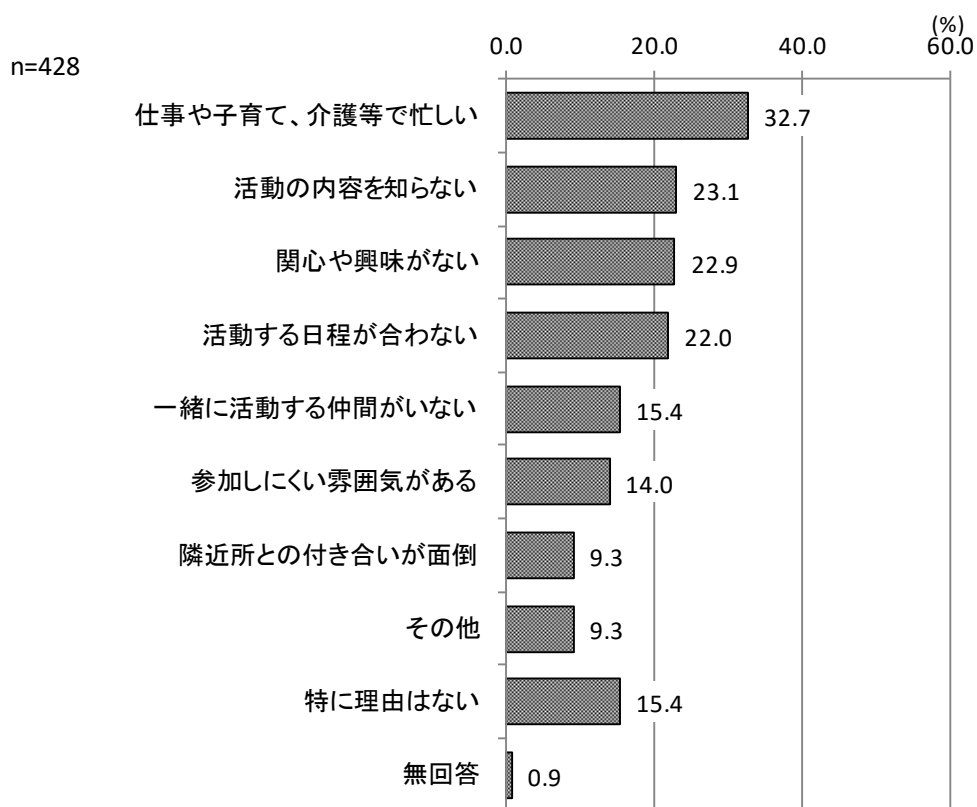


図6-2-2 町内会・自治会の活動に参加しない理由 <性別・性年代別>

(上位7項目+「特に理由はない」)

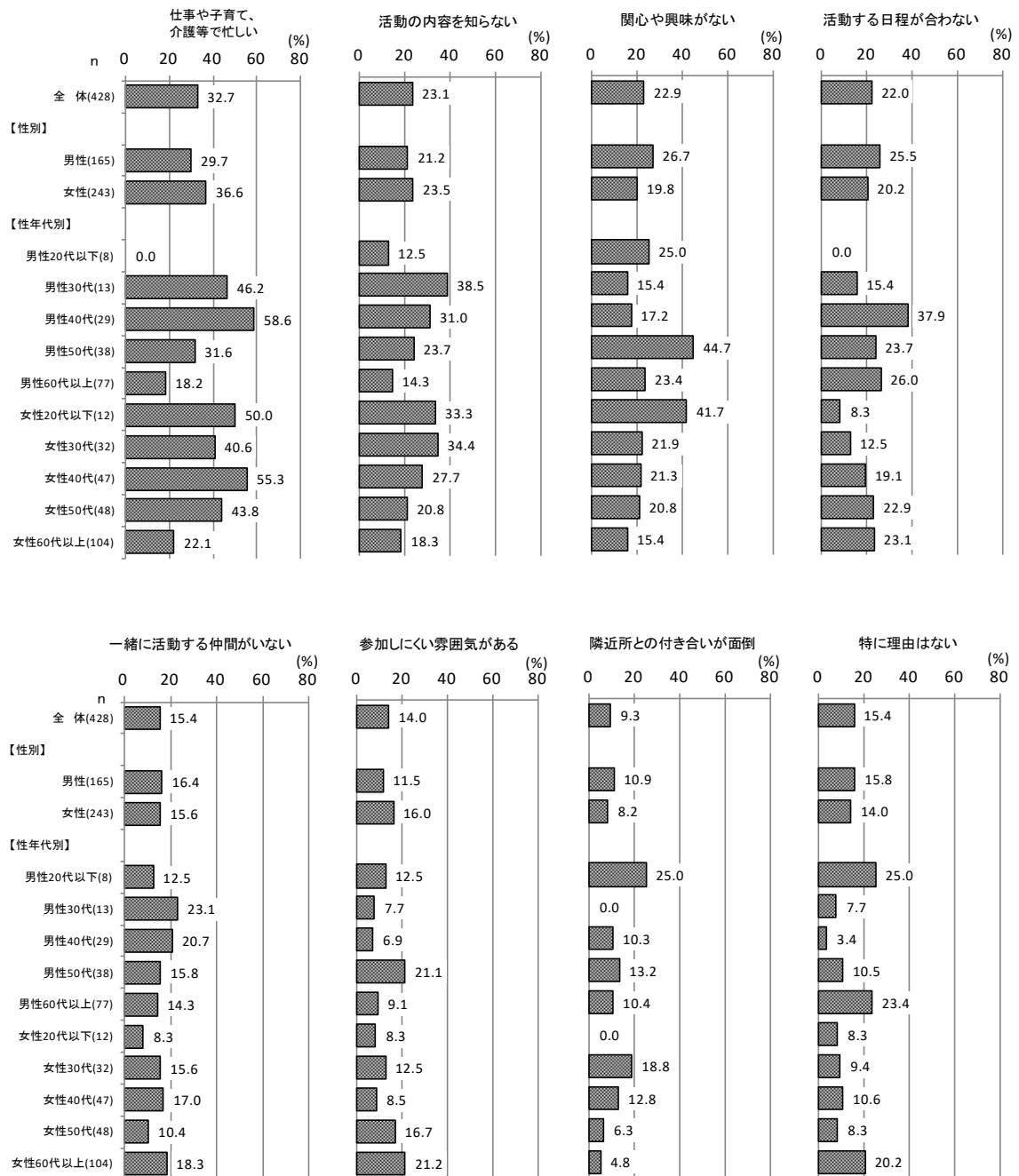
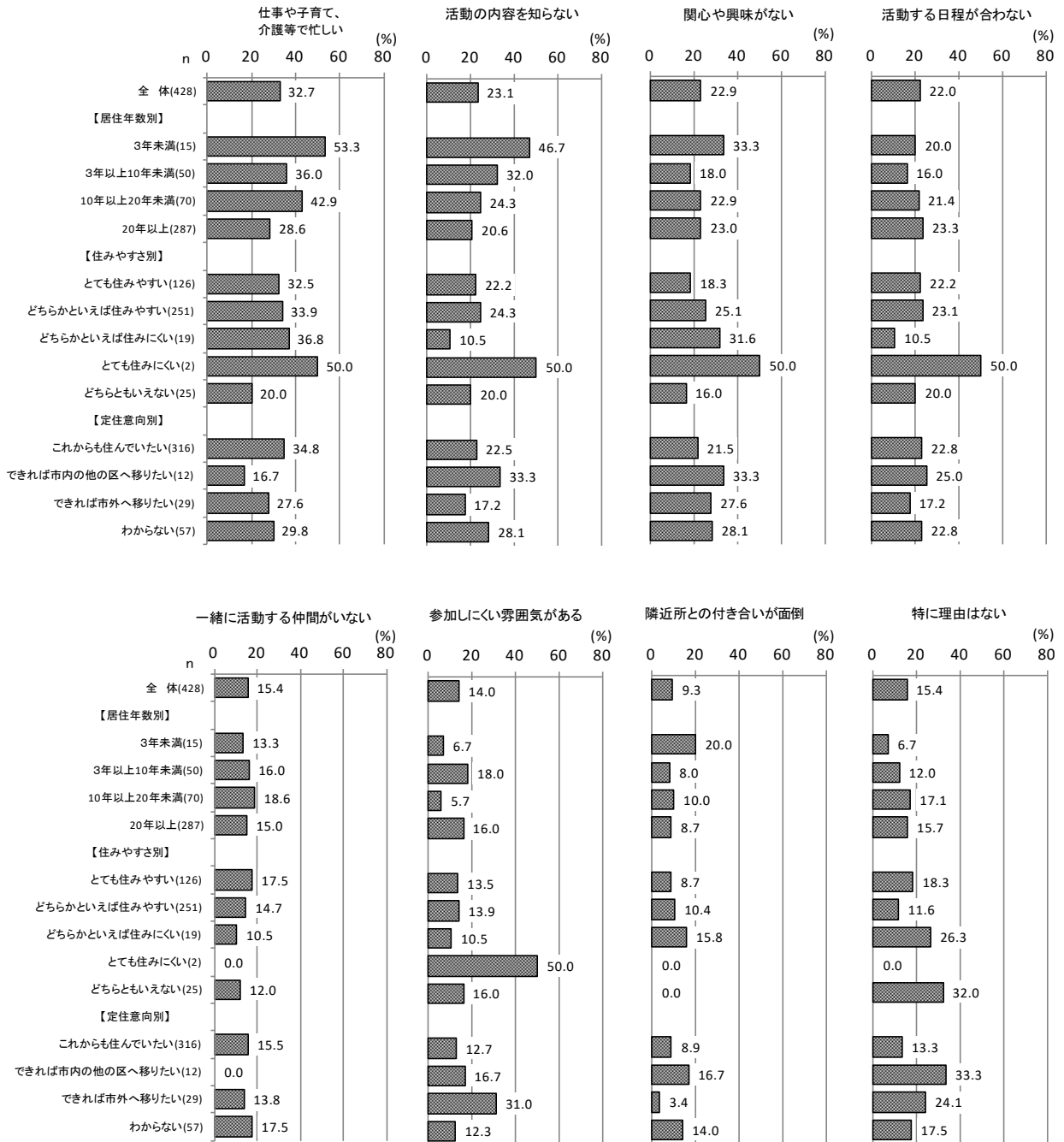


図6-2-3 町内会・自治会の活動に参加しない理由

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

(上位7項目+「特に理由はない」)



(3) 町内会・自治会に加入していない理由

《問 17 で 「3」と回答した方に伺います》

問 19 町内会・自治会に加入していない理由を教えてください。

(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「加入しなくても日常生活に支障がない」(36.0%)が最も高く、次いで「加入するきっかけがない」(34.3%)、「加入するメリットがない」(16.2%)となっている。一方、「特に理由はない」は19.3%となっている。(図6-3-1)

性 別 上位7項目及び「特に理由はない」の中で、「仕事や子育て、介護等で忙しい」では、「女性」(18.1%)が「男性」(8.9%)より9.2ポイント高くなっている。(図6-3-2)

性 年 代 別 「加入するきっかけがない」では、「女性30代」(47.3%)が最も高くなっている。「特に理由がない」では、「男性20代以下」(37.5%)が最も高く、次いで「女性60代以上」(31.3%)となっている。(図6-3-2)

居 住 年 数 別 「加入するきっかけがない」では、「10年以上20年未満」(45.6%)が、「加入するメリットがない」では、「3年以上10年未満」(22.2%)が、「仕事や子育て、介護等で忙しい」では「3年未満」(21.3%)がそれぞれ最も高くなっている。「何を行っている組織なのかわからない」では、「3年未満」(18.8%)が他の居住年数と比べて高くなっている。(図6-3-3)

図6-3-1 町内会・自治会に加入していない理由

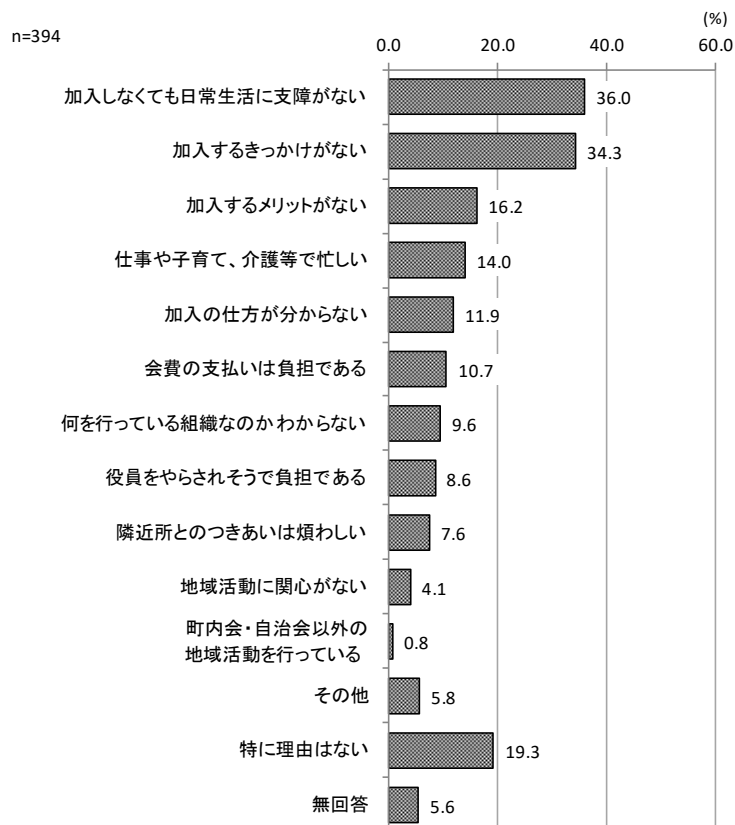


図6-3-2 町内会・自治会に加入していない理由 <性別・性年代別>

(上位7項目+「特に理由はない」)

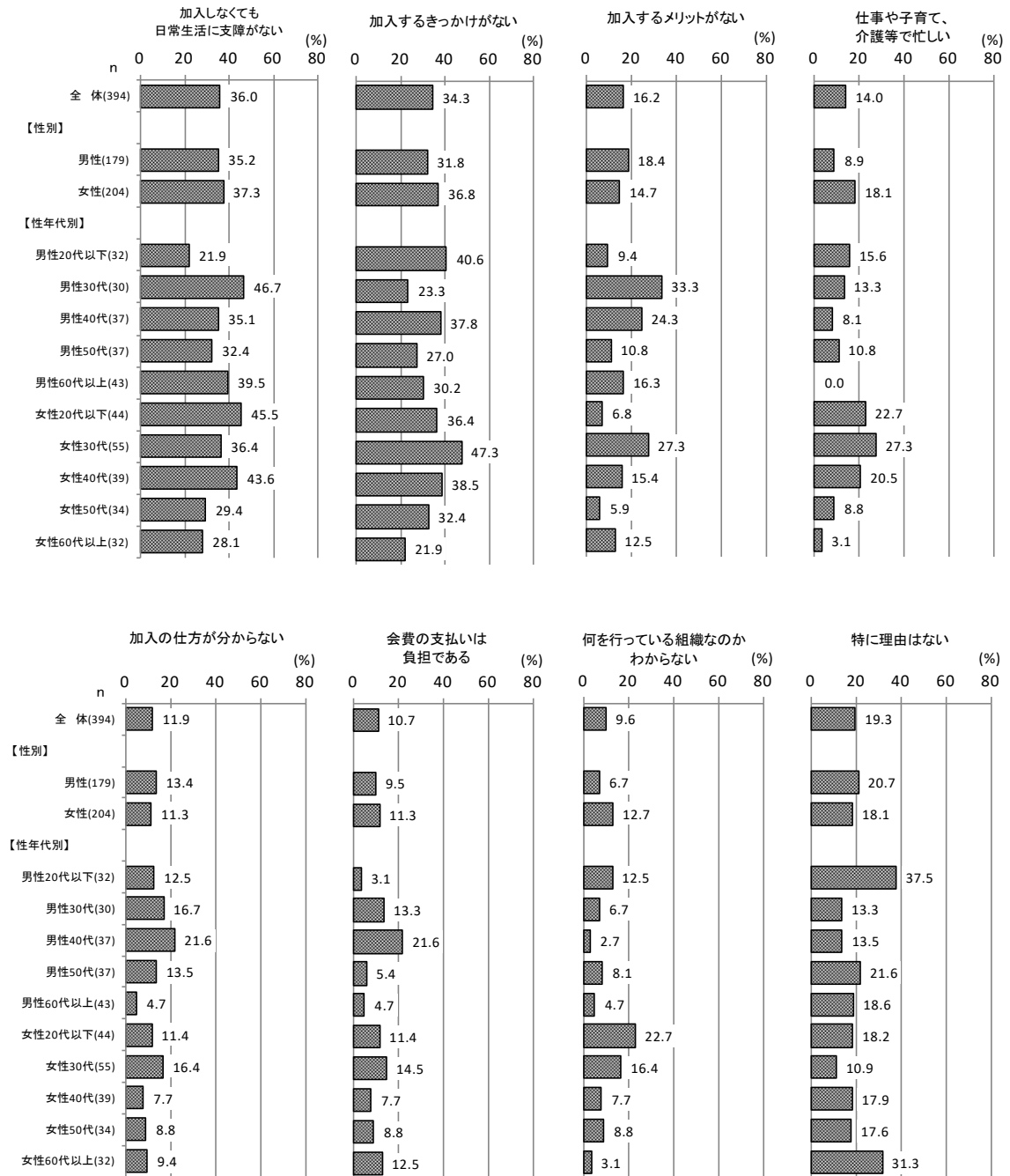
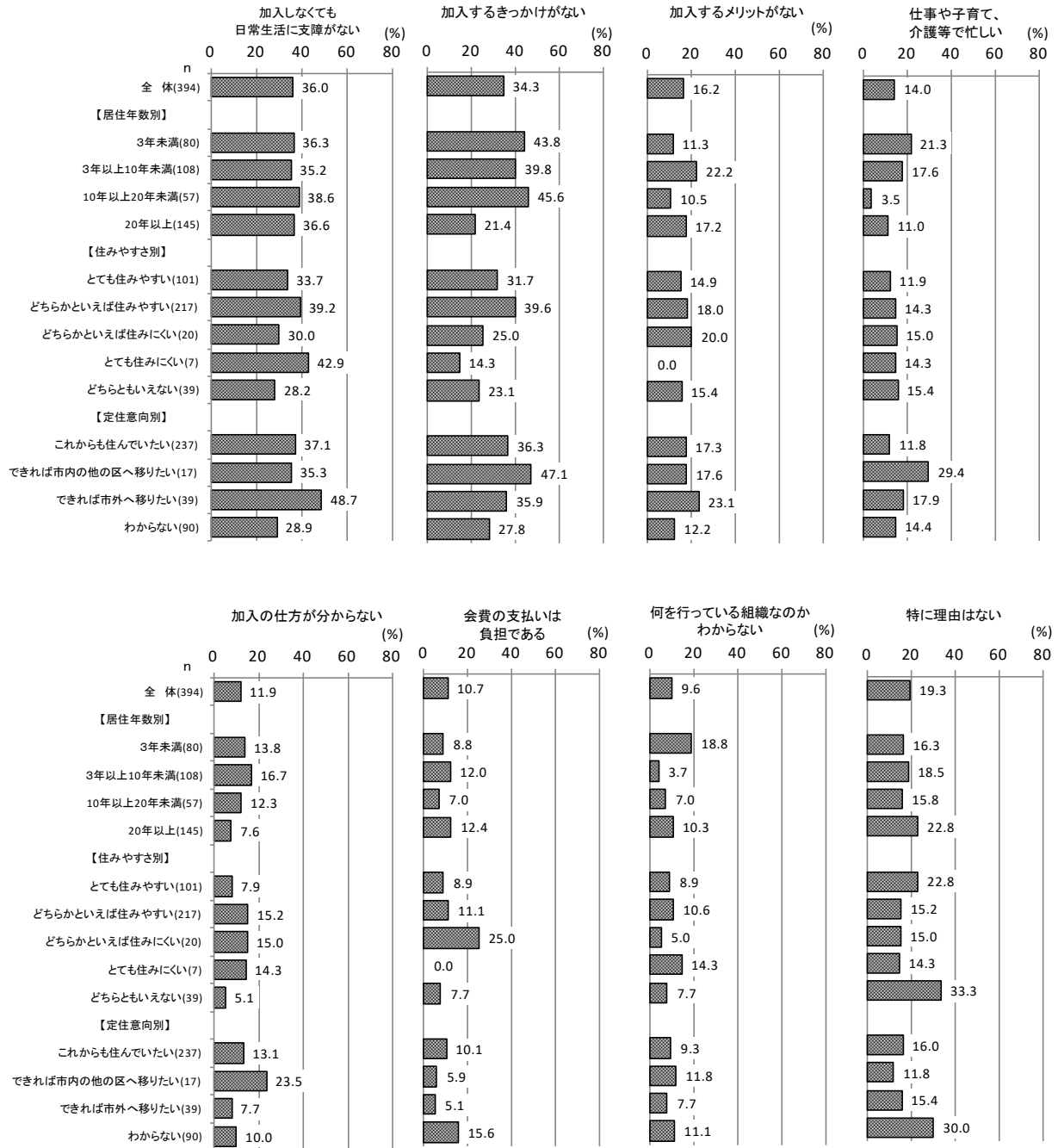


図6-3-3 町内会・自治会に加入していない理由
 <居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位7項目+「特に理由はない」)



(4) 町内会・自治会活動に最も期待する役割

問 20 町内会・自治会活動に最も期待することを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

全 体 「気軽に参加しやすい組織づくり」(26.2%)が最も高く、次いで「新たな地域課題への対応など活動内容の充実」(11.5%)、「次世代を担う人材の育成」(8.9%)となっている。一方、「特に期待していない」は36.3%となっている。(図6-4-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図6-4-2)

性 年 代 別 「気軽に参加しやすい組織づくり」では、「女性60代以上」(32.7%)が最も高く、次いで「男性60代以上」(28.5%)、「女性40代」(28.3%)となっている。「特に期待していない」では、「女性20代以下」(62.1%)、「男性20代以下」(50.0%)、「女性30代」(49.5%)が他の性年代に比べて高くなっている。(図6-4-2)

図6-4-1 町内会・自治会活動に最も期待する役割

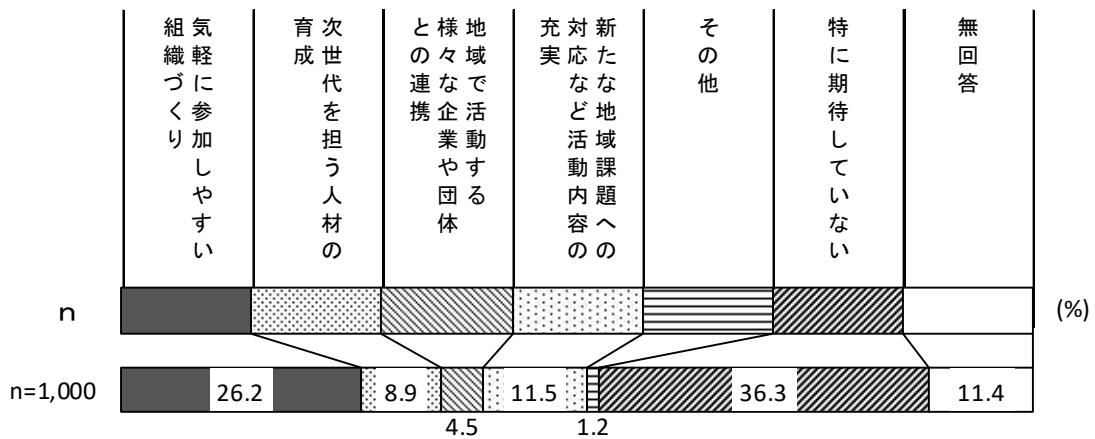
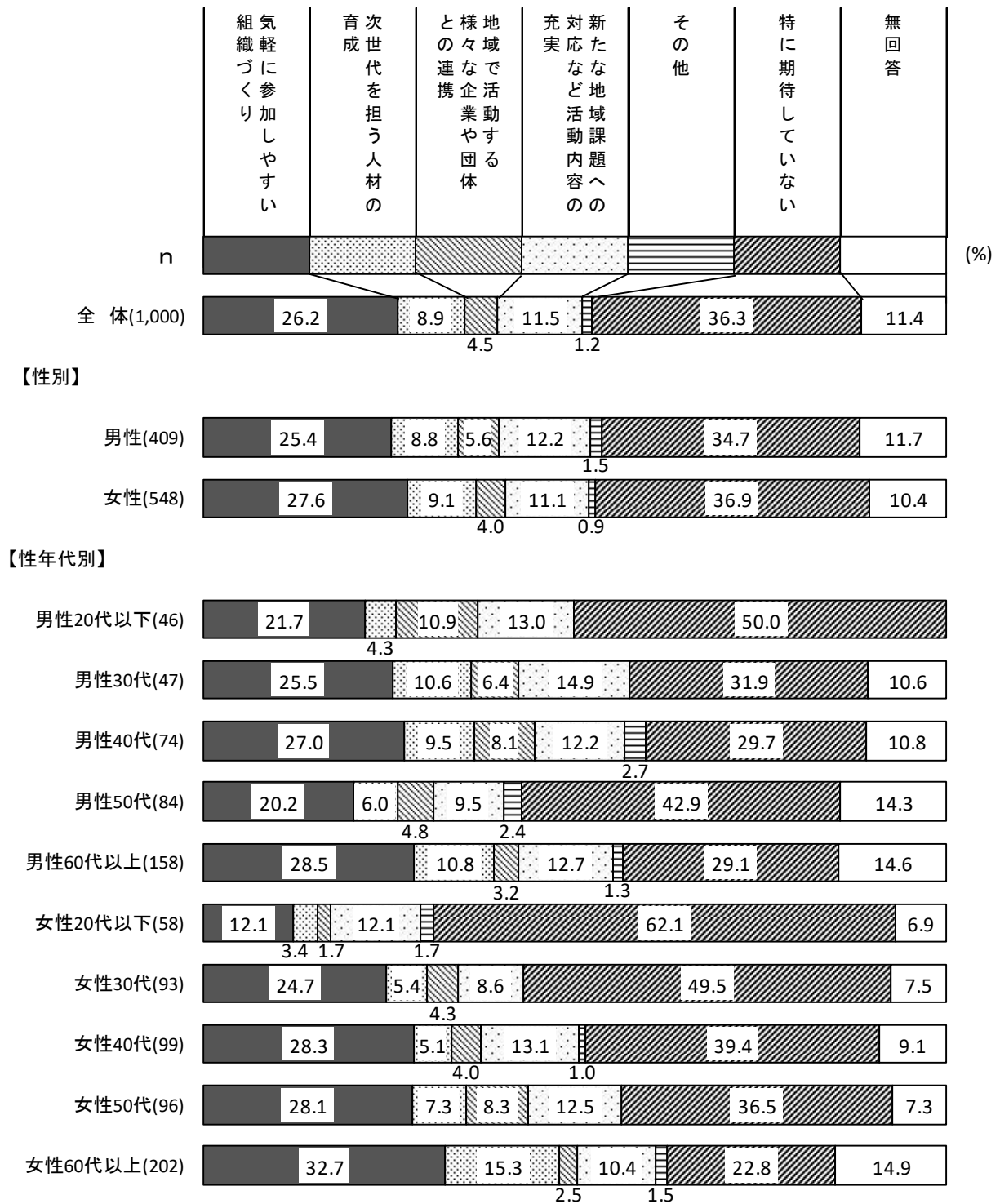


図6-4-2 町内会・自治会活動に最も期待する役割 <性別・性年代別>



(5) 町内会・自治会活動で参加してみたい(興味のある)こと

問 21 町内会・自治会活動で参加してみたいこと(興味のあること)を教えてください。

(あてはまるものに、3つまで○)

全 体 「盆踊りなどのお祭り」(28.7%)が最も高く、次いで「スポーツ、文化、芸術、学術に関係した活動やイベント」(18.6%)、「自然や環境を守るための活動やイベント(清掃活動や地域緑化・植栽活動)」(17.8%)となっている。一方、「特にない」は34.5%となっている。(図6-5-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図6-5-2)

性 年 代 別 「スポーツ、文化、芸術、学術に関係した活動やイベント」では、「男性20代以下」(32.6%)が、「子どもを対象とした活動やイベント」では、「女性30代」(46.2%)、「男性30代」(38.3%)が他の性年代と比べて高くなっている。(図6-5-2)

居住年数別 「防災に関係した活動やイベント(避難訓練など)」では、居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっている一方、「外国人等のための活動やイベント」では居住年数が短いほど割合が高くなっている。(図6-5-3)

図6-5-1 町内会・自治会活動で参加してみたいこと

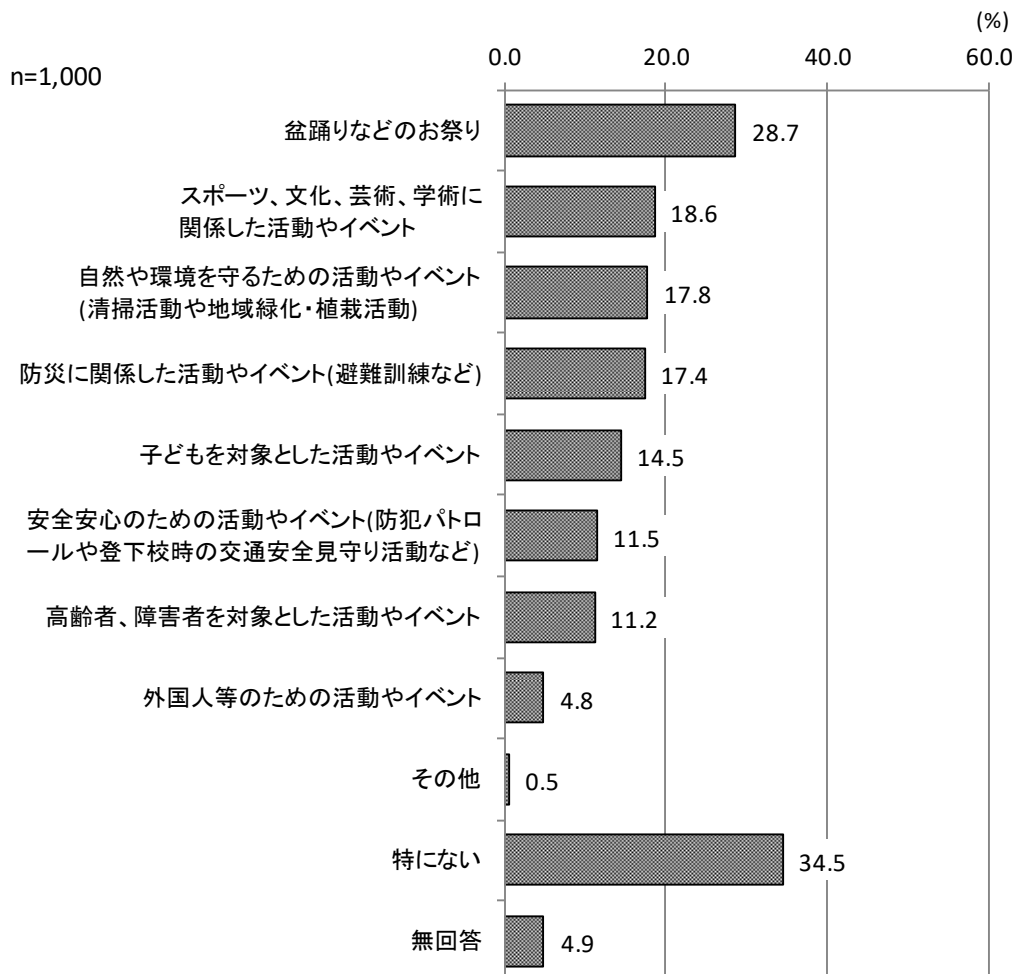
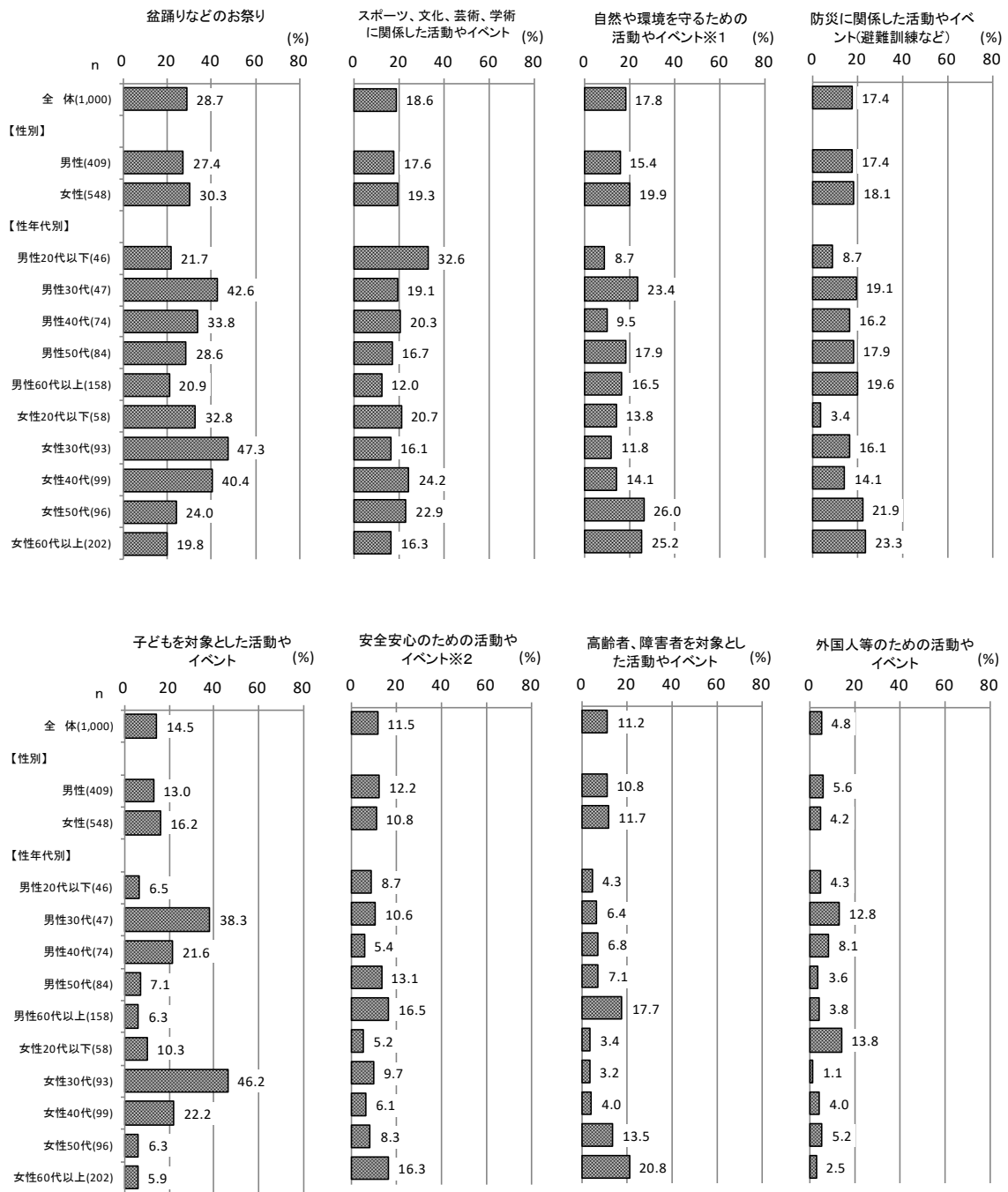


図6-5-2 町内会・自治会活動で参加してみたいこと <性別・性年代別>

(上位8項目)



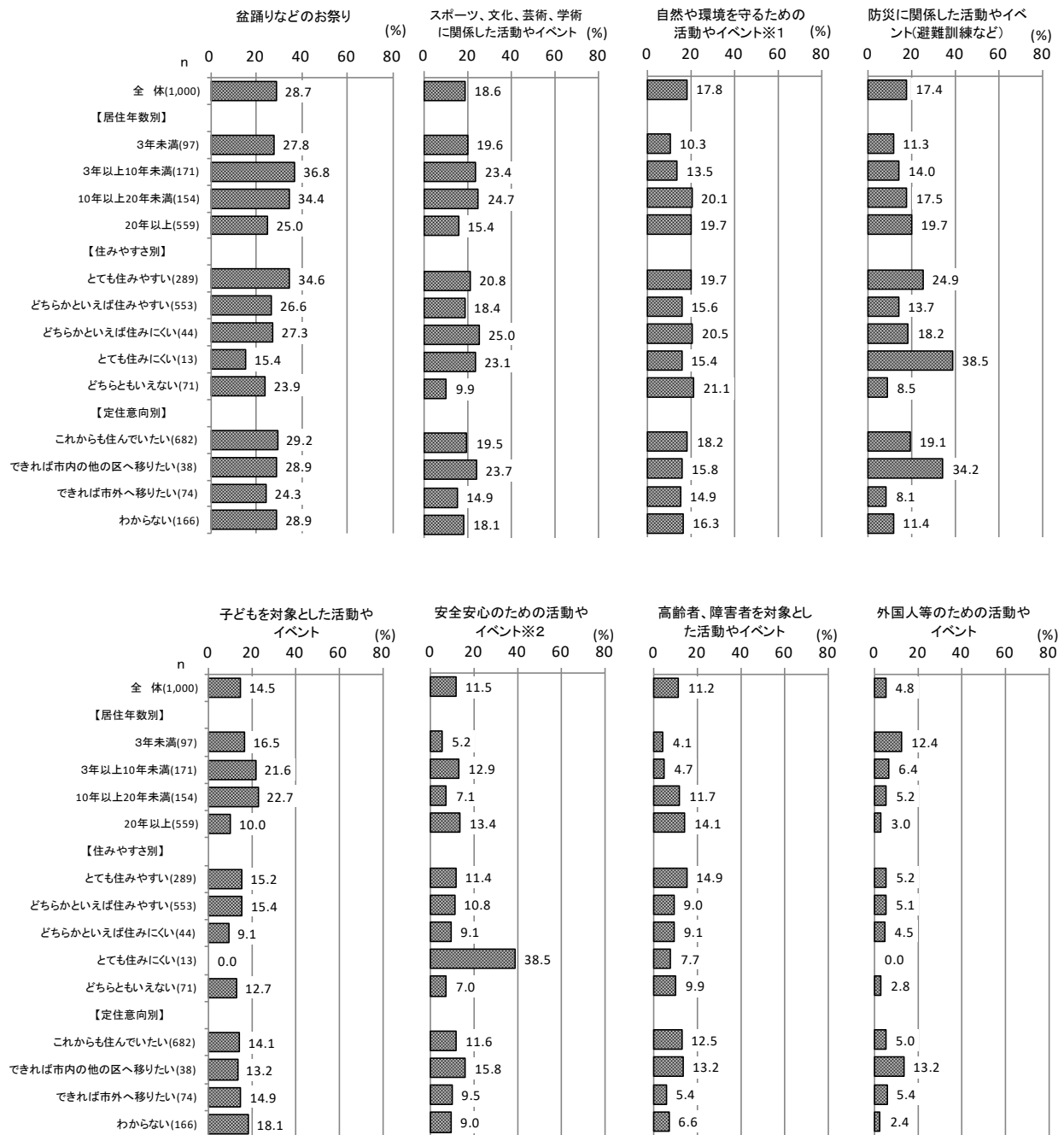
※1 自然や環境を守るための活動やイベント(清掃活動や地域緑化・植栽活動)

※2 安全安心のための活動やイベント(防犯パトロールや登下校時の交通安全見守り活動など)

図6-5-3 町内会・自治会活動で参加してみたいこと

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位8項目)



※1 自然や環境を守るための活動やイベント(清掃活動や地域緑化・植栽活動)

※2 安全安心のための活動やイベント(防犯パトロールや登下校時の交通安全見守り活動など)

7 地域コミュニティについて

(1) 興味のある地域交流の場所や取組

問 22 地域交流への参加のきっかけとして、興味のある場所や取組（人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所）を教えてください。（あてはまるものに、3つまで○）

- 全 体** 「緑を感じることができる場所・取組」（39.4%）が最も高く、次いで「お祭りやイベントができる場所・取組」（30.0%）、「農作物や作品販売などのバザー・マルシェができる場所・取組」（27.2%）となっている。一方、「特になし」は17.6%となっている。（図7-1-1）
- 性 別** 上位8項目の中では、「農作物や作品販売などのバザー・マルシェができる場所・取組」で、「女性」（33.4%）が「男性」（19.8%）より13.6ポイント高くなっている。（図7-1-2）
- 性 年 代 別** 「緑を感じることができる場所・取組」では、「女性60代以上」（49.0%）が最も高く、次いで「男性30代」（46.8%）となっている。「子どもを遊ばせることができる場所・取組」では、「女性30代」（55.9%）、「男性30代」（46.8%）が他の性年代と比べて高くなっている。（図7-1-2）
- 居 住 年 数 別** 「3年以上10年未満」では、「お祭りやイベントができる場所・取組」（38.0%）が最も高く、その他の居住年数では「緑を感じることができる場所・取組」が最も高くなっている。「待ち合わせや談話ができる場所・取組」では居住年数が長くなるにつれて割合が高くなっている。（図7-1-3）
- 川 崎 区 の
住 み や す さ 別** 「お祭りやイベントができる場所・取組」では、住みやすいと感じている人ほど割合が高くなっている。（図7-1-3）

図7-1-1 興味のある地域交流の場所や取組

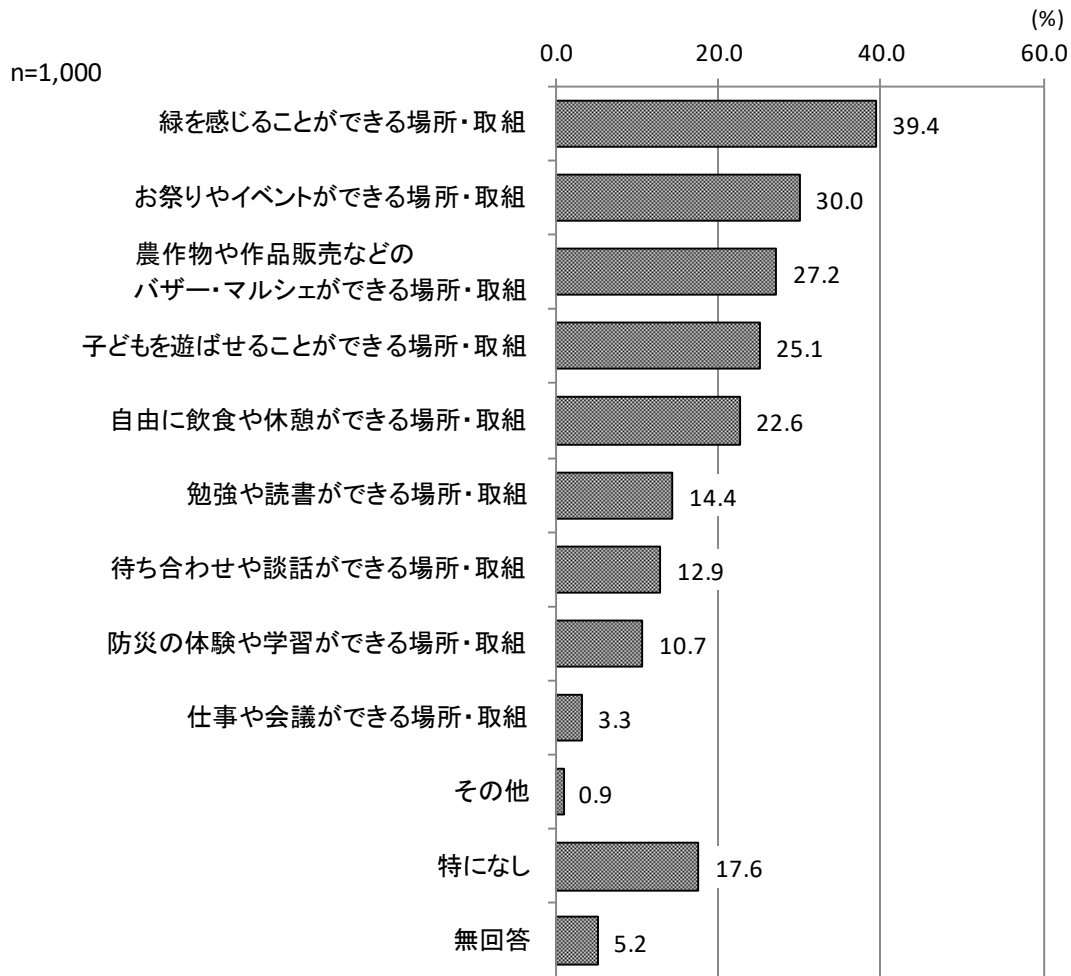
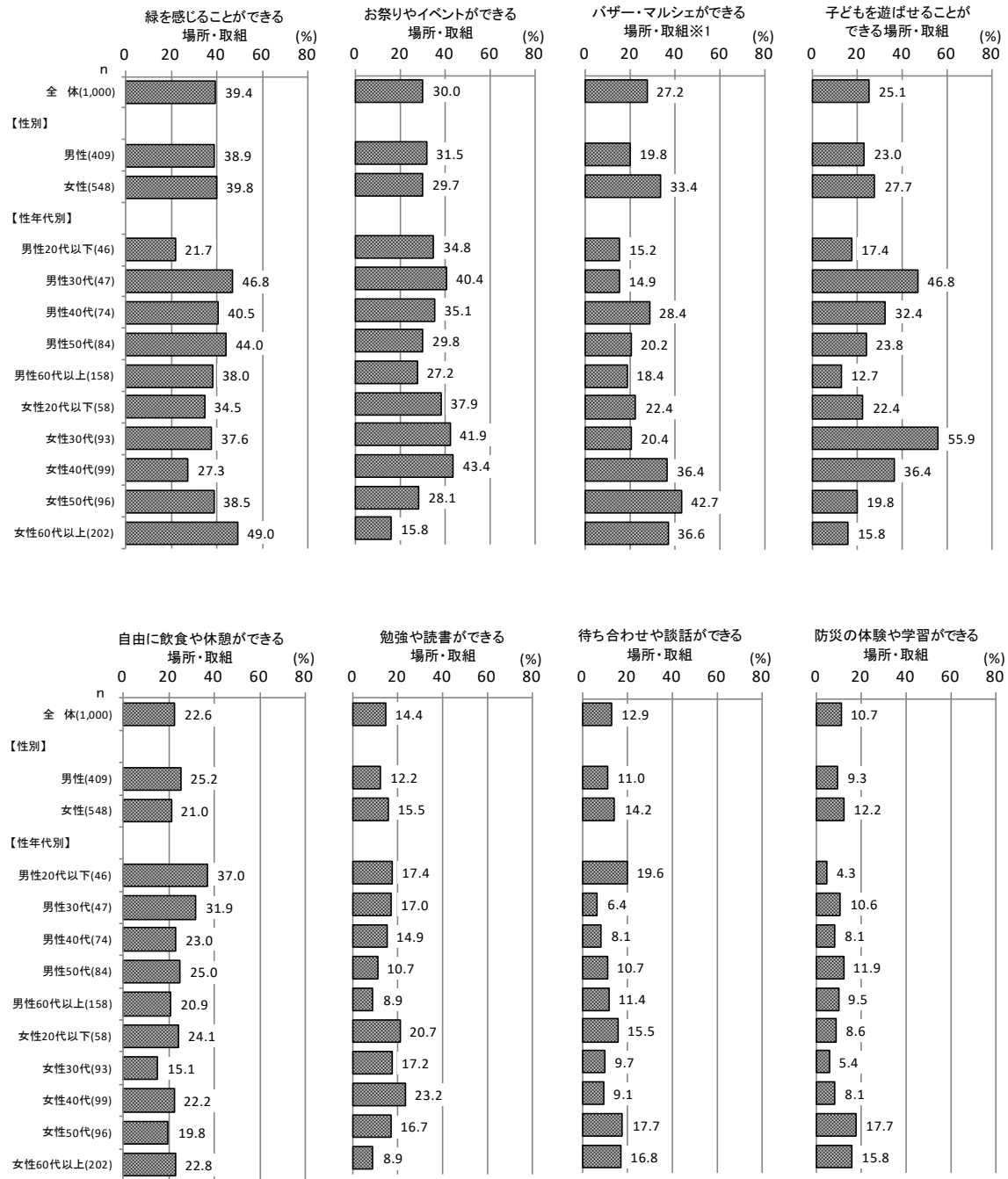


図7-1-2 興味のある地域交流の場所や取組 <性別・性年代別>

(上位8項目)

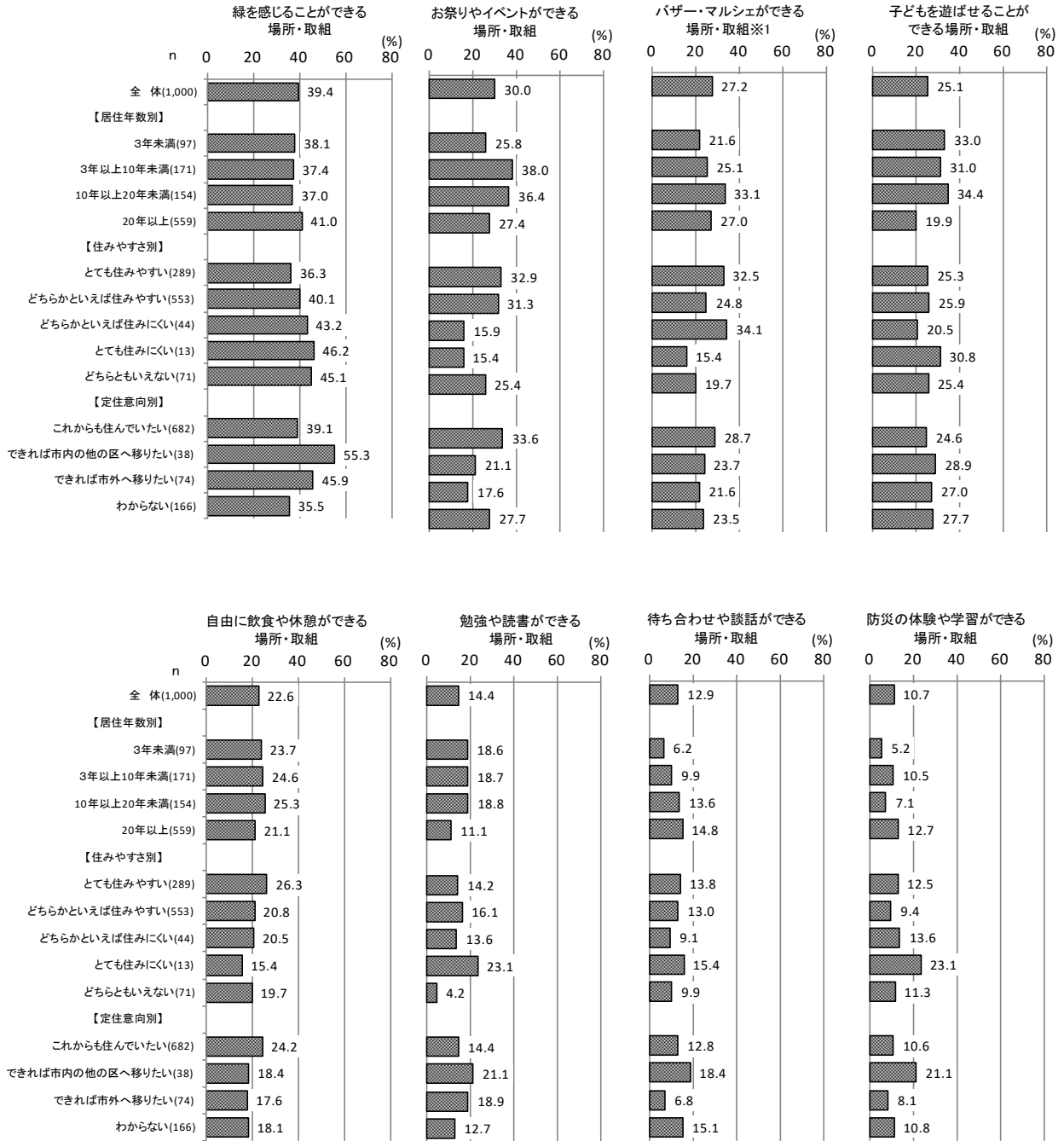


※1 農作物や作品販売などのバザー・マルシェができる場所・取組

図7-1-3 興味のある地域交流の場所や取組

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位8項目)



※1 農作物や作品販売などのバザー・マルシェができる場所・取組

8 新型コロナウイルス感染症に対応した生活について

(1) 実践している新型コロナウイルス感染症の対策

問 23 新しい生活様式（新型コロナウイルス感染症の対策）として、実践しているものを教えてください。（あてはまるもの、すべてに○）

- 全 体 「まめに手洗い・手指消毒をしている」（86.4%）が最も高く、次いで「外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分でない時はマスクを着用している」（82.3%）、「家に帰ったら、最初に手や顔を洗っている」（81.4%）となっている。（図8-1-1）
- 性 別 上位8項目の中では、「手洗いは30秒以上かけて、水と石鹼で丁寧に洗っている（または手指消毒液による消毒）」で19.0ポイント、「まめに手洗い・手指消毒をしている」で10.3ポイント、「女性」が「男性」より高くなっている。「人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空けている」を除く7項目で「女性」が「男性」に比べて割合が高くなっている。（図8-1-2）
- 性 年 代 別 「まめに手洗い・手指消毒をしている」では「女性30代」から「女性50代」で、「人との間隔が十分でない時はマスクを着用している」では「女性50代」、「男性40代」でともに9割以上と高くなっている。「まめに手洗い・手指消毒をしている」「感染が流行している地域からの異動、感染が流行している地域への移動は控えている」「手洗いは30秒以上かけて、水と石鹼で丁寧に洗っている（または手指消毒液による消毒）」では全ての年代において女性が男性より高くなっている。（図8-1-2）

図8-1-1 実践している新型コロナウイルス感染症の対策

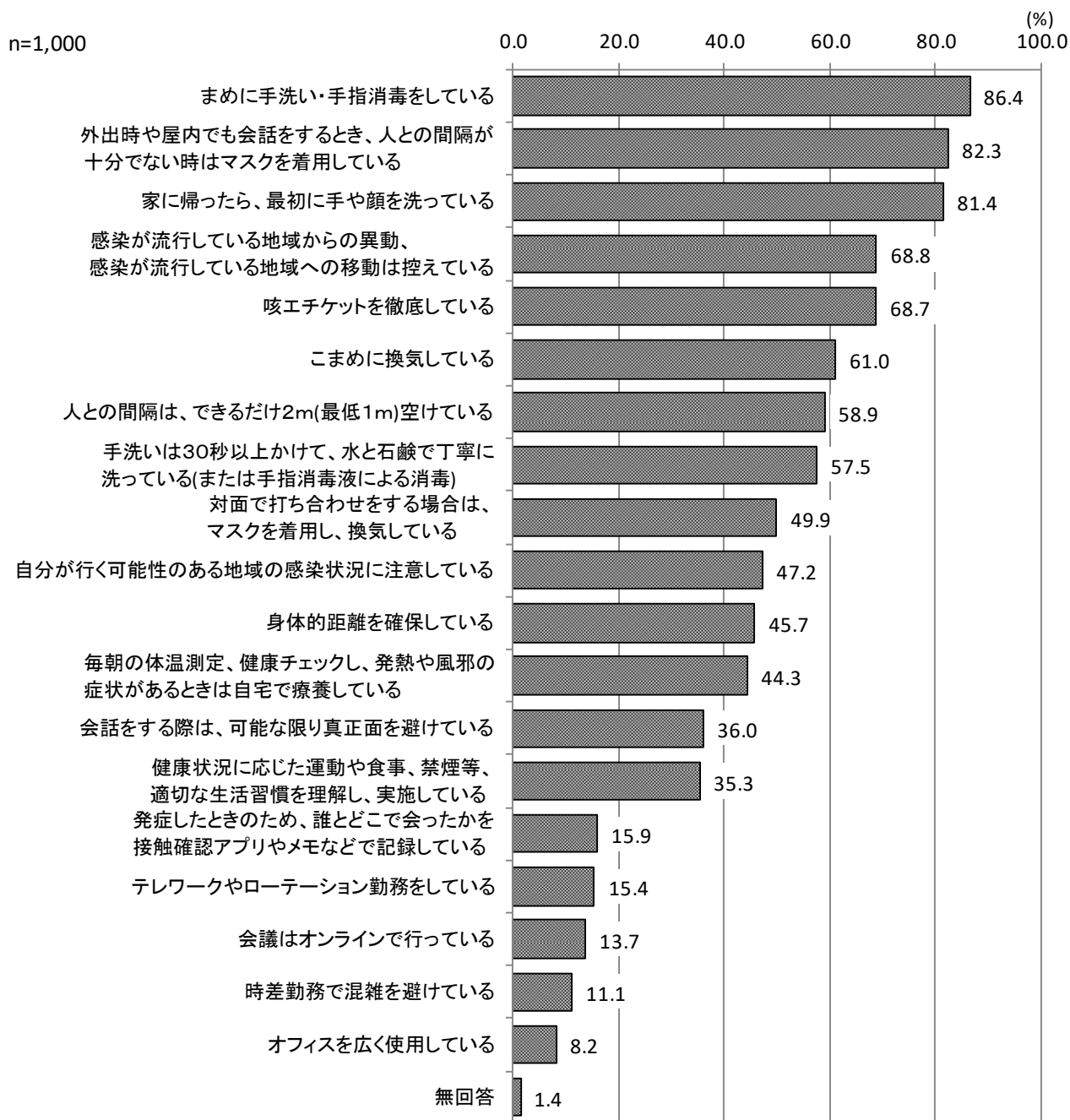
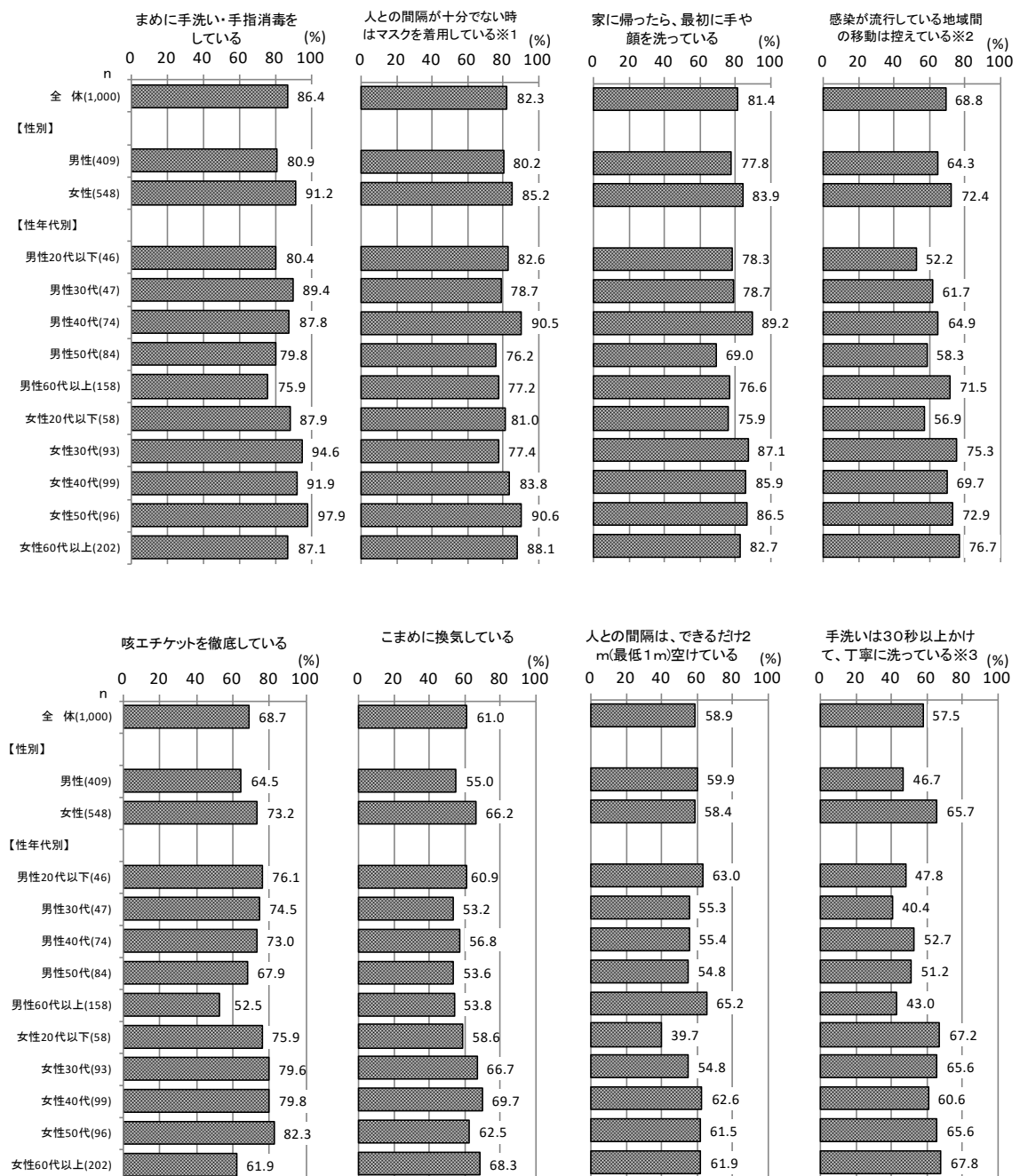


図 8-1-2 実践している新型コロナウイルス感染症の対策 <性別・性年代別>

(上位 8 項目)



※1 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分でない時はマスクを着用している
 ※2 感染が流行している地域からの異動、感染が流行している地域への移動は控えている
 ※3 手洗いは30秒以上かけて、水と石鹸で丁寧に洗っている(または手指消毒液による消毒)

9 東海道川崎宿起立 400 年について

(1) 宿場町としての歴史への認知度

問 24 かつて川崎が東海道の宿場町として賑わっていた歴史があることを知っていますか。

(あてはまるもの1つに○)

全 体 「聞いたことはある」(47.4%) が最も高く、次いで「よく知っている」(35.1%)、「全く知らない」(15.9%) となっている。(図9-1-1)

性 別 「よく知っている」では、「男性」(42.5%) が「女性」(30.7%) より11.8ポイント高くなっている。(図9-1-2)

性 年 代 別 「よく知っている」では、「男性60代以上」(54.4%) が最も高く、次いで「女性60代以上」(47.5%)、「男性50代」(39.3%) となっている。「全く知らない」では、「女性30代」(38.7%)、「女性20代以下」(34.5%)、「男性20代以下」(30.4%) で他の性年代に比べて高くなっている。(図9-1-2)

図9-1-1 宿場町としての歴史への認知度

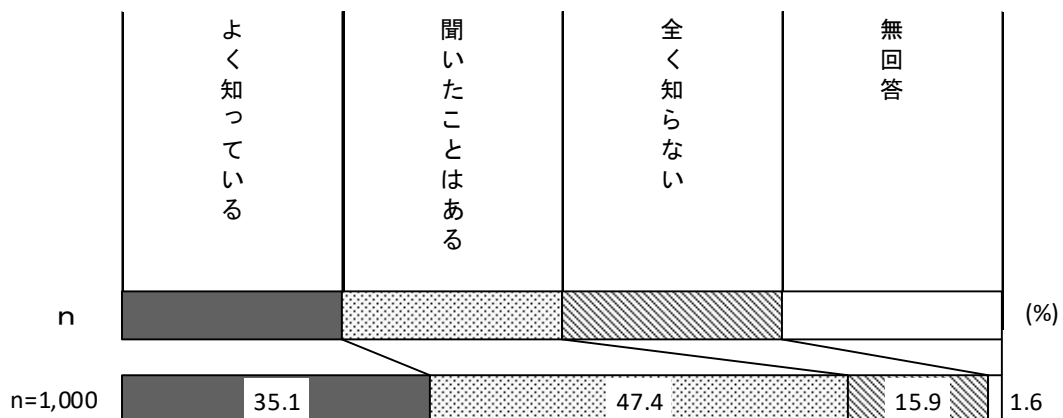
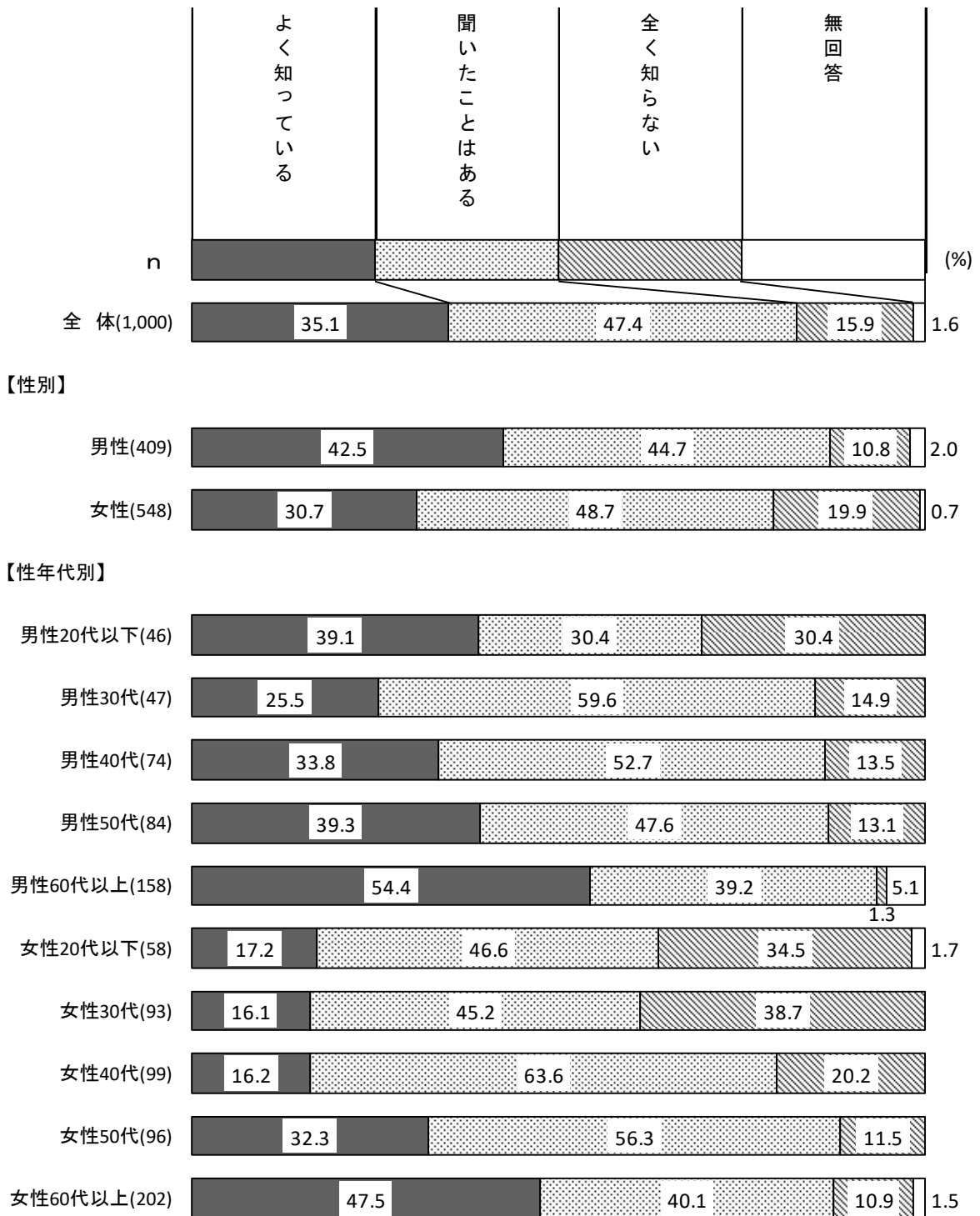


図9-1-2 宿場町としての歴史への認知度 <性別・性年代別>



(2) 「東海道川崎宿起立 400 年」の認知度

問 25 令和5（2023）年に「東海道川崎宿起立 400 年」を迎えることを知っていますか。
（あてはまるもの 1 つに○）

全 体 「知らない」が88.2%、「知っている」が10.1%となっている。（図9-2-1）

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。（図9-2-2）

性 年 代 別 「知っている」では、「女性60代以上」（17.3%）、「男性60代以上」（15.8%）、「男性30代」（14.9%）が他の性年代と比べて高くなっている。（図9-2-2）

図9-2-1 「東海道川崎宿起立 400 年」の認知度

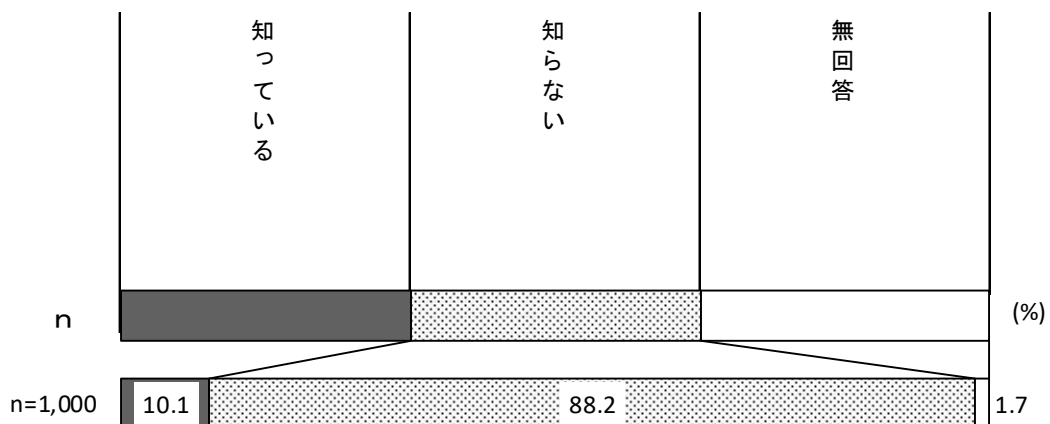
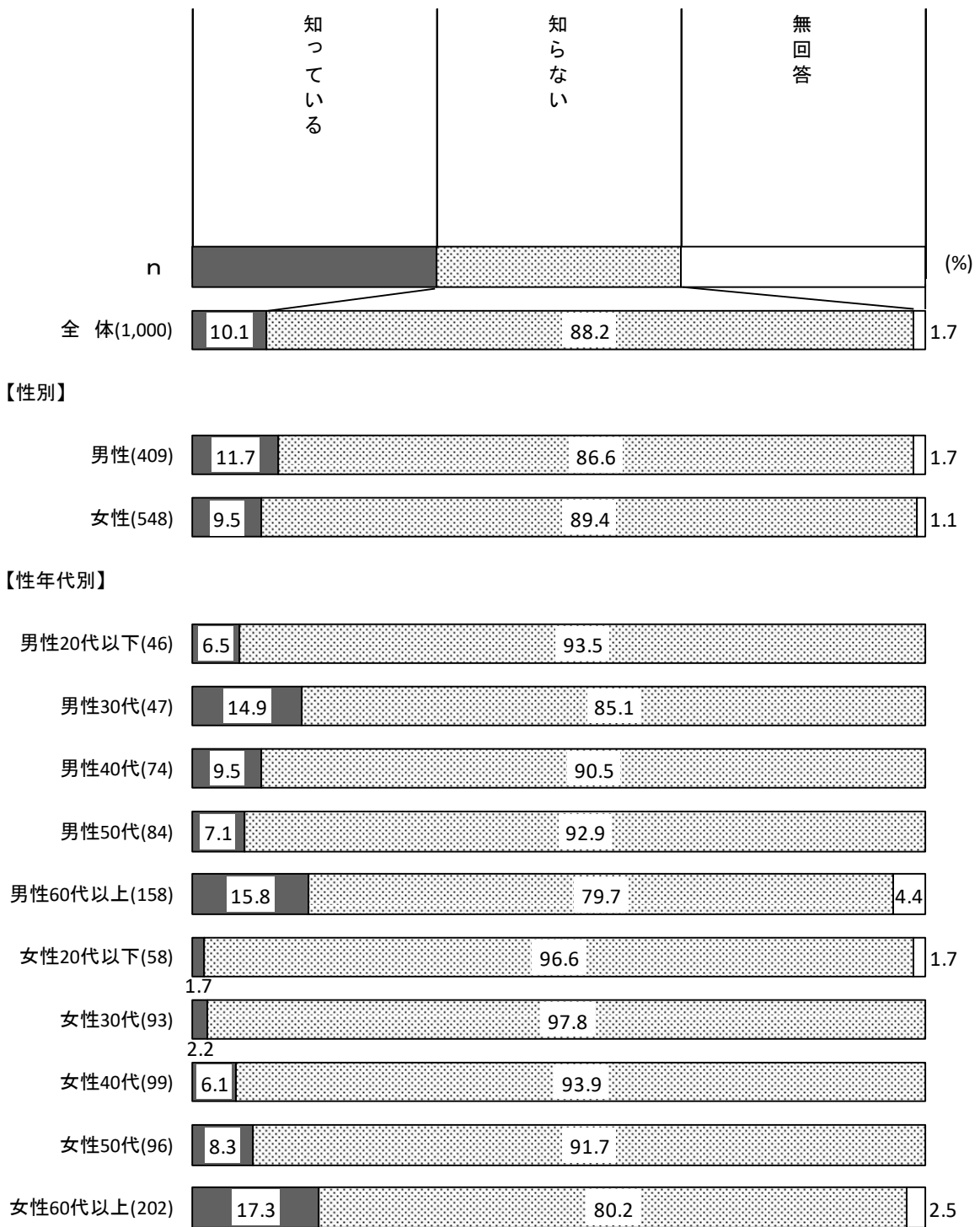


図9-2-2 「東海道川崎宿起立400年」の認知度 <性別・性年代別>



(3) 「東海道川崎宿起立 400 年」を盛り上げるために力を入れていく取組

問 26 令和5（2023）年の「東海道川崎宿起立 400 年」を盛り上げるために、今後どのような取組をしていくとよいと思いますか。（あてはまるものに、5 つまで○）

全 体 「街灯等の景観の統一」（33.2%）が最も高く、次いで「イルミネーションによる賑わいの創出」（28.3%）、「地元企業と連携した川崎宿名物の開発」（23.7%）となっている。一方、「特になし」は20.0%となっている。（図9-3-1）

性 別 上位8項目の中では、「街灯等の景観の統一」で、「女性」（36.1%）が「男性」（30.6%）より5.5ポイント高く、「多摩川六郷の渡しの復活」で、「男性」（23.2%）が「女性」（15.9%）より7.3ポイント高くなっている。（図9-3-2）

性 年 代 別 「街灯等の景観の統一」では、「女性60代以上」（40.1%）が最も高く、次いで「男性30代」（38.3%）となっている。「多摩川六郷の渡しの復活」では、「男性30代」（34.0%）が他の性年代と比べて高くなっている。

「女性30代」、「男性40代」、「女性40代」では「イルミネーションによる賑わいの創出」が最も高く、男性・女性ともに20代以下では、同率で「街灯などの景観の統一」と「イルミネーションによる賑わいの創出」が最も高くなっている。その他の性年代では「街灯等の景観の統一」が最も高くなっている。（図9-3-2）

図9-3-1 「東海道川崎宿起立 400 年」で力を入れていく取組

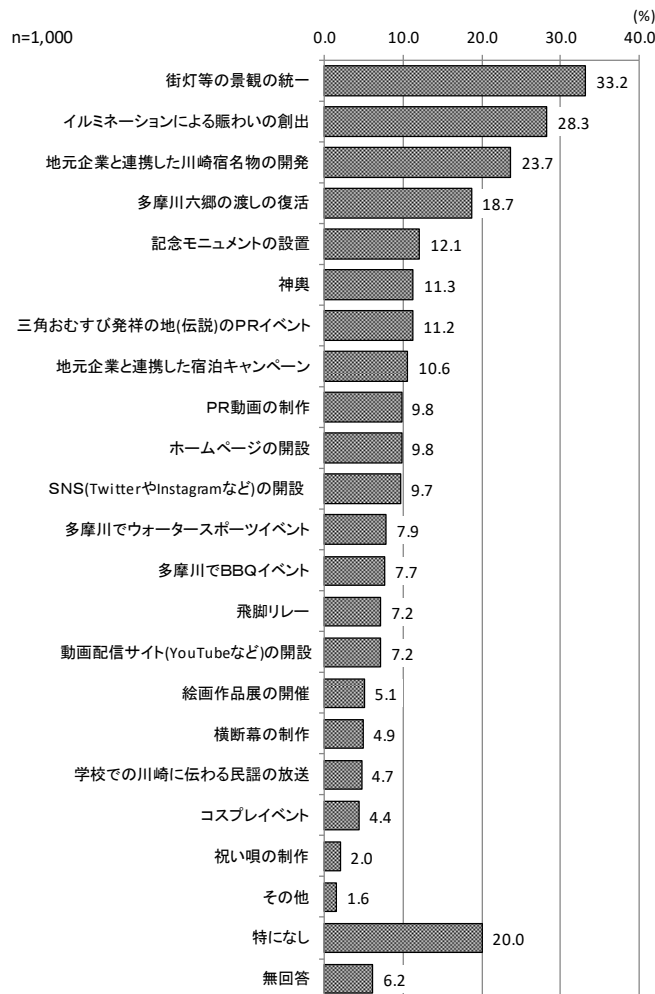
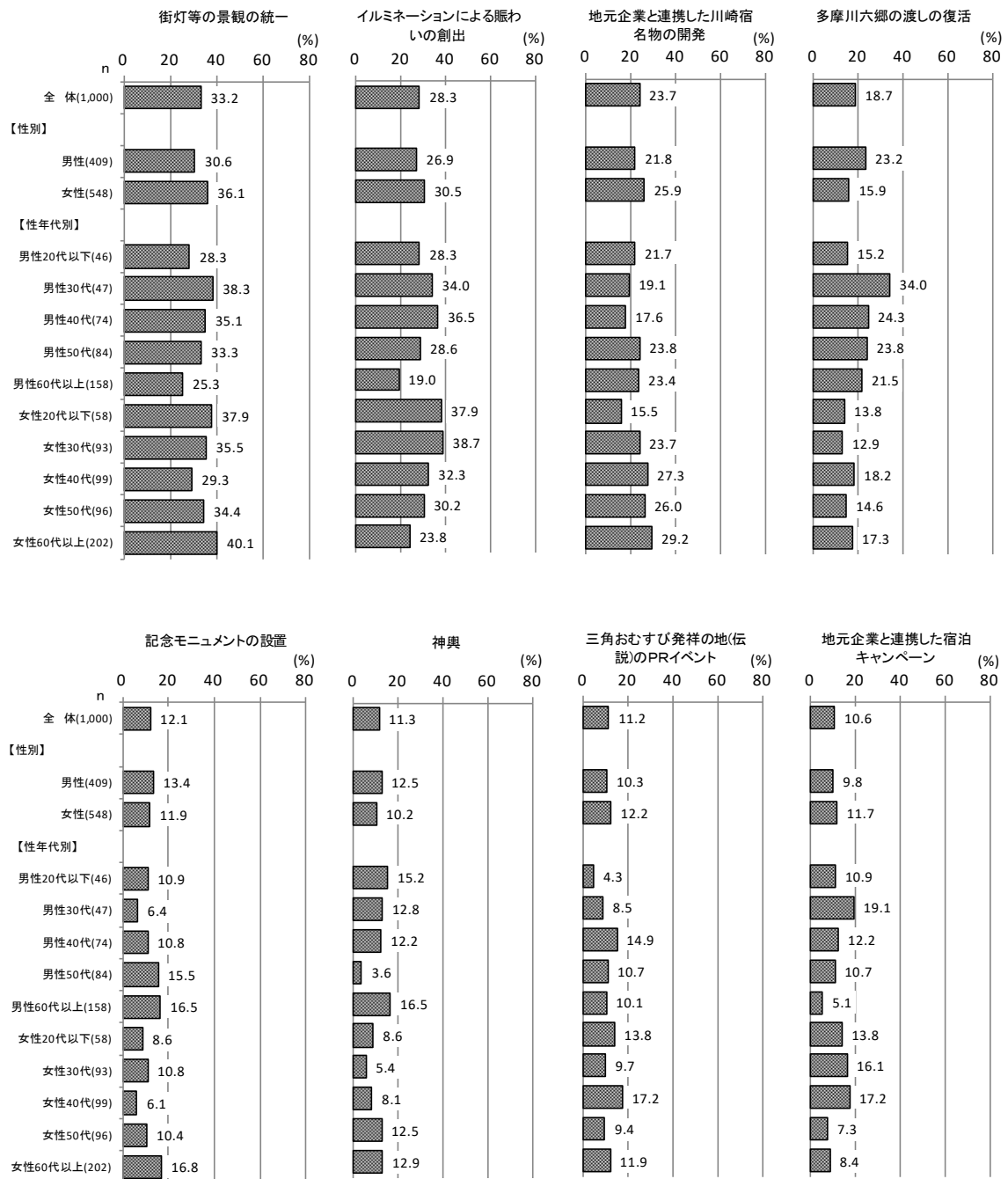


図9-3-2 「東海道川崎宿起立400年」で力を入れていく取組 <性別・性年代別>
(上位8項目)



10 川崎区制 50 周年について

(1) 「区制 50 周年」の認知度

問 27 令和 4（2022）年に川崎区が「区制 50 周年」を迎えることを知っていますか。

（あてはまるもの 1 つに○）

全 体 「知らない」が85.4%、「知っている」が11.7%となっている。（図10-1-1）

性 別 性別では、「知っている」で男性・女性ともに1割台と、大きな差は見られなかった。（図10-1-2）

性 年 代 別 「知っている」では、「男性60代以上」（20.3%）、「女性60代以上」（17.8%）が他の性年代と比べて高くなっている。（図10-1-2）

図 10-1-1 「区制 50 周年」の認知度

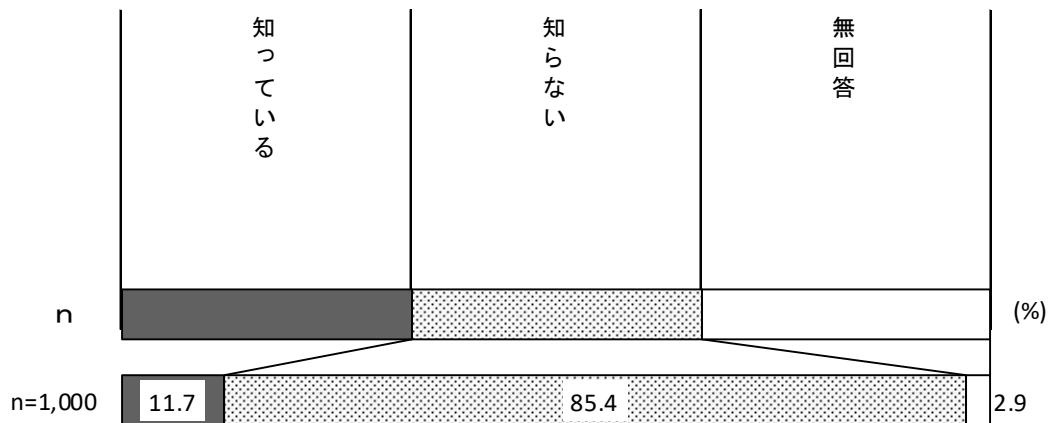
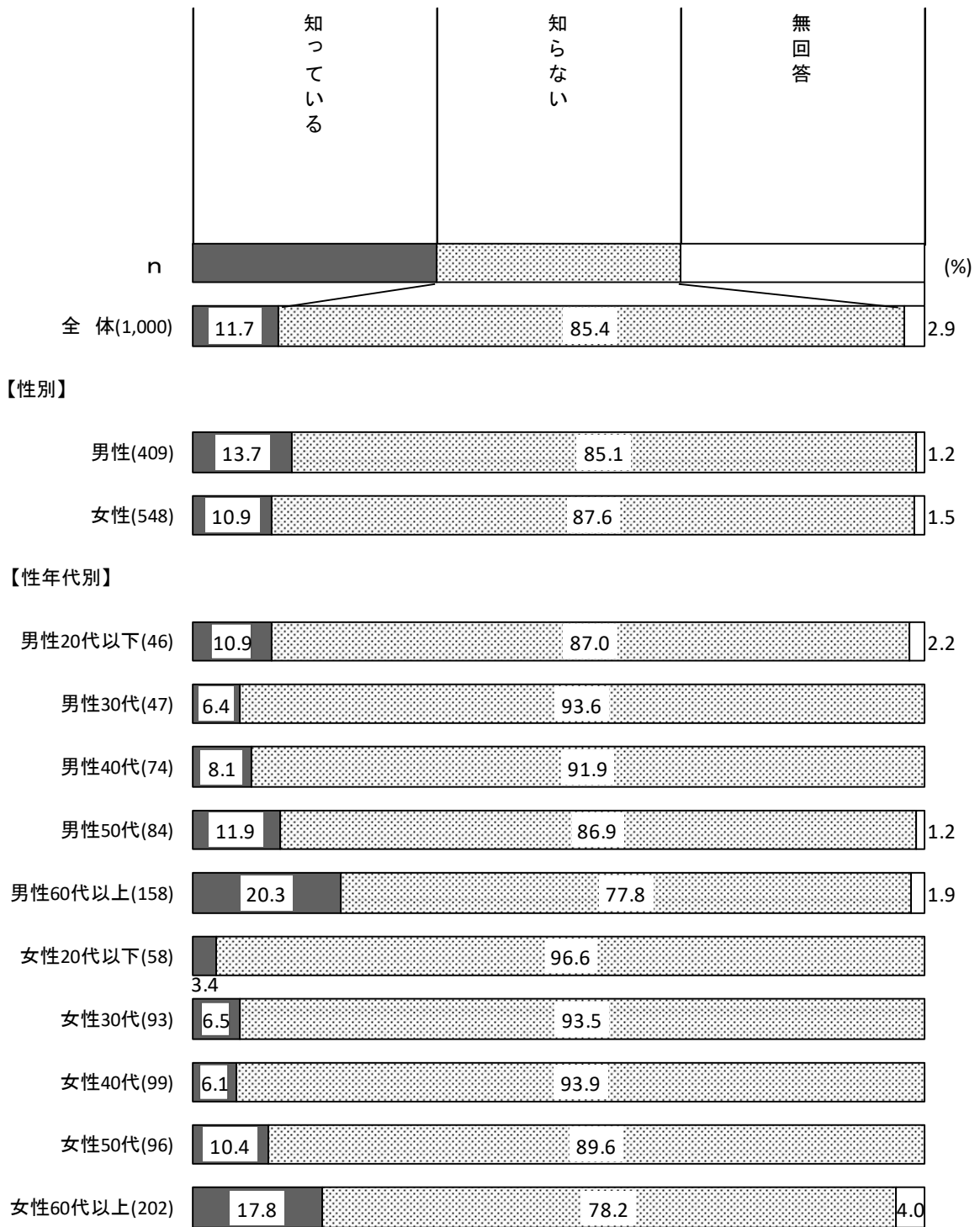


図 10-1-2 「区制 50 周年」の認知度 <性別・性年代別>



(2) 「区制 50 周年」にあたり重視すべき視点

問 28 令和 4（2022）年の「区制 50 周年」にあたり、どのような視点を最も重視すべきだと思いますか。（あてはまるもの 1 つに○）

全 体 「区のイメージアップ」(21.1%) が最も高く、次いで「地域への愛着」(11.9%)、「歴史の振り返り」(9.0%) となっている。一方、「特になし」が17.1%となっている。(図10-2-1)

性 別 性別では、大きな差は見られなかった。(図10-2-2)

性 年 代 別 上位 7 項目及び「特になし」の中では、「区のイメージアップ」で、「女性40代」(33.3%)、「女性30代」(31.2%) が、「地域への愛着」で、「男性60代以上」(19.0%) が高くなっている。また、「若者の参画や次世代育成」では、「男性20代以下」(26.1%)、「男性30代」(17.0%) が他の性年代に比べて高くなっている。「特になし」では、「女性20代以下」(27.6%) が 2 割後半と高くなっている。(図10-2-2)

図 10-2-1 「区制 50 周年」で重視すべき視点

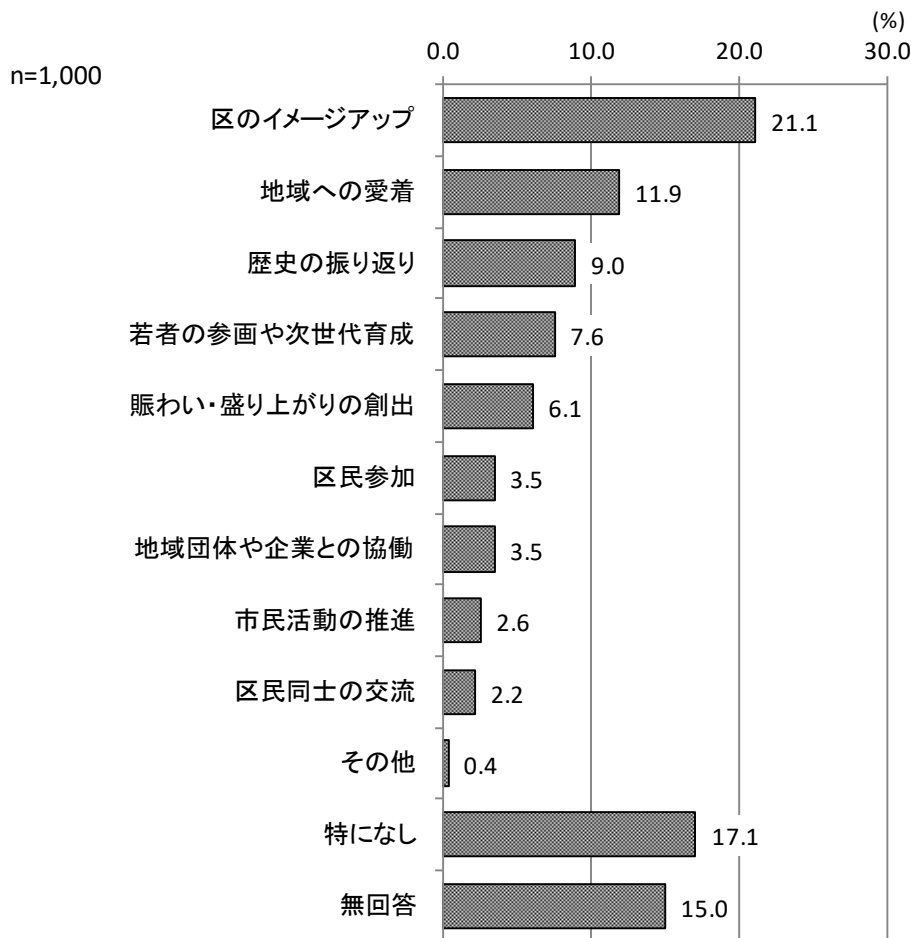
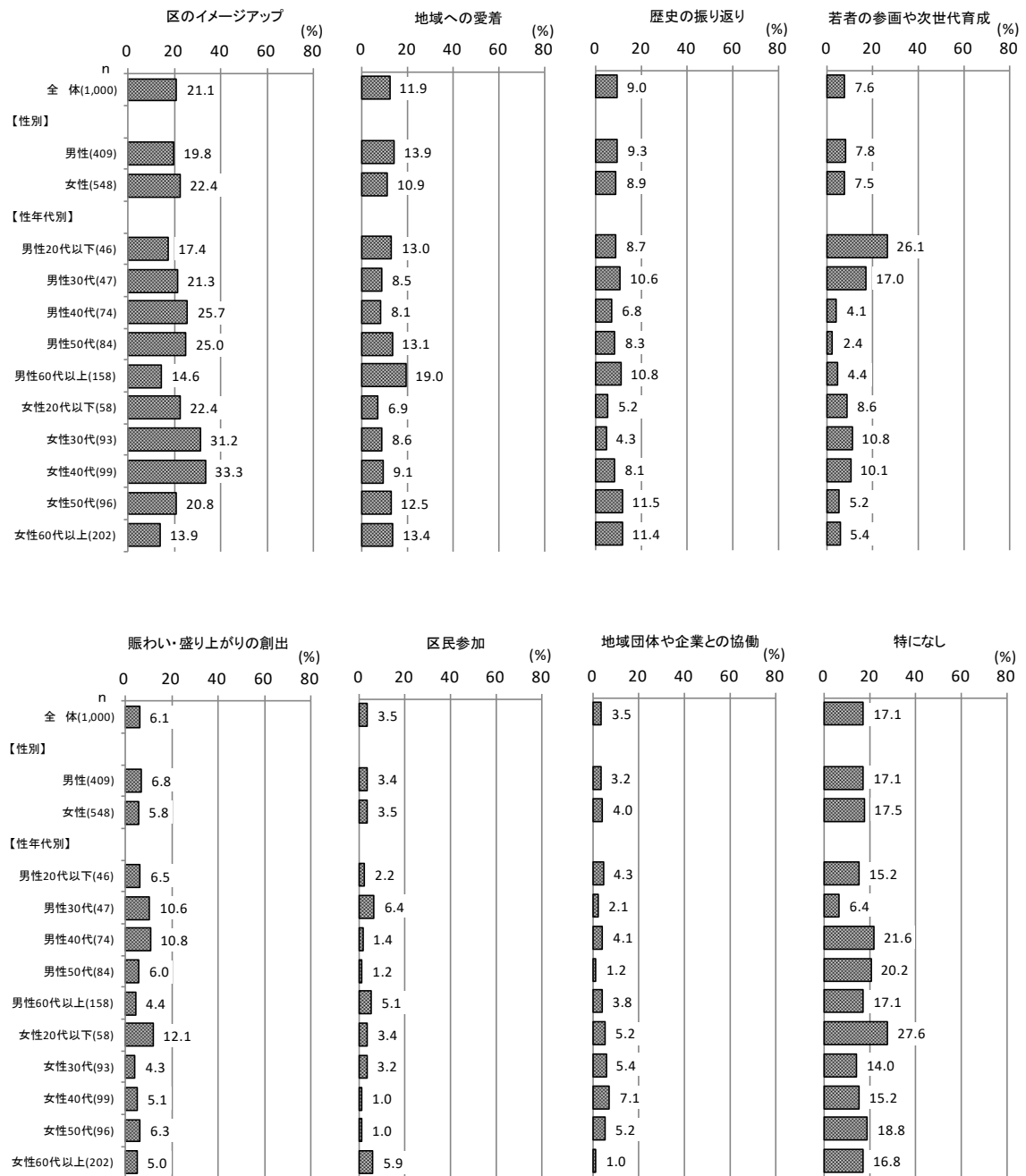


図 10-2-2 「区制 50 周年」で重視すべき視点 <性別・性年代別>

(上位 7 項目 + 「特になし」)



(3) 「区制 50 周年」で行う事業

問 29 令和 4（2022）年の「区制 50 周年」にあたり、どのような事業を行うとよいと思いますか。（あてはまるものに、3 つまで○）

全 体 「大きなお祭り」（37.4%）が最も高く、次いで「音楽イベント」（29.8%）、「スポーツイベント」（15.9%）となっている。一方、「特になし」が21.7%となっている。
（図10-3-1）

性 別 上位 8 項目の中では、「テレビの公開収録」で、「男性」（11.7%）が「女性」（7.5%）より4.2ポイント高く、「大きなお祭り」で、「男性」（40.6%）が「女性」（36.5%）より4.1ポイント高くなっている。また、「記念誌の作成」では「女性」（13.5%）が「男性」（9.8%）より3.7ポイント高くなっている。（図10-3-2）

性 年 代 別 「大きなお祭り」では、「男性30代」（63.8%）、「女性20代以下」（56.9%）が、「音楽イベント」では、「男性20代以下」（45.7%）が高くなっている。（図10-3-2）

図 10-3-1 「区制 50 周年」で行う事業

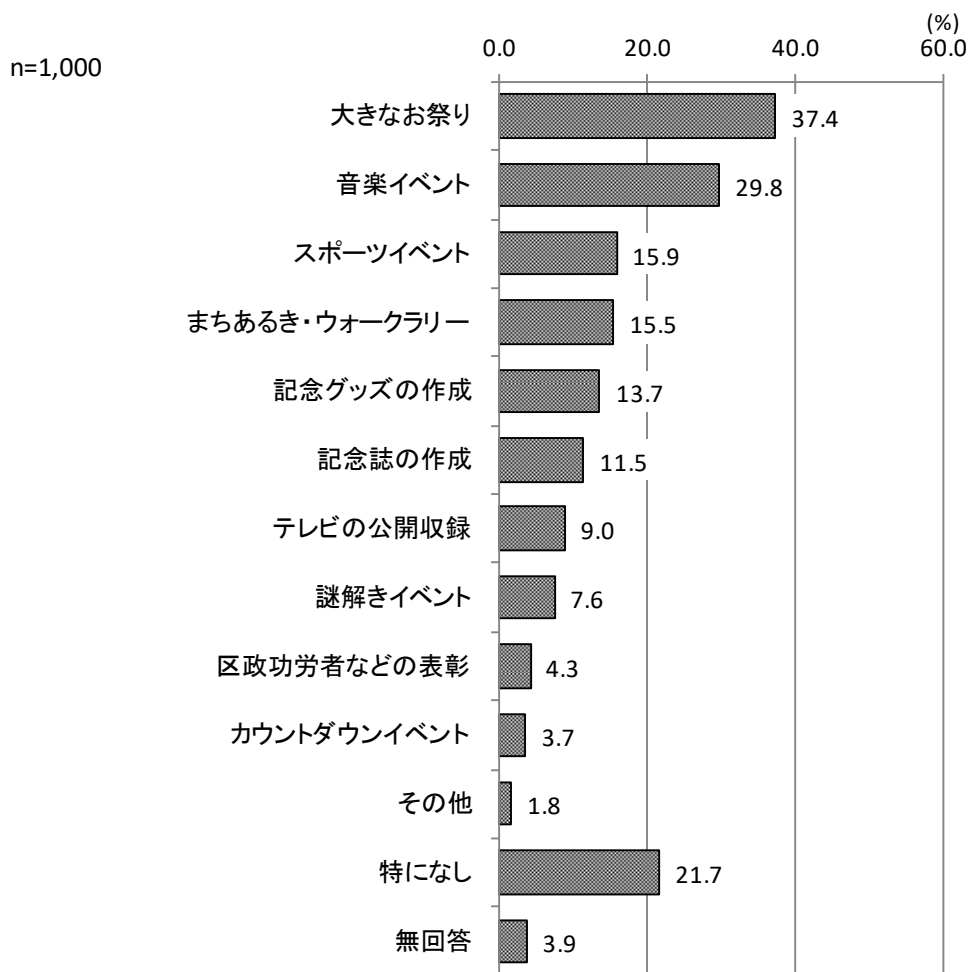
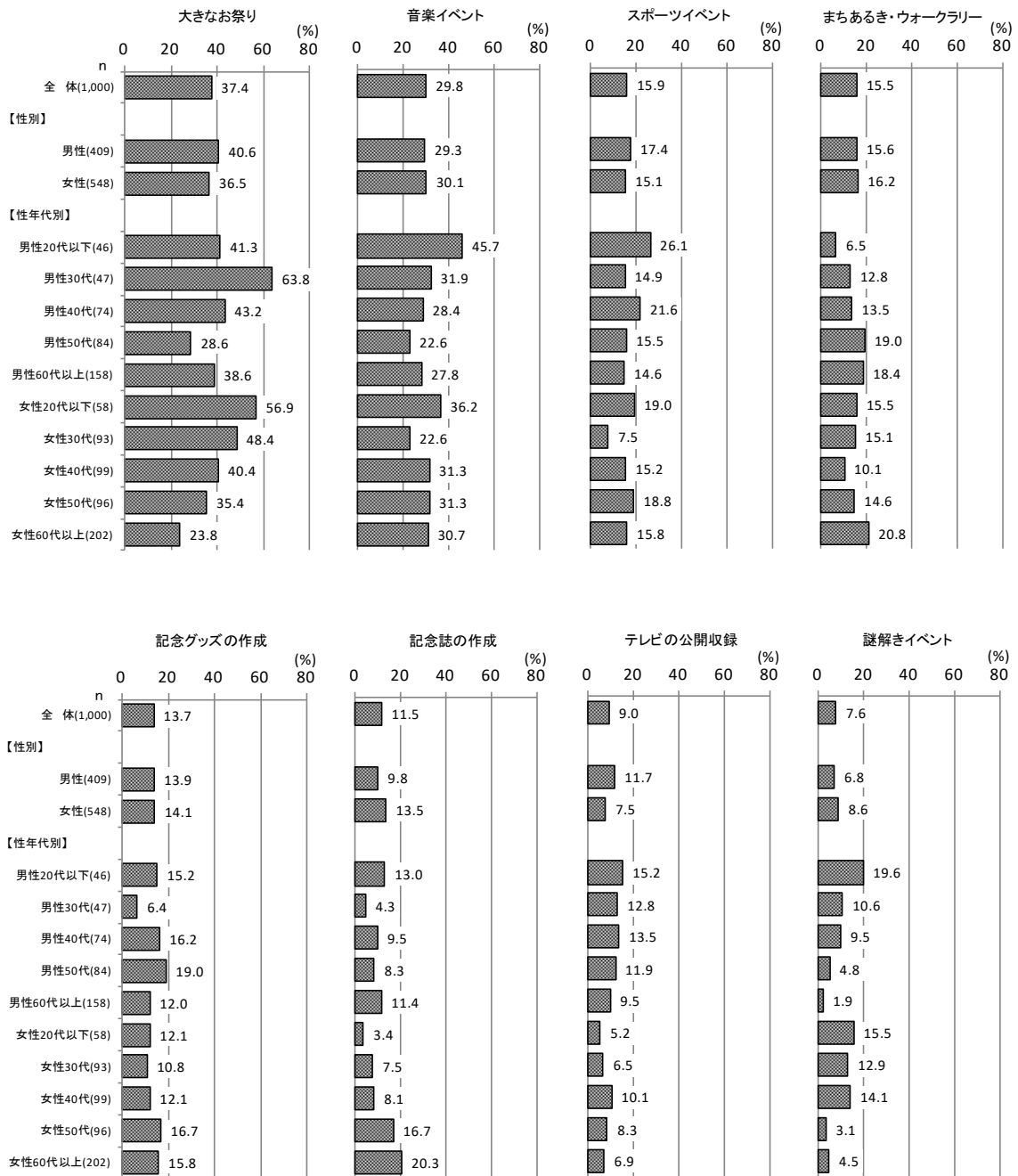


図 10-3-2 「区制 50 周年」で行う事業 <性別・性年代別>

(上位 8 項目)





れいわ ねんど かわさきく くみん あんけーと
令和2年度 川崎区区民アンケート

あんけーと ちょうさ ごきょうりょく ねが
 ～アンケート調査への御協力のお願い～

ひごろ かわさきくせい ごりかい ごきょうりょく
 日頃から川崎区政に御理解・御協力をいただきありがとうございます。
 かわさきく くみん みなさま くせい たい そつとく ごいけん にーずとう うかが
 さて、川崎区では、区民の皆様の区政に対する率直な御意見やニーズ等をお伺いし、
 こんご くせいらんえい さんこう かんが あんけーと ちょうさ じっし
 今後の区政運営の参考にさせていただきたいと考え、アンケート調査を実施することとい
 たしました。

いそが きょうしゅく ごきょうりょく ねが
 お忙しいところ恐縮ですが、御協力いただきますようお願いいたします。

かわさきくちょう みづたに よしゆき
川崎区長 水谷 吉孝
 れいわ ねん がつ
 令和2年11月

あんけーと ちょうさひょう せにゆう ちゆうい ねが
 ～アンケート調査票への記入にあたっての注意とお願い～

ちょうさ くない す まん さいいじょう かながた にん たさく い ちゆうしゅつ
 この調査は、区内にお住まいの満18歳以上の方々2,000人を無作為に抽出し
 て御協力をお願いしております。

こた ないよう ちょうさめくてき とうけいてき しゅうけいぶんせき しょう
 お答えいただいた内容は、調査目的のための統計的な集計分析のみに使用いたします
 ので、お答えいただいた個人が特定されたり、個々の御意見が直接外部に公表されるこ
 とはありません。

- 1 この調査は無記名調査です。調査票や返信用封筒に氏名や住所は記入しないでください。
- 2 お答えは、あてはまる番号を「O」で囲んでください。
- 3 「その他」にあてはまる場合は()に、具体的な内容を記入してください。
- 4 調査票は、12月10日(木)までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。

◇このアンケート調査の御不明点や御質問は以下にお問合せください。

かわさきくやくしょ まちづくり すすまぶ 企画課
 電話：044-201-3267 FAX：044-201-3209
 メール：61kikaku@city.kawasaki.jp
 担当：西山・高橋

1 川崎区の住みやすさについて

問1 川崎区の住みやすさをどのように思われますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. とても住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. とても住みにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問2 川崎区に住み続けたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. これからも住んでいたい | 2. できれば市内の他の区へ移りたい |
| 3. できれば市外へ移りたい | 4. わからない |

問3 次の表にあげる項目の、満足度を教えてください。

(①から⑱までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

項目	満足	やや(少し)満足	どちらともいえない	やや(少し)不満	不満
① 治安や風紀	1	2	3	4	5
② 買い物などの日常生活の利便性	1	2	3	4	5
③ バス・電車などの交通の便	1	2	3	4	5
④ 地震や風水害などの災害対策	1	2	3	4	5
⑤ 自転車マナーの啓発などの交通安全対策	1	2	3	4	5
⑥ 地域パトロールや特殊詐欺の啓発などの防犯対策	1	2	3	4	5
⑦ 自転車撤去や駐輪場への誘導・案内などの放置自転車対策	1	2	3	4	5
⑧ 地域団体等の清掃活動などの街の美化推進	1	2	3	4	5
⑨ スポーツや文化施設の充実	1	2	3	4	5
⑩ こども110番などの青少年の健全育成	1	2	3	4	5
⑪ 保育などの子育て支援の取組	1	2	3	4	5
⑫ 病院や救急医療などの地域医療の状況	1	2	3	4	5
⑬ 高齢者が安心して暮らすための環境	1	2	3	4	5
⑭ 障害者が安心して暮らすための環境	1	2	3	4	5
⑮ 地域コミュニティ(地域団体等とのつながり)の充実	1	2	3	4	5
⑯ 歩きやすさ、走りやすさなどの道路環境の整備	1	2	3	4	5
⑰ 緑や公園などの自然環境	1	2	3	4	5
⑱ 区役所職員の窓口サービスにおける接遇	1	2	3	4	5

2 川崎区役所へ行く頻度と目的

問4 区役所や支所に行く頻度を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------------|
| 1. 1カ月に2回以上 | 2. 1カ月に1回程度 | 3. 2カ月～6カ月に1回程度 |
| 4. 1年に1回程度 | 5. ほとんど行かない | |

問5 最近1年の間で、どのような目的で区役所や支所に行きましたか。

(あてはまるもの、すべてに○)

- | |
|-----------------------------------------|
| 1. 住民票の写しなどの証明書取得 |
| 2. 住所変更・印鑑登録・マイナンバー |
| 3. 児童手当・就学手続き |
| 4. 戸籍届出(出生・婚姻・死亡) |
| 5. 国民健康保険・年金 |
| 6. 各種相談(健康・教育・福祉等) |
| 7. 保育園・こども・ひとり親支援 |
| 8. 生活保護 |
| 9. 介護・高齢者支援・障害 |
| 10. 地域住民組織の活動(町内会・自治会、民生委員・児童委員、保護司会など) |
| 11. その他() |
| 12. 最近1年は区役所や支所に行っていない |

3 川崎区役所の事業や広報について

問6 次の表にあげる区内の施設などをご存じですか。

(①から⑧までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

区内の施設など	行ったことがある	行ったことはなく よく知っている	名前だけ知っている	全く知らない
① 川崎区保育・子育て総合支援センター	1	2	3	4
② カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター)	1	2	3	4
③ 東海道のかわさき宿交旅館	1	2	3	4
④ 富士通スタジアム川崎	1	2	3	4
⑤ ヨネッティ堤根	1	2	3	4
⑥ 入江崎余熱利用プール	1	2	3	4
⑦ マリエン	1	2	3	4
⑧ キングスカイフロント	1	2	3	4

問7 次の表にあげる川崎市(区)役所の取組などをご存じですか。

(①から⑳までの項目ごとに、あてはまるもの1つに○)

川崎市(区)役所の取組	よく知っている	聞いたことはある	全く知らない
① 川崎市総合計画	1	2	3
② 地域包括ケアシステム	1	2	3
③ 地域の寺子屋	1	2	3
④ 羽田連絡道路の整備	1	2	3
⑤ まちのひろば(人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所)	1	2	3
⑥ ソーシャルデザインセンター(人や団体・企業、資源・活動をつなぐコーディネート機能とプロデュース機能等)	1	2	3
⑦ 避難場所(地震・洪水等の危険から逃れるための場所)	1	2	3
⑧ 洪水・津波ハザードマップ	1	2	3
⑨ 区内の放置自転車禁止区域(一部の駅周辺)	1	2	3
⑩ 区内の路上喫煙防止区域(川崎駅東口周辺)	1	2	3
⑪ 川崎駅周辺の自転車押し歩きエリア	1	2	3
⑫ 区内の市民活動コーナー(教育文化会館・支所内)	1	2	3
⑬ 地域包括支援センター	1	2	3
⑭ 区の花(ピオラ・ひまわり)、区の木(銀杏・長十郎梨)	1	2	3
⑮ いきいきかわさき区提案事業	1	2	3
⑯ 区役所窓口の土曜開庁	1	2	3
⑰ 住民票の写し等のコンビニ交付	1	2	3
⑱ 教育文化会館の移転	1	2	3
⑲ 支所の建て替え	1	2	3
⑳ 区役所・支所の機能・体制の見直し(支所の申請・届出業務の区役所への一元化)	1	2	3

問8 川崎区役所の事業で、今後、特に力を入れるべきだと思う事業を教えてください。

(あてはまるものに、5つまで○)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 防災対策 | 2. 防犯・防火対策 |
| 3. 交通安全対策 | 4. 放置自転車対策 |
| 5. 高齢者福祉 | 6. 障害者福祉 |
| 7. 健康増進 | 8. 環境美化、地域緑化 |
| 9. 子育て支援 | 10. 教育 |
| 11. 生涯学習の推進 | 12. 地域コミュニティ活性化 |
| 13. 産業・商業の振興 | 14. 観光振興 |
| 15. 文化振興 | 16. スポーツ振興 |
| 17. 窓口サービスの向上 | 18. 外国人市民に関する事業 |
| 19. その他() | 20. 特になし |

問9 市役所・区役所からの行政情報をどのように入手していますか。

(あてはまるものに、5つまで○)

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 市政だより | 2. かわさきアプリ |
| 3. コレカラかわさき暮らし(かわさき生活ガイド) | 4. 新聞 |
| 5. タウン情報誌 | 6. 町内会の回覧板 |
| 7. 市や町内会の掲示板 | 8. テレビ番組(「LOVEかわさき」など) |
| 9. 広報ラジオ番組(「かわさき for you」など) | 10. SNS(市や区のTwitterやLINEなど) |
| 11. 動画配信サイト(市のYouTubeなど) | 12. 市(区)ホームページ |
| 13. 市政資料コーナー(区役所3階) | 14. 情報プラザ(第3庁舎2階) |
| 15. その他() | 16. 特に情報は入手してない |

問10 市政だより川崎区版は、どのようなテーマを取り上げて欲しいですか。

(あてはまるものに、5つまで○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 防災情報 | 2. 健康づくり情報 |
| 3. 高齢者福祉情報 | 4. 障害者福祉情報 |
| 5. イベント・講座開催情報 | 6. 子育て情報 |
| 7. 歴史・文化関係情報 | 8. スポーツ関係情報 |
| 9. 教育・学校関係情報 | 10. 地域コミュニティ情報 |
| 11. 区の事業紹介 | 12. 区役所窓口情報 |
| 13. 区の魅力 | 14. その他() |
| 15. 特になし | |

4 防災や風水害時の避難予定場所について

問11 防災の取組として実践していることを教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

1. ハザードマップの確認(自宅周辺の危険要素の把握)
2. 「メールニュースかわさき」や「かわさき防災アプリ」への登録
3. 非常食・飲料水の備蓄
4. 非常持ち出し品の用意
5. 家具等の転倒防止対策
6. 自宅の耐震補強
7. 感震ブレーカーの設置
8. 家族との連絡手段の確認
9. 家族との防災についての話し合い
10. 地域の防災訓練への参加
11. その他()
12. 特になし

問12 災害時、どのように防災情報を集めようとしているかを教えてください。

(あてはまるもの、すべてに○)

1. テレビ
2. ラジオ
3. インターネット
4. SNS (Twitter やLINE など)
5. メールニュースかわさき
6. かわさき防災アプリ
7. 携帯電話やスマートフォンの緊急速報メール
8. 防災行政無線(屋外スピーカー)
9. 市や区の広報車
10. 町内会等の地域住民から人づてに聞く
11. その他()
12. 特に考えていない

問13 台風・大雨などの風水害時に避難勧告や避難指示が出された場合、どこに避難するか教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 自宅が風水害に強いいため避難しない
(浸水やがけ崩れ等のないエリアまたはマンション上層階など)
2. 自宅の上層階(2階または3階以上)に避難する
3. 学校などの指定緊急避難場所に避難する
4. 被害を受けにくい宿泊施設へ避難する
5. 被害を受けにくい親戚や友人等の家へ避難する
6. 洪水やがけ崩れの危険性のないエリアへ車で移動し、車中で過ごす
7. 学校などの指定緊急避難場所がどこか分からないので、調べてから判断する
8. 避難勧告や避難指示が出された後に避難するか考える
9. その他()
10. どうすればよいか分からない
11. 特に何も考えていない

問20 町内会・自治会活動に最も期待することを教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 気軽に参加しやすい組織づくり | 2. 次世代を担う人材の育成 |
| 3. 地域で活動する様々な企業や団体との連携 | 4. 新たな地域課題への対応など活動内容の充実 |
| 5. その他() | 6. 特に期待していない |

問21 町内会・自治会活動で参加してみたいこと(興味のあること)を教えてください。

(あてはまるものに、3つまで○)

- | |
|----------------------------------------------|
| 1. 盆踊りなどのお祭り |
| 2. 自然や環境を守るための活動やイベント(清掃活動や地域緑化・植栽活動) |
| 3. 子どもを対象とした活動やイベント |
| 4. 安全安心のための活動やイベント(防犯パトロールや登下校時の交通安全見守り活動など) |
| 5. スポーツ、文化、芸術、学術に関係した活動やイベント |
| 6. 高齢者、障害者を対象とした活動やイベント |
| 7. 防災に関係した活動やイベント(避難訓練など) |
| 8. 外国人等のための活動やイベント |
| 9. その他() |
| 10. 特になし |

7 地域コミュニティについて

問22 地域交流への参加のきっかけとして、興味のある場所や取組(人と人をつなぐ居心地の良い地域の居場所)を教えてください。(あてはまるものに、3つまで○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 子どもを遊ばせることができる場所・取組 |
| 2. 緑を感じることができる場所・取組 |
| 3. お祭りやイベントができる場所・取組 |
| 4. 自由に飲食や休憩ができる場所・取組 |
| 5. 待ち合わせや談話ができる場所・取組 |
| 6. 仕事や会議ができる場所・取組 |
| 7. 勉強や読書ができる場所・取組 |
| 8. 防災の体験や学習ができる場所・取組 |
| 9. 農作物や作品販売などのバザー・マルシェができる場所・取組 |
| 10. その他() |
| 11. 特になし |

8 新型コロナウイルス感染症に対応した生活について

問23 新しい生活様式(新型コロナウイルス感染症の対策)として、実践しているものを教えてください。(あてはまるもの、すべてに○)

1人1人の基本的な対策

1. 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けている
2. 会話をする際は、可能な限り真正面を避けている
3. 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分でない時はマスクを着用している
4. 家に帰ったら、最初に手や顔を洗っている
5. 手洗いは30秒以上かけて、水と石鹸で丁寧に洗っている(または手指消毒液による消毒)

移動時の対策

6. 感染が流行している地域からの異動、感染が流行している地域への移動は控えている
7. 発症したときのため、誰とどこで会ったかを接触確認アプリやメモなどで記録している
8. 自分が行く可能性のある地域の感染状況に注意している

日常生活での基本的な対策

9. まめに手洗い・手指消毒をしている
10. 咳エチケットを徹底している
11. こまめに換気している
12. 身体的距離を確保している
13. 健康状況に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣を理解し、実施している
14. 毎朝の体温測定、健康チェックし、発熱や風邪の症状があるときは自宅で療養している

働き方に対応した対策

15. テレワークやローテーション勤務をしている
16. 時差勤務で混雑を避けている
17. オフィスを広く使用している
18. 会議はオンラインで行っている
19. 対面で打ち合わせをする場合は、マスクを着用し、換気している

9 東海道川崎宿起立400年について

問24 かつて川崎が東海道の宿場町として賑わっていた歴史があることを知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|-----------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 全く知らない |
|------------|-------------|-----------|

問25 令和5(2023)年に「東海道川崎宿起立400年」を迎えることを知っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問26 令和5(2023)年の「東海道川崎宿起立400年」を盛り上げるために、今後どのような取組をしていくとよいと思いますか。(あてはまるものに、5つまで○)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 記念モニュメントの設置 | 2. イルミネーションによる賑わいの創出 |
| 3. 街灯等の景観の統一 | 4. 多摩川六郷の渡しの復活 |
| 5. 多摩川でウォータースポーツイベント | 6. 多摩川でBBQイベント |
| 7. 三角おむすび発祥の地(伝説)のPRイベント | 8. 飛脚リレー |
| 9. コスプレイベント | 10. 神輿 |
| 11. 地元企業と連携した宿泊キャンペーン | 12. 地元企業と連携した川崎宿名物の開発 |
| 13. 絵画作品展の開催 | 14. 学校での川崎に伝わる民謡の放送 |
| 15. 祝い唄の制作 | 16. 横断幕の制作 |
| 17. PR動画の制作 | 18. ホームページの開設 |
| 19. SNS (Twitter や Instagram など)の開設 | 20. 動画配信サイト (YouTube など)の開設 |
| 21. その他() | 22. 特になし |

10 川崎区制50周年について

問27 令和4(2022)年に川崎区が「区制50周年」を迎えることを知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問28 令和4(2022)年の「区制50周年」にあたり、どのような視点を最も重視すべきだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|------------|----------------|-----------------|
| 1. 地域への愛着 | 2. 歴史の振り返り | 3. 賑わい・盛り上がりの創出 |
| 4. 区民参加 | 5. 地域団体や企業との協働 | 6. 若者の参画や次世代育成 |
| 7. 区民同士の交流 | 8. 市民活動の推進 | 9. 区のイメージアップ |
| 10. その他() | 11. 特になし | |

問29 令和4(2022)年の「区制50周年」にあたり、どのような事業を行うとよいと思いますか。(あてはまるものに、3つまで○)

- | | | |
|------------------|---------------|----------------|
| 1. 大きなお祭り | 2. 音楽イベント | 3. スポーツイベント |
| 4. まちあるき・ウォークラリー | 5. 記念誌の作成 | 6. 記念グッズの作成 |
| 7. テレビの公開収録 | 8. 区政功労者などの表彰 | 9. カウントダウンイベント |
| 10. 謎解きイベント | 11. その他() | 12. 特になし |

F1 性別 (あてはまるもの1つに○ ※未記入でもかまいません。)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

F2 年齢 (あてはまるもの1つに○)

1. 20歳未満	2. 20歳～29歳	3. 30歳～39歳	4. 40歳～49歳
5. 50歳～59歳	6. 60歳～64歳	7. 65歳～74歳	8. 75歳以上

F3 お住まい (あてはまるもの1つに○)

1. 川崎市役所管内(※1)	2. 大師支所管内(※2)	3. 田島支所管内(※3)
----------------	---------------	---------------

※1 川崎市役所管内の町丁(50音順)
 旭町、池田、砂子、駅前本町、榎木町、大島、大島上町、小川町、小田1丁目、貝塚、京町、境町、
 下並木、新川通、鈴木町、堤根、中島、日進町、東田町、富士見、堀之内町、本町、港町、南町、宮前町、
 宮本町、元木、渡田、渡田山王町、渡田新町、渡田東町、渡田向町

※2 大師支所管内の町丁(50音順)
 池上新町、伊勢町、浮島町、江川、川中島、観音、小島町、塩浜、昭和、大師駅前、大師河原、
 大師公園、大師本町、大師町、台町、田町、千鳥町、出来野、殿町、中瀬、東扇島、東門前、日ノ出、藤崎、
 水江町、夜光、四谷上町、四谷下町

※3 田島支所管内の町丁(50音順)
 浅田、浅野町、池上町、追分町、扇町、大川町、扇島、小田2丁目～7丁目、小田栄、鋼管通、桜本、
 白石町、田島町、田辺新田、浜町、南渡田町

F4 川崎区に、お住まいになって何年になりますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 3年未満	2. 3年以上10年未満	3. 10年以上20年未満	4. 20年以上
---------	--------------	---------------	----------

F5 職業を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 会社員(公務員・団体職員含む)	2. 自営業	3. パート・アルバイト
4. 家事専業(主夫・主婦)	5. 学生	6. 無職(年金生活者を含む)
7. その他()		

F6 あなたを除く、一緒にお住いの家族や同居人の構成と人数を教えてください。

(カッコの中に人数を書いてください。ひとり暮らしの場合は「9. いない」に○をしてください。)

1. 未就学児(人)	2. 小学生(人)	3. 中学生(人)
4. 高校生(人)	5. 大学生(人)	6. 学校卒業～64歳以下(人)
7. 65歳～74歳の高齢者(人)	8. 75歳以上の高齢者(人)	9. いない

F7 お勤め先、または通学先の所在地を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 川崎区内	2. 川崎市内(川崎区以外)	3. 神奈川県内(川崎市以外)
4. 東京都内	5. 通勤・通学していない	6. その他()

質問は以上です。御協力、ありがとうございました。
 返信用封筒(切手不要)に入れ、12月10日(木)までに郵便ポストへ御投函ください。



かわさきく

令和2年度 川崎区区民アンケート＜詳細版＞

令和3年3月

発行 川崎区役所まちづくり推進部企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

TEL 044-201-3267 (直通)

FAX 044-201-3209